令和3年度

番 号		工期	日間　又は
令和　　年　　月　　日提出			令和4年3月31日 まで

工 事 設 計 書

工 事 名　横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事

工事場所　横浜市金沢区福浦三丁目9番地

工事概要　9-3病棟の一部個室化改修工事を施工する。

(1) 9301室から9304室にトイレを新設する。

(2) 9305室から9308室の4床室（計16床）をそれぞれトイレ付1床室2室（計8床）へ改修する。

施工理由　入院時に個室の要望が多く、かつトイレ不足による増設の要望が多いため。

~~金額入り~~ ・ 金額抜き

公立大学法人　横浜市立大学

設 計 金 額 .－

内 訳 工事価格 .－

消費税相当額 .－

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事						
Ⅰ	建築工事		1	式			
Ⅱ	電気設備工事		1	式			
Ⅲ	機械設備工事		1	式			
	直接工事費計						
	共通仮設費		1	式			
	現場管理費		1	式			
	一般管理費		1	式			
	共通費　計						
	合計						
	消費税相当額						%
	総計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
Ⅰ	建築工事						
1	直接仮設工事		1	式			
2	金属工事		1	式			
3	金属製建具工事		1	式			
4	内・外装工事		1	式			
5	ユニットおよびその他工事		1	式			
6	撤去工事		1	式			
7	発生材処理		1	式			
	Ⅰ．合　　計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
1	直接仮設工事						
	墨出し	内部改修(個別改修)	55.9	㎡			代価-仮-01
	墨出し	内部改修(複合改修)	178.0	㎡			代価-仮-02
	養生	内部改修(個別改修)	55.9	㎡			代価-仮-03
	養生	内部改修(複合改修)	178.0	㎡			代価-仮-04
	養生	内部改修(搬出入路部分)	328.0	㎡			代価-仮-05
	整理清掃後片付け	内部改修(個別改修)	178.0	㎡			代価-仮-06
	整理清掃後片付け	内部改修(複合改修)	55.9	㎡			代価-仮-07
	整理清掃後片付け	内部改修(搬出入路部分)	328.0	㎡			代価-仮-08
	内部足場	脚立	234.0	㎡			
	仮設間仕切り下地	A種 軽鉄下地	40.9	㎡			代価-仮-09
	仮設間仕切り仕上材	A種(両面) 石こうﾎﾞｰﾄﾞ	40.9	㎡			代価-仮-10
	仮設扉	ｱﾙﾐ製　引違い戸程度	2.0	か所			代価-仮-11
	天井仮復旧		55.9	㎡			代価-仮-12
	化学物質濃度測定	ﾊﾟｯｼﾌﾞ型　2か所	1	式			
	1．合　　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
2	金属工事						
	（　内部　）						
	壁 軽量鉄骨壁下地	90形　@450	277.0	㎡			
	壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	90形　　900×2000程度	12.0	か所			
	壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	90形　1200×2000程度	12.0	か所			
	天井 軽量鉄骨天井下地	19形　@360　H≦1.5m	223.0	㎡			
	天井 インサート	あと施工ｱﾝｶｰ(30%)	223.0	㎡			代価-金-01
	天井 軽量鉄骨天井下地 開口補強	1030×　640	17.0	か所			
	天井 軽量鉄骨天井下地 開口補強	1250×　150	29.0	か所			
	天井点検口	額縁ﾀｲﾌﾟ 450×　450　開口補強共	32.0	か所			
	2．合　　計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
3	金属製建具工事						
	（　内部　）						
	LH-2 鋼製軽量額付片引き吊り扉	W1200×H2000 焼付塗装	12.0	か所			
	LH-3 鋼製軽量額・ｶﾞﾗｽ付折れ戸	W 900×H2000 焼付塗装	12.0	か所			
	フロート板ガラス	t5　2.18㎡以下	2.8	㎡			
	型板ガラス	t4　2.18㎡以下	0.3	㎡			
	ガラス廻りシーリング		96.0	m			
	ガラス清掃		3.1	㎡			
	３．合　　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
4	内・外装工事						
	（　内部　）						
	VS 床 ビニル床シート	t2.0　熱溶接工法　ﾌﾟﾚｰﾝ	166.0	㎡			
	床 下地補修	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ薄塗り	166.0	㎡			
	巾木 ビニル巾木	H75	223.0	m			
	壁 硬質石こうボード	t9.5　GB-Rt12.5共	554.0	㎡			代価-内-01
	壁 耐火壁四周処理	ｼｰﾙ　両側	292.0	m			
	壁 グラスウール充填	t50　24K	277.0	㎡			
	壁 ビニールクロス	ﾎﾞｰﾄﾞ面　継ぎ目処理共	504.0	㎡			
	壁紙素地ごしらえ	ﾎﾞｰﾄﾞ面	504.0	㎡			代価-内-02
	天井 ロックウール化粧吸音板	DRt12+GB-NCt9.5	223.0	㎡			
	天井 塩ビ廻り縁		238.0	m			
	４．合　　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
5	ユニットおよびその他工事						
	（　内部　）						
	廊下手すり	樹脂製	20.5	m			
	ストレッチャーガード	樹脂製	20.5	m			
	消火器ボックス		1.0	か所			代価-ユ-01
	医療パネル用ふかし壁	GB-Rt12.5+GB-Rt12.5 1410×1196　医療ﾊﾟﾈﾙ共	12.0	か所			代価-ユ-02
	コート掛けフック		12.0	か所			代価-ユ-03
	建具取合金物	一般取合	2.0	か所			
	建具取合金物	偏しん取合	2.0	か所			
	ライニング	L1100	12.0	か所			代価-ユ-04
	ライニング	L800	8.0	か所			代価-ユ-05
	化粧鏡		12.0	か所			代価-ユ-06
	腰掛け便器用補助手すり	固定式（L型）	12.0	か所			
	腰掛け便器用補助手すり	背もたれ	12.0	か所			
	ブラインドボックス	ｱﾙﾐ製 150×150	20.3	m			代価-ユ-07
	カーテンレール	直付型 ﾀﾞﾌﾞﾙ	20.3	m			
	カーテンレール	天吊型	21.8	m			代価-ユ-08
	5．合　　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
6	撤去工事						
	（　内部　）						
	床 ケレン		178.0	㎡			代価-撤-01
	床 ビニル床シート 撤去	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有	178.0	㎡			代価-撤-02
	巾木 塩ビ巾木 撤去	H= 75	157.0	m			
	壁 ボード 撤去	GB-R+GB-H	227.0	㎡			
	壁 壁下地 撤去	LGS	113.0	㎡			
	壁 ビニルクロス 撤去	VC	327.0	㎡			
	天井 ボード 撤去	DR+GB-NC	234.0	㎡			
	天井 天井下地 撤去	LGS	234.0	㎡			
	金属製建具撤去	片開き　枠共	8.0	か所			
	カーテンレール 撤去		101.0	m			代価-撤-03
	ブラインドボックス 撤去		20.3	m			代価-撤-04
	医療パネル 撤去		21.0	か所			代価-撤-05
	ステンレス流し台 撤去		4.0	か所			代価-撤-06
	消火器ボックス 撤去		1.0	か所			代価-撤-07
	廊下手すり 撤去		25.3	m			代価-撤-08
	ストレッチャーガード 撤去		25.3	m			代価-撤-09
	発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類	24.0	m3			代価-撤-10

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	6．合　　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
7	発生材処理						
	建設廃棄物収集・運搬費	4ｔﾀﾞﾝﾌﾟ　片道25km程度	6.0	台			
	建設廃棄物収集・運搬費	2ｔﾀﾞﾝﾌﾟ　片道75km程度	1.0	台			
	発生材処分	ﾋﾞﾆｰﾙ床材　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材 石綿含有産業廃棄物(管理型)	0.4	m3			
	発生材処分	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	10.7	m3			
	発生材処分	混合廃棄物	13.0	m3			
	7．合　　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	墨出し	内部改修(個別改修)					代価-仮-01
	特殊作業員		0.002	人			
	普通作業員		0.001	人			
	小　　計						
	その他	(労)×25%					
	合　　計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	墨出し	内部改修(複合改修)					代価-仮-02
	特殊作業員		0.003	人			
	普通作業員		0.002	人			
	小　　計						
	その他	(労)×25%					
	合　　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	養生	内部改修(個別改修)					代価-仮-03
	普通作業員		0.007	人			
	小　　計						
	その他	(労)×25%					
	合　　計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	養生	内部改修(複合改修)					代価-仮-04
	普通作業員		0.011	人			
	小　　計						
	その他	(労)×25%					
	合　　計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	養生	内部改修(搬出入路部分)					代価-仮-05
	普通作業員		0.004	人			
	小　　計						
	その他	(労)×25%					
	合　　計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
整理清掃後片付け	内部改修(個別改修)					代価-仮-06
軽作業員		0.036	人			
小　　計						
その他	(労)×25%					
合　　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	整理清掃後片付け	内部改修(複合改修)					代価-仮-07
	軽作業員		0.054	人			
	小　　計						
	その他	(労)×25%					
	合　　計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	整理清掃後片付け	内部改修(搬出入路部分)					代価-仮-08
	軽作業員		0.018	人			
	小　　計						
	その他	(労)×25%					
	合　　計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
仮設間仕切り下地	A種 軽鉄下地					代価-仮-09
スタッド	65形	2.300	m			
ランナ	65形	0.600	m			
スペーサー		3.500	個			
打込みピン	ｺﾝｸﾘｰﾄｱﾝｶｰ M6	0.700	本			
振れ止め		0.800	m			
小　計						
特殊作業員		0.038	人			
小　計						
その他	(労)×25%					
合　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	仮設間仕切り仕上材	A種(両面) 石こうﾎﾞｰﾄﾞ					代価-仮-10
	せっこうボード	厚9.5㎜　910×1820 (0.604枚/㎡×2.1㎡)	1.270	枚			
	くぎ	ﾎﾞｰﾄﾞくぎ	0.040	kg			
	グラスウール	32K　厚50㎜	1.050	㎡			
	小　　計						
	大工		0.140	人			
	普通作業員		0.030	人			
	小　　計						
	その他	(労)×25%					
	合　　計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
仮設扉	ｱﾙﾐ製　引違い戸程度					代価-仮-11
引違い戸		1.000	か所			
同上取付費		1.000	か所			
小　　計						
（撤去）						
建具撤去		1.000	か所			
内装材積込み	人力	0.054	m3			代価-撤-24
収集･運搬受託料金	4ｔﾀﾞﾝﾌﾟ 片道距離おおむね25km	0.054	m3			
発生材処分	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（再生）	0.054	m3			
小　　計						
合　　計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	天井仮復旧						代価-仮-12
	養生材		1.000	㎡			
	同上取付費		2.000	㎡			
	同上撤去費		2.000	㎡			
	合　　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	天井 インサート	あと施工ｱﾝｶｰ(30%)					代価-金-01
	あと施工アンカー	M10 金属拡張ｱﾝｶｰ　上向き 1.5本/㎡×30%　　標準C	0.450	本			
	合　　計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁硬質石こうボード紙素地拵え	t9.5　GB-Rt12.5共					代価-内-01
壁石こうボード	t12.5	1.000	㎡			
壁石こうボード	t9.5	1.000	㎡			
(材料費)						
壁硬質石こうボード	t9.5	1.000	㎡			
壁石こうボード	t9.5	1.000	㎡			
小　　計						
改修割増	労務費×11%					
合　　計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁紙素地拵え	ﾎﾞｰﾄﾞ面					代価-内-02
合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝｼｰﾗｰ	壁紙用 ｸﾘﾔｰﾀｲﾌﾟ　JIS K5663	0.100	kg			
合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾊﾟﾃ	壁紙用 一般形 JIS K5669 F☆☆☆☆	0.020	kg			
小　　計						
研磨紙	P120～400	0.030	枚			
内装工		0.010	人			
小　　計						
改修割増	労務費×11%					
中　　計						
その他	(材+労+雑)×19%					
合　　計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	消火器ボックス						代価-ユ-01
	消火器ボックス	半埋込型	1.000	か所			
	同上取付費		1.000	か所			
	小　　計						
	改修割増	労務費×11%					
	合　　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	医療パネル用ふかし壁	GB-Rt12.5+GB-Rt12.5 1410×1196　医療ﾊﾟﾈﾙ共					代価-ユ-02
	医療パネル	1210×193	1.0	か所			
	壁 軽量鉄骨壁下地	75形　@450	1.0	㎡			
	壁 石こうボード	t12.5+t12.5	2.1	㎡			
	合　　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	コート掛けフック						代価-ユ-03
	コート掛けフック		1.000	か所			
	同上取付費		1.000	か所			
	小　　計						
	改修割増	労務費×11%					
	合　　計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ライニング	L1100					代価-ユ-04
ライニング甲板(材)	D150	1.000	か所			
ライニング甲板(施工費)		1.100	m			
シーリング		1.400	m			
軽量鉄骨壁下地	65形　@450	0.935	㎡			
化粧けい酸カルシウム板	t6	0.935	㎡			
耐水合板	t12	0.935	㎡			
耐水合板	t18	0.440	㎡			
合　　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	ライニング	L800					代価-ユ-05
	ライニング甲板(材)	D150	1.000	か所			
	ライニング甲板(施工費)		0.800	m			
	シーリング		0.950	m			
	軽量鉄骨壁下地	65形　@450	0.680	㎡			
	化粧けい酸カルシウム板	t6	0.680	㎡			
	耐水合板	t12	0.680	㎡			
	耐水合板	t18	0.320	㎡			
	合　　計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	化粧鏡						代価-ユ-06
	化粧鏡		1.000	か所			
	同上取付費		1.000	か所			
	小　　計						
	改修割増	労務費×11%					
	合　　計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ブラインドボックス	ｱﾙﾐ製　150×150					代価-ユ-07
ブラインドボックス	ｱﾙﾐ製　150×150	1.000	m			
特殊作業員	2.12人/5.4m	0.393	人			
その他	(労)×25%					
合　　計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
カーテンレール	天吊型					代価-ユ-08
カーテンレール	天吊型	1.000	m			
特殊作業員		0.050	人			
その他	(労)×25%					
合　　計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	床 ケレン						代価-撤-01
	普通作業員		0.030	人			
	その他	(労)×25%					
	合　　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	床 ビニル床シート 撤去	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有					代価-撤-02
	普通作業員		0.080	人			
	その他	(労)×25%					
	合　　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	カーテンレール 撤去						代価-撤-03
	巾木 塩ビ巾木 撤去	H= 75	1.000	m			
	合　　計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ブラインドボックス 撤去						代価-撤-04
特殊作業員	2.12人/5.4m×0.4=0.157	0.157	人			
その他	(労)×25%					
合　　計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
医療パネル 撤去						代価-撤-05
大工	L1200 0.3人×0.4×(2.7/1.2)=0.27	0.270	人			
その他	(労)×25%					
合　　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	ステンレス流し台 撤去						代価-撤-06
	特殊作業員	L 1800 0.3人×0.4×(1.5/1.8)=0.10	0.100	人			
	その他	(労)×25%					
	合　　計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
消火器ボックス 撤去						代価-撤-07
消火器ボックス撤去		1.000	か所			
合　　計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	廊下手すり 撤去						代価-撤-08
	廊下手すり撤去		1.000	m			
	合　　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	ストレッチャーガード 撤去						代価-撤-09
	ストレッチャーガード 撤去		1.000	m			
	合　　計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類					代価-撤-10
普通作業員		0.200	人			
その他	(労)×25%					
合　　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
Ⅱ	電気設備工事						
1	動力設備		1	式			
2	電灯設備		1	式			
3	コンセント設備		1	式			
4	医用接地設備		1	式			
5	拡声設備		1	式			
6	テレビ共同受信設備		1	式			
7	ナースコール設備		1	式			
8	火災報知設備		1	式			
9	天井改修に伴う撤去再取付工事		1	式			
	計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
1	動力設備						
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C　　ｺﾛｶﾞｼ	61	m			
	アウトレットボックス	四角中浅	12	個			
	引掛ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A(E)x1	12	個			
	壁貫通補修	50φ	15	箇所			
	撤去工事		1	式			代価表1-1
	小計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
2	電灯設備						
	ケーブル	EM-EEF 2.0-2C　ｺﾛｶﾞｼ	137	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0-2C　PF管内	72	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C　ｺﾛｶﾞｼ	272	m			
	ケーブル	EM-CEES 1.25-2C　ｺﾛｶﾞｼ	37	m			
	ケーブル	EM-CEES 1.25-2C　PF管内	29	m			
	合成樹脂製可とう電線管	PF22　隠ぺい	72	m			
	アウトレットボックス	四角中浅	48	個			
	スイッチボックス	1個用	24	個			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ　B型		17	m			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　B型	1個用	14	個			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用ｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ　B型		14	個			
	埋込スイッチ	1P 15A x 1	24	個			
	ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ	１回路	12	個			
	照明器具	埋込下面アクリ FL40Wx1相当　A	24	台			
	照明器具	処置灯（取付金具共）　B	12	台			
	照明器具	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ　C	12	台			
	照明器具	ﾍﾞｯﾄﾞﾗｲﾄ　D	12	台			
	9LP-4改修	ﾘﾓｺﾝﾘﾚｰx5増設	1	面			
	壁貫通補修	50φ	44	箇所			

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	撤去工事		1	式			代価表2-1
	撤去再取付工事		1	式			代価表2-2
	小計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
3	コンセント設備						
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C　　管内	84	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C　　ｺﾛｶﾞｼ	980	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C　　PF管内	168	m			
	合成樹脂製可とう電線管	PF22　　隠ぺい	173	m			
	アウトレットボックス	四角中浅	72	個			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ　B型		60	m			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　B型	1個用	25	個			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用ｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ　B型		25	個			
	壁付コンセント	3P(1E)15A×2	36	個			
	医用壁付コンセント	3P(1E)15A×2	12	個			
	壁貫通補修	50φ	39	箇所			
	撤去工事		1	式			代価表3-1
	撤去再取付工事		1	式			代価表3-2
	小計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
4	医用接地設備						
	電線	EM-IE 5.5　　管内	115	m			
	電線	EM-IE 5.5　　ｺﾛｶﾞｼ	194	m			
	電線	EM-IE 5.5　　PF管内	36	m			
	電線	EM-IE 14　　管内	98	m			
	電線	EM-IE 14　　ｺﾛｶﾞｼ	58	m			
	スイッチボックス	3個用	12	個			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ　B型		127	m			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　B型	1個用	53	個			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用ｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ　B型		53	個			
	医用接地センター		12	個			
	壁貫通補修	50φ	13	箇所			
	撤去工事		1	式			代価表4-1
	撤去再取付工事		1	式			代価表4-2
	小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
5	拡声設備						
	ケーブル	EM-HP 1.2-3C　　ｺﾛｶﾞｼ	46	m			
	天井埋込型スピーカ	ATT付	12	個			
	壁貫通補修	50φ	14	箇所			
	撤去工事		1	式			代価表5-1
	撤去再取付工事		1	式			代価表5-2
	小計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
6	テレビ共同受信設備						
	ケーブル	EM-S-5C-FB　　管内	43	m			
	ケーブル	EM-S-5C-FB　　ｺﾛｶﾞｼ	223	m			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ　A型		31	m			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　A型	1個用	13	個			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用ｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ　A型		13	個			
	直列ﾕﾆｯﾄ（中間）	1端子型	5	個			
	直列ﾕﾆｯﾄ（終端）	1端子型	7	個			
	壁貫通補修	50φ	16	箇所			
	撤去工事		1	式			代価表6-1
	撤去再取付工事		1	式			代価表6-2
	小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
7	ナースコール設備						
	ケーブル	EM-AE 0.9-2C　ｺﾛｶﾞｼ	87	m			
	ケーブル	EM-AE 0.9-2C　管内	41	m			
	ケーブル	EM-CPEE-S 0.9-3P　ｺﾛｶﾞｼ	29	m			
	ケーブル	EM-CPEE-S 0.9-3P　管内	10	m			
	ケーブル	EM-UTP 0.5-4P(CAT5e)　ｺﾛｶﾞｼ	30	m			
	ケーブル	EM-UTP 0.5-4P(CAT5e)　管内	12	m			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ　A型		63	m			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　A型	1個用	42	個			
	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用ｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ　A型		42	個			
	ﾅｰｽｺｰﾙ制御器		1	台			
	ﾅｰｽｺｰﾙ制御器ﾃﾞｰﾀ変更		1	台			
	ﾎﾞｰﾄﾞ型親機60局		1	台			
	液晶表示式親機		3	台			
	ｽｲｯﾁﾝｸﾞﾊﾌﾞ　８Ｐ		1	式			
	個別廊下灯（1床室用、3色）		14	台			
	ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰｶﾊﾞｰ　1～3床室用		14	台			
	個別廊下灯（4床室用、3色）		6	台			
	ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰｶﾊﾞｰ　4～6床室用		6	台			
	I/Oﾕﾆｯﾄ（1回線1廊下灯用）		3	台			

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
I/Oﾕﾆｯﾄ（3回線3廊下灯用）		3	台			
代表廊下灯		9	台			
ﾓﾀﾞﾝﾌﾟﾚｰﾄ　ﾎﾜｲﾄ		9	台			
復旧ﾎﾞﾀﾝ		9	台			
ﾓﾀﾞﾝﾌﾟﾚｰﾄ　ﾎﾜｲﾄ		9	台			
ﾊﾝﾄﾞ型子機ｺﾝｾﾝﾄ		38	台			
ﾊﾝﾄﾞ型子機（握り、ｶｰﾙC）		38	台			
中継ｺﾈｸﾀ		38	台			
天井埋込ﾏｲｸ子機		9	台			
天井子機丸型ﾊﾟﾈﾙ		9	台			
天井埋込ｽﾋﾟｰｶｰ子機		9	台			
天井子機丸型ﾊﾟﾈﾙ		9	台			
呼出押しボタン		34	台			
取付工事費		1	式			
試験調整費		1	式			
撤去工事		1	式			代価表7-1
小計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
8	火災報知設備						
	ケーブル	EM-AE 0.9-4C　　ｺﾛｶﾞｼ	54	m			
	光電式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器　2種	露出	3	個			
	既設受信機	ｿﾌﾄ変更費	1	式			
	既設防災表示装置画面	ﾃﾞｰﾀ変更費	1	式			
	工事費		1	式			
	システム調整費		1	式			
	調製・試験費		1	式			
	手続・立会検査費		1	式			
	撤去工事		1	式			代価表8-1
	撤去再取付工事		1	式			代価表8-2
	小計						

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
9	天井改修に伴う撤去再取付工事						
	LED下面開放直付照明		21	台			
	ダウンライトライト		3	台			
	避難口誘導灯		2	台			
	天井埋込スピーカー		4	台			
	光電式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器　2種	露出	16	台			
	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器　1種	露出	2	台			
	小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
1-1	動力設備	撤去工事					
	ケーブル	VVF 2.0-3C　　管内	1	m			複合(撤去)
	ケーブル	VVF 2.0-3C　　ｺﾛｶﾞｼ	76	m			複合(撤去)
	アウトレットボックス	四角中浅	3	個			複合(撤去)
	電動機接続		12	か所			複合(撤去)
	小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
2-1	電灯設備	撤去工事					
	ケーブル	VVF 2.0-2C　　ｺﾛｶﾞｼ	81	m			複合(撤去)
	ケーブル	VVF 2.0-2C　　PF管内	29	m			複合(撤去)
	ケーブル	VVF 2.0-3C　　ｺﾛｶﾞｼ	143	m			複合(撤去)
	ケーブル	CVVS 1.25-2C　　ｺﾛｶﾞｼ	38	m			複合(撤去)
	ケーブル	CVVS 1.25-2C　　PF内	20	m			複合(撤去)
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	中浅	8	個			複合(撤去)
	埋込スイッチ	1P 15A x 1	21	個			複合(撤去)
	ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ	１回路	8	個			複合(撤去)
	照明器具	埋込下面アクリ FL40Wx2 K2	8	台			複合(撤去)
	照明器具	埋込下面アクリ FL40Wx1 K3	8	台			複合(撤去)
	照明器具	処置灯　　オ	21	台			複合(撤去)
	小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
2-2	電灯設備	撤去再取付工事					
	照明器具	埋込下面アクリ FL40Wx1 K3	2	台			複合(撤去)
	照明器具	処置灯　　オ	2	台			複合(撤去)
	小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
3-1	コンセント設備	撤去工事					
	電線	IV 2.0　　管内	1,133	m			複合(撤去)
	ケーブル	VVF 2.0-3C　　ｺﾛｶﾞｼ	210	m			複合(撤去)
	ケーブル	VVF 2.0-3C　　PF内	50	m			複合(撤去)
	アウトレットボックス	四角中浅	8	個			複合(撤去)
	壁付コンセント	3P(1E)15A×2	22	個			複合(撤去)
	壁付コンセント	医用ｺﾝｾﾝﾄ　2P15A（E極付）x2	7	個			複合(撤去)
	小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
3-2	コンセント設備	撤去再取付工事					
	壁付コンセント	3P(1E)15A×2	1	個			複合(撤去)
	小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
4-1	医用接地設備	撤去工事					
	電線	IV 5.5　　ｺﾛｶﾞｼ	40	m			複合(撤去)
	電線	IV 5.5　　PF内	38	m			複合(撤去)
	電線	IV 14　　ｺﾛｶﾞｼ	23	m			複合(撤去)
	医用接地ｾﾝﾀｰ		2	個			複合(撤去)
	小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
4-2	医用接地設備	撤去再取付工事					
	医用接地ｾﾝﾀｰ		1	個			複合(撤去)
	小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
5-1	拡声設備	撤去工事					
	ケーブル	HP 1.2-3C　　管内	63	m			複合(撤去)
	ケーブル	HP 1.2-3C　　ｺﾛｶﾞｼ	11	m			複合(撤去)
	天井埋込スピーカー	ATTなし	8	個			複合(撤去)
	アッテネータ		8	個			複合(撤去)
	小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
5-2	拡声設備	撤去工事					
	天井埋込スピーカー	ATT付	2	個			複合(撤去)
	小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
7-1	テレビ共同受信設備	撤去工事					
	ケーブル	5C-2V　　管内	194	m			複合(撤去)
	ケーブル	5C-2V　　ｺﾛｶﾞｼ	50	m			複合(撤去)
	直列ﾕﾆｯﾄ　中間		14	個			複合(撤去)
	直列ﾕﾆｯﾄ　端末		7	個			複合(撤去)
	小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
6-2	テレビ共同受信設備	撤去再取付工事					
	直列ﾕﾆｯﾄ　中間		1	個			複合(撤去)
	小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
7-1	ナースコール設備	撤去工事					
	ケーブル	AE 0.9-3C　ｺﾛｶﾞｼ	102	m			複合(撤去)
	ケーブル	AE 0.9-3C　管内	22	m			複合(撤去)
	ケーブル	AE 0.9-4C　ｺﾛｶﾞｼ	26	m			複合(撤去)
	ケーブル	AE 0.9-4C　管内	10	m			複合(撤去)
	ケーブル	CPEV-S 0.9-3P　ｺﾛｶﾞｼ	26	m			複合(撤去)
	ケーブル	CPEV-S 0.9-3P　管内	14	m			複合(撤去)
	ﾅｰｽｺｰﾙ制御器		1	個			複合(撤去)
	ﾎﾞｰﾄﾞ型親機60局		1	個			複合(撤去)
	液晶表示式親機		3	個			複合(撤去)
	ｽｲｯﾁﾝｸﾞﾊﾌﾞ　８Ｐ		1	個			複合(撤去)
	個別廊下灯（1床室用、3色）		6	個			複合(撤去)
	個別廊下灯（4床室用、3色）		10	個			複合(撤去)
	I/Oﾕﾆｯﾄ（1回線1廊下灯用）		3	個			複合(撤去)
	I/Oﾕﾆｯﾄ（3回線3廊下灯用）		3	個			複合(撤去)
	代表廊下灯		9	個			複合(撤去)
	復旧ﾎﾞﾀﾝ		9	個			複合(撤去)
	ﾊﾝﾄﾞ型子機ｺﾝｾﾝﾄ		47	個			複合(撤去)
	ﾊﾝﾄﾞ型子機（握り、ｶｰﾙC）		47	個			複合(撤去)
	天井埋込ﾏｲｸ子機		9	個			複合(撤去)

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
天井埋込ｽﾋﾟｰｶｰ子機		9	個			複合(撤去)
小計						

No. 68　電気代価表

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
8-1	火災報知設備	撤去工事					
	ケーブル	AE 0.9-4C　　ｺﾛｶﾞｼ	50	m			複合(撤去)
	小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
8-2	火災報知設備	撤去再取付工事					
	光電式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器　2種	露出	12	個			複合(撤去)
	小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
Ⅲ	機械設備工事						
1	機器設備工事		1	式			
2	配管設備工事		1	式			
3	ダクト設備工事		1	式			
4	総合調整		1	式			
5	自動制御設備工事		1	式			
6	衛生器具設備工事		1	式			
7	給水設備工事		1	式			
8	排水設備工事		1	式			
9	給湯設備工事		1	式			
10	消火設備工事		1	式			
11	医療ガス設備工事		1	式			
12	撤去工事		1	式			
13	発生材処分		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1	機器設備工事						
	AC-47	形式　床置ｼｽﾃﾑ空調機	1	台		搬入据付費に含む	
	ｼｽﾃﾑ空調機　(改造)	送風量:1,500m3/h×600Pa					
	CAV-1	形式　電子式変風量装置	1	台			
	VAVﾕﾆｯﾄ	処理風量:1,950m3/h					
	APA-9N1	形式　屋外機	1	台			
	空冷HPﾏﾙﾁｴｱｺﾝ　重耐塩仕様	冷房:33.5kW,暖房:37.5kW					
	APA-9N1-1	形式　室内機 天井ｶｾｯﾄ	14	台			
	空冷HPﾏﾙﾁｴｱｺﾝ	冷房:2.2kW,暖房:2.5kW					
	EF-1033	形式　ｽﾄﾚｰﾄｼﾛｯｺﾌｧﾝ(天吊)	1	台			
	排風機	#1・1/2×1,550m3/h×250Pa					
	機器搬入据付費		1	式			代-1
	ｱﾝｶｰ打設						
	あと施工ｱﾝｶｰ	M10	8	本			
	1 小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
2	配管設備工事						
	配管類						
	冷媒管	被覆銅管　液管8mm　6.35φ	9	m			
	冷媒管	被覆銅管　液管8mm　9.52φ	80	m			
	冷媒管	被覆銅管　液管10mm　12.7φ	27	m			
	冷媒管	被覆銅管　ｶﾞｽ管20mm　12.7φ	88	m			
	冷媒管	被覆銅管　ｶﾞｽ管20mm　15.88φ	80	m			
	冷媒管	ｶﾞｽ管20mm　19.05φ	28	m			
	冷媒管	被覆銅管　ｶﾞｽ管20mm　25.40φ	27	m			
	ﾄﾞﾚﾝ管	SGP-白　屋内一般　25A	33	m			
	防火区画貫通						
	防火区画貫通処理	100φ	4	箇所			
	防火区画貫通処理	150φ	2	箇所			
	保温						
	冷媒管　共巻	ｽﾃﾝﾚｽﾗｯｷﾝｸﾞ	5	m			
	ﾄﾞﾚﾝ管　天井内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温筒　25A	33	m			
	既設配管接続						
	配管切断接続	鋼管　保温有　25A	14	箇所			
	ｱﾝｶｰ打設						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	あと施工ｱﾝｶｰ	M10	53	本			
	2 小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
3	ダクト設備工事						
	ﾀﾞｸﾄ類						
	長方形ﾀﾞｸﾄ 低圧	亜鉛鉄板製　0.5t　～450mm	41	m2			
	長方形ﾀﾞｸﾄ	鋼板製　1.6t	4	m2			
	長方形ﾀﾞｸﾄ 高圧	亜鉛鉄板製　0.8t　～450mm	7	m2			
	ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ 低圧	亜鉛鉄板製　125φ	2	m			
	ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ 低圧	亜鉛鉄板製　150φ	65	m			
	ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ 低圧	亜鉛鉄板製　200φ	6	m			
	ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ 低圧	亜鉛鉄板製　300φ	13	m			
	ﾎﾞｯｸｽ　低圧	亜鉛鉄板製　0.5t　～450mm	13	m2			
	たわみ継手	片吸込ｼﾛｯｺﾌｧﾝ用　#2以下	1	組			
	器具類						
	制気口　ｱﾈﾓ	C-2　#12.5	12	個			
	ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ形	HS　150x150	12	個			
	ﾀﾞﾝﾊﾟｰ　風量調節ﾀﾞﾝﾊﾟｰ	VD　350×300	1	個			
	ﾁｬｯｷﾀﾞﾝﾊﾟｰ	CD　350×300	1	個			
	防火ﾀﾞﾝﾊﾟｰ	FD　150φ	24	個			
	防火ﾀﾞﾝﾊﾟｰ	FD　350×300	1	個			
	計器類　温度計		1	個			

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
風量測定口		4	個			
保温工事						
長方形ﾀﾞｸﾄ低圧　機械室	GW 機械室　25ｔ	1	m2			
長方形ﾀﾞｸﾄ高圧　機械室	GW 機械室　25ｔ	7	m2			
丸ﾀﾞｸﾄ　低圧　屋内隠蔽	GW 天井内　25ｔ	27	m2			
ﾎﾞｯｸｽ　低圧　屋内隠蔽	消音内貼　25ｔ	6	m2			
ｱﾝｶｰ打設						
あと施工ｱﾝｶｰ	M10	131	本			
3 小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
4	総合調整						
	総合調整費		1	式			代-2
	4 小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
5	自動制御設備工事						
	自動制御装置		1	式			
	調整費		1	式			
	ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ費		1	式			
	計装工事		1	式			
	5 小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
6	衛生器具設備工事						
	大便器　　床排水	CFS494NVNA,TCF5840PR	6	組			
	大便器　　壁排水	UAXC1CS1AN,TCF5840PR	6	組			
	手洗器	LSL870ASR	12	組			
	洗面器	L210	12	個			
	器具取付費		1	式			代-3
	6 小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
7	給水設備工事						
	配管類						
	給水管	SGP-VA　屋内一般　20A	112	m			
	給水管	SGP-VA　屋内一般　25A	3	m			
	弁類						
	給水管　仕切弁	GV (ｺｱ付5K)　20A	15	個			
	保温						
	配管　給水管　天井内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温筒　20A	112	m			
	給水管　天井内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温筒　25A	3	m			
	既設配管接続						
	配管切断接続 給水管	鋼管　保温有　20A	15	箇所			
	配管切断接続 給水管	鋼管　保温有　25A	5	箇所			
	凍結工法　給水管	20A	16	箇所			
	凍結工法　給水管	25A	10	箇所			
	はつり補修費						
	ｺｱ抜き	厚150mm　63φ	32	箇所			
	ﾚﾝﾄｹﾞﾝ検査	基本料金	3	日			
	ﾚﾝﾄｹﾞﾝ検査	ﾌｨﾙﾑ	32	枚			
	ｱﾝｶｰ打設						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	あと施工ｱﾝｶｰ	M10	41	本			
	7 小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
8	排水設備工事						
	配管類						
	排水管　汚水雑排水	D-VA　屋内一般　40A	39	m			
	排水管　汚水雑排水	D-VA　屋内一般　50A	6	m			
	排水管　汚水雑排水	D-VA　屋内一般　65A	4	m			
	排水管　汚水雑排水	D-VA　屋内一般　80A	16	m			
	排水管　汚水雑排水	D-VA　屋内一般　100A	60	m			
	通気管	SGP-白　屋内一般　40A	6	m			
	通気管	SGP-白　屋内一般　50A	10	m			
	排水金物						
	床上掃除口	COA 100A	3	個			
	保温						
	配管　汚水雑排オ天井内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温筒　40A	39	m			
	配管　汚水雑排オ天井内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温筒　50A	6	m			
	配管　汚水雑排オ天井内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温筒　65A	4	m			
	配管　汚水雑排オ天井内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温筒　80A	16	m			
	配管　汚水雑排オ天井内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温筒　100A	60	m			
	既設配管接続						
	配管切断接続 排水管	鋼管　保温有　40A	0	箇所			

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
配管切断接続 排水管	鋼管　保温有　50A	6	箇所			
配管切断接続 排水管	鋼管　保温有　65A	3	箇所			
配管切断接続 排水管	鋼管　保温有　100A	2	箇所			
配管切断接続 排水管	鋼管　保温無　40A	2	箇所			
配管切断接続 排水管	鋼管　保温無　50A	1	箇所			
はつり補修費						
ｺｱ抜き	厚150mm　75φ	20	箇所			
ｺｱ抜き	厚150mm　125φ	12	箇所			
ｺｱ抜き	厚150mm　150φ	3	箇所			
ﾚﾝﾄｹﾞﾝ検査	基本料金	3	日			
ﾚﾝﾄｹﾞﾝ検査	ﾌｨﾙﾑ	35	枚			
ｱﾝｶｰ打設						
あと施工ｱﾝｶｰ	M10	50	本			
排水管洗浄		1	式			代-4
8 小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
9	給湯設備工事						
	配管類						
	給湯管	SUS(拡管)　屋内一般　20su	28	m			
	保温						
	配管　給湯管　天井内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温筒　20su(15A)	28	m			
	弁類						
	空調配管　仕切弁	GV (SUS製10K)　20A	4	個			
	既設配管接続						
	配管切断接続 給湯管	鋼管　保温有　20A	8	箇所			
	凍結工法　給湯管	20A	8	箇所			
	はつり補修費						
	ｺｱ抜き	厚150mm　63φ	8	箇所			
	ﾚﾝﾄｹﾞﾝ検査	基本料金	1	日			
	ﾚﾝﾄｹﾞﾝ検査	ﾌｨﾙﾑ	8	枚			
	ｱﾝｶｰ打設						
	あと施工ｱﾝｶｰ	M10	10	本			
	9 小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
10	消火設備工事						
	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ設備工事	改修	1	式			
	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ設備工事	撤去	1	式			
	10 小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
11	医療ガス設備工事						
	医療ｶﾞｽ設備工事		1	式			
	11 小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
12	撤去工事						
	機器撤去						
	CAV-1	形式　　電子式変風量装置	1	台			
	VAVﾕﾆｯﾄ	処理風量:1,950m3/h					
	RC-1005	形式　　塩ﾋﾞ樹脂製ﾀﾞｸﾄ接続型	1	台			
	ﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	処理風量:350m3/h					
	CAVA-2	形式　　電子式変風量装置	1	台			
	VAVﾕﾆｯﾄ	処理風量:350m3/h					
	APA-9N1	形式　　屋外機	1	台			
	空冷HPﾏﾙﾁｴｱｺﾝ	冷房:14.0kW,暖房:16.0kW					
	APA-9N1-1	形式　　室内機 天井ｶｾｯﾄ	6	台			
	空冷HPﾏﾙﾁｴｱｺﾝ	冷房:2.8kW,暖房:3.2kW					
	APA-9N2	形式　　屋外機	1	台			
	空冷HPﾏﾙﾁｴｱｺﾝ	冷房:22.4kW,暖房:25.0kW					
	APA-9N2-1	形式　　室内機 天井ｶｾｯﾄ	8	台			
	空冷HPﾏﾙﾁｴｱｺﾝ	冷房:2.8kW,暖房:3.2kW					
	EF-1033	形式　　軸流ﾌｧﾝ　天吊	1	台			
	排風機	#3×350m3/h×530Pa					
	搬出費		1	式			代-5

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
配管撤去						
冷媒管　配管P	被覆銅管　液管8mm　6.35φ	37	m			
冷媒管　配管P	被覆銅管　液管8mm　9.52φ	90	m			
冷媒管　配管P	被覆銅管　ｶﾞｽ管20mm　12.7φ	37	m			
冷媒管　配管P	被覆銅管　ｶﾞｽ管20mm　15.88φ	53	m			
冷媒管　配管P	被覆銅管　ｶﾞｽ管20mm　19.05φ	37	m			
ﾄﾞﾚﾝ管　配管A	SGP-白　屋内一般　25A	27	m			
配管保温撤去						
ﾄﾞﾚﾝ管　天井内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温筒　25A	27	m			
ﾀﾞｸﾄ撤去						
ﾀﾞｸﾄ　長方形ﾀﾞｸﾄ	鋼板製　1.6t	2	m2			
ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ 低圧	亜鉛鉄板製　125φ	1	m			
ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ 低圧	亜鉛鉄板製　150φ	18	m			
ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ 低圧	亜鉛鉄板製　200φ	42	m			
ﾎﾞｯｸｽ　ﾎﾞｯｸｽ　低圧	亜鉛鉄板製　0.5t　～450mm	5	m2			
器具類撤去						
制気口　ｱﾈﾓ	C-2　#12.5	4	個			
ｱﾈﾓ	C-2　#20	4	個			

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾀﾞﾝﾊﾟｰ　ﾁｬｯｷﾀﾞﾝﾊﾟｰ	CD　200φ	1	個			
防火ﾀﾞﾝﾊﾟｰ	FD　150φ	4	個			
防火ﾀﾞﾝﾊﾟｰ	FD　200φ	5	個			
保温工事						
丸ﾀﾞｸﾄ　低圧　屋内隠蔽	GW 天井内　25ｔ	18	m2			
ﾎﾞｯｸｽ　低圧　屋内隠蔽	消音内貼　25ｔ	5	m2			
衛生器具撤去						
洗面器		4	組			
ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ混合水栓		4	個			
給水管撤去						
配管　給水管　配管A	SGP-VA　屋内一般　20A	21	m			
配管　給水管　配管A	SGP-VA　屋内一般　32A	3	m			
保温　給水管　天井内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温筒　20A	21	m			
保温　給水管　天井内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温筒　32A	3	m			
排水管撤去						
配管　排水管　配管E	D-VA　屋内一般　50A	14	m			
排水管　配管E	D-VA　屋内一般　65A	3	m			
排水管　配管E	D-VA　屋内一般　100A	1	m			
通気管　配管E	SGP-白　屋内一般　40A	2	m			

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
通気管　配管E	SGP-白　屋内一般　50A	1	m			
保温　排水管　天井内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温筒　50A	14	m			
排水管　天井内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温筒　65A	3	m			
排水管　天井内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温筒　100A	1	m			
給湯管撤去						
配管　給湯管　配管I	SUS(拡管)　屋内一般　20su	17	m			
保温　給湯管　天井内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温筒　20su(15A)	17	m			
12 小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
13	発生材処分						
	処分費		1	式			代-6
	運搬費		1	式			代-7
	13 小計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
1	機器設備工事						
	機器搬入据付費						
	設備機械工		16.57	人			
	搬入費		0.47	t			
	計						

No. 92 機械代価表

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
2	総合調整						
	総合調整費						
	長方形ﾀﾞｸﾄ		52	m2			
	ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ		87	m			
	主機械室	5000m2以下	1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
3	衛生器具設備工事						
	器具取付費						
	大便器　　床排水	CFS494NVNA,TCF5840PR	6	組			
	大便器　　壁排水	UAXC1CS1AN,TCF5840PR	6	組			
	手洗器	LSL870ASR	12	組			
	洗面器	L210	12	組			
	計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
4	排水設備工事						
	排水管洗浄						
	配管工		5.00	人			
	計						

No. 95 機械代価表

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
5	撤去工事						
	搬出費						
	搬入費		0.66	t			
	計						

No. 96 機械代価表

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
6	発生材処分						
	処分費						
	混合廃棄物	解体系混合廃棄物	7.67	m3			
	保温材	繊維くず	0.80	m3			
	冷媒ﾌﾛﾝ回収	14.0kW	1	台			
	冷媒ﾌﾛﾝ回収	28.0kW	1	台			
	計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
7	発生材処分						
	運搬費						
	2t車	片道25km	1	台			
	計						

No. 98 機械代価表

横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事

伊藤喜三郎建築研究所
KITO Architects & Engineers Inc.

代表取締役社長　原　勇次

設計本部長

品質管理本部長

日付　2020/06（令和2年）

意　匠

番号	図 面 名	縮尺
1	特記仕様書-1	-
2	特記仕様書-2	-
3	特記仕様書-3	-
4	特記仕様書-4	-
5	特記仕様書-5	-
6	工事区分表	-
7	配置図	1/1000（A3）
8	表示略号・記号、仕上共通事項	-
9	建具表-1（共通事項編）	-
10	8階全体平面図（改修前）	1/400（A3）
11	8階全体平面図（改修後）	1/400（A3）
12	9階全体平面図（改修前）	1/400（A3）
13	9階全体平面図（改修後）	1/400（A3）
14	8階天井伏図（撤去・改修）	1/200（A3）
15	9階　平面図、天井伏図、展開図（撤去・改修）	1/200（A3）
16	仕上表、建具表（撤去・改修）	1/200（A3）
17	改修ステップ図	1/400（A3）
18	部分詳細図（撤去・新設）	図示

電気設備

番号	図 面 名	縮尺
1	特記仕様書-1	-
2	特記仕様書-2	-
3	工事区分表	-
4	配置図	1/1000（A3）
5	凡例	-
6	動力・コンセント・医用接地設備　9階　撤去改修図	-
7	照明器具姿図・撤去照明器具表	-
8	電灯設備　9階　撤去改修図	-
9	拡声・テレビ共同受信設備　9階　撤去改修図	-
10	自動火災報知設備　9階　撤去改修図	-
11	8階　天井器具　撤去再取付図	-
12	9階　天井器具　撤去再取付図	-

機械設備

番号	図 面 名	縮尺
M-01	特記仕様書-1･凡例	-
M-02	特記仕様書-2	-
M-03	特記仕様書-3	-
M-04	工事区分表	-
AC-01	空調換気設備 機器表（撤去･新設）	-
AC-02	空調換気設備 9階ダクト平面図（撤去･新設）	1/200（A3）
AC-03	空調換気設備 9階配管平面図（撤去･新設）	1/200（A3）
AC-04	自動制御設備 計装図･表類（撤去･新設）	-
AC-05	自動制御設備 9階平面図（撤去･新設）	1/200（A3）
P-01	衛生設備 9階平面図（撤去･新設）	1/200（A3）
P-02	消火設備 9階平面図（撤去･新設）	1/200（A3）
P-03	医療ガス設備 特記仕様書･器具図	-
P-04	医療ガス設備 9階平面図（撤去･新設）	1/200（A3）

番号	図 面 名	縮尺

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号 第22169号
設 計 者 佐 田 紀 子
一級建築士登録番号 第206714号

設　計　者				
総括責任者 山寺美和子 一級建築士 第309931号	担当者 下大園久子 一級建築士 第364817号	担当者 上田紗矢香		

件 名　横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事　Job-No. 21019

図 名　図面リスト

日 付　2021/05(R03)

伊 藤 喜 三 郎 建 築 研 究 所

Ⅰ 設計概要

1.建物概要

1. 工事件名　横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事

2. 建築主
- 氏　名　公立大学法人　横浜市立大学　理事長　小山内　いづ美
- 郵便番号　236-0004
- 住　所　横浜市金沢区瀬戸22-2
- 電話番号　045-787-2800

3. 工事場所及び敷地条件
- 地名地番
- 住居表示　横浜市金沢区福浦3-9
- 都市計画区域の内外の別等　● 都市計画区域内　（ ● 市街化区域　・ 市街化調整区域　・ 区域区分未設定　）　・ 準都市計画区域内　・ 都市計画区域及び準都市計画区域外
- 防火地域　・ 防火地域　● 準防火地域　・ 指定なし
- その他の区域　・ 法第22条区域　・ 法第52条第７項適用区域
- 地域, 地区, 街区　● 第五種高度地区、駐車場整備地区、自動車ふくそう地区
- 道　路　幅　員　西側道路22.0 m　敷地と接している部分の長さ　680.00 m
- 敷地面積　94,469.80 ㎡ ／ ㎡ ／ ㎡ ／ ㎡
- 用途地域等　準工業
- 許容容積率　200 % ／ % ／ % ／ %
- 許容建ぺい率　60 % ／ % ／ % ／ %
- 敷地面積合計　94,469.80 ㎡
- 建築可能な容積率　％
- 建築可能な建ぺい率　％
- 備考

4. 建築物
- 主要用途　病　院　（区分　08260　）
- 工事種別　改　築

建築面積	計画部分	計画以外の部分	合計
【建築面積】	8,915.99 ㎡	㎡	㎡
【建ぺい率】	%		

延べ面積	計画部分	計画以外の部分	合計
【建築物全体】	㎡	㎡	㎡
【　　】	㎡	㎡	㎡
【　　】	㎡	㎡	㎡
【延べ面積】	57,007.91 ㎡		
【容積率】	%		

- 高　さ　最高の高さ　49.95 m　最高の軒の高さ　49.35 m
- 階　数　地　上　10 階　地　下　1 階　塔　屋　1 階
- 構　造　鉄　骨　造　一部　鉄骨鉄筋コンクリート　造

建物別概要　耐震安全性の分類：「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説平成８年版」

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一	耐震安全性の分類	
					構造体	建築非構造部材

2.工事概要

1. 工事種目　９階 9-3病棟 個室化改修工事
- 対象改修面積：171.47㎡
- 平日日中工事　５ヶ月

2.工事範囲
- ※ 「1.工事種目」全てを工事範囲とする
- ・「1.工事種目」のうち下記の工事を除いたすべてを工事範囲とする
  - 一括発注
  - 工事期間：令和３年度中５ヶ月

3.案内図

Ⅱ 建 築 改 修 工 事 仕 様

1.共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」による。ただし、建築改修工事標準仕様書に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」による
以下、それぞれを「改修標準仕様書」「標準仕様書」という
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて「横浜市建築局建築工事特別仕様書」（平成30年6月）」による
(2) 図中の【0-00-0】内の数字は建築工事標準詳細図の詳細番号を示す
(3) 図中の【DT-000】内の数字は部分詳細図の詳細番号を示す
(4) 「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」で規定している「監督職員」は「監理者」と読み替える

2.特記仕様

(1) 項目は、番号の前に●印の付いたものを適用する
(2) 特記事項は、●印の付いたものを適用する
●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する
●印と◎印の付いた場合は、共に適用する
(3) 特記事項に記載の[, ,]内表示番号は、「改修標準仕様書」の当該項目、当該表及び当該図を示す
(4) 特記事項に記載の(, ,)内表示番号は、「標準仕様書」の当該項目、当該表又は当該図を示す
(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、（　）内は製品名を示す

3.工事についての注意事項

(1) 工事期間中における本病院の診療業務は平常通り行われている為、工事エリア以外には患者が在院しているので、施工計画の検討作成に当たっては、他のエリアの診療業務に支障がないよう、充分注意をして計画する。
(2) 工事に先立ち、安全・衛生・騒音・振動・資材搬入等に対し充分な対策を講じた施工計画書を作成し、病院担当者及び監理者と協議をして承諾を得る。
(3) 解体・切り回し改修工事に際しては、事前に充分現場調査をし、病院業務に支障のないよう施工する。
(4) 床スラブにアンカー打ち、解体工事等のある場合、事前に非破壊検査を実施する。
図面及び調査でも確認できない活線等が発見された場合は必要に応じて盛り替える。
電気・医療ガス・給排水等活線の切断が発生しないよう施工する。万が一発生した場合は受注者の責で速やかに修復する。
なお、すべて受注者の費用負担とする。
(5) 工事に当たっては、騒音・振動・塵埃を抑制する工法を採用する。内容によっては手作業にて行う。
(6) 病院内周知期間を必要とするため、工事着手前に工事内容、工程、施工方法等を病院担当者及び監理者に報告する。
善手前期間についても病院担当者及び監理者との協議による。
(7) 工事範囲と使用部分は原則として仮設間仕切りを設置し、人の不用意な出入や埃、塵等の飛散の無いように明確に区画する。
仮設間仕切は遮所により密閉性、遮音性のあるものとする。
(8) 工事工程の検討に当たっては、検査及び引越期間の調整を図ったものとする。
(9) 予期し難い事項が発生した場合は、病院担当者及び監理者と協議する。
(10) 工事に当たっては「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「再生資源の利用の促進に関する法律」「建設副産物適正処理実施要領」に留意する。
(11) 改修に当たっては、特に設備業者との連携を密にして、工程等充分に調整を行う。
(12) 改修部分と改修対象外との取り合い部分で、必要と思われる部分については適宜補修を行う。
(13) 建築非構造部材についても、耐震安全性に配慮し施工する。
(14) 工事期間中の防災対策は、病院側の消防計画書に準拠するとともに、防災管理組織を編成、責任者を定め、病院防火関係者との連携を保つ。
(15) 緊急時の対応策、連絡体制が、現場のみならず当該工事請負会社内にも周知徹底する。
(16) 工事関係者は工事従事者であることを証明する名札等を着用する。

項　目	特　記　事　項
1.一般共通事項	
● 1. 適用基準等	● 建築工事標準詳細図（平成28年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 ● 工事写真撮影ガイドブック　建築工事編及び解体工事編（平成30年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・
● 2. 工事実績情報の登録	※ 適用する　[1.1.4]
● 3. 品質計画	・ 建築基準法に基づく風圧力区分等を必要とする場合は次による　[1.2.2] ・ 3章　・ 5章　・ 9章 ・ 風速（V_0=　） ・ 地表面粗度区分（　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ　） ・ 積雪区分　H12　建告示第1455号　別表（ ）
4. 電気保安技術者	※ 適用する　[1.3.3]
5. 条件明示項目	※［1.3.5(1)］による　[1.3.5] ・［1.3.5(1)］による、但し、12/29～1/3および国民の祝日を除く土曜日は施工を行うことができる
● 6. 発生材の処理等	・ 現場説明書による　● 構外搬出適切処理　[1.3.12] ・ 引渡しを要するもの　（　　） ・ 特別管理産業廃棄物　（　　） 処理方法　（　　） ・ 現場において再利用を図るもの　（　　） ・ 再資源化を図るもの ・ アスファルトコンクリート塊　・ セメントコンクリート塊　・ 建設発生木材 受入れ施設名　（　　） 受入れ場所　（　　） 仮置場所　（　　） ・ その他再資源化を図るもの ・ 受入れ施設名　（　　） 受入れ場所　（　　） 仮置場所　（　　） ・ ひ素、カドミウム含有せっこうボードの処理 ※ 適用する ● 石綿含有せっこうボードとひ素・カドミウム含有せっこうボード以外のせっこうボードの処理 ※ 適用する ・ PCB含有シーリング材 ・ 分析調査 ・ 撤去
● 7. 環境への配慮	(1) 環境負荷の低減 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12 年法律第100 号。以下「グリーン購入法」という。）に基づき、環境負荷を低減できる材料の選定に努める。 (2) 化学物質を放散させる建築材料等 使用する材料は、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮し、かつ、石綿を含有しないものとする。 次の1)～5)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単層積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする 3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする 5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は次のとおりとする。 規制対象外　① JIS及びJASのF☆☆☆☆品 ② 建築基準法施工令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 第三種　① JIS及びJASのF☆☆☆品 ② 建築基準法施工令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 ③ IBJASのEo品 ④ IBJASのFco品
● 8. 材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質計画及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会　他）が発行する資料等の写しを監理者に提出して承諾を受けるものとする また、商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監理者の承諾を受ける
● 9. 特別な材料の工法	改修標準仕様書及び標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製造所の指定工法による　[1.6.2]
● 10. 技能士	適用工事種別 ／ 技能検定の職種 防水改修工事 ／ ・ アスファルト防水工事作業　・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塗膜防水工事作業　・ シーリング防水工事作業 ・ 左官　・ 建築板金 外壁改修工事 ／ ・ 左官　・ タイル張り　・ 塗装（建築塗装作業）　・ 樹脂接着剤注入施工 建具改修工事 ／ ● サッシ施工　● ガラス施工 内装改修工事 ／ ● プラスチック系床仕上げ工事作業　● ボード仕上げ工事作業 ● 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）　● 表装（壁装作業）　・ 左官 ・ 建築大工　・ タイル張り 塗装改修工事 ／ ● 塗装（建築塗装作業） 耐震改修工事 ／ ・ 鉄筋施工　・ 型枠施工　・ とび ・ コンクリート圧送施工　・ 鉄工 ブロック、ALC工事 ／ ・ ブロック建築　・ ALCパネル施工 石工事 ／ ・ 石材施工（石張り施工） 植栽工事 ／ ・ 造園
● 11. 化学物質の濃度測定	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、アセトアルデヒドの濃度を測定し、報告すること　[1.6.9] 測定はパッシブ型採取機器により行う 測定対象室　・ 図示　● 9階：9301、9308-2 測定箇所数　・ 図示　● 計２箇所 濃度測定の具体的方法 官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について（平成24年4月5日　国営整第4号）に準ずる
● 12. 製本製図の提出	受注者の負担で、下記設計図を製本（表紙及び背表紙には、年度、工事名などを明朝体文字明記）し、指定部数を監理者に提出する ・ 設計図A1版撮影複写図製本　（ ・ 1部　・　部 ） ● 設計図A3版撮影複写図製本　（ ・ 1部　● 6 部 ）
● 13. 提出書類	● 監理者の指示するもの ・
● 14. 立会検査、試験等	● 監理者の指示するもの ・ なお、場外立会検査に要する諸費用は、全て受注者の負担とする
15. 試験機関	コンクリート及び鋼材の試験 ※ 公的機関　・ 監理者の承諾する機関 なお、試験に要する諸費用は、全て受注者の負担とする
● 16. 施工図等の取扱い	当該建築物に限る施工図等の著作権に係わる使用権は、発注者に移譲するものとする
● 17. 設備工事との取合い	施工図（製作図を含む） 各設備機器の位置、各設備工事との取合いなどの検討ができる資料及び図面を提出して、監理者の承諾を受けること 複合図 ※ 作成する　・ 作成しない 監理者の指示により、備品、機器等の配置と必要な設備記号（電気・空調・衛生設備等）をプロットした施工図（平面詳細図、天井伏図、展開図等）（縮尺1/50） （複合図作成に必要な資料収集、製造者等との打合せ含む）
18. 技術検査	※（1.7.2(1)(ア)）及び(1.7.2(1)(ウ))による　(1.7.2) ・（1.7.2(1)(ア)）及び(1.7.2(1)(ウ))によるほかに(1.7.2(1)(イ))（中間技術検査） （ ・ 1回　・ 2回　・　　）
● 19. 完成図（竣工図）等	※ 完成図を受注者の責任において作成する　(1.8.1～1.8.3)(表1.8.1) ※（表1.8.1)による ・（表1.8.1)による他（ ・ 特定天井図　・ 昇降機設備　・ 機械式駐車場　・　　）を作成する 完成図全員（完成図に含まれる施工図、施工計画書は除く）に以下の注意書きを記載する 「本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください」 ※ 完成図の製本提出 ※ 完成図（原図）　A-1サイズ3ツ折図面ケース入　部数　※ 1部 ※ 完成図（製本）　A-3サイズ2ツ折白焼黒文字　部数　※ 2部　・ ・ 完成図（縮小版第２原図）　A-3サイズ2ツ折図面ケース入　部数　※ 1部 ※ 完成図（縮小版製本）　A-3サイズ2ツ折白焼黒文字　部数　※ 2部　・ ※ 完成図（データ）　※ DWG　※ PDF　・ DXF　部数　※ 3部　・ ※ 施工図、複合図の製本提出（内容については監理者の指示による） ※ 施工図（製本）　A-1サイズ2ツ折白焼黒文字　部数　※ 1部　・ ・ 施工図（縮小版製本）　A-3サイズ2ツ折白焼黒文字　部数　※ 2部　・ ・ 施工図（データ）　・ DWG　・ PDF　・ DXF　部数　※ 3部　・ ・ 複合図（製本）　A-1サイズ2ツ折白焼黒文字　部数　※ 1部　・ ・ 複合図（縮小版製本）　A-3サイズ2ツ折白焼黒文字　部数　※ 2部　・ ・ 複合図（データ）　・ DWG　・ PDF　・ DXF　部数　※ 3部　・ ・ 施工計画書等　適宜　部数　※ 1部　・ ※ 保全に関する資料 ※［1.8.3(1)の(ア)～(エ)］　部数　※ 2部　・ ・ 上記のものの他に予備品一覧表　部数　※ 2部　・ ・ 上記のものの他に工事関係者一覧表　部数　※ 2部　・
● 20. 完成写真	下記の物を監理者に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする 製本形式　※ 中折れ抱み製本（A4版）　・ アルバム金文字製本 分類・規格 ／ 撮影箇所数 ／ 部数 ／ 原板の大きさ(㎜) ・ モノクローム　※ キャビネ版　※ べた焼　外部（　）　内部（　）　※ 2　・　※ 100×125以上　・ ● カラー　※ キャビネ版　※ べた焼　外部（　）　内部（15　）　※ 2　・ 6　※ 100×125以上　・ ・ カラーパネル　・ 全紙　・ 半切　外部（　）　※ 1　・ ・ イレパネ　・ 四切　・　外部（　） ・ 電子データ（デジタルカメラ）　外部（　）　内部（　）　※ 2　・　※ CD-R保存 ・ 他に外観正面１カット（カラーキャビネ版）のみ（　　）枚提出 100×125以上の原板を使う場合は、監理者にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける 撮影業者　※ 監理者の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする） 電子データはCD-R保存とし、解像度：300dpi、写真幅（長辺方向）：1,800ピクセル、 データ形式：TIFF又はJPEGとする
21. 設計GL	※ 図示　・ 設計GL＝現状GL
● 22. 調査	● 解体部分については事前に調査を行った上で解体を実施する。 ● 各設計寸法については、各部事前調査を行って既存寸法と異なる場合においては、施工図にて調整を行い、監理者の承諾を受ける。

2.仮 設 工 事

1. 騒音・粉塵等の対策	騒音・粉塵等の対策　[2.1.3] ※ 防音パネル　・ 防音シート(防炎処理品) 設置範囲及び高さ ※ 図示（　図による）　・
● 2. 足場その他	内部足場　種別　※ 脚立、足場板等　・　[2.2.1] 外部足場　※ 図示（　図）による　・（　[2.2.1] 防護シートによる養生　※ 行わない　・ 行う 材料、搬去材等の運搬　・ A種　※ B種　・ C種　・ D種　・ E種　[2.2.1][表2.2.1]
● 3. 養生	既存部分の養生　※ ビニルシート、合板等の適切な方法　・ 行う（図示）　[2.3.1] 既存家具等の養生　※ ビニルシート等　・　[2.3.1] 既存ブラインド、カーテン等　※ 監理者の指定した保管場所で一時保管する　[2.3.1] 固定家具等の移動　※ 行わない　・ 行う（図示）　[2.3.1]
● 4. 仮設間仕切り等	仮設間仕切り等の種別　[2.3.2(1)][表2.3.1] 種別 ／ 下地 ／ 仕上材(厚さ㎜) ／ 充てん材 ／ 塗装 ● A種 ／ ※ 軽量鉄骨 ／ ・ 合板　（ ※ 9.0　・　） ／ 厚さ　㎜ ／ ※ 無し ・ B種 ／ ・ 木下地 ／ ※ せっこうボード　（ ※ 9.5　・　） ／ ・ 片面 ※ C種 ／ 単管下地 ／ 防炎シート 仮設扉　[2.3.2(2)] 種別 ／ 仕上の程度 ／ 塗装 ／ 設置個所 ● 鋼製扉 ／ ※ 片面フラッシュ程度　● アルミ製引違い ／ ※ 無し ※ 木製扉 ／ ※ 合板張り程度　・ ／ ※ 無し ・ 鋼製扉 ／ ※ 片面フラッシュ程度　・ ／ ・ 有り
5. 監理者事務所	・ 既存建物内の一部を使用する　[2.4.1] ・ 構内に新設する 監理者事務所の規模
4. 監理者事務所	・ 既存建物内の一部を使用する　[2.4.1] ・ 構内に新設する 監理者事務所の規模 ・ 10㎡程度　・ 20㎡程度　・ 35㎡程度　・ 65㎡程度　・ 100㎡程度　・　㎡程度 監理者事務所の仕上げ ・ 受注者事務所同程度　・ ・ 設けない 監理者事務所の備品　[2.4.1] ・ 監理者事務所備品（　人分） 備品は[2.4.1(2)]によるほか、下記の物を備える ・ 外線電話機　・ ファクシミリ　・ コピー機（　・ A3カラー　・ A1モノクロ ） ・ パーソナルコンピューター　） （ モニター　・ （ アプリケーション　・ Office　・ AutoCAD　・　） （ ネットワーク接続　・　） ・ プリンター（　） ・ デジタルカメラ　（ ※ 300万画素以上　・　） ・ 安全靴　・ 上ばき　・ 防塵服　・ 帽子　・ ヘルメット ・ その他（　） 連絡員 ※ おかない　・ おく
● 6. 工事用水	構内既存の施設　※ 利用できない　● 利用できる　（ ※ 有償　・ 無償 ）
● 7. 工事用電力	構内既存の施設　※ 利用できない　● 利用できる　（ ※ 有償　・ 無償 ）

● 3.防水改修工事

1. アスファルト防水　[3.1.4][3.3.3][表3.1.1][表3.3.3～表3.3.10]

改修工法の分類	新規防水層の種別	施工個所
屋根保護防水絶縁工法		

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設 計 者　江 口 紀 子
一級建築士登録番号　第206714号

設　計　者

総括責任者	担当者	担当者		
山寺美和子 一級建築士 第309931号	下大園久子 一級建築士 第366817号	上田紗矢香		

件名　横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事		Job-No. 21019
図名　改修特記仕様書ー１　（平成31年版）		意匠
縮尺　ー	日付　2021/05（令和3年）	1

伊 藤 喜 三 郎 建 築 研 究 所

・P1B	・B-1　・B-2　・B-3		
屋根保護防水絶縁断熱工法			
・P1B Ⅰ　・T1B Ⅰ	・BI-1　・BI-2　※ BI-3		
屋根保護防水密着断熱工法			
・P2A Ⅰ	・AI-1　・AI-2　※ AI-3		
屋根保護防水密着工法			
・P2A	・A-1　・A-2　※ A-3		
屋根露出防水密着工法	・C-1　・C-2		
・M4C	・C-3　・C-4		
屋根露出防水絶縁工法	・D-1　・D-2		
・M3D　・P0D	・D-3　・D-4		
屋根露出防水絶縁断熱工法			
・P0D Ⅰ	・DI-1　※ DI-2		
・M3D Ⅰ　・M4D Ⅰ			
屋内防水			
・P1E　・P2E	・E-1　※ E-2		

アスファルトの種類　※ 3種(防水工事用アスファルト)　[3.2.2][3.3.2]
保護コンクリートのコンクリート種類　※ 無筋コンクリート　[3.3.2]
・改質アスファルトルーフィングシート　[3.3.2]
※（表3.3.3～表3.3.9）による　・（　　）
改修用ドレン（POD、POD Ⅰ工法の場合）※ 設けない　・設ける　[3.2.5]
脱気装置（M3D、POD工法の場合）　[3.3.3]
種類　※ アスファルトルーフィング類製造所の指定とする
・（　　）
設置数量　※ アスファルトルーフィング類製造所の指定とする
・（　　）個 ／（　　）m2
既存露出防水層表面の仕上げ塗装（M4C、M4D Ⅰ工法の場合）　・除去する　[3.2.6]
断熱工法　[3.3.2]
※ 屋根保護防水断熱工法の場合　[3.3.2]
断熱材　※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材３種bA（スキン層付き）
断熱材の厚さ ※ 25　・
※ 屋根露出防水断熱工法の場合
断熱材　・硬質ウレタンフォーム断熱材２種１号
・（　　）
断熱材の厚さ ※ 25　・
※ 屋根保護防水密着工法又は屋根保護防水絶縁工法の場合
絶縁用シート ※ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm 以上
※ 屋根保護防水密断熱工法又は屋根保護防水絶縁断熱工法の場合
絶縁用シート ※ ポリプロピレン、ポリエチレン等を平織りしたフラットヤーンクロス（70g/㎡程度）
※ 屋内防水工法の場合
保護層　※ 図示による　・なし
※ ただし、断熱材等は特定フロンを含まないもの
絶縁用シート
立上り部の保護
・れんがの種類　※ 見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販のれんが形コンクリートブロックとする　[3.3.2]
・乾式保護材の材料　※ 押出成形セメント板　厚さ15㎜　製造所　[3.3.2]

2. 改質アスファルトシート防水

[表3.1.1][3.4.3][表3.4.1～表3.4.3]

防水改修工法の種別	新規防水層の種別	厚さ(㎜)	施工箇所
・M4AS工法	・AS-T1　・AS-T2 ・AS-J2		
・M3AS工法 ・P0AS工法	・AS-T3　・AS-T4 ・AS-J1　・AS-J3		
・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法	・ASI-T1 ・ASI-J1		

改修用ドレン（POAS、POASI工法の場合）※ 設けない　・設ける　[3.2.5]
脱気装置（M3AS、POAS、M3ASI、M4ASI、POASI工法の場合）　種類（　　）　設置数量（　　）個 ／（　　）m2
種類　※ 改質アスファルトシート製造所の指定とする
・（　　）
設置数量　※ 改質アスファルトシート製造所の指定とする
・（　　）個 ／（　　）m2
既存露出防水層表面の仕上げ塗装（M4AS、M4ASI工法の場合）　・除去する　[3.2.6]

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水

[表3.1.1][3.5.3][表3.5.1～表3.5.3]

防水改修工法の種別	新規防水層の種別	仕上塗料等	使用分類	施工箇所
・POS工法 ・S4S工法	・S-F1　・S-M1	・カラー ・シルバー	※ 非歩行 ・軽歩行	
	・S-F2　・S-M2 ・S-M3			
・S3S工法	・S-F1	・カラー ・シルバー		
	・S-F2			
・POSI工法 ・S4SI工法	・SI-F1　・SI-M1	・カラー ・シルバー		
	・SI-F2　・SI-M2			
・S3SI工法	・SI-F1	・カラー ・シルバー		
	・SI-F2			
・M4S工法	・S-M1　・S-M3 ・S-M2			
・M4SI工法	・SI-M1 ・SI-M2			
・P1S工法	・S-C1			(屋内のみ)

改修用ドレン（POS、POSI工法の場合）※ 設けない　・設ける　[3.2.5]
脱気装置（S3S、S3SI工法の場合、及び、接着工法によるPOS、POSI、S4S、S4SI工法の場合）※ ルーフィングシートの製造所の仕様による　・設けない　・設ける　[3.5.3]
プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）※ 増張りする　・増張りしない　[3.5.4]
目地処理（プレキャストコンクリートの場合）・　[3.5.4]

4. 塗膜防水

[表3.1.1][3.6.3][表3.6.1][表3.6.2]

防水改修工法の種別	新規防水層の種別	仕上げ塗料塗り	施工箇所
・P0X工法	・X-1	・シルバー	
・L4X工法	・X-2	・カラー	
・P1Y工法	・Y-2		
・P2Y工法	・Y-2		

二重ドレン（POX工法の場合）※ 設けない　・設ける　[3.2.5]
既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（L4X工法の場合）　・除去する　[3.2.6]
脱気装置（種別X-1の場合）　※ ルーフィングシートの製造所の仕様による　・設けない　・設ける　[3.5.3]
保護層（P1Y、P2Y工法の場合）　※ 設けない　・設ける　[3.6.3]

5. 脱気装置

[3.3.3][3.4.3][3.5.3][3.6.3]

種類	材質		設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ステンレス	・ABS樹脂 ・鉄鼓	（　　） ㎡当たり１箇所
・立上がり部脱気型	・合成ゴム ・ステンレス	・塩化ビニル樹脂 ・銅	（　　） ㎡当たり１箇所

6. セメント系防水

・モルタル防水　・水和凝固型塗膜防水　・けい酸質系塗布防水材
施工箇所：　製造所（製品名）

7. ステンレス防水

種別	厚さ(㎜)	表面処理	備考	施工箇所
・SUS304	・	・		
・SUS316	・	・		

シーム溶接後の仕上部の処理
・ジョイントキャップ　・両はぜ折り　・片はぜ折り
下地シートの種別　・合成ゴム系シート（接着工法）　・アスファルトルーフィング

8. 複合防水

組成　＋
施工箇所：　製造所（製品名）

9. 各種槽内の防水

内装仕様（床、壁、天井とも）

工法	ライニング工法						コーティング工法						断熱防水工法
下図仕様による種別	D種			C種			一般防食仕様						
材料名 厚さ(㎜)	エポキシ樹脂系ガラスクロス2プライライニング t>1.3	ビニルエステル樹脂系ガラスマット2プライライニング t>2.0		エポキシ樹脂系ガラスクロス1プライライニング t>0.7	ビニルエステル樹脂系ガラスマット1プライライニング t>1.0		無溶剤型エポキシ樹脂系コーティング	無溶剤型タールエポキシ樹脂系コーティング	水性エポキシ樹脂モルタル t>2.4	ポリマーセメント系塗膜防水	天井・壁 モルタル防水金コテ	コンクリート打放し床 コンクリート打ち放し	専門業者による薄膜断熱仕様（　　）
・排水処理設備	・	・											
・厨房排水槽	※	・											
・汚水槽	・	・		※	・								
・雑排水槽	・	・		・	・		※	・	・				
・雑用水槽				・	・		・	・	・	※	・	・	
・工業用排水槽							・	・	・	※	・	・	
・消火水槽										・	※	・	
・雨水貯留槽										※	・	・	
・雨水槽										※	・	・	
・自家発冷却槽										※	・	・	
・補給水槽										※	・	・	
・駐車場排水槽							・	・	・	・	※	・	
・湧水槽												※	
・器熱槽													・
製造所（製品名）	工法	工法	工法	工法	工法	工法	工法	工法	工法	工法			工法

日本下水道事業団の腐食環境条件による分類
1）C種：硫化水素の滞留が多く、腐食が厳しい環境
2）D種：C種の環境条件で構造上の条件により、事実上補修等のメンテナンスが困難と考えられる施設、部位
流入水が55℃を超えることがある場合はビニルエステル樹脂系を使用する

● 10. シーリング

シーリング改修工法の種類　[3.7.4～3.7.7][表3.7.1]
● シーリング充填工法　・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所　[3.1.4][3.7.2][4.2.2][表3.7.1]
※ 下表以外は、改修共仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

● 11. 防水の保証期間

防水種別	保証期間	備考
・アスファルト防水	※ 10年　・	
・改質アスファルトシート防水	※ 10年　・	
・合成高分子ルーフィングシート防水	※ 10年　・	
・塗膜防水	※ 10年　・ 7年	
・ステンレス防水	※ 15年　・	
・セメント系防水	※ 5年　・	
● シーリング材	※ 5年　・ 7年	
・		

12. とい

といの材種・とい受金物・取付け間隔　[3.8.2][表3.8.1～3.8.2]

といの種類	とい径(mm)	といの材種[表3.8.1]	とい受金物	取付け間隔
たてどい	※ 図示 ・図示なきものは（　　）mm	※ 配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・表面処理鋼管 ・硬質塩化ビニル雨どい	※ [表3.8.2] ・（　　）	※ [表3.8.2] ・（　　）
		・ステンレス鋼管 ・（　　）	※（　　） （　　）	※（　　） （　　）
横走り管	※ 図示 ・図示なきものは（　　）mm	※ 配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・表面処理鋼管 ・硬質塩化ビニル雨どい	※ [表3.8.2] ・（　　）	※ [表3.8.2] ・（　　）
		・ステンレス鋼管 ・（　　）	※（　　） （　　）	※（　　） （　　）
軒どい	※ 図示 ・図示なきものは（　　）mm	※ 表面処理鋼管 ・硬質塩化ビニル雨どい	※ [表3.8.2] ・（　　）	※ [表3.8.2] ・0.5m(多雪地域) （　　）
		・ステンレス鋼管 ・（　　）	※（　　） （　　）	※（　　） （　　）

鋼管・鋼板類の溶融亜鉛めっき　※ 行なったもの
・次の箇所は行わない（　　）
鋼管製といの防露　※ [表3.8.3～3.8.4]　[3.8.3][表3.8.4]
・次の箇所は行わない（　　）
防露材のホルムアルデヒドの放散量
※ F☆☆☆☆　・F☆☆☆
掃除口　※ 有り　・無し
縦どい受け金物の取付け　・図示　※（13.5.3(4)(イ)）による　[3.8.3][13.5.3]
ルーフドレイン　材種は[表3.8.1]による他下記による　[3.8.2][表3.8.1]

種類	材種		径(φ)	個所数	施工箇所
・ろく屋根用（縦型）	※ 鋳鉄製	・SCS製　・SUS製			
・ろく屋根用（横型）	※ 鋳鉄製	・SCS製　・SUS製			
・バルコニー用	※ 鋳鉄製	・SCS製　・SUS製			
・バルコニー中継用	※ 鋳鉄製	・SCS製　・SUS製			
・	※ 鋳鉄製	・SCS製　・SUS製			

SCS製: ステンレス鋳鋼品　SUS製: ステンレス鋼
既存ルーフドレイン回りの処理は[3.2.5]等により検討し、　[3.2.5]
監理者と協議を行い、必要に応じて、交換・改修を行う

13. オーバーフロー管

材種　※ ステンレス　・
径(φ)　※ 50　・　施工箇所：

14. 防じん網

材種　※ ステンレス　・
種類　・縦型用　・横型用　・バルコニー用　・バルコニー中継用
施工箇所：

15. アルミバンドレスとい

丸形（呼称）　・60φ　・89φ　・114φ　・140φ　・165φ　・210φ
各形（呼称）　・75角　・100角　・125角　・150角
支持金物　・高強度支持金物　・簡易支持金物
電解着色　・シルバー　・ステンカラー　・ブラック　・（　　）
管内面塗装　・エポキシ樹脂塗装40μm以上
製造所（製品名）

16. アルミニウム製笠木

[3.9.2][3.9.3][表3.9.1]

種類	呼称肉厚(㎜)	表面処理	固定間隔	下地補修
・250形	1.6以上	※ AB-1種又はBB-1種 ・BB-2種（　） ・C種（ふっ素樹脂焼付）	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	※ 行う（図示） ・行わない
・300形	1.8以上			
・350形	2.0以上			
・				

板材折曲げ形の取付工法　※ [3.9.3(2)の(ア)～(オ)]による　・図示　[3.9.3]
陽極酸化皮膜　※ 二次電解着色
の着色方法　（陽極酸化皮膜厚　※ 9μm以上+合成樹脂塗料皮膜厚　※ 7μm以上　・ 12μm以上）

17. 折板葺き

(13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)

形式	※ 重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状(㎜)	山高（　）㎜　山ピッチ（　）㎜　板厚　※ 0.6　・
材料（規格等）	※ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(CGLCCR-20-AZ150) ・
軒先面戸板	※ 有り　・無し
断熱材	※ 有り（種別：　厚さ：　㎜）　・無し
防火性能	※ 屋根30分耐火　・無し

4-1.外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁

今回は非該当

4-2.外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

今回は非該当

4-3.外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

今回は非該当

4-4.外壁改修工事 塗り仕上げ外壁

今回は非該当

● 5.建具改修工事

● 1. 改修工法　[5.1.3][5.2.5][5.3.5][5.4.5][5.5.5]

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・	・	
・鋼製建具　・外部	・	・	
・内部	・	・	
● 鋼製軽量建具	・	●	
・ステンレス製建具	・	・	

2. 見本の製作等
・見本の製作等　（建具番号：　）　[5.1.5]
・特殊な建具の仮組　（建具番号：　）　[5.1.5]

3. 建具の性能及び構造　[5.2.2]
ドアセット　※ JIS A 4702（ドアセット）　・（普及品　）
サッシ　※ JIS A 4706（サッシ）　・（普及品　）

4. 網戸等
防虫網　[5.2.3]
形式　※ 外部可動式　・内部可動式　・固定式
網の種別　※ ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス（SUS316）製　・合成樹脂製
網目　※ #16～18　・#20　・
防鳥網　[5.2.3]
網の種類　※ ステンレス（SUS304）線材　・（　　）
線径　※ 1.5mm　・（　）mm
網目寸法　※ 15mm　・（　）mm

5. アルミニウム製建具
外部に面する建具の性能等級等（コンクリート系下地及び鉄骨下地）　[表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(㎜)	施工箇所
・A種	S-4	※ A-3	※ W-4	※　70	※ 図示
・B種	S-5	・	・	・ 100	※ 図示
・C種	S-6	・A-4	・W-5	※ 100　・	※ 図示

外部に面する建具
表面処理　無着色　※ BB-1種　・（　）　[5.2.4][表5.2.2]
着色　・BB-2種　・（　）
着色色（ ※ ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー ）
屋内建具　[5.2.4][表5.2.2]
表面処理　無着色　※ AC-1種又はBC-1種　・AC-1種　・BC-1種　・（　）
着色　・AC-2種又はBC-2種　・AC-2種　・BC-2種　・（　）
着色色（ ※ ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー ）
陽極酸化皮膜の着色方法　※ 二次電解着色　・三次電解着色　(14.2.2)
防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性　[5.2.2]
※ 該当する建具は等級を図示　・該当する建具なし
断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性　[5.2.2]
※ 該当する建具は等級を図示　・該当する建具なし
耐震ドアとする場合の面内変形追随性　[5.2.2]
※ 該当する建具は等級を図示　・該当する建具なし

6. 樹脂製建具
結露水の処理方法　[5.2.4]
※ 製造所の標準仕様で設ける　・図示（　）による
水切り板、ぜん板等　[5.2.5]
※ 製造所の標準仕様で設ける　・図示（　）による
[5.3.2～5.3.4]
外部に面する建具の性能等級等（コンクリート系下地及び鉄骨下地）　[表5.3.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(㎜)	施工箇所
・A種	S-4	※ A-4	※ W-4	・	※ 図示
・B種	S-5	・	※ W-5	・	※ 図示
・C種	S-6			・	※ 図示

外部に面する樹脂製建具の遮音性能等級　[表5.3.2]

種別	遮音性能 性能等級	施工箇所
・T-A 種	T−1	※ 図示
・T-B 種	T−2	※ 図示

外部に面する樹脂製建具の断熱性能等級　[表5.3.3]

種別	断熱性能 性能等級	断熱性能 熱貫流率(W/(㎡·K))	施工箇所
・H-A 種	H−4	2.91 以下	※ 図示
・H-B 種	H−5	2.33 以下	※ 図示
・H-C 種	H−6	1.90 以下	※ 図示

表面色　※ 標準色　・特注色

7. 鋼製建具
簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　[5.4.2][表5.4.1]
※ 適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない
特定防火設備の戸　・適用する　[表5.4.2]
外部に面する建具の性能等級等（コンクリート系下地及び鉄骨下地）　[表5.2.1][表5.4.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(㎜)	施工箇所
・A種	S-4	※ A-3	※ W-1	※　70	※ 図示
・B種	S-5	・	・	・ 100	※ 図示
・C種	S-6			※ 100　・	※ 図示

● 8. 鋼製軽量建具

品質規格　※ 建築改修工事標準仕様書(5.5節)による
・製造所標準仕様による（製造所：　）
簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　[5.5.2]
※ 適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない
召合わせ、縦小口包み板等の材質　[5.5.3]
※ 鋼板　・ステンレス鋼板　・アルミニウム合金の押出形材
鋼製軽量建具に使用する鋼板類の厚さ　(5.5.4)(表5.5.1)

区分	使用箇所		厚さ(㎜)
枠類	一般部分		※ 1.6　・
	くつずり		※ 1.5　・
戸	表面板		※ 0.6以上　・
	力骨、中骨		※ 1.6　・
	召合わせ	鋼板	※ 0.6以上　・
	縦小口包み板	ステンレス鋼板	※ 0.6以上　・
	押縁	アルミニウム押出形材	ー　・
その他	額縁、添え枠		※ 1.6　・
補強板の類			※ 2.3以上　・

9. ステンレス製建具
材質　※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1（屋外はSUS304）　・SUS316L
表面仕上げ　※ HL仕上げ　・鏡面仕上げ　・　[5.6.4]
曲げ加工　※ 普通曲げ　・角出し曲げ（補強有り）　[5.6.5]
種類　※ スライディングドア　・図転ドア
・スイングドア　・大型図転ドア
特定防火設備の戸　・適用する　[表5.6.1]
製造所（製品名）

10. 自動ドア開閉装置及び自動ドアガード
自動ドア開閉装置の安全性全般　[5.8.2]
※ JIS A 4722（歩行者用自動ドアセット－安全性）　・
（ただし、多機能トイレ出入口に設置するものを除く。）
駆動装置の性能値
多機能トイレ出入口に設置するもの以外
※ 引き戸用駆動装置の場合、[表5.8.1]による　[表5.8.1]
・
多機能トイレ出入口に設置するもの
※ 引き戸用駆動装置の場合、[表5.8.2]による　[表5.8.2]
・
機構　[5.8.3]
検出装置の性能
※ 引き戸用駆動装置の場合、[表5.8.3]による　[表5.8.3]
・
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目　[表5.8.4]

戸の開閉方式	引き戸用検出装置の種類	
※ スライディングドア ・スイングドア ・図転ドア ・大型図転ドア ・	・光線（反射）センサー ・音波センサー ・電波センサー ・押しボタンスイッチ ・	※ 熱線センサー ・光電センサー ● タッチスイッチ ・多機能トイレスイッチ ・

安全用光電スイッチ　・有り　（ ・1段　・2段 ）
寒冷地における凍結防止措置　・行う　（　）
製造所
自動ドアガード　・設置する
フレーム　・図示　・SUS304 FBt=5 HL程度　・SUS304 φ42.7×2.0 HL程度
パネル　・図示　・ポリカーボネート　・
製造所（製品名）

● 11. 自閉式上吊り引戸装置
性能等　※ [5.9.3]による　・製造所標準仕様による　[5.9.1]～[5.9.4][5.9.4]
製造所

● 12. 自閉式開閉折戸
開閉方式　・双方向　● 片方向
額及びガラリ等の塗装　● 行う（アクリル樹脂焼付塗装）
キックプレート　・有（ステンレスSUS304t=1.0 HL H=300）
製造所（製品名）

13. 木製建具
建具材の加工及び組立時の含水率　(16.7.2)(表16.7.1)

種別	加工及び組立時の含水率（質量百分率）	建具符号
・A種	15%以下	
※ B種	天然乾燥18%以下、人工乾燥15%以下	
・C種	18%以下	

かまち戸の樹種　かまち（　）　鏡板（　）　(16.7.2)
フラッシュ戸の普通合板の板面の品質　※ 広葉樹1等　・（　）　(16.7.2)

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　江口紀子
一級建築士登録番号　第206714号

設計者
総括責任者 山寺美和子 一級建築士 第309931号
担当者 下大園久子 一級建築士 第366817号
担当者 上田紗矢香

件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事	Job-No.	21019
図名	改修特記仕様書ー2　（平成31年版）		意匠
縮尺	ー	日付 2021/05（令和3年）	2

伊藤喜三郎建築研究所

ふすまの種別　・Ⅰ型　※Ⅱ型　・適用種別は図示
ふすまの上張り　※ 新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く）　・鳥の子　(表16.7.3)
材料等のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆　・F☆☆☆　(16.7.2)
フラッシュ戸の表面板の厚さ　(16.7.3)(表16.7.6)

表面材	厚さ(mm)
・普通合板	※ 2.5 以上　・　・図示
・天然木化粧合板	※ 3.2 以上　・　・図示
・特殊加工化粧合板	※ 2.4 以上　・　・図示

各木製建具の見込み寸法　(16.7.3)(表16.7.7)

名称	見込み寸法(mm)
・かまち戸	※ 36　・　・図示
・ふすま戸	※ 19.5　・　・図示
・戸ぶすま	※ 30　・　・図示
・紙張り障子	※ 30　・　・図示

フラッシュ戸引戸の定規縁 召合せかまち　※ いんろう付き　・適用しない　(16.7.4)(表16.7.8)

14. 特殊な性能の建具　(16.2.2～16.6.2)

種類	性能等級	建具符号
・防音ドアセット	遮音性　・T-1　・T-2　・T-3　・T-4	
・防音サッシ		
・断熱ドアセット	断熱性　・H-1　・H-2　・H-3	
・断熱サッシ	・H-4　・H-5　・H-6	
・耐震ドアセット	面内変形追随性　・D-1　・D-2　・D-3	

15. 特殊防火戸
・ガラス入り防火戸　品質・規格　製造所
・木製防火戸　品質・規格　製造所

16. その他の建具
・エレベーターの防火、防煙区画に使用する特殊建具等

● 17. 建具用金物
下記以外は建具表による　[5.7.2][表5.7.1]
マスターキー　※ 製作する　・製作しない　[5.7.4]
種類・個数
※ マスターキー（MK）　4 個
・グランドマスターキー（GMK）　個
・グレートグランドマスターキー（GGMK）　個
・逆マスターキー（RMK）　個

建具金物（下記以外は建具表、標準仕様書による）

ヒンジ	・ロングヒンジ	製造所（製品名）
	・	
取手	・レバーハンドル	製造所（製品名）
	・引き手	製造所（製品名）
	・押棒	製造所（製品名）
	・押板	製造所（製品名）
	・	
	・	

● 18. ガラス
下記以外は建具表による　[5.13.2]
JIS R 3205

	品種	構成種類
・合わせガラス	※ フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス
	・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス

JIS R 3206

	材料板ガラスによる種類	種類
・強化ガラス	※ フロート強化ガラス	※ フロート板強化ガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス
	・型板強化ガラス	※ 型板強化ガラス

JIS R 3208

	品種	色調
・熱線吸収板ガラス	※ 熱線吸収フロート板ガラス	・ブルー　・グレー　・ブロンズ

JIS R 3209

	品種	板ガラスの組み合わせ
・複層ガラス	・断熱複層ガラス ・日射熱遮へい複層ガラス	JIS R 3221

	品種	反射被膜面	色調	映像調整
・熱線反射板ガラス	※ 熱線反射ガラス	※ 内面　・外面	・ブルー　・グレー	※ 行わない
	・高性能熱線反射ガラス	・内面	・ブロンズ　・シルバー	・行う

製造所
JIS R 3222

	板ガラスによる種類	色調
・倍強度ガラス	※ 倍強度フロート板ガラス	-
	・倍強度熱線吸収板ガラス	・ブルー　・グレー　・ブロンズ　・

JIS A 5212

	寸法(mm)	色調	パターン	防火性能
・ガラスブロック		※ クリア　・熱線反射 ・乳白　・カラー（　）		※ 無し ・有り

規格　JIS A 5212に準ずる　[5.13.5]
材料　[5.13.5]
壁用金属枠及び補強材　※ 図示　・
力骨の材質、寸法及び形状　※ ステンレス鋼（SUS304）径5.5mm のはしご形状複筋及び単筋
・
シーリング材(9.7)による　※ SR-1　・
工法　[5.13.5]
建築基準法に基づく風圧力に対応した工法

目地幅の寸法
平積みの場合　※ 8mm 以上、15mm 以下とする
・
曲面積みの場合　※ 曲率半径をガラスブロックの幅寸法の10 倍以上とし、
外側15mm以下、内側6mm 以上とする
・

伸縮調整目地の位置　・6m以下ごとに幅10～25mm の伸縮調整目地を設ける
・

● 19. ガラス留め材及び溝
ガラス留め材　[5.13.2][5.13.3][表5.13.1]
※ 建具の製造所の仕様による、但し、ガスケットを使用する場合には、ガスケットの使用
温度範囲による区分の特記事項を満たすこと。
・下表による

建具の種類	種類	
	シーリング材（9.7）	ガスケット　JIS A 5766
アルミニウム製	※ SR-1　・	・種類は下表「ガスケットの種類」による 但し、FIX部はシーリング材とする
鋼製及び軽量鋼製	※ SR-1　・	
ステンレス製	※ SR-1　・	

ガスケットの使用温度範囲による分類

記号	使用温度範囲	特記事項
・T1	−20℃～+70℃	
・T2	−20℃～+85℃	主成分 PVC軟質系、CR発泡系、CR硬質系は使用しない
・T3	−40℃～+70℃	
・T4	−40℃～+85℃	主成分 PVC軟質系、CR発泡系、CR硬質系は使用しない

ガスケットの種類
※ 建具の製造所の仕様による、但し、ガスケットの使用温度範囲による区分の特記を満たすこと。
・下表による

性状	形態	主成分
・Ss(軟質系) ・Cl(発泡系) ・Hm(硬質系)	・Sf(単一成形品) ・Mf(多重成形品)	・SR(シリコーンゴム系) ・EPDM(エチレン・プロピレンゴム系) ・CR(クロロプレンゴム系) ・TPE(サーモ・プラスチック・エラストマー系) ・PVC(ポリ塩化ビニル系)

ただし、防火戸は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする
板ガラスをはめ込む溝の大きさ　[5.13.3][図5.13.1]
[5.13.3]以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は、(一社)日本建築学会
JASS17ガラス工事「3.1 納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監理者に提出する

20. ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ ガラス飛散防止フィルム	第2種	※ 内張り　・外張り	飛散防止率　D1
遮光フィルム			
・太陽光屈折フィルム			

品質　JIS A 5759による　製造所（製品名）

強化ガラスの飛散防止フィルム張り　※ 行う　・行わない

21. 重量シャッター　[5.10.2][表5.10.1]
品質　※ JIS A 4705による認証品　・
シャッターの種類　JIS A 4705

種類(呼び)		・管理	・外防	・内防		・防煙	
種類		管理用	外壁用防火	屋内用防火		防煙ｼｬｯﾀｰ	
開閉方式（電動式:上部電動式手動併用）		● 電動式	● 電動式	※ 電動式	・ 手動式	※ 電動式	・ 手動式
障害物感知装置	一般型	●	●	●	—	●	—
	自動閉鎖型	—	—	●	●	●	●
急降下防止装置	急降下制動装置	※	※	※	—	※	—
	急降下停止装置	※	※	※	—	※	—
スラットの鋼板の表示厚さ (mm)	1.2	・	・	・	・	・	・
	1.5	・	・	・	・	・	・
	1.6	※	※	※	※	※	※
	1.8	・	・	・	・	・	・
	2.0	・	・	・	・	・	・
	2.3	・	・	・	・	・	・
スラットの材質（材質記号）							
SGC(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)		・	・	・	・	・	・
CGC(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)		・	・	・	・	・	・
SUS(冷感圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)		・	・	・	・	・	・
一般重量シャッターのシャッターケース		※ 設置	※ 設置	※ 設置	※ 設置	※ 設置	※ 設置

外部に面するシャッターの耐風圧強度　(　　) N/m² 以上

22. 軽量シャッター　[5.11.2～5.11.4][表5.11.1・表5.11.2]
品質　※ JIS A 4704による認証品　・
シャッターの種類　JIS A 4704

種類(呼び)		・管理(管理用ｼｬｯﾀｰ)		・外防(外壁用防火ｼｬｯﾀｰ)	
開閉方式（電動式:上部電動式手動併用）		※ 電動式	・手動式	※ 電動式	・手動式
障害物感知装置(一般型)		●	—	●	—
スラットの鋼板の表示厚さ (mm)	0.4	・	・	—	—
	0.5	※	※	—	—
	0.6	・	・	—	—
	0.8	・	・	※	※
	1.0	・	—	・	—
スラットの材質（材質記号）					
SGC(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)		・	・	・	・
CGC(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)		・	・	・	・
SV(ポリ塩化ビニル被覆金属板)		・	・	—	—
SUS(冷感圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)		・	・	・	・

外部に面するシャッターの耐風圧強度　N/m²　以上
スラットの材質　・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）(めっきの付着量Z06又はF06)
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
(めっきの付着量AZ90)
スラットの形状　※ インターロッキング形　・オーバーラッピング形
ガイドレール等の材質　※ 溶融亜鉛めっき鋼板製(めっきの付着量Z27)（16.4.3(1)(ｱ)）による
・ステンレス鋼板製 SUS304（16.6.3(1)）による
ガイドレール等の厚さ　※ 1.5mm　・
電動式の場合は障害物感知装置（自動閉鎖型）を設ける

23. オーバーヘッドドア　[5.12.2][5.12.3][表5.12.1]JIS A 4715
品質　※ JIS A 4715による認証品　・
製品の呼び方　下記以外は製品の呼び方を図示　JIS A 4715

セクション材料	強さ(耐風圧性能)	開閉方式	収納形式
※ STL(スチールタイプ) ・ALM(アルミニウムタイプ) ・FRP(ファイバーグラスタイプ)	・50(500Pa) ・75(750Pa) ・100(1 000Pa) ・125(1 250Pa)	※ B(バランス式) ・C(チェーン式) ・E(電動式)	※ ST(スタンダード形) ・LH(ローヘッド形) ・HL(ハイリフト形) ・VT(バーチカル形)

ガイドレール等　※ 溶融亜鉛めっき鋼板製(めっきの付着量Z27)（5.4.3(1)(ｱ)）による
・ステンレス鋼板製 SUS304（5.6.3(1)）による

24. 防煙たれ壁
・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※ 線入り磨板ガラス ・網入り磨板ガラス	※ 6.8 ・	※ 500 ・	アルミ製枠付

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式	※ 不燃布	※ 500　・ ・800	ガイドレール　※ 固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又は アルミ製	※ 500 ・800	表面仕上げ ※ 天井材張り

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

25. 可動間仕切　(20.2.3)

構造形式	パネル部分の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	仕上げ
・スタッド式（スタッド内蔵） ・スタッド式（スタッド露出） ・パネル式 ・スタッドパネル式	・	※ 鋼板 （ ※ 0.6　・0.5 ）	※ メラミン樹脂又は アクリル樹脂 焼付塗装 ・

品質　※ JIS A 6512によるもの　・
不燃材料の認定　・有り

パネルの材料のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・F☆☆☆
遮音性　・T-1　・T-2　・T-3　・T-4　・（　　）
製造所（製品名）

26. 移動間仕切　(20.2.4)

遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	施工箇所
・一般タイプ（36db未満）	・	※ 鋼板	・焼付塗装　・壁紙張り	
・遮音タイプ（36db以上）	・	※ 鋼板	・焼付塗装　・壁紙張り	

表面仕上げの壁紙張りの品質は標仕19章内装工事による
遮音タイプはJIS A 6512の遮音試験に準拠し、透過損失として36db以上のもの
取り付け方法は製造所の仕様により、適切な資料を監理者に提出する
製造所（製品名）

27. アコーディオンカーテン
材質　※ 塩ビレザー　・
たたみ込み幅　※ 約120　・
製造所（製品名）

● 6.内装改修工事

● 1. 改修範囲
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲　[6.1.3]
◎ 特記無き限り壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　● 図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲　[6.1.3]
◎ 特記無き限り壁面より奥側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　● 図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修　[6.1.3]
※ 既存のまま　・図示の範囲

● 2. 既存床の撤去、下地補修
ビニル床シート等の除去　※ 仕上げ材のみ（接着剤とも）　[6.2.2]
・下地モルタルとも　（ ※ 図示の範囲　・除去範囲全て ）
合成樹脂塗り床材の除去工法　・機械の除去工法　・目荒し工法　[6.2.2]
改修後の床の清掃範囲　※ 改修箇所の室内　・　[6.2.2]
※研磨：既存RC面についても、ディフレクター等で研磨下地調整を行う。
仕上下地面は、平滑面となるように施工し、ポリマーセメントモルタル薄塗りを行う。

● 3. 既存壁の撤去、下地補修
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修　[6.3.2]
・図示
※ モルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の補強　※ 行う　・行わない ）　[4.4.9]

● 4. 木材の品質
見え掛り面の表面の仕上げ程度　[6.5.1][表6.5.1][表6.5.2]

適用箇所	表面仕上げの加工方法と仕上げの程度	
	● 機械加工	● 手加工
内部造作材	・A種　● B種　・C種	・H－A種　※ H－B種　・H－C種
下地材	・A種　● B種　・C種	・H－A種　・H－B種　※ H－C種

含水率　[6.5.2][表6.5.3]

下地材	※ A種(15%以下)　・B種(20%以下)　・(　　)%以下	全新面の平均の推定値とする
造作材	※ A種(15%以下)　・B種(18%以下)　・(　　)%以下	

※ 木材の製材で、含水率を指定しているものは、その指定による　・上記含水率の指定による
・図示により、含水率を指定しているものは、その指定による　※ 本特記仕様書の指定による

5. 木材
・「製材の日本農林規格」による製材　[6.5.2]
・下地用針葉樹製材　樹種　・　寸法　※ 図示
等級　※ 2級　・　形状　・耳付材　・押角
・造作用針葉樹製材　樹種　・　寸法　※ 図示
等級　見え掛り面　※ 上小節　形状　・板類　・角類
上記以外　※ 小節以上
保存処理　※ JIS K 1570　・
・広葉樹製材　樹種　・　寸法　※ 図示
等級　※ 1等　・　含水率 ※ 10%以下 ・
形状　・耳付材有　・耳付材無
保存処理　※ JIS K 1570　・
材面の品質　（　　）
・「製材の日本農林規格」以外の製材
樹種　・　寸法　※ 図示
材面の品質　造作材　※ A種　・B種　[表6.5.4]
上記以外　・A種　・B種
防虫処理　・（　　）難燃処理　・（　　）

・造作用集成材　ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・F☆☆☆
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材　品名　・（　　）
樹種　・　寸法　※ 図示
見付材面の品質　※ 1等　見付材面数　※ 図示
・化粧ばり造作用集成材　品名　・（　　）
樹種（化粧薄板　・　芯材　・　）
寸法　※ 図示　化粧薄板の厚さ　・
見付材面の品質　※ 1等　見付材面数　※ 図示
・化粧ばり構造用集成柱　品名　・（　　）
樹種（化粧薄板　・　芯材　・　）
寸法　※ 図示　化粧薄板の厚さ　・
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
・造作用集成材　樹種　・（　　）寸法　※ 図示
見付材面の品質　・　含水率 ※ 15%以下　・
・化粧ばり造作用集成材　樹種（化粧薄板　・　芯材　・　）
寸法　※ 図示　化粧薄板の厚さ　・
見付材面の品質　・（　　）
含水率 ※ 15%以下　・
・化粧ばり構造用集成柱　樹種（化粧薄板　・　芯材　・　）
寸法　※ 図示　化粧薄板の厚さ　・
含水率 ※ 15%以下　・

・造作用単板積層材（LVL）　ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・F☆☆☆
・「単板積層材の日本農林規格」による単板積層材
厚さ　・　表面の品質　・　防虫処理　・
・「単板積層材の日本農林規格」以外の単板積層材
厚さ　・　表面の品質　・　防虫処理　・
含水率 ※ 14%以下　・

・直交集成板　樹種（　　）寸法　※ 図示
・「直交集成板の日本農林規格」第3条「規格」に基づく
品名　・　曲げ強度(強度等級)　・
種別　・　接着性能(使用環境)　・
樹種　・　寸法　※ 図示

・合板等　ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・F☆☆☆

・普通合板　品名（　　）厚さ　※ 5.5mm
単板の樹種　・広葉樹（　　）板面の品質　※ 2等以上
・針葉樹（　　）板面の品質　※ C-D以上
接着の程度　※ 1類　・2類
（上記に関わらず、湿潤状態となる場所に使用する場合は、1類とする）
防虫処理　・
・構造用合板　品名（　　）厚さ　◎ 特記無き限り12mm　・図示
単板の樹種　・（　　）
等級　※ 2級以上　板面の品質　※ C-D以上
接着の程度　・特類　※ 1類
（上記に関わらず、常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、特類とする）
強度等級　・　防虫処理　・行う
・化粧ばり構造用合板
・「合板の日本農林規格」第7条「化粧ばり構造用合板の規格」に基づく
品名（　　）厚さ　・
単板の樹種　・（　　）
接着の程度　・特類　※ 1類
（上記に関わらず、常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、特類とする）
防虫処理　・

・天然木化粧合板
・「合板の日本農林規格」第8条「天然木化粧合板の規格」に基づく
厚さ　・
化粧板に使用する単板の樹種　・（　　）
接着の程度　・1類　・2類
（上記に関わらず、湿潤状態となる場所に使用する場合は、1類とする）
防虫処理　・

・特殊加工化粧合板
・「合板の日本農林規格」第8条「特殊加工化粧合板の規格」に基づく
品目　・　厚さ　・
接着の程度　・1類　・2類
（上記に関わらず、湿潤状態となる場所に使用する場合は、1類とする）
単板の樹種　・（　　）防虫処理　・
化粧加工の方法
・オーバーレイ　・プリント　・塗装　・（　　）

・パーティクルボード
パーティクルボードの製材　(12.2.1) JIS A 5908

施工箇所	表裏面の状態による区分		曲げ強さ	耐水性	難燃性	厚さ
	区分	記号	による区分	による区分	による区分	mm
	化粧パーティクルボード｜単板オーバーレイ		13	MR1(M)	難燃3級	30
	構造用パーティクルボード｜研磨板		S18	MR2(P)	難燃2級	15

・構造用パネル　品名（　　）厚さ　・
・「構造用パネルの日本農林規格」に基づく
品名　・　厚さ　・

・ミディアムデンシティーファイバーボード(MDF)
MDFの製材　(12.2.1) JIS A 5905

施工箇所	表裏面の状態による区分		曲げ強さ	接着剤	難燃性	厚さ
	区分	記号	による区分	による区分	による区分	mm
	普通MDF｜化粧MDF｜プラスチックオーバーレイ		25タイプ	Mタイプ	難燃3級	30
	構造用MDF｜無研磨板		15タイプ	Pタイプ	難燃2級	9

● 6. 接着剤
※ 木工事に使用する接着剤　[6.5.2]
接着剤は、接着する材料に適したものとする。ただし、接着剤のホルムアルデヒド放散量は、
下記とする。
※ F☆☆☆☆　・

※ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤　[6.8.2][6.14.2]
接着剤は、接着する材料に適したものとする。ただし、接着剤のホルムアルデヒド放散量は、
下記とする。
※ F☆☆☆☆　・F☆☆☆

7. 防腐・防蟻処理
以下の ① または ② の処理方法により防腐・防蟻処理を行う。　[6.5.5]
加圧注入処理を行った後、加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、標準仕様書[6.5.5(b)]
により処理を行う。
①「製材の日本農林規格」若しくは「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて
継ぎ材の日本農林規格」に基づく保存処理の性能区分K２からK４までに適合するもの
又はこれと同等の保存処理性能の製材を用いる。
② 人体への安全性及び環境への影響について配慮し、JIS K 1570（木材保存剤）に基づく
加圧注入用木材保存剤又はこれと同等の性能を有する木材保存剤を用いて、JIS A 9002
（木質材料の加圧式保存処理方法）に基づく加圧式保存処理を行う。
なお、JIS A 9002に基づく使用薬剤、注入量等の証明書を、監理者に提出する。

処理方法	性能区分	施工箇所・適用部材等
①	K2	
	K3	
	K4	
②	—	

薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理
・行う（施工箇所：　　）

合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理
※「合板の日本農林規格」、「集成材の日本農林規格」若しくは「単板積層材の日本農林規格」の
保存処理の性能区分K３に適合するもの又はこれと同等の保存処理性能の製材を使用する。

8. 防虫処理
※ 行う（施工箇所：　　）　[6.5.2]

9. 床板張り
フローリング及び縁甲板張り床　[6.5.8][表6.5.10]

下張り用床板	※ 無し	
	・有り	※ 合板張り ・板張り
床板	※ 単層フローリング [11]による	
	・縁甲板	※ ひのき　・
	・上がりがまち	※ ひのき　・

● 10. 軽量鉄骨天井下地
野縁の仕様及び種類　[6.6.2][表6.6.1]
※［表6.6.1]による （ 屋外　・19形　※ 25形　屋内　※ 19形　・25形 ）
・一般仕様（普及品）
野縁の間隔(屋外の場合)　mm　[6.6.3][表6.6.1]
吊りボルトの間隔が(ダクト等により)900mmを超える場合の補強方法　[6.6.4]
● 監理者との協議による　・図示

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　江口紀子
一級建築士登録番号　第206714号

設計者				
総括責任者 山寺美和子 一級建築士 第309931号	担当者 下大園久子 一級建築士 第366817号	担当者 上田紗矢香		

件名 横浜市立大学附属病院9-3病棟陰室化改修工事		Job-No. 21019
図名 改修特記仕様書ー3　（平成31年版）		意匠
縮尺 —	日付 2021/05（令和3年）	3

伊藤喜三郎建築研究所

大規模空間等の天井下地材における耐震性能を考慮した補強[6.6.4]　[6.6.4]
・ 特定天井（6m超高さにある面積200㎡超、質量2Kg/㎡超の吊り天井）
天井特記仕様書による
・ その他の天井（特定天井以外）
適用範囲　※ 図示　・
天井材の質量　・ 2kg/㎡以下　※ 2kg/㎡超～20kg/㎡以下　・ 20kg/㎡超
工法　※ 耐震天井システム
天井面と周囲部位、設備のクリアランス　※ 60㎜以上　・ 計算により　㎜以上
ブレース（斜め部材）数量　※ 計算により負担面積　㎡/対
ブレース（斜め部材）角度　※ 30～60度　・ 40～55度
ふさぎ天井見切り　・ アルミ製　W=　（　・ 焼付塗装　・　）
製造所（製品名）
屋外の軒天井、ピロティ天井等の耐風圧性を考慮した補強　[6.6.4]
※ 行う　（ ※ 補強方法は下記による　・ 補強方法は図示による　・【3-21-　】　）
吊りボルト@600以下、ブレース補強（L30×30×3）XY方向共@3,000以下及び野縁受@300以下を原則とするが、耐風圧計算により補強方法を決定すること
天井ふところの振止め補強（屋内 1.5m未満、屋外 1.0m未満の場合）　[6.6.4]
※ 行わない　・ 行う　（ ・ [6.6.4(8)]による　・ 図示　）
天井ふところの水平補強・斜め補強（1.5m未満）　[6.6.4]
※ 行わない　・ 行う　（ ・ [6.6.4(8)]による　・ 図示　）
天井ふところの水平補強・斜め補強（3.0mを超える場合）　[6.6.4]
※ 図示（　）
既存の埋込インサート　● 使用する　・ 使用しない　[6.6.3][6.6.4]
あと施工アンカーの引抜き試験　● 行う　・ 行わない　[6.6.4]
ステンレス製または亜鉛めっきの上タールエポキシ塗装天井下地材
・ ステンレス製天井下地材　・ 亜鉛めっきの上タールエポキシ塗装天井下地材
※ 19形
施工箇所：

● 11. 軽量鉄骨壁下地
スタッド、ランナー等の仕様及び種類　[6.7.3][表6.7.1]
※［表6.7.1]及びJIS A 6517による　・ 一般仕様（普及品）
開口部補強の板厚
※［表6.7.1]による　・ 1.6㎜
高さ5mを超える場合（一般型）
・ 角型間仕切下地材　・ 軽量鉄骨　製造所（製品名）
鉛入りボード等を使用する場合のスタッド
・ 100形　・

● 12. ビニル床シート張り　[6.8.2][6.8.3]

種類及び名称	表示略号	厚さ(㎜)	工法	模様張り	製造所（製品名）
● FS	VS	2	※ 熱溶接 ・ 突付け	※ 行わない ・ 行う	ロンリウム、パーマリウム同等品 ロンシール工業、タジマ、東リ等
・			※ 熱溶接 ・ 突付け	※ 行わない ・ 行う	
・			※ 熱溶接 ・ 突付け	※ 行わない ・ 行う	
・	VS-E		※ 熱溶接 ・ 突付け	※ 行わない ・ 行う	

VS-E：　体積抵抗値（JIS K 6911による）1.0×10⁹Ω以下、
または、漏えい抵抗値（JIS A 1454による）1.0×10¹⁰Ω未満

13. ビニル床タイル張り　[6.8.2]

種類及び名称	表示略号	厚さ(㎜)	記号又は製造所（製品名）
・	VT		
・	VT(1)		
・	VT(2)		
・	VT-E		

VT-E：　体積抵抗値（JIS K 6911による）1.0×10⁹Ω以下、
または、漏えい抵抗値（JIS A 1454による）1.0×10¹⁰Ω未満

14. 天然リノリウム床シート張り　[6.8.3]

種類及び名称	表示略号	厚さ(㎜)	工法	模様張り	製造所（製品名）
・ 天然リノリウム床シート	LS	※ 2.5 ・	※ 熱溶接 ・ 突付け	※ 行わない ・ 行う	
・ 天然リノリウム床シート	LS(1)	※ 2.5 ・	※ 熱溶接 ・ 突付け	※ 行わない ・ 行う	

15. ゴム床シート張り及びゴム床タイル張り　[6.8.2][6.8.3]

種類及び名称	表示略号	主原料	厚さ(㎜)	工法	製造所（製品名）
・ ゴム床シート	RS	※ 単層 ・ 積層		・ 熱溶接 ・ 突付け	
・ ゴム床タイル	RT	※ 単層 ・ 積層			

● 16. ビニル幅木　[6.8.2]

種類及び名称	表示略号	厚さ(㎜)	高さ(㎜)	備考
● 軟質	VB	※ 2.0 ・	・ 60　● 75　※ 100 ・ 300　・ 350　・	
・ 半硬質	VB-F	※ 2.0		
・ 硬質	VB-H			

17. その他の幅木

種別	表示略号	厚さ(㎜)	高さ(㎜)	材種及び仕上げ	備考
・ 木製					
・ 金属					
・ モルタル					
・ アルミ					R巾木

18. カーペット敷き
・ 織じゅうたん　[6.9.2][6.9.3][表6.9.1][表6.9.2]

種別	パイル形状	帯電性	色柄等	製造所（製品名）
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループパイル併用	人体帯電性 ※ 3kv以下 ・	※ 単一色（無地） ・ 柄物（標準色） ・	

・ タフテッドカーペット　[6.9.2][6.9.3][表6.9.1][表6.9.2]

パイル形状	パイル長(㎜)	工法	帯電性	製造所（製品名）
・ カットパイル	※ 5～7　・	※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	人体帯電圧 ※ 3kv以下 ・	
・ マルチレベルループ	※ 4～6　・			
・ レベルループパイル	※ 4　・			
・ カット、ループ併用	・　・			

・ タイルカーペット　[6.9.2][6.9.3][表6.9.1][表6.9.2]

パイル形状	種別	パイル総重量(g/㎡)	電気抵抗値(Ω)	製造所（製品名）

※ ループパイル　※ 第一種　※ 780　※ 適用しない
・ カットパイル　・ 第二種　・　・ 10⁹Ω以下

・ マットカーペット

どろよけ及び水ふき用	種類	パイル素材	タフト規格	パイル重量(g/㎡)	厚さ(㎜)
	タフテッド	ポリアミドナイロン100%	1/10ゲージ	900	9.0

製造所

19. 合成樹脂塗床　[6.10.2][6.10.3][表6.10.3～表6.10.7]

型別	種別	工法及び仕上げ
厚膜型塗床材	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	※ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ　・ つや消し仕上げ
	・ エポキシ樹脂系塗床材	※ 薄膜流し展べ工法　（ ※ 平滑　・ 防滑　） ・ 厚膜流し展べ工法　（ ※ 平滑　・ 防滑　） ・ 樹脂モルタル工法　（ ※ 平滑　・ 防滑　）
薄膜型塗床材	・ エポキシ樹脂系塗床材	※ 薄膜型塗床工法（平滑）

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆
製造所（製品名）

20. 床用塗料塗り
材質　ウレタン樹脂系塗料　（ ※ 標準色　・　）
仕上種別　※ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ
塗布量　プライマー塗りの上、主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/㎡以上とする

21. 防塵用塗料塗り
材質　・ 水性アクリル樹脂系塗料　（ ※ 標準色　（ ※ グリーン系　）・　）
・ ポリウレタン樹脂系防塵塗料　（ ※ 標準色　（ ※ グリーン系　）・　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする

22. フローリング張り（体育館、舞台等の床は除く）　[6.11.2～6.11.7][表6.11.1～表6.11.6]

種別	樹種	厚さ(㎜)	工法	仕上塗材
・ 天然木化粧 複合フローリング	※ なら ・	※ 12 ・ 8以上	※ 釘留め工法 ・ 根太張り工法（C種） ・ 直張り工法（C種） ・ ・ 接着工法	・ 有（　） ・ 無
・ 単層フローリングボード	※ なら ・	※ 15 ・ 8以上	※ 釘留め工法 ・ 根太張り工法（C種） ・ 直張り工法（C種） ・ ・ 接着工法	・ 有（　） ・
・ 単層フローリングブロック	※ なら ・	※ 15 ・	・ モルタル埋込み工法 ・ 接着工法	・ 有（　） ・ 無
・ 単層モザイクパーケット	・	・	※ 接着工法	・ 有（　） ・ 無

複合フローリングのホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆

23. 畳敷き　[6.12.2][表6.5.9][表6.12.1]

適用箇所	種別
改修標準仕様書表[6.5.9]による床組	・ A種　※ B種　・ C種　・ D種
ポリスチレンフォーム床下地	※ C種　・ D種

D種の場合の畳床　・ KT-Ⅰ　・ KT-Ⅱ　・ KT-Ⅲ　・ KT-K　・ KT-N

24. ポリスチレンフォーム床下地
畳下地　厚さ(㎜)　※ 40　・ 65　・ 80　・
フローリング類下地　厚さ(㎜)　※ 80　・ 95　・

25. 緩衝材
浮き床用ロックウール緩衝材（JIS A 6321）
・ 1種（100～150kg/m³）　・ 2種（100～200kg/m³）　・ 3種（150～250kg/m³）

● 26. せっこうボード及びその他のボード張り
ボード張りに使用する製品の図面等での表現は下記の表示略号、または、[表6.13.1] に示される JIS A 6901 等の規格に示されている GB-R-H-Hc 等の記号を用いる。
せっこうボード製品　[6.13.2][表6.13.1]

種類	表示略号	規格	厚さ(㎜)
● せっこうボード(壁)	GB-R	－	・ 9.5(準不燃)　※ 12.5(不燃)　・ 15(不燃)
・ せっこうボード(天井)			・ 9.5(準不燃)　※ 12.5(不燃)　・ 15(不燃)
・ シージングせっこうボード	GB-S	－	・ 9.5(準不燃)　・ 12.5(準不燃)　・ 12.5(不燃)
・ 強化せっこうボード	GB-F	－	・ 12.5(不燃)　※ 15(不燃)　・ 21(不燃)
● 普通硬質せっこうボード	GB-H	－	● 9.5(不燃)　※ 12.5(不燃)　・ 15(不燃)
・ せっこうラスボード	GB-L	－	※ 9.5
● 不燃積層せっこうボード	GB-NC	模様なし	※ 9.5(不燃)
	GB-NC(T)	ﾄﾗﾊﾞｰﾃｨﾝ	※ 9.5(不燃)
・ 化粧せっこうボード	GB-D(T)	ﾄﾗﾊﾞｰﾃｨﾝ	・ 9.5(準不燃)
	GB-D(W)	木目模様	・ 9.5(準不燃)　・ 12.5(不燃)
・ 吸音用あなあきせっこうボード	GB-P	－	※ 9.5(準不燃)
・ 繊維混入せっこうボード	FGB	－	・ 5　・ 6　・ 8　・ 10
・			製造所（製品名）

繊維強化セメント板

種類	表示略号	規格	厚さ(㎜)
・ けい酸カルシウム板 （無石綿）0.8Kタイプ2	0.8FK	－	・ 6　・ 8　・ 10　・ 12
・ 吸音用穴あき けい酸カルシウム板	FK-P	－	・ 6　・
・ フレキシブル板 （無石綿）	フレキ板	－	・ 4　・ 6　・ 8

繊維板及びパーティクルボード

種類	表示略号	規格	厚さ(㎜)
・ ミディアムデンシティ ファイバーボード	MDF	ホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆	・ 3　・ 7　・ 9
・ パーティクルボード	-	・ F☆☆☆	・ 12　・ 15　・ ・ 10　・ 12　・ 15 ・ 18　・ 20　・
・			・

吸音材料

種類	表示略号	規格	厚さ(㎜)及び仕様
● ロックウール化粧吸音板	DR	普通	※ 9　● 12
	DR(凹凸)	立体模様	※ 12　・ 15　・ 19
・ ロックウール化粧吸音板 （軒天用）	DR(軒天)	普通	※ 9(不燃(個)) ・ 15(不燃(個))
	DR(軒天凹凸)	立体模様	※ 12(不燃(個))
・ ロックウール吸音ボード	RW-B	1号	※ 25　・ 50
・ ロックウール吸音フェルト	RW-F		
・ グラスウール吸音ボード	GW-B	2号32K	※ 25　・ 50（ガラスクロス包み）
・ グラスウール吸音フェルト	GW-F		

木質系セメント板

種類	表示略号	規格	厚さ(㎜)
・ 硬質木毛セメント板	HW	－	・ 15　・ 20　・ 25　・
・ 普通木毛セメント板	NW	－	・ 15　・ 20　・ 25　・
・			・

特殊板及び特殊合板

種類	表示略号	規格	厚さ(㎜)
・ 天然木化粧合板	W(A)	・ ・	化粧単板　※ 0.3未満　・ 板　※ 4.2　・
・ 不燃天然木化粧板	W(B)	・ ・	化粧単板　・ 基材　・
・ メラミン化粧板	－		※ 1.2　・　JIS K 6903による
・ ポリエステル化粧合板	－		※ 2.7　・ 4.0
・ メラミン化粧板張り合板	－		化粧単板　※ 1.2　・ 基材（合板）　※ 4.0　・
・			

その他

種類	表示略号	製造所（製品名）
・ 化粧けい酸カルシウム板	FK-C	
・ 特殊UV塗装硬質セメント板	FK-G	
・ タップポストフォーム けい酸カルシウム板	FK-D	
・		

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
※ 適用する　・ 適用しない

● 27. 壁紙張り　[6.14.2]

壁紙の種類	防火性能	表示略号	製造所（製品名）
● 塩化ビニール樹脂製壁紙	不燃	VC	サンゲツ（不燃認定壁紙1000　AAランク　汚れ防止機能付）
・		VC(1)	
・		VC(2)	
・		VC(3)	
・			

下地調整　[6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　・ RA種　※ RB種　・ RC種（施工箇所：　）
せっこうボード面　・ RA種　※ RB種　・ RC種（施工箇所：　）
ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆

壁紙の種類	製造所（製品名）
・ 塗装用壁紙	
・ ガラスクロス化粧壁紙	
・	

ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆

28. 塩化ビニル樹脂系フィルム張り

施工箇所	屋外仕様	製造所（製品名）

ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆

29. モルタル塗り材料
吸水調整材　[6.15.3][表4.2.2]

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/㎟)	界面破断率(%)
表示値±1.0	30分で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）
防水剤の種類　建築用のモルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の 5%以下	JIS R 5201の試験において 始発　1時間以上 終結　10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下

膨張性のひび及びそりがないこと

30. 陶磁器質タイル張り
タイルの種類　[6.16.3]

施工箇所	形状・寸法(㎜)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわ薬 無	施釉	役物 有	無	色 標準	特注	配筋責任 有	無	製造所（製品名）
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

タイルはJIS A 5209に基づくものとする
役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う（ ※ 外壁タイル　・　）
耐滑り性　各用途に求められる耐滑り性を有すること

壁タイル張りの工法　[6.16.5.][表6.16.5]
内装タイル　※ 壁タイル接着剤張り　・ 改良積上げ張り
外装タイル　・ 密着張り　・ マスク張り　・ 壁タイル接着剤張り
コンクリート素地面の処理　・ 行う
・ 目荒し工法（高圧水洗工法：超高圧150MPa程度）　[4.4.9(3)]
施工範囲　※ 図示　・
タイルの試験張り　※ 行わない　・ 行う（ ※ 外壁タイル　・　）　[6.16.3.]

31. 断熱材　[9.5.2][9.5.3]

種類		施工箇所	厚さ(㎜)	品質等	備考
・ 押出法 ポリスチレン フォーム 断熱材	※ 2種bA ・ 2種bB ・ 2種bC	※ 一般部	※ 25 ・	フロン類を用いないもの	JIS A 9521 規格適合品
	※ 3種bA （1ｽﾄﾗ層付） ・ 3種bB （1ｽﾄﾗ層付） ・ 3種bC （1ｽﾄﾗ層付） ・ 3種bD （1ｽﾄﾗ層付）	・ 土間接地スラブ下面 ・	※ 25 ・		
・ 現場発泡断熱材 （吹付硬質ウレタンフォーム）		※ 断熱材補修部分	－	フロン類を用いないもの	JIS A 9526 規格適合品
		・ 一般部	※ 30 ・	難燃性を有するもの ※ A種1　・	
		製造所　性能の確認できる資料を監理者に提出する			

断熱材等のホルムアルデヒドの放散量
※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆
ウレタンフォーム類は室内または排煙チャンバーとしている天井内に露出して使用する場合は防火コートを施すサッシ周りは、(16.2.5)の(2)(ア)によるモルタル充填を完全に行ったうえで断熱を枠または額縁まで施し、断熱材の欠損をなくすこと
断熱材現し部分は不燃仕様とする。断熱材：製造所（製品名）

32. 浴室天井材
市販品

材質	表面仕上げ	性能	幅(㎜)	備考
※ アルミニウム製	※ 焼付け塗装品	準不燃品	※ 200	廻り縁は極付きとし、

	・ アルマイト処理品	・ 100	製造所の標準品とする
・ 硬質塩ビ製	※ 塗装品 ・ 木目調	※ 300 ・ 100	

下地及び吊りボルトは、標準仕様書14章金属工事参照

33. ポリスチレンフォーム床下地材
畳下地　厚さ(㎜)　※ 40　・ 65　・ 80
フローリング類　厚さ(㎜)　※ 80　・ 95

34. フリーアクセスフロア　(20.2.2)

略号	構法	設定の高さ(㎜)	耐震性能	耐荷重性能	帯電防止性能 清えい抵抗	表面仕上材	製造所（製品名）
FAF(A)	・ パネル構法 ・ 溝構法		・ 1.0G ・ 0.6G	・ 5,000N ・ 3,000N			
FAF(B)	・ パネル構法 ・ 溝構法		・ 1.0G ・ 0.6G	・ 5,000N ・ 3,000N			

施工箇所：図示
表面仕上げ材の品質・規格等は、標準仕様書19章内装工事による
スロープ及びポーダー　※ 製造所の標準仕様　・ 図示
コンセント等の取付け対応　※ 製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル　配線取り出し開口：パネル1枚につき40㎜×80㎜程度の開口1ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※ 20%～30%　・
空調用吹き出しパネル　※ 無し　・ 有り（ ※ 固定式　・ 可変式　：施工箇所は図示）

35. 乾式遮音二重床
(社)日本建築学会JASS25　4節住宅用揚げ床ユニット工事による

施工箇所	支持方法	用途	床衝撃音遮断性	高さ
	・ 脚付パネル方式 ・ 共通支持脚方式	・ 和室用 ・ 洋室用 ・ ユーティリティ用	※ L-55 ・ L-45 ・	・ H=150 ・ H=200 ・
	・ 脚付パネル方式 ・ 共通支持脚方式	・ 和室用 ・ 洋室用 ・ ユーティリティ用	※ L-55 ・ L-45 ・	・ H=150 ・ H=200 ・

上がり框　※ 製造所の標準仕様　・ 図示
表面仕上げ材　※ 仕上表による　・
製造所

36. 鋼製二重床
仕上げ
捨張り
鋼製床下地　H=　製造所（製品名）

37. 床下換気口
箇所数：　箇所
製造所（製品名）

38. 階段滑り止め　(20.2.6)
材　種　ステンレス SUS304
形　状　ピルダイヤ入
両端フラットエンド　・ 無し　※ 有り（ ・ ステンレス製SUS304　※ ピニル製　）
幅(㎜)　※ 約35　・
取付け工法　※ 接着工法　・ 埋込み工法
製造所（製品名）

39. 階段手すり
※ 樹脂製（ ・ 34φ　・ 40φ ）　製造所（製品名）
（溝隠し　※ 有り　）
・ ビニル製ハンドレール（幅 約50㎜）　製造所（製品名）
・ 集成材クリアラッカー仕上げ（市販品 径 約45㎜）　・ 図示
抗菌仕様　・ 有り　点字サイン　・ 有り

● 40. 廊下手すり
材　種　※ 樹脂製　（溝隠し　※ 有り　）　・
径　・ 28φ　※ 34φ　・ 40φ　・ 図示
ブラケット　※ アルミ製　● 樹脂製
抗菌仕様　・ 有り
製造所（製品名）ナカ工業（セフティーラインNWR-150V）程度

41. コーナーガード

材種	仕上	寸法(W×D×Hmm)	製造所（製品名）
・ ステンレス	SUS304HL		
・ 樹脂製	既製品		
・ 木製			
・ 合成ゴム製	既製品		
・ 軟質塩化ビニル	既製品		
・			

42. トイレブース
表面仕上げ材　※ メラミン樹脂系化粧板　・ 鋼板焼付塗装　(20.2.5)
・ ポリエステル樹脂系化粧板　・ ダップ樹脂系化粧板　・ 図示
表面材の色　・ 標準色　・ 指定色
エッジ　・ アルミ製アールエッジ　（ ・ パネル同色焼付　・ アルミ色 ）
・
足形状　※ 幅木型（ステンレス）　・ 足金物型
扉　※ 非常時外開きドア　・ 一般タイプドア
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆
製造所（製品名）

● 43. 便所及び浴室等補助手すり等

用途	形状・形式	数量	製造所（製品名）
・ 洗面カウンター用			
・ 壁掛洗面器用	・ 杖使用者型		
	・ 車いす・杖使用者兼用型		
・ 小便器用			
● 腰掛け便器用	● 固定式（L型）	12	TOTO：T114CL10程度
	・ 固定式（P型）		
	・ 固定式（T型）		
	・ 可動式（スイング型）		
	・ 可動式（はね上げ型）		
	● 背もたれ	12	TOTO：EWCS802R程度
	・ アームレスト（背もたれ付）		
	・ 前傾姿勢支持介護器具		
・ 和便器用	・ たて手すり付		
	・ たて手すりなし		
	・ 床固定式		
・ 多用途用	・ I型		
	・ L型		
・ 浴室用	・ 洗い場用（I型）		
	・ 入り隅用（L型）		

材種　・ ステンレス製　・ スチール製　・
表面仕上げ材　・ ステンレスHL　※ 硬質塩化ビニル製　・　抗菌仕様　・ 有り

44. ベビーチェア及びベビーシート等
・ ベビーチェア　箇所数：　箇所　製造所（製品名）
・ ベビーシート　箇所数：　箇所　製造所（製品名）
・ おむつ用ダストボックス　箇所数：　箇所　製造所（製品名）
・ 折りたたみシート及び多目的シート

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　江口紀子
一級建築士登録番号　第206714号

設計者				
総括責任者 山寺美和子 一級建築士 第309931号	担当者 下大薗久子 一級建築士 第366817号	担当者 上田紗矢香		

件名 横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事		Job-No. 21019
図名 改修特記仕様書ー4　（平成31年版）		意匠
縮尺 ー	日付 2021/05（令和3年）	4
伊藤喜三郎建築研究所		

箇所数：　箇所　製造所（製品名）

45. 洗面カウンター
材種　・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）　・人工大理石（品質：※ 図示 ）
奥行き(mm)　・約450　・約 600　・図示
抗菌仕様　・有り
オーバーフロー　・無し　・有り
製造所（製品名）

46. 洗面器一体型カウンター
材種　※ 人工大理石
形状　・シーム接着　・一体成型　・図示
排水トラップ　※ 有り
抗菌仕様　・有り
奥行き(mm)　・約450　・約 600
オーバーフロー　・無し　・有り
製造所（製品名）

● 47. 鏡その他
・鏡　※ 個所、寸法は図面表示による　(20.2.9)
・右記による　寸法　箇所数：　箇所
厚さ(mm)　※ 5　・
耐食処理　※ 有り
枠　※ なし　・有り　（ ※ ステンレス　・　）
● 化粧鏡（規格品）　箇所数：　12　箇所
製造所（製品名）TOTO（YM4510FAC）程度
・全身鏡（規格品）　箇所数：　箇所
製造所（製品名）
・安全ミラー（規格品）　箇所数：　箇所
製造所（製品名）
・タオル棚、タオル掛け　箇所数：　箇所
製造所（製品名）
・化粧棚　箇所数：　箇所
製造所（製品名）
● コート掛けフック
製造所（製品名）杉田エース（ブラインドフック3連AC-822）程度
・小物入れ
製造所（製品名）　箇所数：　箇所

48. 流し台ユニット

種類	寸法(L=mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	※ 1,200 ・ 1,050 ・ 1,800	トラップ付	※ 優良住宅部品
・コンロ台	※ 600 ・ 700 ・	バックガード ※ 有り	
・吊戸棚	※ 1,200 ・ 1,050 ・ 600		・
・水切り棚	※ 1,200 ・ 1,050	ステンレス製 ※ 1段式	※ 市販品

製造所（製品名）

49. ミニキッチン
箇所数：　箇所
製造所（製品名）

50. ユニットバス
箇所数：　箇所
給水管、給湯管：ユニット天井面から100mm突き出しまでユニット工事（水圧テスト含む）
排水管　：ユニット壁面から100mm突き出しまでユニット工事
水栓　：サーモスタット付シャワー混合栓
製造所（製品名）

51. ユニットシャワー
箇所数：　箇所
給水管、給湯管：ユニット天井面から100mm突き出しまでユニット工事（水圧テスト含む）
排水管　：ユニット壁面から100mm突き出しまでユニット工事
水栓　：サーモスタット付シャワー混合栓
製造所（製品名）

52. ユニットバス廻り四方枠
材質　寸法
箇所数：　箇所
製造所（製品名）

53. 洗濯機用パン
箇所数：　箇所
製造所（製品名）

54. ブラインド
・既存再使用する　（養生方法：　）　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.12)

形式	種類	スラットの材種	スラットの幅(mm)
※ 横型ブラインド	※ ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式 ・ 電動式	※ アルミニウム合金製 ・	※ 25 ・
・縦型ブラインド	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード ・ 電動式	・ アルミスラット ・ クロススラット ・	・ 80 ・ 100

製造所（製品名）

55. ロールスクリーン
・既存再使用する　（養生方法：　）　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.13)

形式	種類	材種	防炎性能
・ロールスクリーン	・ プルコード式 ・ プルコード式（ﾁﾘﾏｽﾄｯﾌﾟﾊﾞｰ付） ・ チェーン式 ・ ワンタッチ式 ・ ループコード式 ・ 電動式（　）	・ 生地　（　） ・	※ 有り

製造所（製品名）

56. カーテン
・既存再使用する　（養生方法：　）　[2.3.1][5.1.6]
・新設する
・一般用　(20.2.14)

施工箇所	レーン数 シｯｸﾞﾙ	レーン数 ダブル	形式 片引	形式 引分	装置 電動	装置 紐引	装置 手引	名称品質	ひだの種別
	・	・	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・	・	・		

製造所（製品名）

・医療・福祉施設用　製造所（製品名）

● 57. カーテンレール
・既存再使用する　[5.1.6]
● 新設する
・一般用　(20.2.14)

材種	形状	形式
・ステンレス	・ C型 ・ D型 ・ 角型	・ 片引き ・ 引き分け
・アルミニウム	・ C型 ・ D型 ・ 角型	・ 片引き ・ 引き分け
・樹脂製	・ C型 ・ D型 ・ 角型	・ 片引き ・ 引き分け
・アルミニウム焼付塗装	・ C型 ・ D型 ・ 角型	・ 片引き ・ 引き分け

引き分けで暗幕用の場合は300mm以上の召合わせの重ね掛けとする
静音タイプ　・有り　（施工箇所：　）
製造所（製品名）

● 医療・福祉施設用
静音タイプ　● 天吊型　製造所（製品名）TOSO（ニューリブ）程度
・直付型　製造所（製品名）

● 58. ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ
● 既存再使用する　[5.1.6]
● 新設する
● 市販品（アルミニウム製 押出し型材）
溝幅×深さ(mm)　・90×150　・150×80　・120×80　● 150×150
色彩　※ B－1種　・B－2種　（ ※ ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
● D種（焼付塗装　・　）
・図示

59. ピクチャーレール
材種　※ アルミ製　・ステンレス製
安全荷重　・8kg　・25kg　・30kg　・50kg
フック及びランナー　・フック　・ランナー
製造所（製品名）

60. スクリーンボックス
製造所（製品名）

61. 吊りバトン
材種　φ　L=
製造所

62. 黒板及びホワイトボード　(20.2.8)

種類		寸法(mm)	色彩	備考
・黒板	※ 焼付け		※ 緑 ・ 黒	※ 平面 ・ 曲面 ・ ｽｸﾘｰﾝ付引分け
			※ 緑 ・ 黒	
・ホワイトボード	※ ほうろう		※ 白	※ 平面 ・ 曲面 ・ ｽｸﾘｰﾝ付引分け

63. 屋内掲示板
枠の材質　※ アルミニウム製　・
表面の材質　※ 塩ビ発泡シート張り　・
寸法　箇所数：　箇所
製造所（製品名）

64. 屋外掲示板
照明器具　※ 有り　・無し
施錠　※ 有り　・無し
製造所（製品名）

65. AED収納ボックス
形式　・埋め込み型　・壁掛け型　・床置き型
箇所数：　箇所
製造所（製品名）

66. 表示標識
衝突防止表示 ※ 図示（市販品 ※ ステンレス製　径約30mm　・　）　(20.2.10)
・無し
非常用進入口表示　※ 図示（市販品）　・
室名札、ピクトグラフ、案内板等　※ 図示　・
消火栓、補助散水栓等の表示　・図示　・
アイドリングストップ表示　・図示　・
障害者用駐車スペース標識　・図示　・
消防水利標識　・図示　・
・点字表示　・図示　・傾斜路手すり端部　・多機能トイレ入口
・階段手すり端部　・案内板等
・AED表示　・図示
製造所　監理者の承諾する製造所

● 67. 点検口
天井点検口

材種	寸法	形式		仕上	数量
・アルミニウム製 ・	・図示 ・	一般型	・額縁タイプ ・目地タイプ	・アルミ ・電着 ※ 焼付 ・アルミ ・電着 ※ 焼付	
		・密閉型		・アルミ ※ 焼付	
・アルミニウム製 ・	● 450×450 ・600×600	一般型	● 額縁タイプ ・目地タイプ	・アルミ ・電着 ※ 焼付 ・アルミ ・電着 ※ 焼付	32
		・密閉型		・アルミ ※ 焼付	

壁点検口

材種	寸法	数量
・アルミニウム製	・400×700 ・600×600	
・塩ビ製	・200×200 ・250×250 ・300×300 ・250×450	

製造所（製品名）

床点検口

材種	寸法	形式	強度	用途	数量
・アルミニウム製 （ ※ ボルト固定型）	・450×450 ・600×600 ・	・一般型 ※ 密閉型 （ ・ 二重蓋）	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用	・モルタル充填用 ・樹脂タイル用 ・フローリング用	
・ステンレス鋼製 （ ※ ボルト固定型）	・450×450 ・600×600 ・	・一般型 ※ 密閉型 （ ・ 二重蓋）	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用	・モルタル充填用 ・樹脂タイル用 ・フローリング用	
・鋼製 （ ※ ボルト固定型）	・450×450 ・600×600 ・	・一般型 ※ 密閉型 （ ・ 二重蓋）	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用	・モルタル充填用 ・樹脂タイル用 ・フローリング用	

大口径床点検口

材種	寸法	形式	強度	用途	数量
・ （ ※ ボルト固定型）	・600×1200 ・	・一般型 ※ 密閉型 （ ※ 二重蓋）	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用	・モルタル充填用 ・樹脂タイル用	

68. 既製トラフ（配線、配管ピット及び排水ピットふた）

配線・配管ピットふた

材種	幅	受枠	用途	数量
・アルミニウム製 ・	・150 ・200 ・250 ・300	※ ステンレス製 ・アルミニウム製	・樹脂タイル用 ・カーペット用 ・モルタル充填用 ・フローリング用 ・縞鋼板（SS400）	

排水ピットふた

材種	幅	形式	受枠	仕様	数量
・ステンレス製 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・樹脂製	・100 ・150 ・200 ・300 ・	・グレーチング ※ 縞目 ・普通目 ・縞鋼板（SS400）	※ ステンレス製 ・アルミニウム製	・ノンスリップ ・	

集水桝ふた

材種	大きさ	形式	受枠	仕様	数量
・ステンレス製 ・アルミニウム製 ・鋼製	・350角 ・400角 ・450角 ・500角 ・600角	・グレーチング ※ 縞目 ・普通目 ・縞鋼板（SS400）	※ ステンレス製 ・アルミニウム製	・ノンスリップ ・	

69. 鋳鉄製マンホール
屋内の鋳鉄製マンホールふた

施工箇所	形式	適用荷重	備考	数量
・各種水槽	・中蓋付密閉型 ※ 密閉型（ﾃｰﾊﾟｰ・ﾊﾟｯﾄﾝ式） ・簡易気密型（パッキン式）	・T-2用 ※ T-6用	ボルト固定型 文字入り	
・蓄熱槽	※ 蓄熱槽用（断熱型）密閉型	・T-2用 ※ T-6用	ボルト固定型 文字入り	

70. 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ
・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※ 1種 ・2種 ・3種

製造所

71. 造作家具
合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤等のホルムアルデヒドの放散量　(12.2.2)
※ F☆☆☆☆　・F☆☆☆　(19.7.2)

72. かぎ箱
市販品　形式　・30組用　・60組用　・120組用　・200組用
キープラン、室名札付とする　箇所数：　箇所
製造所（製品名）

73. くつふきマット
市販品　材質　・塩化ビニル製（コイル状ステンレス製受枠）　・硬質アルミニウム製（受枠とも）
・ビニル製（ステンレス製受枠）　・ステンレス製（受枠とも）
製造所（製品名）

74. 郵便受箱
市販品　（　・埋込型　・壁付型　・自立型　）
材質　※ ステンレス製　・
大きさ及び戸数等
製造所（製品名）

75. 新聞受
市販品
材質　※ ステンレス製　・
大きさ及び戸数等
製造所（製品名）

76. 傘立て
箇所数：　箇所
製造所（製品名）

77. 誘導用及び注意喚起用床材（視覚障害者用誘導床材）
屋内
・塩化ビニル製（ ・シート・ 鋲 ）　・磁器又はせっ器質タイル（ ※ 300 ・　）
・レジンコンクリート製　・ステンレス鋲
屋外
・レジンコンクリート製　・磁器又はせっ器質タイル（ ※ 300 ・　）
・花こう岩　・ステンレス鋲

78. フェンス
・格子型　高さ(mm)　・600　・900　・1,200　・
製造所名（製品名）
・網型　高さ(mm)　・800　・900　・1,000　・1,200　・1,500　・1,800
製造所名（製品名）

79. 車止め支柱及び車止め等
車止め支柱（上下式）　・ステンレス製（上下式鋼内蔵型）　径 114.3mm　t=2.5mm　H=GL+700mm
※ スプリング付　・スプリング無
製造所（製品名）

車止め支柱（一般）　・ステンレス製　・スチール製　・アルミ製　・擬石
・固定式　・差込式　・差込式かぎ付
寸法
製造所（製品名）

車止め（アーチ型）　・ステンレス製　・スチール製　・
・固定式　・差込式　・差込式かぎ付
寸法
製造所（製品名）

タイヤ止め　・PC既製品　・樹脂製　・
製造所（製品名）

80. 避難器具

避難器具の種類	形式・仕様等	箇所数	製造所（製品名）
・避難はしご	・一般型（格納箱 ※ ステンレス製 ） （格納箱 ・ 鋼製焼付塗装 ）		
	・避難ハッチ式 （ ※ ステンレス製 ・ 鋼製焼付塗装 ） （ ・ スラブ型 ・ 二重天井型 ） （ ※ 上階操作 ・ 上下階操作 ）		
・緩降機			
・救助袋	・垂直式（格納箱 ※ ステンレス製 ） ・斜降式（格納箱 ・ 鋼製焼付塗装 ）		
	・避難ハッチ式 （ ※ ステンレス製 ・ 鋼製焼付塗装 ）		
・			

● 81. 消火器ボックス
・全埋込型　● 半埋込型　・露出型
材質　※ 電気亜鉛めっき表面処理鋼板加工合成樹脂調合ペイント仕上
・
箇所数：1　箇所　製造所（製品名）ユニオン（UFB-2F-3007）程度

82. 硬質樹脂系保護シート
厚さ(mm)　・1.0　・1.2　・1.5　・2.0
製造所（製品名）

7.塗装改修工事
今回は非該当

● 9.環境配慮改修工事
1. 石綿含有建材の有無調査等除去工事共通事項
・行う（下表による）　・行わない　[9.1.1]

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	※ X線回析分析 ・定性分析方法	※ 3 ・

石綿含有建材の有無の調査　※ 行う　[9.1.1]
石綿粉じん濃度測定　※ 行う
測定室　・図示
測定点　・図示
[9.1.1]及び[9.1.2]による地、関係法令及び関係条例に定める方式により測定する　[9.1.1]
除去工事を行う当該建物の敷地境界において、規制のある場合はその規定に従う
石綿作業主任者は、資格証明書の写しに工事履歴書を添付して監理者に提出し、承諾を受ける

2. 石綿含有吹付け材・石綿含有保温材等の除去工事
石綿含有吹付け材・石綿含有保温材等の石綿含有建材除去処理後の機能回復工事　※ 図示　[9.1.3][9.1.4]

● 3. 石綿含有成形板の処理等
処理を行う石綿含有成形板の仕様等　[9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
ビニル床シート	2	床材撤去範囲

● 10.医療施設工事
1. 放射線遮蔽鉄板
材料

材質・規格品	一枚あたりの厚さ(mm)
※ JIS G 3101（一般構造用圧延鋼材） SS41	※ 50　・
・	※ 50　・

厚みの許容差はプラス側公差とする

工法
(1) 遮蔽鉄板の建て込み時における地震等に対する補強は、建築基準法の規定により行い、事前に構造計算を行い、監理者の承諾を受ける
(2) 壁及び天井遮蔽鉄板には、原則としてボルト等の孔明けはしない。孔明けをする場合は、遮蔽欠損の補填を行う
(3) 壁の遮蔽鉄板と天井の遮蔽鉄板との重なり部には、鉄板を敷き詰める
(4) 釣りピース等はガスで切断し、切断面と溶接面と溶接面をグラインダー等で平滑に仕上げ、次の鉄板を敷き込む
(5) 全ての鉄板取り付けが終了後、鉄板小口を溶接する

2. 放射線遮蔽扉開閉機構及び機能
開閉方法　※ スライディングドア（引き扉）　・
・スイングドア（開き扉）
検出装置の種別　・マットスイッチ　・フットスイッチ　・タッチスイッチ
・

性能及び耐久性
引き扉の開閉力及び開き速度

開閉方法	適用扉重量(kg)	開閉力(kg)	開閉速度(m/sec)	標準扉寸法 幅×高(mm)
片引き	120～1,000	14以上	0.30以下	2,100×2,100
	1,000以上	16以上	0.30以下	2,100×2,100
ステップバック	5,000以上	50以上	0.30以下	2,100×2,100

片開き扉（両開き扉）の開閉トルク及び開き角度

開閉方法	適用扉重量(kg)	開閉力(kg)	開閉速度(θ°/sec)	標準扉寸法 幅×高(mm)
片開き	120～1,000	8以上	3以上	900×2,100
	1,000～3,000	10以上	3以下	900×2,100
	3,000以上	30以上	3以下	900×2,100
両開き	120～1,000	8以上	3以上	2,100×2,100
	1,000～3,000	10以上	3以下	2,100×2,100
	3,000以上	30以上	3以下	2,100×2,100

耐久性は上記表の扉を用いて開閉動作を1万回繰り返し、性能に著しい変化を生じたり、部品に損傷を与えないものでなければならない
施工図など
設計図書に基づき施工図を作成し、監理者に提出の上承諾を受ける

3. 鉛板入り建具
次に示す以外については、16章3節［鋼製建具］による
(1)鉛板は、JIS H 4301を使用する　鉛板の材料厚さ(mm)　・1.5　・2.0　・3.0　・
(2)鉛板の重ねは下記を標準とする。公差は±2mm以下とする
（ｱ）扉と枠の鉛板の重ねは、15mm以上とする
（ｲ）コンクリート壁と枠の鉛板との重ねは、70mm以上とする
（ｳ）鉛板入りプラスターボードと枠の鉛板の重ねは35mm以上とする
（ｴ）扉召し合わせの鉛板と扉の重ねは、20mm以上とする
(3)鉛板は室内側に張り付けること
(4)鉛板は鉄板表面から中桟及び力骨に450mmピッチで小ネジ類を用い止める
(5)建具の吊り金物は、計算に基づき、建具重量に充分耐えうるものとする

4. 放射線散乱防御塗料
表示記号：RPP
製造所

5. 放射線防護工事
放射線防護工事は、所定の性能を有するものとし、専門業者の責任施工とする
また、性能の確認を行うこと
測定方法　・　性能　・

6. MRIシールド工事
MRIシールド工事は、所定の性能を有するものとし、専門業者の責任施工とする
また、性能の確認を行うこと
測定方法　・　性能　・

7. 手術室内装工事
手術室内装工事は、所定の性能を有するものとし、専門業者の責任施工とする
また、性能の確認を行うこと
測定方法　・　性能　・

● 8. ストレッチャーガード
※ 既製品　型式
・特注品
抗菌仕様　・有り　・無し
製造所（製品名）ナカ工業（セフティーラインNS-150V）程度

9. 点滴フック及び点滴レール
製造所（製品名）

● 10. 医療パネル
製造所（製品名）セントラルユニ（UMR-6602FUG）程度

11. 床頭ロッカー
製造所（製品名）

12. 床頭台
製造所（製品名）

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　江口紀子
一級建築士登録番号　第206714号

設計者
総括責任者 山寺美和子 一級建築士 第309931号
担当者 下大園久子 一級建築士 第304817号
担当者 上田紗矢香

件名 横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事
図名 改修特記仕様書ー5　（平成31年版）
縮尺 ー　日付 2021/05（令和3年）
伊藤喜三郎建築研究所
Job-No. 21019
意匠 5

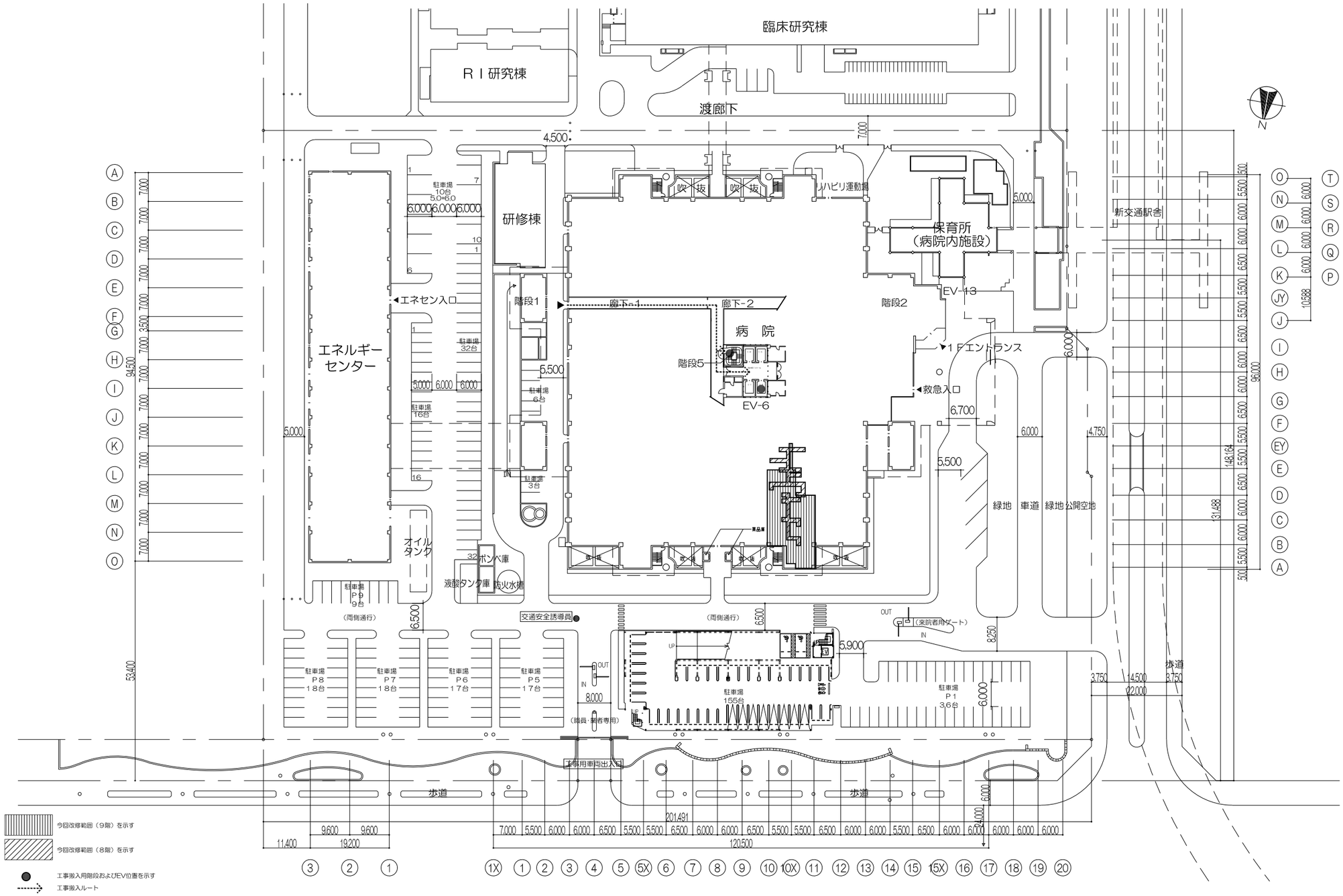
項目 ＼ 工事	建築	電気	衛生	空調	昇降機				別途	備考
負担金等										
負担金（工事用以外のもの）										
イ、 電気引込	・	・	・	・	・				※	
ロ、 水道引込	・	・	・	・	・				※	
ハ、 下水道接続	・	・	・	・	・				※	
ニ、 ガス引込	・	・	・	・	・				※	
引渡しまでの各種料金（基本料金、使用料金共）										
イ、 給水	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
ロ、 ガス	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
ハ、 電気	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
ニ、 油	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
公害調査費及び対策費（工事に関する以外のもの）	・	・	・	・	・				※	
電波受信障害調査費及び対策工事費	・	・	・	・	・				※	
屋外・工作物等										
門扉、囲障	※	・	・	・	・				・	
植樹	※	・	・	・	・				・	
舗装	※	・	・	・	・				・	
擁壁	※	・	・	・	・				・	
ゴミ集積所	※	・	・	・	・				・	
ゴミ焼却炉	※	・	※	・	・				・	焼却炉本体及び据付は衛生工事
屋外貯油槽										
イ、 外郭躯体及び乾燥砂、マンホール	※	・	・	・	・				・	
ロ、 オイルタンク	・	・	・	※	・				・	
ハ、 タンクの据付	・	・	・	※	・				・	
煙 突	※	・	・	・	・				・	
給気塔・排気塔及びコンクリート風道	※	・	・	・	・				・	
ガスガバナー棟	※	・	・	・	・				・	
医療ガスボンベ棟	※	・	・	・	・				・	
コンクリート槽・溝等										
雑用受水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
湧水槽・雨水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
汚水槽・雑排水槽・化学排水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
発電機用冷却水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
コンクリート槽の釜場	※	・	・	・	・				・	
コンクリート槽の通気口、通水口、連通口等	※	・	・	・	・				・	
コンクリート製桝	※	・	・	・	・				・	
コンクリート製グリーストラップ	※	・	・	・	・				・	
既製グリーストラップ	・	・	※	・	・				・	
コンクリート製ガソリントラップ	※	・	・	・	・				・	
ドライエリア、サービスコートの排水溝及び泥溜桝	※	・	・	・	・				・	
駐車場、スロープ等の排水溝及び泥溜桝	※	・	・	・	・				・	
屋内排水溝及び蓋	※	・	・	・	・				・	
各種トレンチピット及び点検口	※	・	・	・	・				・	
設備機器の基礎等										
屋内設備の基礎（建築図にあるもの）	※	・	・	・	・				・	
屋内設備の基礎（建築図にないもの）	・	※	※	※	※				・	各工事別とする
屋上設備の基礎（架台、アンカーボルトを除く）	※	・	・	・	・				・	
屋外設備の基礎（架台、アンカーボルトを除く）	※	・	・	・	・				・	
機器取付け架台、アンカーボルト	・	※	※	※	※				・	各工事別とする
機械室、厨房等の配管用増打コンクリート	※	・	・	・	・				・	
各種設備機器設置のための吊フック	※	・	・	・	・				・	
医療機器用アンカーボルト及び金物の取付	※	・	・	・	・				※	図示あるものは建築工事
医療機器用基礎及び仕上	※	・	・	・	・				※	図示あるものは建築工事
S・SRC・RC造の貫通穴・開口部										
鉄骨部の鋼管スリーブ	※	・	・	・	・				・	
貫通穴のスリーブ	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
開口部の型枠	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
上記３行の補強	※	・	・	・	・				・	
貫通孔・開口部の墨出し	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
貫通穴のスリーブ空隙及び予備貫通穴の充填	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
外壁貫通スリーブの防水	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
ボード等の貫通口・開口部及び吊ボルトインサート										
ＡＬＣパネル等を貫通する配管配線のﾏﾝﾎﾞ明け	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
ＰＣ板を貫通する配管配線のﾏﾝﾎﾞ明け	※	・	・	・	・				・	
壁・天井の軽量鉄骨下地の開口補強	※	・	・	・	・				・	
壁、天井ボード類の切込み	※	・	・	・	・				・	位置出しは各工事別とする
既製間仕切壁等の切込み及び補強	※	・	・	・	・				・	
設備機器・器具・配管・配線用	・	※	※	※	・				・	各工事別とする
給排水その他設備										
雨水用ドレイン及び配管	※	・	・	・	・				・	インサートを含む
フロアードレイン	・	・	※	・	・				・	
屋外雨水排水設備	※	・	・	・	・				・	
雨水第１桝	※	・	・	・	・				・	
屋外雑排水及び汚水排水設備	・	・	※	・	・				・	
同上ます及びますぶた	・	・	※	・	・				・	
浄化槽	・	・	※	・	・				・	点検口、タラップを含む
消防用水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
ＲＩ排水貯留槽	・	・	※	・	・				・	点検口、タラップを含む
電気										
自家発電機用排気筒（横引）	・	※	・	・	・				・	
自家発電機用冷却装置	・	※	・	・	・				・	
自家発電機用冷却装置の一時側給水管、排水管	・	・	※	・	・				・	
自家発電機燃焼用の給排気設備	・	※	・	・	・				・	
自家発電機用給油設備（屋外オイルタンクよりサービスタンク迄）	・	・	・	※	・				・	サービスタンクより発電機までの配管は電気工事
ボイラー操作盤及び二次側配管配線	・	・	・	※	・				・	
冷凍機用動力操作盤及び二次側配管配線	・	・	・	※	・				・	
パッケージ型空調用手元開閉器並に配管配線	・	※	・	・	・				・	
電動シャッター、自動扉の操作盤、押釦取付及び二次側配管配線	※	・	・	・	・				・	
水中ポンプ及びケーブル、電極の取付	・	・	※	・	・				・	
同上制御盤への接続	・	※	・	・	・				・	
映像情報装置	・	・	・	・	・				※	
視聴覚装置及び関連機器	・	・	・	・	・				※	
スタジオ用関係機器	・	・	・	・	・				※	
コンピュータ関連機器及び専用電源	・	・	・	・	・				※	
ページング装置（携帯用受信機共）	・	・	・	・	・				※	
電話交換装置	・	・	・	・	・				※	
防災										
防火戸										
イ、 防火戸閉鎖装置	※	・	・	・	・				・	
ロ、 連動制御装置、煙感知器の取付及配線	・	※	・	・	・				・	
防火シャッター										
イ、 シャッター閉鎖装置	※	・	・	・	・				・	
ロ、 連動制御装置、煙感知器	・	※	・	・	・				・	
防煙垂れ壁										
イ、 防煙垂れ壁閉鎖装置	※	・	・	・	・				・	
ロ、 連動制御装置、煙感知器	・	※	・	・	・				・	
防煙ダンパー										
イ、 ダンパー閉鎖装置（ＳＦＤ）	・	・	・	※	・				・	
ロ、 連動制御装置、煙感知器	・	※	・	・	・				・	
排煙口（機械排煙）										
イ、 排煙口開閉装置	・	・	・	※	・				・	
ロ、 手動の操作箱	・	・	・	※	・				・	遠隔操作及び開閉表示は電気工事
防犯監視設備	・	・	・	・	・				※	
電気錠	※	・	・	・	・				・	一次側電源供給は電気工事
制御										
空調用自動制御機器	・	・	・	※	・				・	
同上配管配線	・	・	・	※	・				・	
同上電源供給	・	※	・	・	・				・	
中央監視										
イ、 電気	・	※	・	・	・				・	
ロ、 空調	・	※	・	・	・				・	
ハ、 衛生	・	※	・	・	・				・	
ニ、 防災	・	※	・	・	・				・	
ホ、 ガス警報	・	※	・	・	・				・	
ヘ、 昇降機	・	・	・	・	※				・	
ト、 搬送	・	・	・	・	・				・	搬送工事とする
各制御盤遠方監視及び操作制御	・	・	・	※	・				・	
動力制御インターロック	・	※	・	・	・				・	
中央監視装置利用のインターロック	・	※	・	・	・				・	
天井吊ファンコイルの手元制御用配管配線	・	・	・	※	・				・	
動力制御盤と中央監視リモート盤間配管配線	・	・	・	※	・				・	
昇降機										
エレベーター三方枠、幕板	・	・	・	・	※				・	
エレベーター化粧枠・化粧幕板	※	・	・	・	・				・	
エレベーター中間ビーム	※	・	・	・	・				・	
エレベーター用吊フック	※	・	・	・	・				・	
エレベーター用インターホン及び監視テレビ	・	・	・	・	※				・	昇降路内の配管配線は昇降機工事
同上昇降路外の配管配線	・	※	・	・	・				・	
エレベーターピット内タラップ	※	・	・	・	・				・	
エレベーターピット内コンセント	・	※	・	・	・				・	
中央監視運行表示板	・	・	・	・	※				・	
地震感知器から制御盤までの配管配線	・	・	・	・	※				・	
器具										
造作流し（排水トラップ付）	※	・	・	・	・				・	水栓、配管接続は衛生工事
既製流し（排水トラップ付）	※	・	・	・	・				・	水栓、配管接続は衛生工事
陶製流し（排水トラップ付）	・	・	※	・	・				・	
洗面化粧台（既製品）	・	・	※	・	・				・	
洗面カウンター（切込みを含む）	※	・	・	・	・				・	器具、水栓、配管接続は衛生工事
洗面器一体型カウンター（排水トラップ付、取付を含む）	※	・	・	・	・				・	水栓取付は衛生工事
コンクリート製流し	※	・	・	・	・				・	
同上水栓目皿、排水トラップ及び配管接続	・	・	※	・	・				・	
ユニットバス本体及び据付	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
浴槽（フタ付）本体及び据付	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
ユニットシャワー本体及び据付	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
鏡	※	・	・	・	・				・	
化粧棚	※	・	・	・	・				・	
厨房器具	・	・	・	・	・				※	
厨房用プレハブ冷蔵室、冷凍室	・	・	・	・	・				※	
システムキッチン	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
ミニキッチン	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
洗濯機用防水パン（排水トラップ付）	※	・	・	・	・				・	接続は衛生工事
ウォータークーラー	・	・	※	・	・				・	据付及び二次側配管共一次側電源供給は電気工事
各種自動販売機	・	・	・	・	・				※	据付及び二次側配管共
避難器具	※	・	・	・	・				・	
排気扇及びウェザーカバー	・	・	・	※	・				・	
同上取付枠及び穴明け	※	・	・	・	・				・	
消火器ボックス	※	・	・	・	・				※	壁埋込型は建築工事
消火器	・	・	・	・	・				※	
壁掛大便器取付スタンド	・	・	※	・	・				・	
その他										
点検口（床、天井、シャフト等）	※	・	・	・	・				・	
外壁取付がらり（防虫網共）	※	・	・	・	・				・	
同上ダンパ（ＦＤ）	※	・	・	・	・				・	
外壁取付ダクト接続用がらり（防鳥網共）	※	・	・	・	・				・	
同上ダンパ（ＦＤ）	※	・	・	※	・				・	
アコーディオンカーテン	※	・	・	・	・				・	
ブラインド	・	・	・	・	・				※	
カーテン、暗幕	・	・	・	・	・				※	
カーテンボックス及びブラインドボックス	※	・	・	・	・				・	
カーテンレール	※	・	・	・	・				・	
ファンコイルカバー	※	・	・	・	・				・	
フリーアクセスフロアー	※	・	・	・	・				・	
電動ラック、移動棚等	・	・	・	・	・				※	
サイン（室名表示、階段表示、案内板等）	※	・	・	・	・				・	
サイン内部照明	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は電気工事
自動ドア	※	・	・	・	・				・	一次側電源供給は電気工事
医療機器等										
蒸溜水製造装置	・	・	・	・	・				※	
純水製造装置	・	・	・	・	・				※	
滅菌水製造装置	・	・	・	・	・				※	
人工透析装置及び二次側配管配線	・	・	・	・	・				※	
ＲＩ用各モニター	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管配線	・	・	・	・	・				※	
医療用プレハブ冷蔵室、冷凍室	・	・	・	・	・				※	
屍体用冷蔵庫、保存庫	・	・	・	・	・				※	
一般ペット用設備ユニット	※	・	・	・	・				・	
ＩＣＵ用医療パネル	・	・	・	・	・				※	
オートクレーブ	・	・	・	・	・				※	
手術用手洗器	・	・	・	・	・				※	
煙器消毒器	・	・	・	・	・				※	
歯科用コンプレッサー	・	・	・	・	・				※	
同上二次側エア配管、及び電源	・	・	・	・	・				※	
ドラフトチャンバーの排気処理装置	・	・	・	・	・				※	
自動現像装置及びミキシングバルブ、流量計、フィルター	・	・	・	・	・				※	
水治療用特殊浴槽	・	・	・	・	・				※	
暗室用特殊照明	・	※	・	・	・				・	
手術室、分娩室の壁埋込医療機器	※	・	・	・	・				・	壁切込み開口補強は建築工事
手術室、分娩室の無影灯	・	・	・	・	・				※	埋込ベースプレートは建築工事
手術室、分娩室のシーリングコラム	・	・	・	・	・				※	埋込ベースプレートは建築工事
バイオクリーンルーム（ＣＬＡＳＳ　　）	・	・	・	・	・				※	
シールド室内装										
放射線シールド	※	・	・	・	・				・	
電磁波シールド	※	・	・	・	・				・	
電波シールド	※	・	・	・	・				・	但し、室内置型のものは別途
防音室内装	※	・	・	・	・				・	但し、室内置型のものは別途
エアーシャワー	・	・	・	・	・				※	
パスボックス	・	・	・	・	・				※	
Ｘ線室　天井走行レール	・	・	・	・	・				※	埋込ベースプレートは建築工事
点滴レール	※	・	・	・	・				・	
点滴フック	※	・	・	・	・				・	
上記以外の別途工事となる各種医療機器本体及び据付	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管、配線、ダクト	・	・	・	・	・				※	
各種医療機器一次側配管立上り、立下り（バルブ止め）	・	・	※	※	・				・	
同上トラップ	・	・	※	・	・				・	
同上電源、手元スイッチ	・	※	・	・	・				・	
一次側ダクト立下り（ダンパー止め）	・	・	・	※	・				・	
ドラフトチャンバー	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管、配線、ダクト	・	・	・	・	・				※	
安全キャビネット	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管、配線、ダクト	・	・	・	・	・				※	
クリーンベンチ	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管、配線	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管、配線	・	・	・	・	・				※	

（注）表中の●印を付したものを適用し、各工事負担とする。
●の付かない場合は、※印付いたものを適用し、各工事負担とする。
●印と◎印の付いた場合は、共に適用し、各工事負担とする。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号 第2215号
設計者 江口紀子
一級建築士登録番号 第206714号

設計者
総括責任者 山寺美和子 一級建築士 第309931号
担当者 下大薗久子 一級建築士 第366817号
担当者 上田紗矢香

件名 横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事
Job-No. 21019
図名 工事区分表
意匠 6
縮尺 ―
日付 2021/05/R03)
伊藤喜三郎建築研究所



特記事項
・現地と図面において、既存状況が異なる場合には現地を優先する。

※工事用車両は敷地北側ゲートを使用し、搬入用ルートは病院の運用に支障がないように協議して進める。
※工事用車両駐車スペース・資材置き場等については、病院側と協議の上場所を決定する。

工事作業時間の基本的制限
①搬入・搬出　：　院内ルートを使用しての搬出入については平日の早朝行うこと。
②騒音・振動工事　：　必ず事前に施主に工事時間帯を報告調整の上実施のこと。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号 設計者 江口 紀子 一級建築士登録番号 第206714号	設計者 総括責任者 山寺 美和子 一級建築士 第309931号 担当者 下大園 久子 一級建築士 第366817号 担当者 上田 紗矢香	件名 横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事		Job-No. 21019
		図名 配置図		意匠
		縮尺 R 1/500(A1) 1/1000(A3)	日付 2021/05(R3)	7
		伊藤喜三郎建築研究所		

表示略号

部位	表示略号	表示事項
一般事項	PRF	塔屋屋上階
	P1F	塔屋1階
	RF	屋上階（塔屋のないもの）
	MF	中2階
	1F	1階
	B1F	地下1階
	BM	ベンチマーク
	GL	基準地盤面
	SL	躯体床面
	FL	基準床仕上面
	CH	天井高さ
	PS	パイプスペース
	DS	ダクトスペース
	EPS	電気配線スペース
	CS	搬送設備スペース
	CH	煙突
	EV	エレベーター
	ESC	エスカレーター
	DW	小荷物専用昇降機
	RC	鉄筋コンクリート
	NRC	無筋コンクリート　溶接金網6φ@100
	CB	コンクリートブロック
	ALC	軽量気泡コンクリートパネル
	ECP	押出成形セメント板
	LGS	軽量鉄骨下地
	W	幅
	L	長さ
	H、h	高さ
	D、d	奥行、直径
	φ	直径
	R、r	半径
	℄	センターライン
	@	間隔
	t、厚	厚さ
床・幅木・壁・天井	VS（ ）	ビニル床シート
	VS-E	ビニル床シート（帯電防止）
	VT（ ）	ビニル床タイル
	VT-E	ビニル床タイル（帯電防止）
	RS（ ）	ゴム床シート
	RT	ゴム床タイル
	LS（ ）	天然リノリウム床シート
	VB	ビニル系軟質幅木
	VB-F	ビニル系半硬質幅木
	VB-H	ビニル系硬質幅木
	CPT	カーペット
	CPT（T）	タイルカーペット
	FAF（ ）	フリーアクセスフロアー
	TL	タイル
	MTL	モザイクタイル
	GB-R	せっこうボード
	GB-S	シージングせっこうボード
	GB-F	強化せっこうボード
	GB-H	硬質せっこうボード
	GB-L	せっこうラスボード
	GB-NC	不燃積層せっこうボード（模様なし）
	GB-NC（T）	不燃積層せっこうボード（トラバーチン）
	GB-D（T）	化粧せっこうボード（トラバーチン）
	GB-D（W）	化粧せっこうボード（木目模様）
	GB-P	吸音用穴あきせっこうボード
	0.8FK	けい酸カルシウム板（無石綿）
	FK-P	吸音用穴あきけい酸カルシウム板（無石綿）
	FK-C	化粧けい酸カルシウム板（無石綿）
	FK-G	施釉硬質けい酸カルシウム板（無石綿）
	FK-D	ダップボストフォームけい酸カルシウム板（無石綿）
	フレキ板	フレキシブル板（無石綿）
	DR	ロックウール化粧吸音板
	DR(凹凸)	ロックウール化粧吸音板（立体模様）
	DR(軒天)	ロックウール化粧吸音板（軒天用）
	DR(軒天凹凸)	ロックウール化粧吸音板（立体模様）（軒天用）
	RW-B	ロックウール吸音ボード
	RW-F	ロックウール吸音フェルト
	GW-B	グラスウール吸音ボード
	GW-F	グラスウール吸音フェルト
	MDF	ミディアムデンシティーファイバーボード
	HW	硬質木毛セメント板
	NW	普通木毛セメント板
	W（A）	天然木化粧合板
	W（B）	不燃天然木化粧板
	VC（ ）	壁紙
	RC（面）	床：コンクリート直均し仕上げ 標仕表6.2.5による
	RC（ ）	壁、天井：コンクリート打放し（種別） （ ）の記載がない場合は、 コンクリート打ちのままとする 標仕表6.2.4による

部位	表示略号	表示事項
塗装	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
	CL	クリアラッカー塗り
	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
	DP	耐候性塗料塗り
	DP（ふっ素）	耐候性塗料塗り（ふっ素樹脂）
	DP（ｼﾘｺｰﾝ）	耐候性塗料塗り（シリコーン樹脂）
	DP（ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ）	耐候性塗料塗り（ポリウレタン樹脂）
	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り
	EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り
	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り
	LE	ラッカーエナメル塗り
	WP	木材保護塗料塗り
	OS	オイルステイン塗り
	防塵	防塵用塗料塗り
	RPP	放射線散乱防護塗料塗り
その他	PF	押出法ポリスチレンフォーム保温板
	A	アルミニウム押出型材
	V	ビニル
	M	モルタル金鏝
	m	タイル下地モルタル
	AS防（ ）	アスファルト防水（種別）
	M防	モルタル防水
	CR（面）	カーテンレール天井面付け
	CR（吊）	カーテンレール天井吊付け
	AC	アコーディオンカーテン
	PR	ピクチャーレール
	BX	カーテンボックス及びブラインドボックス
	LD	洗面化粧台（設備工事）
	L	手洗い（設備工事）
	SK	掃除流し、汚物流し（設備工事）
	UBT	ユニットバストイレ
	US	ユニットシャワー
	UT	ユニットトイレ
	UST	ユニットシャワートイレ
	UB	ユニットバス
	RD	ルーフドレイン
	RDB	バルコニー用ドレイン
	RDR	バルコニー中継用ドレイン
	D	縦樋
	GR	点滴レール
	GH	点滴フック
	HPS	硬質樹脂系保護シート
	W	製材
	WL	造作用集成材
	WL（化）	化粧ばり造作用集成材
	WLP（化）	化粧ばり構造用集成柱
	MDF（化）	化粧張りMDF
	LVL	造作用単板積層材

表示記号

表示事項	表示記号 S=1/200	表示記号 S=1/100	表示記号 S=1/50	標準詳細図番号及び部分詳細図番号
鉄筋コンクリート				
無筋コンクリート				
コンクリートブロック				
ALCパネル、押出成形セメント板				【2-31-1】
軽量鉄骨下地壁				【2-21-1】【2-22-1】【2-23-1】【2-24-1~8】
軽量鉄骨下地壁（鉛板入）		Pb	Pb	【2-21-1】【2-22-1】【2-23-1】【2-24-1~8】
可動間仕切			PT	
コンクリート増打ち				
保温・断熱・吸音材				【7-01-1】（寒冷地）【7-01-2】（標準地及び暖地）
カーテンレール　天吊型		CR(吊)	CR(吊)	
直付型		CR(面)	CR(面)	
アコーディオンカーテン		AC	AC	
ピクチャーレール		PR	PR	
シャッター	SS	SS	SS	
防煙垂壁（固定式）	SM	SM	SM	回転降下式：SMF 垂直降下式：SMR
床点検口				
床点検口（密閉型）		密	密	
鋳鉄製マンホール蓋				
天井点検口				
天井点検口（気密型）		AT	AT	
タラップ（一般型ステンレス製）		T	T	【8-31-1】
タラップ（梯状型ステンレス製）		Ⓣ	Ⓣ	【8-31-2】
タラップ（かご付ステンレス製）		Ⓣ	Ⓣ	【8-31-3】
第一雨水桝				【9-14-1~2】
縦型ルーフドレイン		RD	RD	【5-31】【5-32】【5-33】
横型ルーフドレイン	RD	RD	RD	【5-31】【5-32】【5-33】
バルコニードレイン		RDB	RDB	【5-31】【5-32】【5-33】
バルコニー中継用ドレイン		RDR	RDR	【5-31】【5-32】【5-33】
縦樋 特記なき限り　φ	○	○D	○D	【5-31】【5-32】【5-33】
縦樋(ステンレス製) 特記なき限り　φ	○	○D(SUS)	○D(SUS)	
縦樋(アルミバンドレス) 特記なき限り　φ	○	○D(A)	○D(A)	
廊下手摺		手摺	手摺	【DT-OOO】
ストレッチャーガード		SG	SG	【DT-OOO】
コーナーガード（樹脂製）				【DT-OOO】
コーナーガード（木製）				【DT-OOO】
コーナーガード（ステンレス製）				【DT-OOO】
コーナーガード（ゴム製）				【DT-OOO】
消火器ボックス		F	F	【DT-OOO】
丸環				【DT-OOO】
分電盤（電気設備工事）		分電盤	分電盤	
端子盤（電気設備工事）		端子盤	端子盤	
屋内消火栓（機械設備工事）		補助散水栓	補助散水栓	
連結送水管放水口（機械設備工事）		連結送水管	連結送水管	

外部仕上共通事項　特記なき限り下記による

	種　別	種　別		
床	・大型床タイル【1-01-5】（・200角　・　）	・	腰	※壁、柱、はりに同じとする
	・一般床タイル及びユニットタイル【1-01-6】（・　角）	・		
	・RC（面）	・	屋根	※下地RCのうえ、
	・天然石（ひき石）【1-01-9】	・		・アスファルト防水（A-3）、ポリエチレンフィルム厚さ0.15㎜
壁・柱・はり	※RC（B）増打厚さ20㎜【2-02-8~11　※出隅面取り=20㎜　・出隅角面取り=20×20㎜】のうえ、			押さえコンクリート厚さ80㎜直均し仕上げ、伸縮調整目地
	・複層塗材（　）　・外装薄塗材（　）　・AE塗り　・塗装なし　・　・			※アスファルト防水（A I -3）、P F 板厚さ（　）㎜、フラットヤーンクロス（70g/㎡ 程度）
	・磁器質タイル密着張り　【2-01-4　躯体面の処理　・MCR工法　・目荒し工法】			押さえコンクリート厚さ80㎜（溶接金網入り）直均し仕上げ、伸縮調整目地
	・磁器質タイルマスク張り【2-01-7　躯体面の処理　・MCR工法　・目荒し工法】			・アスファルト防水（D-2）
	・磁器質タイル接着張り　【2-01-10　躯体面の処理　・MCR工法　・目荒し工法】			・
				・

内部仕上共通事項　特記なき限り下記による

	仕上種別	詳細番号
床	VS、VS-E、VT、VT-E、LS、LT	【1-01-4：t=10】RC
	磁器質タイル	【1-01-5または6】
	天然石（ひき石）	【1-01-9】
	カーペット	【1-02-4、1-02-5】に準ずる
	タイルカーペット	【1-02-5】に準ずる
	たたみ	【1-02-1~3】
	天然木化粧複合フローリング	【1-02-6~9】
	RC、床用塗料、防塵用塗料	【1-01-3：t=10】RC
	モルタル、防水モルタル	【1-01-1】防水モルタル厚（※15　・30）
	（1）　床仕上の異なる部分には、　・くつずり【4-31-1】　・目地棒【4-31-2】とする	

	仕上種別	高さ(㎜)	詳細番号
幅木	VB	・100　・60　●75	【2-11-1】
	VB-F	・100　・60　・	【2-11-1】
	VB-H	・100　・60　・	【2-11-1】
	VS（床シート巻き上げ）	●100　・60　・	【2-11-2】
	（1）　VS（床シート巻き上げ）の壁との取り合いは、ジョイナー（※塩ビ製　・アルミ製）とする		

	種　別	厚さ(㎜)			
壁・柱型	GB-R	・ 9.5（準不燃）	●12.5（不燃）	・15　（不燃）	
	GB-S	・ 9.5（準不燃）	・12.5（準不燃）	・12.5（不燃）	
	GB-F	・12.5（不燃）	・15　（不燃）	・21　（不燃）	
	GB-H	● 9.5（不燃）	・12.5（不燃）	・15　（不燃）	
	GB-L	・ 7　（不燃）	・ 9.5（不燃）		
	GB-NC	・ 9.5（不燃）			
	0.8FK	・ 6　（不燃）	・ 8　（不燃）	・10　（不燃）	・12　（不燃）
	FK-C	・ 5　（不燃）	・ 6　（不燃）		
	FK-G	・ 4　（不燃）	・ 6　（不燃）	・10　（不燃）	
	GW-B	・25　（不燃）	・50　（不燃）		

ボード2枚張の場合（LGS下地一般壁）

種　別	下張(㎜)	上張(㎜)	種　別	下張(㎜)	上張(㎜)
GB-R+GB-H	12.5	9.5			

（1）　RCまたはCB下地の場合はGL工法とし、継目処理及びボードの種別は下記とする
- 【2-03-6】（塗装仕上げ及び壁紙張りの場合）　種別：
- 【2-03-9】（仕上げ等を行わない場合）　種別：
- 【2-03-15】（塗装仕上げ及び壁紙張りの場合）　種別：　＋
- 【2-03-18】（仕上げ等を行わない場合）　種別：　＋

（2）　LGS下地壁の継目処理は下記とする
- ●【2-03-10】（塗装仕上げ及び壁紙張りの場合）
- 【2-03-13】（仕上げ等を行わない場合）

（3）　LGS下地壁とGL工法の壁が取り合う場合は　●【2-24-4】　・【DT-OOO】とする
（4）　吸音材（GW-B）張り（RC又はCB下地）は【2-02-13】とする
（5）　モルタルは【2-02-12】とする
（6）　コンクリート打放しの出隅面取りは10㎜とする（梁型とも）
（7）　下り壁【3-12-1：※塩ビ製見切縁　・アルミ製見切縁】は仕上げ壁と同じとする。ただし下地張りは無しとする
（8）　ボード壁とRC又はCB壁との取合いは【2-24-7：継目処理の場合、塩ビ製見切縁】とする
（9）　ボード壁とサッシ取合いは【2-24-8】　●【DT-新設DO1】とする
（10）押入【6-46-1】の壁はGB-R厚さ12.5㎜塗装なし突き付けとする
（11）タイル張りは【2-01-O：t=O】とする
（12）FK-C、FK-Gの目地は、・目地シール W=6　・アルミジョイナー【2-04-1】　・突き付け　とする
（13）LGS下地壁と取り合うフラットデッキプレートはカットする

	種　別	厚さ(㎜)			
天井	GB-R	・ 9.5（準不燃）	・12.5（不燃）		
	GB-S	・ 9.5（準不燃）	・12.5（準不燃）	・12.5（不燃）	
	GB-NC	● 9.5（不燃）			
	GB-NC(T)	・ 9.5（不燃）			
	GB-D(T)	・ 9.5（準不燃）			
	GB-D(W)	・ 9.5（準不燃）			
	0.8FK	・ 6　（不燃）	・ 8（不燃）	・10（不燃）	・12（不燃）
	FK-C	・ 5　（不燃）	・ 6　（不燃）		
	FK-G	・ 4　（不燃）	・ 6　（不燃）	・10　（不燃）	
	DR	・ 9　（不燃）	●12　（不燃）		
	DR(凹凸)	・12　（不燃）	・15　（不燃）	・19　（不燃）	
	DR(軒天)	・ 9　（不燃）	・12　（不燃）		
	DR(軒天凹凸)	・12　（不燃）	・15　（不燃）		
	GW-B	・25　（不燃）	・50　（不燃）		

詳細番号
【3-01-2】
【3-01-2】
下地は製造所の仕様とする
【3-01-1】
【3-01-4】
【3-01-4】
【3-01-4】
【3-01-4】
【3-01-12】

ボード2枚張の場合（LGS下地一般壁）

種　別	下張(㎜)	上張(㎜)	種　別	下張(㎜)	上張(㎜)
GB-NC+DR	9.5	12.0			

（1）　ボード張りの下地は軽量鉄骨天井下地とし、【3-21-1】【3-21-2】【3-21-3】【3-41】【3-42】とする
（2）　押入【6-46-1】の天井は、GB-R厚さ12.5㎜塗装なし突き付けとする
（3）　壁~天井の取合いは天井付き目地【3-11-3、4、7、8、　※塩ビ製見切縁　・アルミ製見切縁】とする
（4）　DRの下張りは、・GB-R厚9.5　・GB-R厚12.5　※GB-NC厚9.5　とする
（5）　GB-NC(T)の大きさは、※910×455　・910×910とする
（6）　塗装仕上げ及び壁紙張りの場合のGBは縦目処理とする
（7）　外部軒天のDR(軒天)、DR(軒天凹凸)の下地は、・GB-S厚9.5（準不燃）　※GB-S厚12.5（不燃）とする
（8）　FK-C、FK-Gの目地は、・目地シール W=6　・アルミジョイナー　・突き付け　とする

壁紙	表示略号	材料区分	防火性能（直張り） 不燃下地	不燃石膏ボード下地	準不燃下地	金属下地	防火種別
	VC	塩化ビニル樹脂系壁紙		不燃 NM			
	VC（1）						
	VC（2）						
	VC（3）						
	VC（4）						
	VC（5）						

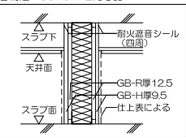
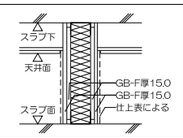
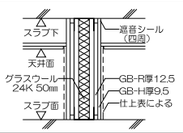
（1）　壁紙材料については、上記の認定材料を使用する

仕上塗材	種類	呼び名	防火性能

塗装	表示略号	防火性能
	・NM-8585塗料塗装／不燃材料　・QM-9816塗料塗装／準不燃材料　・RM-9364塗料塗装／難燃材料	

断熱材	種類	適合する規格	厚さ	施工部位

壁リスト（LGS下地壁）　耐火壁はすべて非耐力壁とする

乾式耐火壁A（1時間耐火・遮音）a		撤去乾式耐火壁B（1時間耐火・遮音）b			
耐火構造：FP060NP-0200同等品					
遮音構造：SOI-0112同等品					
					
一般壁（遮音）a					
【2-23-1】					
					

特記事項
・現地と図面において、既存状況が異なる場合には現地を優先する。

（1）各項目の※及び・の選用は特記仕様書と同じとする
（2）【O-OO-O】内の数字は建築工事標準詳細図の詳細番号を示す
（3）【DT-OOO】内の数字は部分詳細図の詳細番号を示す

工事作業時間の基本的制限
①搬入・搬出　：　院内ルートを使用しての搬出入については平日の早朝行うこと。
②騒音・振動工事　：　必ず事前に施主に工事時間帯を報告調整の上実施のこと。

株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　江口　紀子
一級建築士登録番号　第206714号

設　計　者
総括責任者 山寺　美和子 一級建築士 第309931号
担当者 下大迫　久子 一級建築士 第366817号
担当者 上田　妙矢香

件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事		Job-No. 21019
図名	表示略号・記号、仕上共通事項		意匠
縮尺	—	日付　2021/05(R3)	8
	伊藤喜三郎建築研究所		

建具表示略号及び記号

表示略号

略号	建　具
AD	アルミニウム製戸
AW	アルミニウム製窓
AG	アルミニウム製がらり
ACW	アルミニウム製カーテンウォール
ATL	アルミニウム製トップライト
PVD	樹脂製戸
PVW	樹脂製窓
SD	鋼製戸
SH	鋼製吊り引き戸
SW	鋼製窓
SG	鋼製がらり
SCW	鋼製カーテンウォール
LD	鋼製軽量戸
LH	鋼製軽量吊り引き戸
SSD	ステンレス製戸
SSH	ステンレス製吊り引き戸
SSW	ステンレス製窓
SS	重量シャッター
LS	軽量シャッター
GD	ガラス製戸
GW	ガラス製窓
GWS	大型ガラススクリーン
WD	木製戸
H	ふすま
P	障子
PT	可動間仕切
SLW	移動間仕切
SM	防煙たれ壁（固定式）
SMF	防煙たれ壁（回転降下式）
SMR	防煙たれ壁（ロール式）
記号	防火設備
F	特定防火設備
f	法二条第九号の二ロに規定する防火設備
記号	特殊建具
Pb t=○.○	放射線防護用鉛入り建具 t=鉛厚さ(mm)
Sh	電波・磁気防護用建具
記号	特記事項
自動	自動ドア
電動	電動シャッター
電気	電気錠
電テ	電気錠（テンキー式）
電カ	電気錠（カード式）
電指	電気錠（指紋照合式）
BL	明色ブラインド有

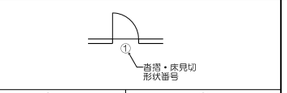
建具記号記入事項

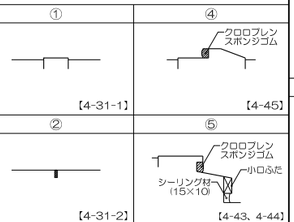
略号	ガラス	略号	ヒンジ	略号	ヒンジ
P	フロート板ガラス	TH	丁番	LH	ラバトリーヒンジ
F	型板ガラス	PH	ピボットヒンジ	GH	グラビティヒンジ
WP	線入板ガラス	FH	フロアヒンジ	LOH	ロングヒンジ
WF	線入型板ガラス	HC	ヒンジクローザー		
NP	網入板ガラス	略号	取　手	略号	取　手
NF	網入型板ガラス	ノブ	握り玉	押板	押板
T	強化ガラス	レバ	レバーハンドル	ケース	ケースハンドル
HAP	熱線吸収フロート板ガラス	引手	引手	掘込	掘り込み引手
HANP	熱線吸収網入磨き板ガラス	押棒	押棒		
HAWP	熱線吸収線入り磨き板ガラス	略号	錠		
HANF	熱線吸収網入り型板ガラス	モノ	モノロック		
HR	熱線反射ガラス	本モノ	本締り付モノロック		
DS	倍強度ガラス	箱錠	シリンダー箱錠（片面サムターン）		
DSHA	倍強度熱線吸収ガラス	引戸	引戸錠		
L	合わせガラス	引違	引違い戸錠		
		本締	シリンダー本締り錠		
断熱複層ガラス（日射取得型）		点検	点検口錠		
	室外側 / 中空層 / 中間 / 中空層 / 室内側 / ガラス建築確認記号	表示	表示付錠		
IG(断)		空錠	空錠		
IG(断)-1		グレ	グレモン錠		
IG(断)-2		電気	電気錠		
IG(断)-3		電テ	電気錠（テンキー式）		
日射熱遮へい複層ガラス（日射遮蔽型）		電カ	電気錠（カード式）		
	室外側 / 中空層 / 中間 / 中空層 / 室内側 / ガラス建築確認記号	電指	電気錠（指紋照合式）		
IG(遮)		略号	ドアクローザー		
IG(遮)-1		DC	標準タイプ		
IG(遮)-2		CN	コンシールドタイプ		
IG(遮)-3		SL	スライドクローザー		
A：空気層　Ar：アルゴンガス層		略号	吊り引戸形式		
		S(P)型	両側戸袋パネル型（ポケットタイプ）		
略号	ガラス用フィルム	S(S)型	片側戸袋パネル、片側袖壁型（片戸袋タイプ）		
GF	ガラス用フィルム	S(O)型	片側戸袋パネル、片側戸露出型（オープンタイプ）		
		S(N)型	片側袖壁、片側戸露出型（戸袋なしタイプ）		
略号	額縁・巾板・その他	E型	外付け、戸露出型		
A	アルミ製　仕上：	BK型	LGS壁内納まり型		
PV	樹脂製　仕上：	BR型	LGS壁内納まり型（レール傾斜式）		
SS	ステンレス製　仕上：	BNR型	LGS壁内納まり型（レール傾斜式、メンテナンスパネル無）		
S	鋼製　仕上：	BWA型	LGS壁内納まり型（レール傾斜式、二連式ポケット型後戸タイプ）		
W	木製　仕上：	BW(O)型	片側戸袋パネル、片側露出型(二連式、オープンタイプ)		
		BW(N)型	片側袖壁、片側露出型(二連式、戸袋なしタイプ)		

平面図（キープラン）表示記号

沓摺・床見切形状

沓摺表示記号

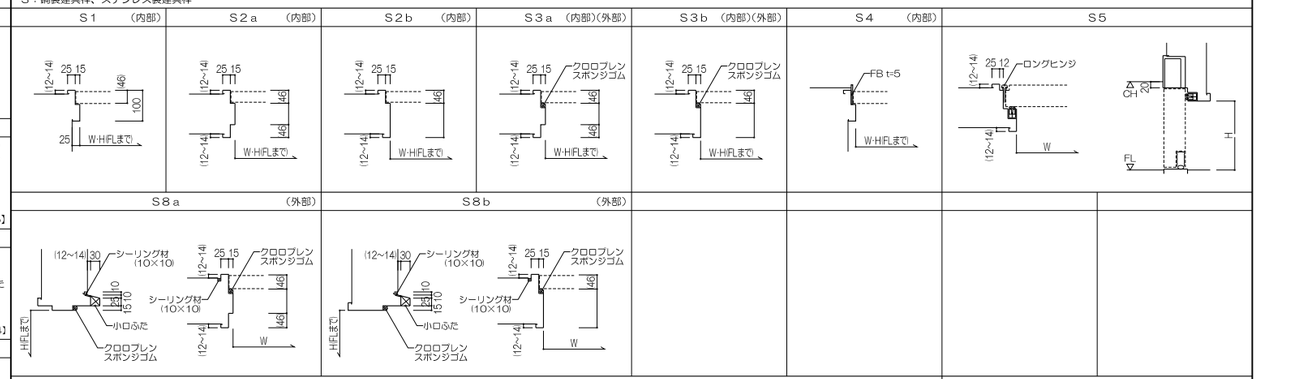




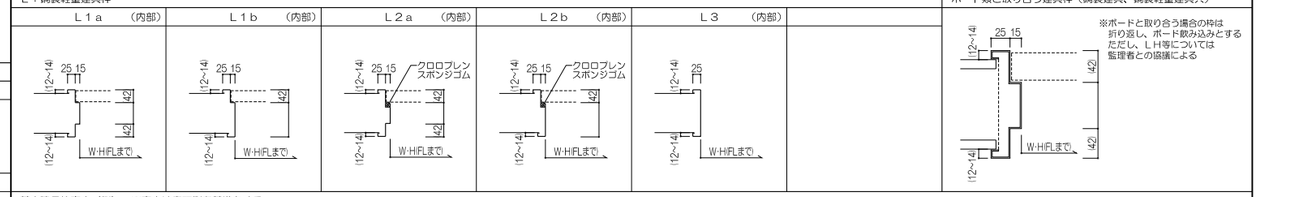
ドアクローザー	吊り引き戸ストップ機構
ドアクローザー	ストップ機構付
（ストップ機構付）	
ドアクローザー	ストップ機構付
（ストップ機構なし）	
フロアヒンジ	ストップ機構なし
FH	（煙感知器連動）
ヒンジクローザー	
HC	

建具枠

S：鋼製建具枠、ステンレス製建具枠



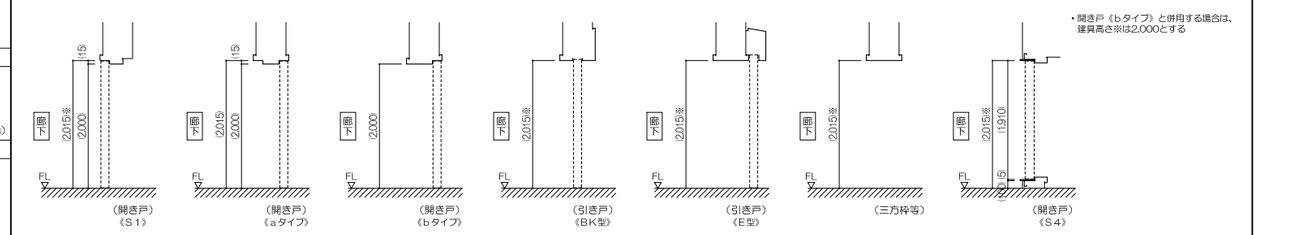
L：鋼製軽量建具枠



ボード類と取り合う建具枠（鋼製建具、鋼製軽量建具共）

※ボードと取り合う場合の枠は折り返し、ボード飲み込みとする
ただし、LH等については監理者との協議による

基本建具枠高さ（例）　※高さは廊下側を基準とする



・開き戸《bタイプ》と併用する場合は、建具高さ※は2,000とする

建具共通事項　　特記なき限り下記による

1．共通事項

1）建具本体・枠
（1）がらりは開口率30%以上、外部のがらりは全てステンレス防鳥網付きとする
（2）ダクト接続のがらりには四方枠（L-30×30×3 錆止め塗料塗り、アルミPL-2.0、D=150、断熱材吹付t=25）取付けとする【4-52-7】
（3）手摺取付部分には、下地補強プレート t=1.0を裏打ちすること

2）ガラス
（1）網入りガラスは、網の切り口を防錆処理すること

3）建具金物
（1）扉取手の高さは、FL+1,000㎜とする
（2）マスターキーグループについては、監理者の指示による

4）取り合い
（1）床仕上の異なる部分に取り付く建具下枠部には、扉の下部になるように沓摺又は床見切を設置すること

5）入退室管理システム（詳細は図示による）
・行う　　・行わない
・非接触カードリーダー　・テンキーパッド　・磁器カードリーダー　・指紋照合機

2．アルミニウム製建具

1）建具本体・枠
（1）外部建具は結露受け取付けとし建具枠との取合いはシーリングのこと
（2）外倒排煙窓は45度以上開放とする
（3）枠見込みは、（　・70㎜　・100㎜　）とする

2）建具金物
（1）排煙オペレーター及び電気錠等の配線、配管及び操作ボックス等は埋込型とする
（2）排煙オペレーターは隠蔽タイプとし、開放押ボタン・閉鎖手動ハンドル回転式とし、取付高さは原則としてFL+1,300㎜とする
（3）開き窓、回転窓等のストッパー、アーム等はステンレス製とする
（4）クレセントは大型レバータイプ、非常口を除き錠付とし、取付け高さは、FL+800以上FL+1,500以下とする

3）取り合い
（1）諸板、額縁は見付25㎜、見込は各部壁仕上面よりチリ10㎜とする

3．鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、木製建具

1）建具本体・枠
（1）開き戸、引き戸は原則として両面フラッシュとし、片面フラッシュ使用箇所は建具表による
（2）EP-G仕上とする
（3）鋼製軽量建具の召し合わせ、縦小口包み等の材質は特記による

2）建具金物
（1）壁当りとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を100㎜程度とし、ドアクローザーの有無にかかわらず戸当り（ステンレス製・ゴムクッション付）を設ける
（2）親子開き、両開きの防火戸には、順位調整器取付のこと
（3）防火戸に用いるドアクローザー、フロアヒンジ、ヒンジクローザーはストップ機構なしとする
（4）防火戸には子扉側にもドアクローザーを設置する
（5）外部開き戸に取付くドアクローザーは、バックチェック機能付きとする
（6）外部開き戸に取付く戸当たりは、あおり止め（フック）付きとする
（7）ドアクローザー（標準タイプ）は焼付塗装品（　・ホワイト　・シルバー　・　　・特注色　）とし、原則として室内側取付けとする
また、室内、室外の区別が難しい場合は、監理者と協議すること
（8）両開き戸及び親子開き戸はフランス落し（上げ落し）付きとする
（9）扉見込寸法は下表による

SD及びSSD	LD	WD
40 (H=2,400未満、W=1,050以下)	36 ～ 40	30 (H=1,000未満、W=900以下)
50 (H=2,400以上、W=1,600以下)	H	36 (H=1,800未満、W=900以下)
50 (H=2,700以上、W=1,500以下)	21 (戸ふすまは30)	40 (H=2,400未満、W=900以下)
60 (H=3,200以上、W=2,000以下)	P	
	24	

（10）建具金物は下表による

建具形式	ヒンジ	取　手	錠	ドアクローザー	備　考
一般開き戸	●TH　・PH	レバ	箱錠	DC	
常時閉鎖式防火戸	・TH　・PH	レバ	空錠	DC	
随時閉鎖式防火戸	・HC	ケース	空錠		
点検扉	・隠し丁番	ケース	点検	DC	PS・EPS
機械室等の開き戸	・LOH　・	グレ	本締	DC	

4．鋼製軽量吊り引戸

1）建具本体・枠
（1）鋼製軽量吊り引き戸（E型）取付箇所の三方枠は、鋼製軽量吊り引き戸に含むものとする
（2）戸袋の有無、片面、両面の仕様については建具表による

2）建具金物
（1）手動開放、自動閉鎖装置付とする
（2）建具金物は下表による

建具形式	ヒンジ	取　手	錠	ドアクローザー	備　考
吊り引戸		押棒	本締		

（3）その他の機能の適用は下記による
・フリーストッパー
・オートストッパー
・全開時ストッパー
・非常解除型全開時ストッパー
・戸袋引き込み部プロテクトラバー
・戸当りゴム　・ガード付戸当りゴム　・戸尻ゴム
・戸袋パネルコーナーガード
・キックプレート SUS304 t=1.0HL、H=300、両面

5．自動ドア

（1）自動ドアは、電源を切った場合又は停電時手動開放方式とする
（2）自動ドアは、全て電源スイッチ付きとする（ステンレススイッチボックス、鍵付）
（3）扉枠見付は、W=　㎜とし、ドア上フレームは、（　・無し　・有り　）とする
（4）キックプレート SUS304 t=1.5 HL（H=300～350）を、（　・設置する　・設置しない　）
（5）自動ドアガードは特記による
（6）非常電源装置（　・非常時開放用　・非常時閉鎖用　）を、（　・設置する　・設置しない　）
（7）電気錠（　・停電時施錠型／手動解錠装置付　・停電時解錠型／手動解錠装置付　）を、（　・設置する　・設置しない　）

6．可動間仕切

（1）設備用開口（100×50程度）を含むものとし、取付位置は監理者の指示による
（2）防火性能は不燃以上とする

7．移動間仕切

（1）扉付の場合の取手は、（　・ケースハンドル　・フラットレバーハンドル　）とする

特記事項
・現地と図面において、既存状況が異なる場合には現地を優先する。

（1）各項目の※及び ・ の適用は特記仕様書と同様とする
（2）【O-OO-O】内の数字は建築工事標準詳細図の詳細番号を示す
（3）【DT-OOO】内の数字は部分詳細図の詳細番号を示す

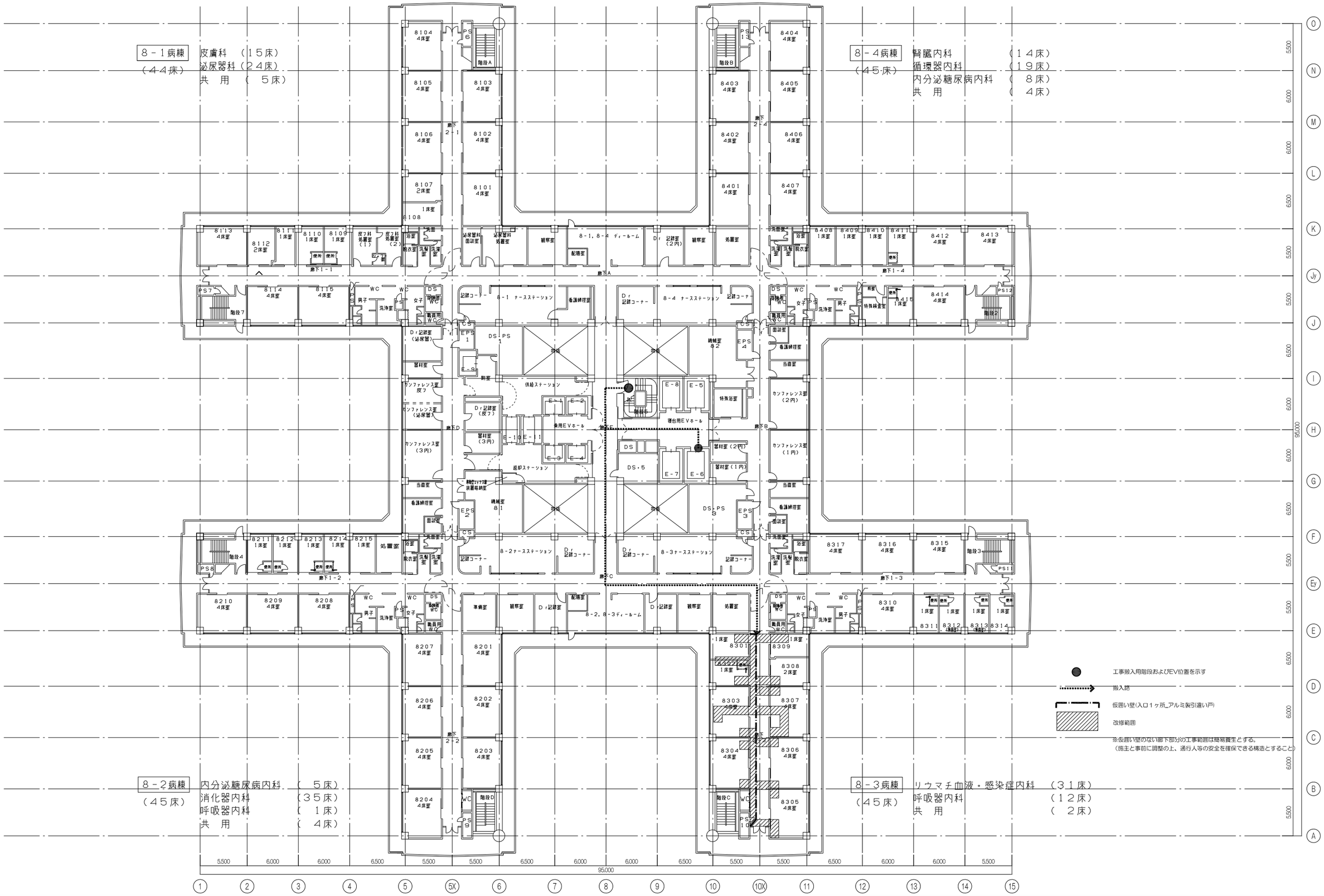
工事作業時間の基本的制限
①搬入・搬出　：　院内ルートを使用しての搬出入については平日の早朝行うこと。
②騒音・振動工事　：　必ず事前に施主に工事時間帯を報告調整の上実施のこと。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
設 計 者　江口 紀子
一級建築士登録番号　第206714号

設　計　者
総括責任者 山寺 美和子 一級建築士 第309931号
担当者 下大迫 久子 一級建築士 第366817号
担当者 上田 紗矢香

件 名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事
図 名	建具表-1（共通事項編）
縮 尺	－
日 付	2021/05(R3)
Job-No.	21019
	意匠 9

伊 藤 喜 三 郎 建 築 研 究 所



特記事項
・現地と図面において、既存状況が異なる場合には現地を優先する。

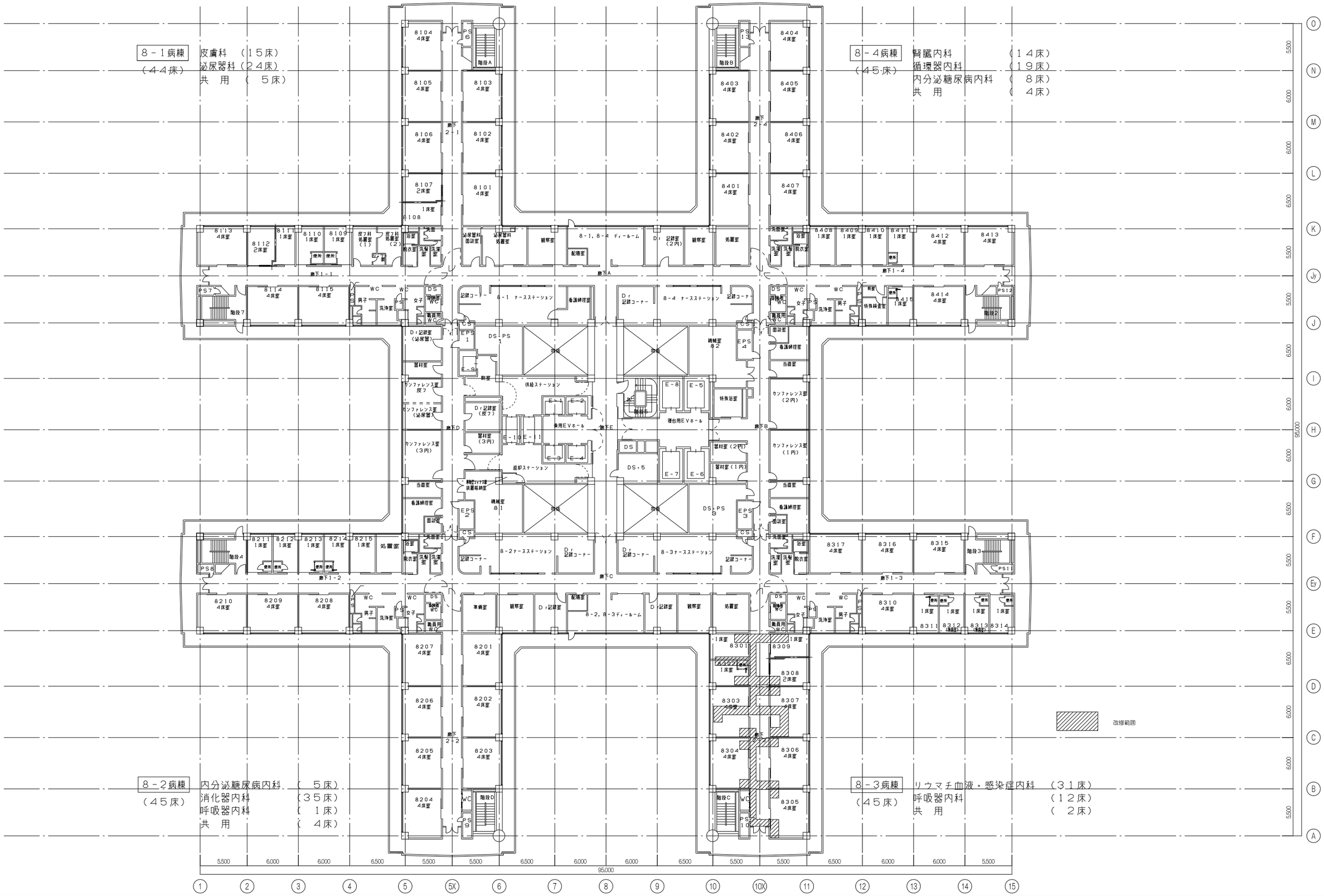
工事作業時間の基本的制限
①搬入・搬出　：　院内ルートを使用しての搬出入については平日の早朝行うこと。
②騒音・振動工事　：　必ず事前に施主に工事時間帯を報告調整の上実施のこと。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　江口 紀子
一級建築士登録番号　第206714号

設計者
担当責任者 山寺 美和子 一級建築士 第309931号
担当者 下大園 久子 一級建築士 第366817号
担当者 上田 紗矢香

件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事	Job-No. 21019
図名	8階全体平面図(改修前)	意匠
縮尺 A1:1/200 A3:1/400	日付 2021/05(R3)	10

伊藤喜三郎建築研究所



特記事項
・現地と図面において、既存状況が異なる場合には現地を優先する。

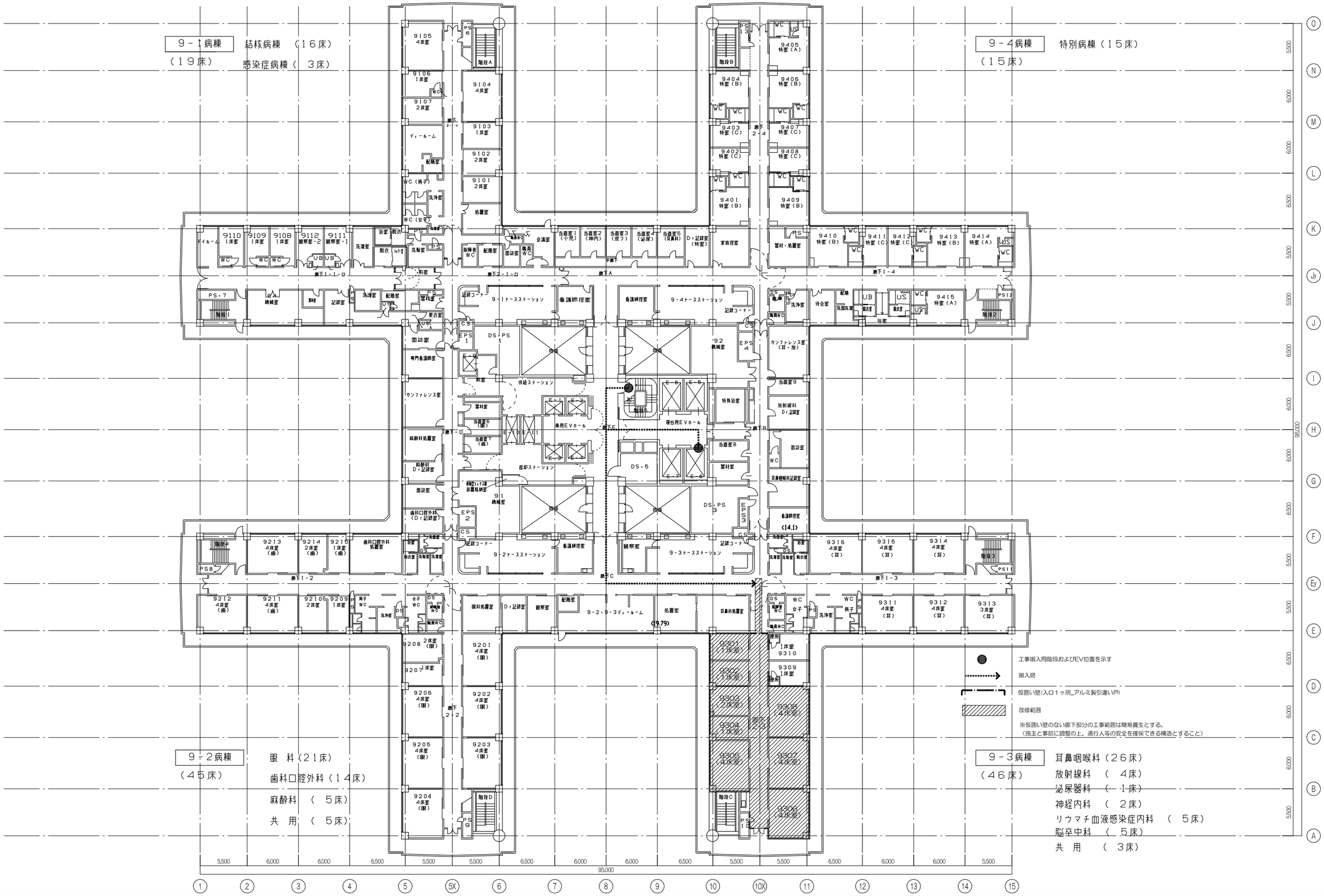
工事作業時間の基本的制限
①搬入・搬出　：　院内ルートを使用しての搬出入については平日の早朝行うこと。
②騒音・振動工事　：　必ず事前に施主に工事時間帯を報告調整の上実施のこと。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　江口 紀子
一級建築士登録番号　第206714号

設計者
総括責任者 山寺 美和子 一級建築士 第309931号
担当者 下大園 久子 一級建築士 第366817号
担当者 上田 紗矢香

件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事	Job-No. 21019
図名	8階全体平面図(改修後)	意匠
縮尺 A1:1/200 A3:1/400	日付 2021/05(R3)	11

伊藤喜三郎建築研究所



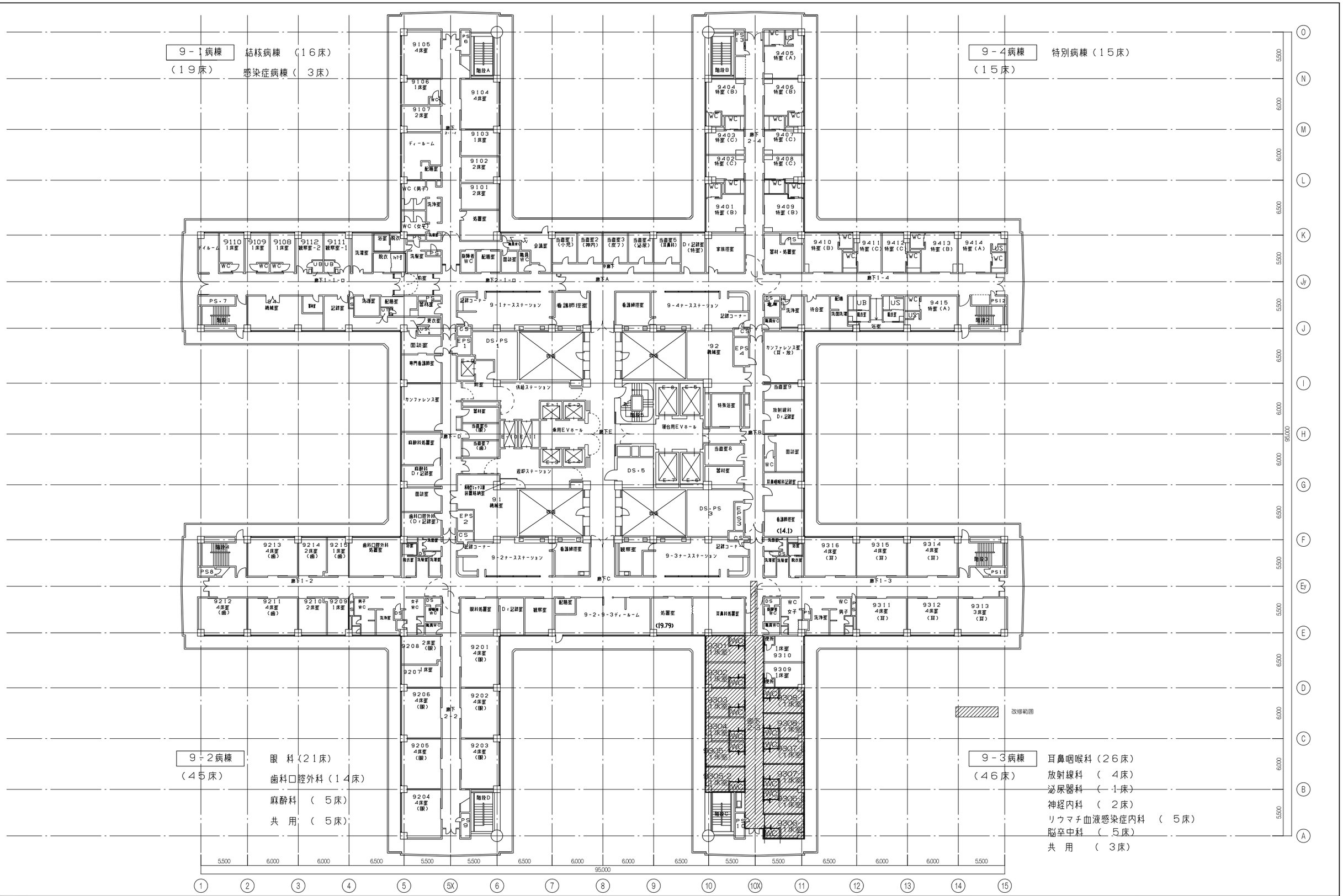
特記事項
・現地と図面において、既存状況が異なる場合には現地を優先する。

工事作業時間の基本的制限
①搬入・搬出　：　院内ルートを使用しての搬出入については平日の早朝行うこと。
②騒音・振動工事　：　必ず事前に施主に工事時間帯を報告調整の上実施のこと。

株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設　計　者　江口　紀子
一級建築士登録番号　第206714号

設計者			
総括責任者 山寺　美和子 一級建築士 第269931号	担当者 下大薗　久子 一級建築士 第269317号	担当者 上田　妙矢香	

件名	横浜市立大学附属病院9~3病棟個室化改修工事	Job-No. 21019
図名	9階全体平面図(改修前)	意匠
縮尺 A1:1/200 A3:1/400	日付 2021/05(R3)	12
伊藤喜三郎建築研究所		



特記事項
・現地と図面において、既存状況が異なる場合には現地を優先する。

工事作業時間の基本的制限
①搬入・搬出　：　院内ルートを使用しての搬出入については平日の早朝行うこと。
②騒音・振動工事　：　必ず事前に施主に工事時間帯を報告調整の上実施のこと。

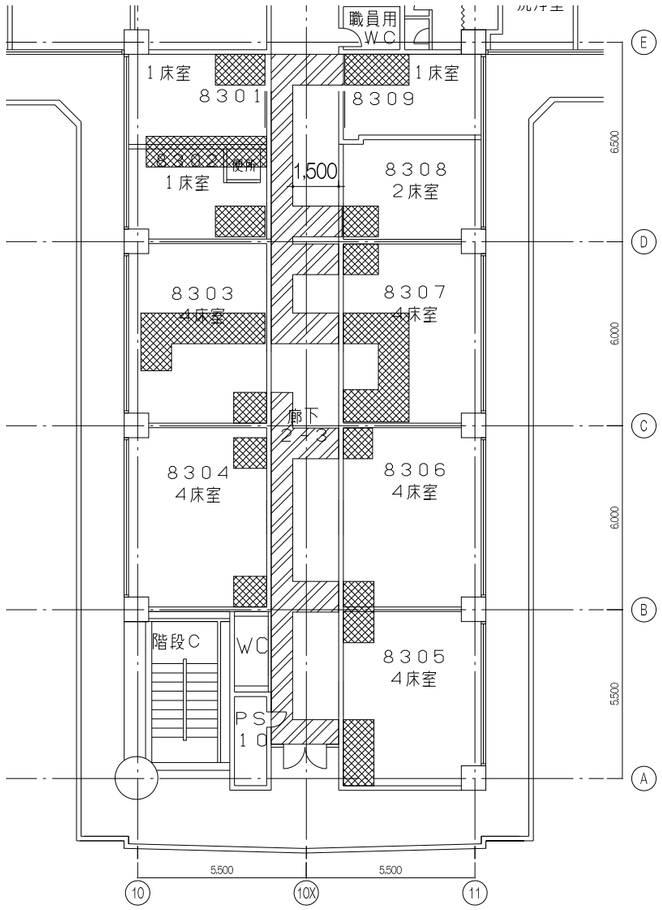
株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設 計 者　江口 紀子
一級建築士登録番号　第206714号

設計者				
総括責任者 山寺 美和子 一級建築士 第309931号	担当者 下大園 久子 一級建築士 第366817号	担当者 上田 紗矢香		

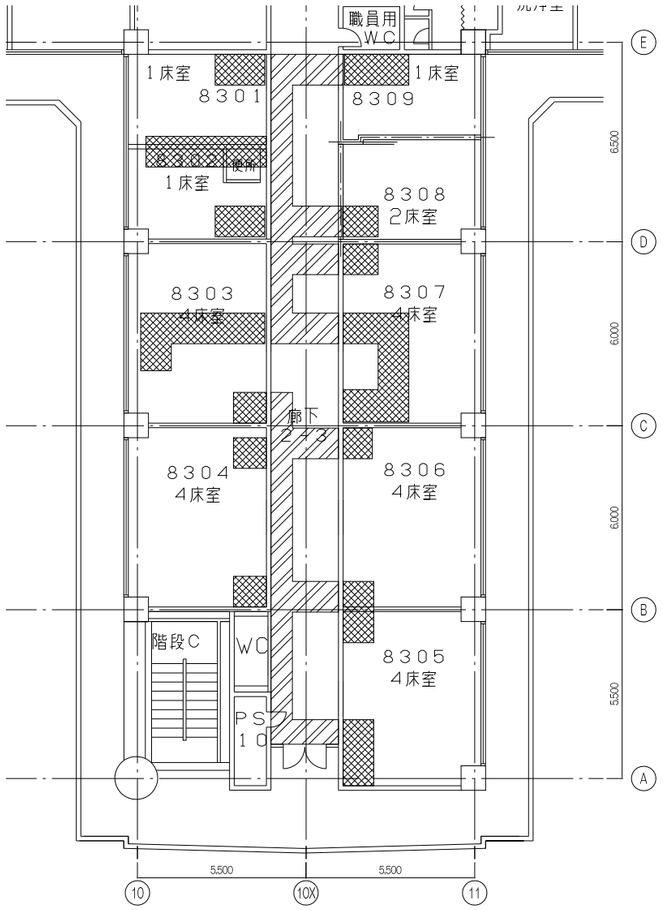
件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事	Job-No. 21019
図名	9階全体平面図(改修後)	意匠
縮尺 A1:1/200 A3:1/400	日付 2021/05(R3)	13

伊藤喜三郎建築研究所

撤去天井伏図



改修天井伏図



特記事項
・現地と図面において、既存状況が異なる場合には現地を優先する。

凡例
天井改修範囲（9階衛生工事に伴う天井撤去・改修）
プラダン仮復旧範囲（9階衛生工事に伴う天井撤去・改修）

工事作業時間の基本的制限
①搬入・搬出　：　院内ルートを使用しての搬出入については平日の早朝行うこと。
②騒音・振動工事　：　必ず事前に施主に工事時間帯を報告調整の上実施のこと。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　江口 紀子
一級建築士登録番号　第206714号

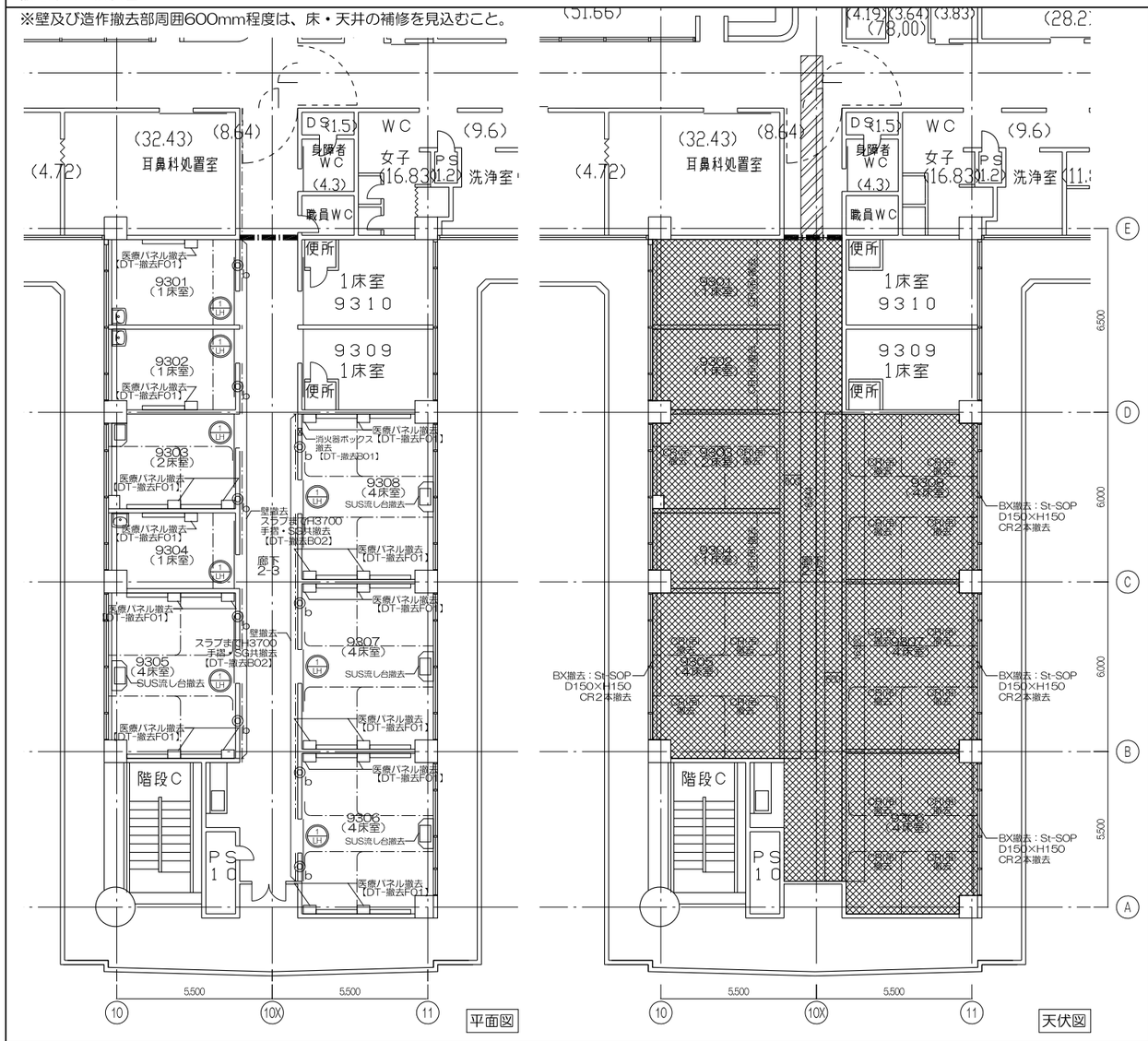
設計者				
総括責任者 山寺 美和子 一級建築士 第389931号	担当者 下大薗 久子 一級建築士 第366817号	担当者 上田 妙矢香		

件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事	Job-No. 21019
図名	8階天井伏図（撤去・改修）	意匠
縮尺	R A1:1/100 A3:1/200	日付 2021/05(R3)
		14

伊藤喜三郎建築研究所

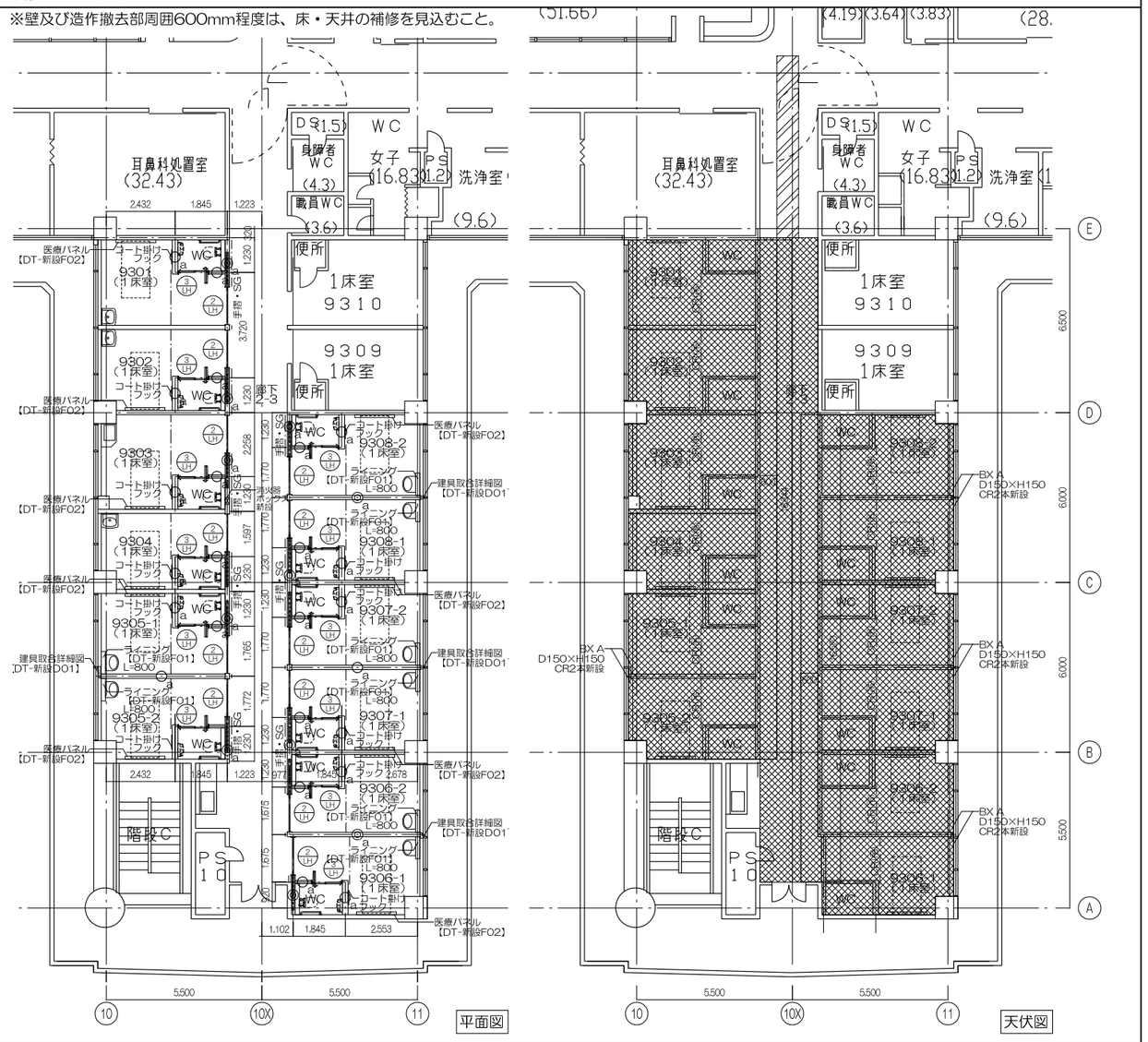
撤去平面・天伏図

※壁及び造作撤去部周囲600mm程度は、床・天井の補修を見込むこと。

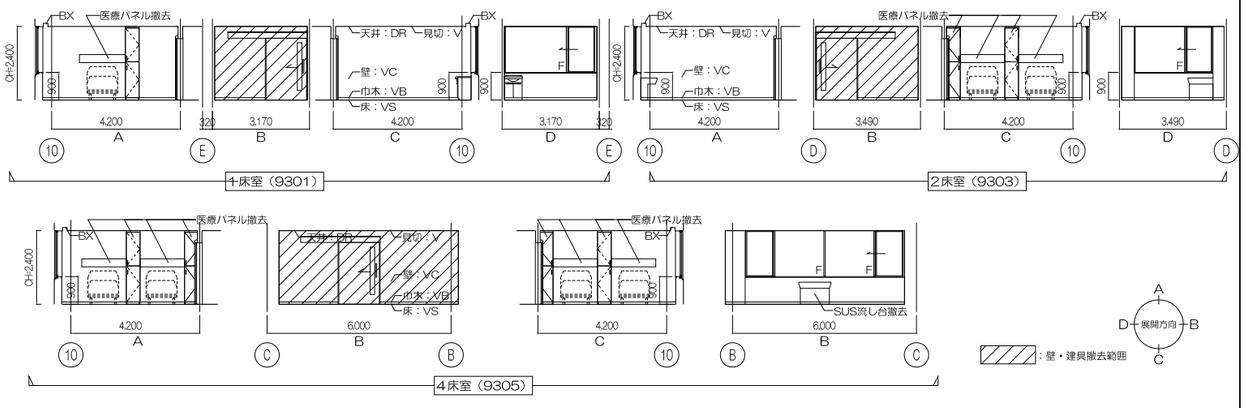


改修平面・天伏図

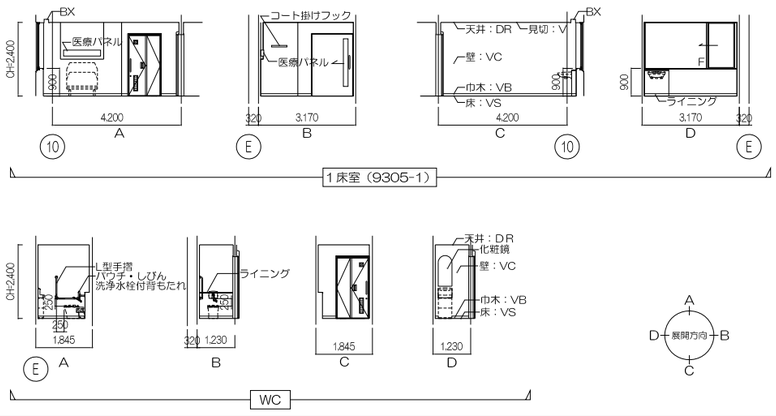
※壁及び造作撤去部周囲600mm程度は、床・天井の補修を見込むこと。



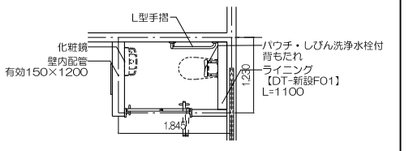
撤去展開図



改修展開図



1床室WC標準図



1床室WC標準図 S=1/50

特記事項

・現地と図面において、既存状況が異なる場合には現地を優先する。

凡例

天井改修範囲

プラダン等仮復旧範囲

工事作業時間の基本的制限

①搬入・搬出　：　院内ルートを使用しての搬出入については平日の早朝行うこと。

②騒音・振動工事　：　必ず事前に施主に工事時間帯を報告調整の上実施のこと。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　江口 紀子
一級建築士登録番号　第206714号

設計者				
総括責任者 山寺 美紀子 一級建築士 第309931号	担当者 下大迫 久子 一級建築士 第266817号	担当者 上田 紗矢香		

件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事	Job-No. 21019
図名	9階 平面図、天井伏図、展開図（撤去・改修）	意匠
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	日付 2021/05(R3)
		15

伊藤喜三郎建築研究所

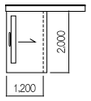
撤去仕上げ表

階	室名	床 スラブ高 特記以外はFL-10	床 下地	床 仕上	床 仕上高 特記以外はFL±0	幅木・腰・壁・柱型 幅木 特記以外はH=75	幅木・腰・壁・柱型 下地	幅木・腰・壁・柱型 仕上	天井 見切	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考（建築撤去項目）
8階	1床室 8301、8302、8309		《既存のまま》	《既存のまま》		(既存のまま)	《既存のまま》	《既存のまま》	V (一部撤去)	GB-NC 《一部撤去》	DR 《一部撤去》	2,400	
	2床室 8308		《既存のまま》	《既存のまま》		(既存のまま)	《既存のまま》	《既存のまま》	V (一部撤去)	GB-NC 《一部撤去》	DR 《一部撤去》	2,400	
	4床室 8303、8304、8305 8306、8307		《既存のまま》	《既存のまま》		(既存のまま)	《既存のまま》	《既存のまま》	V (一部撤去)	GB-NC 《一部撤去》	DR 《一部撤去》	2,400	
	廊下2-3		《既存のまま》	《既存のまま》		(既存のまま)	《既存のまま》	《既存のまま》	V (一部撤去)	GB-NC 《一部撤去》	DR 《一部撤去》	2,400	
9階	1床室 9301、9302、9304		RC(直)	VS 《撤去》		VB 《撤去》	GB-R+GB-R(GL) GB-R+GB-R GB-F+GB-F (一部撤去)	VC 《撤去》	V 《撤去》	GB-NC 《撤去》	DR 《撤去》	2,400	医療パネル、CR（ベッド部のみ）
	2床室 9303		RC(直)	VS 《撤去》		VB 《撤去》	GB-R+GB-R(GL) GB-R+GB-R GB-F+GB-F (一部撤去)	VC 《撤去》	V 《撤去》	GB-NC 《撤去》	DR 《撤去》	2,400	医療パネル、CR（ベッド部のみ）
	4床室 9305～9308		RC(直)	VS 《撤去》		VB 《撤去》	GB-R+GB-R(GL) GB-R+GB-R GB-F+GB-F (一部撤去)	VC 《撤去》	V 《撤去》	GB-NC 《撤去》	DR 《撤去》	2,400	医療パネル、CR（窓部、ベッド部）、BX、SUS流し台
	廊下2-3		RC(直)	VS 《一部撤去》		VB	GB-R+GB-R(GL) GB-R+GB-R GB-F+GB-F (一部撤去)	VC 《一部撤去》	V (一部撤去)	GB-NC 《一部撤去》	DR 《一部撤去》	2,400	手摺、SG、消火器ボックス

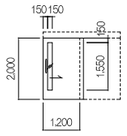
改修仕上げ表

階	室名	床 スラブ高 特記以外はFL-10	床 下地	床 仕上	床 仕上高 特記以外はFL±0	幅木・腰・壁・柱型 幅木 特記以外はH=75	幅木・腰・壁・柱型 下地	幅木・腰・壁・柱型 仕上 腰壁：特記以外は900	天井 見切	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考（建築新設項目）
8階	1床室 8301、8302、8309		《既存のまま》	《既存のまま》		(既存のまま)	《既存のまま》	《既存のまま》	V (一部新設)	GB-NC 《一部新設》	DR 《一部新設》	2,400	
	2床室 8308		《既存のまま》	《既存のまま》		(既存のまま)	《既存のまま》	《既存のまま》	V (一部新設)	GB-NC 《一部新設》	DR 《一部新設》	2,400	
	4床室 8303、8304、8305 8306、8307		《既存のまま》	《既存のまま》		(既存のまま)	《既存のまま》	《既存のまま》	V (一部新設)	GB-NC 《一部新設》	DR 《一部新設》	2,400	
	廊下2-3		《既存のまま》	《既存のまま》		(既存のまま)	《既存のまま》	《既存のまま》	V (一部新設)	GB-NC 《一部新設》	DR 《一部新設》	2,400	
9階	1床室 9301、9302		RC(直)	VS 《新設》		VB 《新設》	GB-R+GB-R(GL) GB-R+GB-R GB-R+GB-H (一部新設)	VC 《新設》	V 《新設》	GB-NC 《新設》	DR 《新設》	2,400	医療パネル、CR（ベッド部のみ）
	1床室 9304		RC(直)	VS 《新設》		VB 《新設》	~~GB-R+GB-R~~、~~GB-R+GB-R(GL)~~ GB-F+GB-F GB-R+GB-H (一部新設)	VC 《新設》	V 《新設》	GB-NC 《新設》	DR 《新設》	2,400	医療パネル、CR（ベッド部のみ）
	WC		RC(直)	VS 《新設》		VB 《新設》	GB-R+GB-R GB-R+GB-H (一部新設)	VC 《新設》	V 《新設》	GB-NC 《新設》	DR 《新設》	2,400	ライニング、L型手摺、化粧鏡 パウチ・しびん洗浄水栓付背もたれ
	1床室 9303		RC(直)	VS 《新設》		VB 《新設》	~~GB-R+GB-R~~、~~GB-R+GB-R(GL)~~ GB-F+GB-F GB-R+GB-H (一部新設)	VC 《新設》	V 《新設》	GB-NC 《新設》	DR 《新設》	2,400	医療パネル、CR（ベッド部のみ）
	WC		RC(直)	VS 《新設》		VB 《新設》	GB-R+GB-R GB-F+GB-F GB-R+GB-H (一部新設)	VC 《新設》	V 《新設》	GB-NC 《新設》	DR 《新設》	2,400	ライニング、L型手摺、化粧鏡 パウチ・しびん洗浄水栓付背もたれ
	1床室 9305-1～9306-2 9307-1、9308-2		RC(直)	VS 《新設》		VB 《新設》	GB-R+GB-R(GL) GB-R+GB-R GB-R+GB-H (一部新設)	VC 《新設》	V 《新設》	GB-NC 《新設》	DR 《新設》	2,400	医療パネル、CR（窓部、ベッド部）、BX、ライニング
	WC（9306-1内）		RC(直)	VS 《新設》		VB 《新設》	GB-R+GB-R(GL) GB-R+GB-H (一部新設)	VC 《新設》	V 《新設》	GB-NC 《新設》	DR 《新設》	2,400	ライニング、L型手摺、化粧鏡 パウチ・しびん洗浄水栓付背もたれ
	WC（その他）		RC(直)	VS 《新設》		VB 《新設》	GB-R+GB-R GB-R+GB-H (一部新設)	VC 《新設》	V 《新設》	GB-NC 《新設》	DR 《新設》	2,400	ライニング、L型手摺、化粧鏡 パウチ・しびん洗浄水栓付背もたれ
	1床室 9307-2、9308-1		RC(直)	VS 《新設》		VB 《新設》	GB-F+GB-F ~~GB-R+GB-R~~、~~GB-R+GB-R(GL)~~ GB-R+GB-H (一部新設)	VC 《新設》	V 《新設》	GB-NC 《新設》	DR 《新設》	2,400	医療パネル、CR（窓部、ベッド部）、BX、ライニング
	WC		RC(直)	VS 《新設》		VB 《新設》	GB-F+GB-F GB-R+GB-R GB-R+GB-H (一部新設)	VC 《新設》	V 《新設》	GB-NC 《新設》	DR 《新設》	2,400	ライニング、L型手摺、化粧鏡 パウチ・しびん洗浄水栓付背もたれ
	廊下2-3		RC(直)	VS 《一部新設》		VB	GB-R+GB-R(GL) GB-R+GB-R (一部新設)	VC 《一部新設》	V (一部新設)	GB-NC 《一部新設》	DR 《一部新設》	2,400	手摺、SG、消火器ボックス

撤去建具表

姿図	記号	数量	建具本体 幅(W)×高さ(H)×見込(D)	建具本体 形式	建具本体 仕上	枠 形状	枠 材質	ガラス 種別	ガラス 厚さ	建具金物 ヒンジ	建具金物 取手	建具金物 錠	建具金物 ドアクローザー	備考
撤去LH-1 	1 LH	8	1,200	鋼製軽量額付		L3								
			2,000	片引き吊り扉 E型		S		P	5		押棒	本締		
				焼付塗装		焼付塗装								

改修建具表

姿図	記号	数量	建具本体 幅(W)×高さ(H)×見込(D)	建具本体 形式	建具本体 仕上	枠 形状	枠 材質	ガラス 種別	ガラス 厚さ	建具金物 ヒンジ	建具金物 取手	建具金物 錠	建具金物 ドアクローザー	備考
新設LH-2  新設LH-3 	2 LH	12	1,200	鋼製軽量額付		L3								
			2,000	片引き吊り扉 BK型		S		P	5		押棒	本締		
				焼付塗装		焼付塗装								
	3 LH	12	900	鋼製軽量額・ガラリ付		L3								非常時外開き
			2,000	折れ戸		S		F	4		押棒	表示		アンダーカット20mm
				焼付塗装		焼付塗装								

特記事項
・現地と図面において、既存状況が異なる場合には現地を優先する。

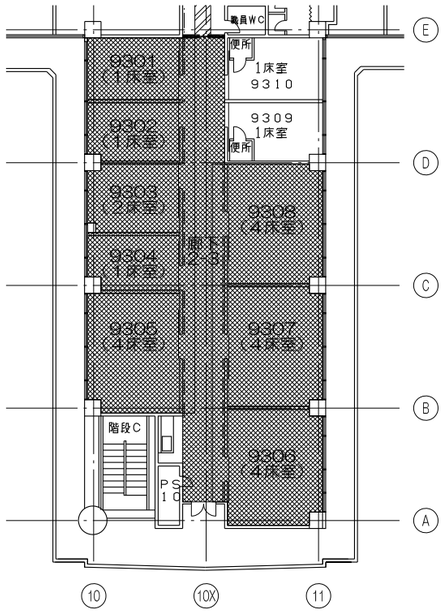
工事作業時間の基本的制限
①搬入・搬出　：　院内ルートを使用しての搬出入については平日の早朝行うこと。
②騒音・振動工事　：　必ず事前に施主に工事時間帯を報告調整の上実施のこと。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　江口 紀子
一級建築士登録番号　第206714号

設計者				
総括責任者 山守 美和子 一級建築士 第369931号	担当者 下大園 久子 一級建築士 第366817号	担当者 上田 紗矢香		

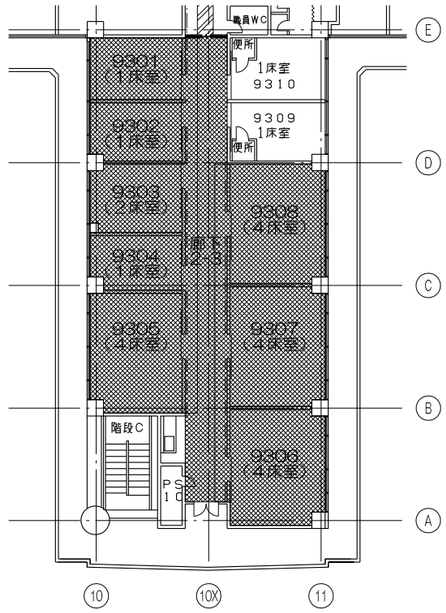
件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事	Job-No. 21019
図名	仕上表、建具表（撤去・改修）	意匠
縮尺	A1:1/100 A3:1/200　日付 2021/05(R3)	16
伊藤喜三郎建築研究所		

ステップ1：9階撤去工事 （工期：1ヵ月）



9階平面図

ステップ2：9階改修工事 （工期：4ヵ月）



9階平面図

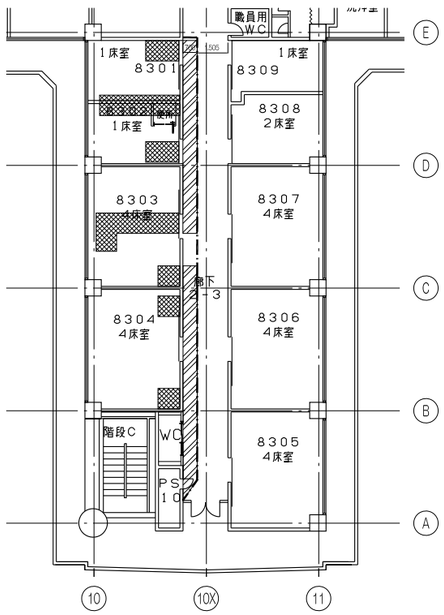
下記8階改修工事はステップ2の期間中に順次行う。

仮囲い壁

改修範囲

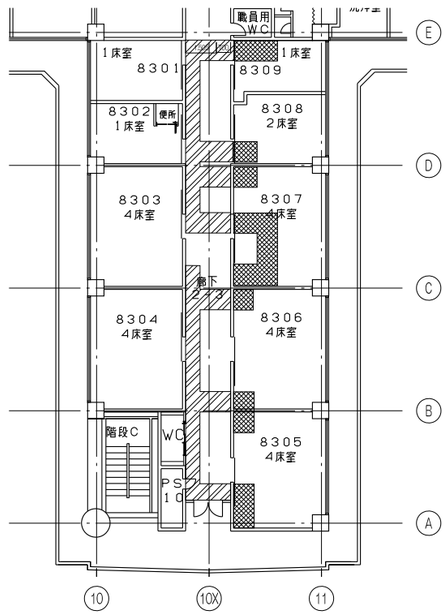
プラダン等仮復旧範囲

ステップ2-1：8階改修工事 （工期：2ヵ月）



8階平面図

ステップ2-2：8階改修工事 （工期：2ヵ月）



8階平面図

特記事項
・現地と図面において、既存状況が異なる場合には現地を優先する。

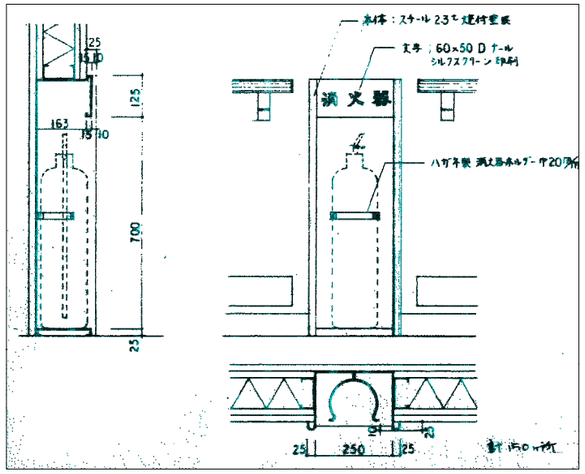
工事作業時間の基本的制限
①搬入・搬出　：　院内ルートを使用しての搬出入については平日の早朝行うこと。
②騒音・振動工事　：　必ず事前に施主に工事時間帯を報告調整の上実施のこと。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設 計 者　江口 紀子
一級建築士登録番号　第206714号

設計者				
総括責任者 山寺 美和子 一級建築士 第309931号	担当者 下大迫 久子 一級建築士 第368317号	担当者 上田 妙矢香		

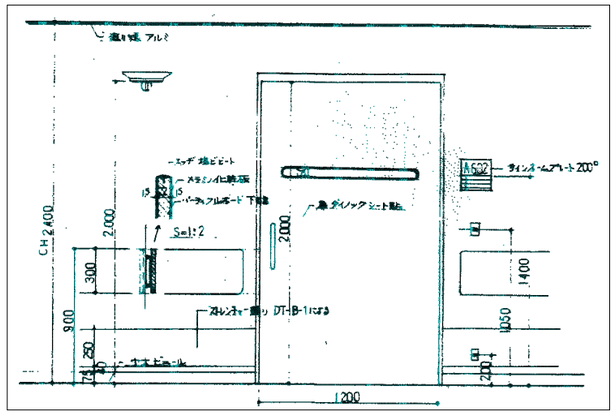
件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事	Job-No. 21019
図名	改修ステップ図	意匠
縮尺 A1:1/150 A3:1/300	日付 2021/05(R3)	17
伊藤喜三郎建築研究所		

【撤去BO1】 消化器ボックス S=1:10

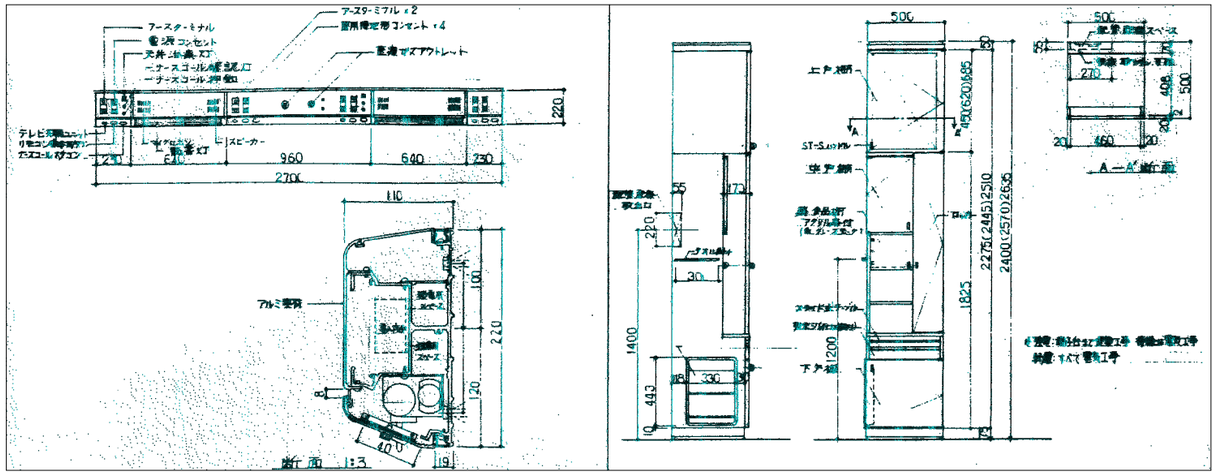


【撤去BO2】 病棟廊下（手摺・SG） S=1:20

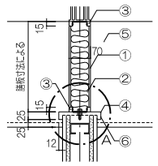
※手摺・SGの既存切断部のエンドキャップは新設で見込むものとする。



【撤去FO1】 医療パネル S=1:20

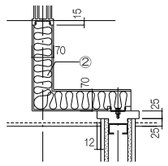


【新設DO1】 建具取合詳細図 S=1/10



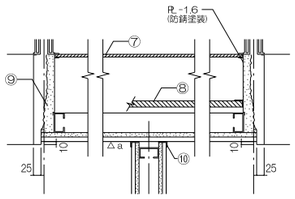
LGS－サッシ方立一般取合

A 平面図



LGS－サッシ方立偏しん取合

B 平面図



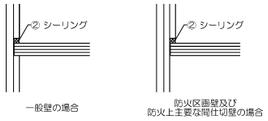
LGS－サッシ裏打ちボード取合平面

C 平面図

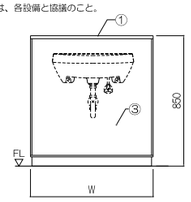
① スチール厚1.6折曲げ加工焼付塗装
② ロックウール充填
③ シーリング
④ 枠：スチール厚2.3折曲げ加工焼付塗装
※横振れ方向クリアランス10㎜ボルト孔あけ加工
⑤ 腰板：スチール厚1.6焼付塗装
⑥ 腰板側面と枠のすき間シーリング
⑦ 裏打板：GB-R厚9.5、ガラス側EP塗装
隅部放熱孔φ204ヶ所
⑧ 耐火ボード厚20(0.5h耐火)
※水平区画部のみ
⑨ 断熱材：発砲ウレタン厚15吹付
⑩ 見切金物：アルミ押出型材 ※a面側ルーズとする
⑪ 滑り材：厚1.2

【新設FO1】 ライニング S=1/20、5

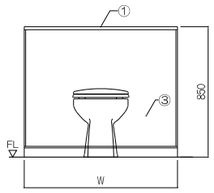
① ライニング甲板／メラミンポストフォーム 厚20
② 壁シーリング W-5
③ 化粧ケイカル板(副資材共) GB-R 厚12.5下地
④ 補強はコンパネ厚24(高さは各衛生陶器による)
⑤ LGS下地材
⑥ 幅木 仕上げ表による
⑦ 欠番
⑧ ステンレスパイプ棚(既製品)
⑨ 欠番
⑩ フック 3個/ヶ所
⑪ 小便器用手摺
⑫ 雑巾掛
※特記ー補強は、各設備と協議のこと。



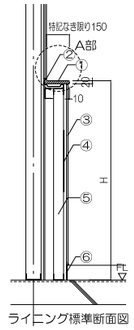
A部詳細図 S=1/5



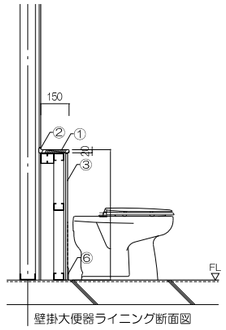
ライニング正面図(標準)
※Wｔ法は、平面詳細図を優先する



壁掛大便器ライニング正面図
※Wｔ法は、平面詳細図を優先する

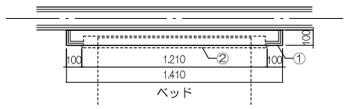


ライニング標準断面図



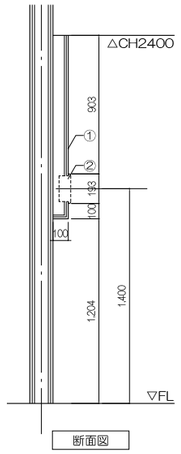
壁掛大便器ライニング断面図

【新設FO2】 医療パネル用ふかし壁 S=1/20

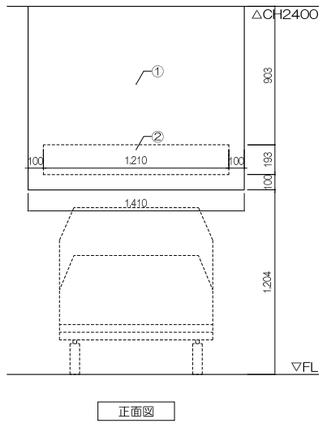


平面図

① ふかし壁：GB-R t12.5 + GB-R t12.5 +VC
② 医療パネル：
セントラルユニ（UMR-6602FUG）程度

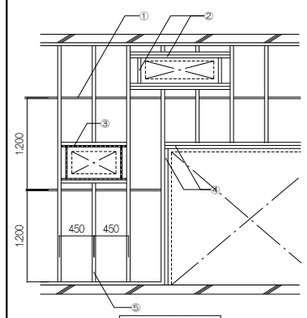


断面図

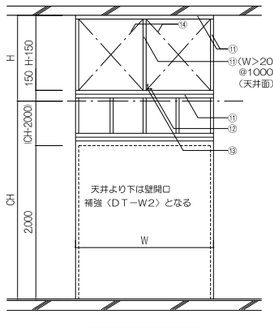


正面図

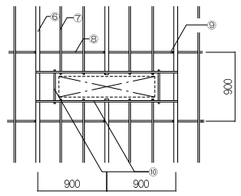
【新設HO1】 LGS開口補強 S=1/40



壁開口補強詳細図



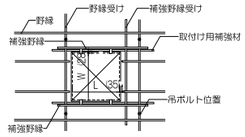
上部開口補強詳細図



天井開口補強詳細図

※建築工事分の開口補強については設計図より読み取る事。

①振止メ：@150C[-25×10×1.2（H>4m）
[-19×12×1.2（H>4m）
②開口補強（ダクト等小規模開口）間柱 ライナーと同材
③取付補強：L-60×30×2.3
④開口補強（建具等大規模開口）[-60×30×10×2.3（H>4m）
[-90×45×20×2.3（H>4m）
⑤間柱：[-65×45×10×0.8
⑥野縁：[-50×19×0.45
⑦野縁：[-25×19×0.45
⑧野縁受：[-38×12×1.1
⑨吊ボルト：9φ @900
⑩天井開口補強（照明器具等）[-19×25×0.45
（ただし、点検口は[-38×12×1.1）
⑪[-100×50×20×2.3
⑫アンカーボルト9φ
⑬L-50×50×4
⑭設備用開口



天井点検口

開口補強リスト【電気】		開口補強リスト【機械】	
サイズ(mm)	個数	サイズ(mm)	個数
450×450	2	450×450	30
1250×150	29	1030×640	17

特記事項
・現地と図面において、既存状況が異なる場合には現地を優先する。

工事作業時間の基本的制限
①搬入・搬出 ： 院内ルートを使用しての搬出入については平日の早朝行うこと。
②騒音・振動工事 ： 必ず事前に施主に工事時間帯を報告調整の上実施のこと。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号 第2215号
設 計 者 江口 紀子
一級建築士登録番号 第206714号

設 計 者
総括責任者 山寺 美和子 一級建築士 第309931号
担当者 下大園 久子 一級建築士 第366817号
担当者 上田 妙矢香

件 名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事	Job-No.	21019
図 名	部分詳細図（撤去・新設）		意匠
縮 尺	図示	日 付 2021/05(R3)	18

伊 藤 喜 三 郎 建 築 研 究 所

Ⅰ 設計概要

1.建物概要

1. 工事件名　横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事

2. 建築主
- 氏　名　公立大学法人　横浜市立大学　理事長　小山内　いづ美
- 郵便番号　236-0004
- 住　所　横浜市金沢区瀬戸22-2
- 電話番号　045-787-2800

3. 工事場所及び敷地条件
- 地名地番　横浜市金沢区福浦三丁目9番地
- 住居表示　横浜市金沢区福浦3-9
- 都市計画区域の内外の別等　● 都市計画区域内　（ ● 市街化区域　・市街化調整区域　・区域区分非設定 ）　・準都市計画区域内　・都市計画区域及び準都市計画区域外
- 防火地域　・防火地域　● 準防火地域　・指定なし
- その他の区域・地域、地区、街区　・法第22条区域　・法第52条第7項適用区域　・
- 道　路　幅　員　西側道路22.0 m　敷地と接している部分の長さ　680.00 m
- 敷地面積　94,469.80 ㎡
- 用途地域等　準工業
- 許容容積率　200 %
- 許容建ぺい率　60 %
- 敷地面積合計　94,469.80 ㎡
- 建築可能な容積率　％
- 建築可能な建ぺい率　％
- 備考

4. 建築物
- 主要用途　病　院　（区分　08260 ）
- 工事種別　改　築

建築面積	計画部分	計画以外の部分	合計
【建築面積】	8,915.99 ㎡	㎡	㎡
【改修部分面積】	％		

延べ面積	計画部分	計画以外の部分	合計
【建築物全体】	㎡	㎡	㎡
【　　】	㎡	㎡	㎡
【　　】	㎡	㎡	㎡
【延べ面積】	57,007.91 ㎡		
【容積率】	％		

- 高　さ　最高の高さ　49.95 m　最高の軒の高さ　49.35 m
- 階　数　地　上　10 階　地　下　1 階　塔　屋　1 階
- 構　造　鉄　骨　造　一部　鉄骨鉄筋コンクリート　造

建物別概要　耐震安全性の分類：「官庁施設の総合耐震計画基準及び解説平成８年版」

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一	耐震安全性の分類 構造体	建築非構造部材	建築設備

2.工事概要

1. 工事種目及び工事範囲（●のついたものを適用する）

建物別及び屋外 / 工事種目	工事範囲 6～9階2床室個室化改修工事					屋外
・構内配電線路						
・構内通信線路						
・特別高圧受変電設備						
・高圧受変電設備						
・発電設備						
・交流無停電電源設備						
・直流電源設備						
・幹線設備						
● 動力設備	改設一式					
● 電灯コンセント設備	改設一式					
● 医用接地設備	改設一式					
・雷保護設備						
・構内情報通信網設備						
・構内交換設備						
・情報表示設備						
・映像・音響設備						
● 拡声設備	改設一式					
・誘導支援設備						
● ナースコール設備	改設一式					
● テレビ共聞受信設備	改設一式					
・監視カメラ設備						
・駐車場管制設備						
・防犯・入退室管理設備						
● 火災報知設備	改設一式					
・中央監視制御設備						
・昇降機設備						
・搬送設備						
・テレビ電波障害防除設備						
・						
・						
・						

2. 指定工事範囲　・無し　・有り　（指定工期　令和　年　月　日）
対象部分：

3.建築設備の耐震性などに関する規定（建築基準法施行令第129条の2の4の規定）

1. 構造・設備設計一級建築士
(1) 構造設計一級建築士の関与　・必要　・必要としない
- 高度な構造計算（保有水平耐力計算、限界耐力計算等）
- RC造高さ20m超、S造4階建て以上、木造高さ13m超等

(2) 設備設計一級建築士の関与　・必要　・必要としない
- 3階建て以上、かつ、床面積5,000㎡超

2. 建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
- 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。
- 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
- 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。
- 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
- 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
  - 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
  - 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
  - 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
  - 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
- 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。

4.案内図

Ⅱ 電 気 設 備 工 事 仕 様

1.共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の
「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成31年版」（以下標準仕様書）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）平成31年版」（以下、改修標準仕様書）並びに国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図」（電気設備工事編）平成31年版」（以下、標準図）による

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書を適用する
なお、機械設備工事の特記仕様書は（　/　）図、建築工事の特記仕様書は（　/　）図による

(3) 「標準仕様書」、「改修標準仕様書」で規定している「監督職員」は「監理者」と読み替える

2.特記仕様

(1) 項目は、番号の前に●印の付いたものを適用する

(2) 特記事項は、●印の付いたものを適用する
●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する
●印と◎印の付いた場合は、共に適用する

(3) 特記事項に記載の（ 編-　.　.　）内表示番号は「標準仕様書」、（改修　編-　.　.　）内表示番号は「改修標準仕様書」の当該項目、当該表を示す。（図-　）内表示番号は「標準図」の当該表、当該図を示す

項　目	特　記　事　項
● **1.一般共通事項**	
● 1. 適用基準等	● 電気設備技術基準 ● 日本電気協会内線規定 ● JIS（日本工業規格） ● JEC（電気学会電気規格調査会標準規格） ● JEM（日本電気工業会規格） ● 工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編（平成30年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ● 建築設備設計・施工上の運用指針 2019年版　国土交通省住宅局建築指導課・日本建築行政会議編集 ● 横浜市建築局電気設備工事特則仕様書（令和元年6月版） ● 横浜市建築局　電気設備工事施工マニュアル（平成29年版） ● 消防法規
2. 工事実績情報の登録	※ 適用する　（1編-1.1.4）
● 3. 発生材の処理	※ 現場説明書による　（1編-1.3.9） ・引渡しを要するもの （　　） ● 引渡しを要するもの以外 ● 構外搬出適切処理　・構外搬出自由処分　・構外搬出とし、搬出及びその処理費は別途とする ・特別管理産業廃棄物 （ PCB使用機器：　　） PCB使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引き渡すものとする ・再利用又は再生資源化を図るもの （　　） 再利用する機器は、清掃及び絶縁測定をしたうえ取り付ける
● 4. 電気保安技術者	・適用する　（1編-1.3.2）
● 5. 電気工事士	電気工事士法に定める電気工事士とする
● 6. 施工条件	※（1編-1.3.3）(1) による　（1編-1.3.3） ●（1編-1.3.3）(1)による、但し、12/29～1/3および国民の祝日を除く土曜日は施工を行うことができる
● 7. 機器及び材料等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの（製造業者等が定められている機材等については、設備機材等指定表によるもの）又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監理者の承諾を受ける
● 8. 環境への配慮	化学物質を放散させる建築材料等 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有するものとし、 次の1)～5)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単層積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする 3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする 5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は次のとおりとする。 規制対象外　① JIS及びJASのF☆☆☆品 ② 建築基準法施工令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 第三種　① JIS及びJASのF☆☆☆品 ② 建築基準法施工令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 ③ IBJASのEo品 ④ IBJASのFco品
● 9. 室内空気中の化学物質の濃度測定	※ 建築工事で行う　・本工事で行う　（1編-1.5.7） 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること 測定はパッシブ形採取機器により行う 測定対象室　・図示　・ 測定箇所数　・図示　・
● 10. 機材等の検査及び試験	検査及び試験を行う機材等は、下記による　（1編-1.4.4）(1編-1.4.5) ※（1編-1.4.4）及び（1編-1.4.5）による ・監理者の指示による なお、場外立会検査に要する諸費用は、全て受注者の負担とする
● 11. 製本図面の提出	受注者の負担で、下記設計図を製本（表紙及び背表紙には、年度、工事名などを明朝体文字明記）し、指定部数を監理者に提出する ・ 設計図A1版複写図製本　（ ※ 4部　・　部 ） ● 設計図A3版複写図製本　（ ※ 4部　● 6　部 ）
● 12. 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする
● 13. 建築工事及び機械設備工事との取合い	施工図 各設備機器の位置、各設備工事との取合いなどの検討できる資料及び図面を提出して、監理者の承諾を受ける 複合図 ※ 作成する　・ 作成しない 監理者の指示により、備品、機器等の配置と必要な設備記号（電気・空調・衛生設備等）をプロットした施工図（平面詳細図、天井伏図、展開図 等）（縮尺1/50） （複合図作成に必要な資料収集、製造者等との打合せ含む）
● 14. 技術検査	・（1編-1.6.2）(1)(ア)) 及び（1編-1.6.2）(1)(ウ)) による　（1編-1.6.2） ※（1編-1.6.2）(1)(ア)) 及び（1編-1.6.2）(1)(ウ)) によるほかに中間技術検査 （ ・ 1回　・ 2回　・　　）
15. モデルルーム及び先行ルーム等	・ モデルルームの照明器具等　（ ・ 仮設建物にて設置する　・ 計画建物内にて設置する ） 対象居室　・　・　設置場所　・ 設置期間 ・ 先行ルームの照明器具等（計画建物にて設置する） 対象居室　・　・　設置場所　・ 照明器具等の設置内容 ※ 設計図に記載のある器具等の設置及び照明点灯を可能な状態とする　・ 現場説明書による
16. 見本及び試作品	・ 作成する 特に監督員が指示した器具及び製作品については、見本又は試作品を作成し、現場内またはモデルルーム等に仮付けの上、監理者の承諾を受けること
● 17. 完成図等（竣工図）等	※ 完成図を受注者の責任において作成する　（1編-1.7.1～1編-1.7.3）(表1.7.1) ※ 表1.7.1による ・ 表1.7.1.による他（ ・ 特定天井図　・ 昇降機設備　・ 機械式駐車場　・　　）を作成する 完成図全員（完成図に含まれる施工図、施工計画書は除く）に以下の注意書きを記載する 「本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください」 ※ 完成図の製本提出 ※ 完成図（原図）　A-1サイズ3ツ折図面ケース入　部数　※ 1部 ※ 完成図（製本）　A-1サイズ2ツ折白焼黒文字　部数　※ 2部　・ ・ 完成図（縮小版第2原図）　A-3サイズ2ツ折図面ケース入　部数　※ 1部 ※ 完成図（縮小版製本）　A-3サイズ2ツ折白焼黒文字　部数　※ 2部　・ ※ 完成図（データ）　※ DWG　※ PDF　・ DXF　部数　※ 3部　・ ※ 施工図、複合図の製本提出（内容については監理者の指示による） ※ 施工図（製本）　A-1サイズ2ツ折白焼黒文字　部数　※ 1部　・ ・ 施工図（縮小版製本）　A-3サイズ2ツ折白焼黒文字　部数　※ 2部　・ ・ 施工図（データ）　・ DWG　・ PDF　・ DXF　部数　※ 3部　・ ・ 複合図（製本）　A-1サイズ2ツ折白焼黒文字　部数　※ 1部　・ ・ 複合図（縮小版製本）　A-3サイズ2ツ折白焼黒文字　部数　※ 2部　・ ・ 複合図（データ）　・ DWG　・ PDF　・ DXF　部数　※ 3部　・ ・ 施工計画書等　適宜　部数　※ 1部　・ ※ 保全に関する資料 ※ 標準仕様書第1編-1.7.3(1)の(ア)～(カ)　部数　※ 2部　・ ・ 上記のものの他に予備品一覧表　部数　※ 2部　・ ・ 上記のものの他に工事関係者一覧表　部数　※ 2部　・
18. 完成写真	下記の物をアルバム金文字製本のうえ監理者に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする 製本形式　※ 中折れ包み製本（A4版）　・ アルバム金文字製本 分類・規格：・ モノクローム　※ キャビネ版 ※ ペた焼　撮影箇所数：外部（　　）内部（　　）　部数：※ 2 ・　原板の大きさ(㎜)：※ 100×125以上 ・ ・ カラー　※ キャビネ版 ※ ペた焼　外部（　　）内部（　　）　※ 2 ・ 6　※ 100×125以上 ・ ・ カラーパネル　・ 全紙　・ 半切　外部（　　）　※ 1 ・ ・ イレパネ　・ 四切　・　外部（　　） ・ 電子データ（デジタルカメラ）　外部（　　）内部（　　）　※ 2 ・　※ CD-R保存 ・ 他に外観正面1カット（カラーキャビネ版）のみ（　　）枚提出 100×125以上の原板を使う場合は、監理者にあらかじめペた焼を提出し確認を受ける 撮影業者　※ 監理者の承認する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする） 電子データはCD-R保存とし、解像度：300dpi、写真幅（長辺方向）：2,000ピクセル程度、データ形式：TIFF又はJPEGとする
19. 省エネ基準への適合確認	「建築物エネルギー消費性能基準」への適合性の確認を納入前、機材納入時、試運転後の各段階に、納入仕様書、施工記録書、試運転成績表、必要に応じて立会い等にて設計図書の記載内容と一致していることを施工者の責任において確認し、監理者に書類にて報告すること 「省エネ基準工事監理報告書」に必要な書類は監理者の求めに応じ、遅滞なく提出すること
● **2.共通工事**	
● 1. 足場・作業構台類	※ 別契約の関係請負者の定置する足場、作業構台の類は、無償で使用できる　（1編-2.1.1(ア)） ・ 本工事で設置する ・ 改修共通仕様書第1編-2.2.2によるほか下記による。取付け箇所は図示による ・ 内部仮設足場等　（ ・　種　・　種 ） ・ 外部仮設足場等　（ ・　種　・　種 ）
2. 監理者事務所	※ 設ける（建築工事に含む）　・ 設けない　・ 単独で設ける　（1編-2.1.1） 監理者事務所の規模 ・ 10㎡程度　・ 20㎡程度　・ 35㎡程度　・ 65㎡程度　・ 100㎡程度　・　㎡程度 監理者事務所の仕上げ ・ 受注者事務所同程度　・ 監理者事務所の備品 ・ 監理者事務所備品（　人分） 備品は、建築工事共通仕様書(2.3.1(2))によるほか、下記の物を備える ・ 外線電話機　・ ファクシミリ　・ コピー機（　・ A3カラー　・ A1モノクロ ） ・ パーソナルコンピューター（　　） （ モニター　・ （ アプリケーション　・ Office　・ AutoCAD　・　　） （ ネットワーク接続　・　　） ・ プリンター（複合機 A3カラー　　） ・ デジタルカメラ（ ※ 1200万画素以上　・　　） ・ 安全靴　・ 上ばき　・ 防寒服　・ 帽子　・ ヘルメット ・ ・ その他（　　） 連絡員　※ おかない　・ おく
● 3. 工事用水	構内既存の施設　※ 利用できない　・ 利用できる　（ ※ 有償　・ 無償 ）
● 4. 工事用電力	構内既存の施設　※ 利用できない　・ 利用できる　（ ※ 有償　・ 無償 ）
5. 電気工作物	・ 自家用　● 一般用
● 6. 電源周波数	● 50Hｚ　・ 60Hｚ
● 7. 保温・凍結防止	外気に接する壁、天井で、フォームポリスチレン板打込みの部分に設ける位置ボックスなどの裏面には、フォームポリスチレン板を接着するなど断熱の処置を行う
● 8. ボックス等	● 長さ1m以上の入線しない配管及び電話用等の空配管には、ビニル被覆鉄線（1.2㎜以上）などを挿入する ● 各配管端末には、キャップ付プッシングを取り付ける ● 位置ボックスには、塗代カバー又はブランクカバーを取り付ける ● ジョイントボックスは、隠蔽又は埋め込みの場合はアウトレットボックス 四角大深型（塗代カバー及びブランクカバー付）とし、露出配管の場合は 露出丸型ボックス とする ● ジョイントボックスのブランクカバーには、用途表示を行う
● 9. 壁貫通部中空防火区画等の施工	配管、配線がコンクリートやコンクリートブロックの壁、主要な間仕切壁等を貫通する場合は、貫通孔と配管、配線との隙間を、モルタル又は耐火パテ等の不燃材料で完全に修復する 防火区画壁については、建築基準法による他、大臣認定を取得した工法で施工すること。 中空防火区画内のアウトレットボックス及び配管、配線については大臣認定を取得した工法で施工すること。
● 10. 配管の仕様	「PF管」は、合成樹脂可とう電線管の一層管を示す 「E管」は、ねじなし電線管を示す 下記の部分の露出配管には、塗装を施す ・ 居室　● 電気室　・ 機械室　● 配線室（EPS）　・ 外部
● 11. ケーブル配線方法	特記なき限り、天井ふところ内は隠蔽配線とし、専用の支持具等により吊りボルト等に固定するものとする
● 12. プレート	フラッシュプレートの材質は下記とする ● 新金属製　・ 合成樹脂製　・ ステンレス製
13. ケーブルラック	ケーブルラックの材質は下記とする ・ 鋼鉄製　・ アルミ製　・ ガルバリウム製　・ スーパーダイマ製 ・ カバー（ ・ 一般用　・ 歩行用）

株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設　計　者　石 黒 竜 夫
一級建築士登録番号　第220170号
設備設計一級建築士登録番号　第1504号

設　計　者				
主任技術者 江里口綾花				

件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事
図名	特記仕様書ー1　（平成31年版）
縮尺	―
日付	2020/03（令和2年）
Job-No.	21019
	電気
	1

伊 藤 喜 三 郎 建 築 研 究 所

14. 耐震措置

耐震措置の計算及び施工方法は、次に示す事項以外すべて、国土交通省国土技術政策研究所、独立行政法人建築研究所監修「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」及び建設大臣官房官庁営繕部監修「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成８年版）」による

(1) 機器、電気配管等

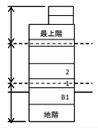
設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量）に、設計用水平震度を乗じたもの、設計用鉛直震度は設計用鉛直震度を乗じたものとする

設計用水平震度（K_H）＝Z・K_S　（K_S：設計用標準震度、Z：地域係数）

設計用鉛直震度（K_V）＝1/2・K_H

地域係数　※ 1.0　・0.9　・0.8　・0.7

建築設備機器の設計用標準震度（Ks）と耐震クラス

機器の設置階	建築設備機器の耐震クラス			適用階の区分
	耐震クラスS	耐震クラスA	耐震クラスB	
上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.0	
中間階	1.5	1.0	0.6	
地階及び1階	1.0（1.5）	0.6（1.0）	0.4（0.6）	

（　）内の値は、地階及び1階（地表）に設置する水槽の場合に適用する。

上層階の定義

2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階

中間階の定義

地下階、1階を除く各階で上層階に該当しない階（平屋建ての場合はなし）

(イ)重要機器　（・耐震クラスS　・耐震クラスA　・耐震クラスB ）

・受変電設備　・発電設備　・交流無停電電源装置　・

・電話交換機　・中央監視装置　・火災報知受信機　・

・電気配管等　（金属管、金属ダクト、バスダクト、ケーブルラック等）

(ロ) 一般機器（・耐震クラスS　・耐震クラスA　・耐震クラスB ）

(2) 免震建物に設置する機器の場合、設計用水平震度は耐震クラスBの値とする

但し、設計用鉛直震度は耐震クラスSの設計用水平震度に1/2を乗じた値とする

(3) 配管等の耐震対策は「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）指針表6.2-1による

(4)建物導入部の変位吸収方法は下記による

・図示による

・標準図による（図-電力31.32）

想定沈下量　（・0.2m以下　・0.6m以下　・1.0m以下・　　）

● 15. 停電時期及び工法

電気設備の改修等のため、在来設備を一時停止させる必要のある場合は、予めその時期、停止の範囲及び工法等を施設管理者及び監理者と打ち合わせ、施工計画書を提出し承諾を得たうえで作業を行うものとし、施設の運営に支障を来たさないよう特に注意する

16. 接地極

・接地極の材料は下記による

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
・共同接地	E_{AD}	10Ω以下	・EB(14φ)×3連 一　組　・EP-0.6　・EP-0.9
・共同接地	$E_{AC,D}$	10Ω以下	・EB(14φ)×3連 一　組　・EP-0.6　・EP-0.9
・A種接地	E_A	10Ω以下	・EB(14φ)×3連 一　2 組　・EP-0.6　・EP-0.9
・B種接地	E_B	30Ω以下	・EB(14φ)×3連 一　2 組　・EP-0.6　・EP-0.9
・D種接地	E_D	100Ω以下	・EB(10φ)×1 (L=1,500㎜)　・EP-0.6　・EP-0.9
・C種接地	E_C	10Ω以下	・EB(14φ)×3連 一　組　・EP-0.6　・EP-0.9
・高圧避雷器	E_{LH}	10Ω以下	・EB(14φ)×3連 一　2 組　・EP-0.6　・EP-0.9
・低圧避雷器	E_{LL}	10Ω以下	・EB(14φ)×3連 一　2 組　・EP-0.6　・EP-0.9
・避雷設備	E_L	10Ω以下	・EB(14φ)×3連 一　組　・EP-0.6　・EP-0.9
・交換機用	E_t	10Ω以下	・EB(14φ)×3連 一　組　・EP-0.6　・EP-0.9
・通信用	E_{AE}	10Ω以下	・EB(14φ)×3連 一　組　・EP-0.6　・EP-0.9
・通信用	E_{CE}	100Ω以下	・EB(10φ)×1 (L=1,500㎜)　・EP-0.6　・EP-0.9
・測定用	E_O	Ω以下	・EB(10φ)×1 (L=1,000㎜)　・EP-0.6　・EP-0.9

(1)接地棒EB(14φ)の長さは 1,500㎜以上とする

(2)接地極埋設位置の近くに、接地埋設標を取付けること

ただし、装柱器材用、マンホール並びにハンドホール用及び外灯用については、不要とする

・建築構造体基礎利用

・大地抵抗率を Wenner の4電極法などにより測定し、成績書・計算書及び測定結果を提出する

・構造体の抵抗値を電位降下法などにより測定し、成績書及び判定結果を提出する

17. 電磁遮蔽対策

電磁遮蔽室（シールドルーム）内において、壁・床・天井等のシールド材を切り込み設置する

金属製ボックス及び室内に設置する金属製プレート等は、すべてシールド材に接地し、

さらに外部で接続される金属管等から絶縁すること

（　　室　）

18. 放射線防護対策

放射線機器を使用する室の壁にボックス・盤などを埋め込む場合は、必要な厚みの鉛板を巻きつけ、

放射線防護の処置を行うこと

（　　室　）

19. 気密施工

下記の各室に設ける電線管・ボックス・機器等は、他室との空気流入を防止するため、シール材充填及び防塵パッキング等を使用し、気密保持に必要な処理を行うこと

（　　室　）

● 20. 遮音対策

遮音性能を要する部屋の壁にボックスを埋込む場合は、その裏面に遮音シートや鉛板等を巻きつけ、遮音に必要な処理を行うこと

21. 非破壊調査

壁・床・梁等に対し、はつり工事を行う場合は、放射線透過検査等により検査をしたうえ、　(改修1編-2.11.2)

埋設配管及び主鉄筋への損傷、塵埃処置等について注意をして行うこと

● 22. 工場検査の有無

・対象　● 対象外

・受変電盤　・自家発電機　・電灯分電盤　・動力制御盤　・防災盤　・昇降機

・　・　・

・検査対象機器は監督員の指示による

なお、場外立会検査に要する諸費用は、全て受注者の負担とする

23. 迷走電流調査

※ 行う

24. エネルギー受託会社等の参入

※ 有

● 25. 改修工事

(1)改修工事に際して、改修部分現状と設計図書に差異がある場合は、現状を優先し検討を行い監理者の承諾を得ること

(2)施設を運用しながらの工事の場合は、極力運用に差し支えないよう工程及び工法について検討を行い、監理者の承諾を得ること

(3)解体撤去工事をする際は、以下の事項について注意し施工を行うこと

・騒音、振動の極力少ない工法を用いること。騒音振動の発生する施工を行う場合は、事前に施主及び監理者の了解を得ること

・作業曜日、作業時間等については、事前に施主・監督員と協議を行い、決定の上施工を進めること

・施主及び監理者の指示に従い、工事中の安全について十分に注意を払うこと

・安全管理、養生及び塵埃の飛散防止等について、十分な計画を立て工事を行うこと

・解体及び改修部分と既存部分との取り合いについては、工事前に十分に調査検討し監理者の確認を受け、必要に応じ補修、補強を行うこと

・工事の際、既存部分に対して何らかの損害を与えた場合は速やかに現状を復旧し、施主及び監督員に報告すること

26. 高調波対策

以下の高調波発生機器に対して、高調波流出電流計算書を作成のうえ、電力会社に提出のこと

・インバータ電動機　・インバータ空調機　・昇降機　・医用放射線機器

・交流無停電電源装置　・大型調光器　・　・

また計算結果が高調波流出電流上限値を超える場合は、監理者と協議のこと

● 27. その他

仕様・詳細は設計図による

● 3.動力設備

● 1. 電気方式

※ 三相3線式　（ ※ 200V　・　V ）　・単相2線式　（ ・200V　・　V ）

● 2. 電動機の接地

※ 接地線配線　・金属管接地　・

● 3. 動力制御盤

仕様・詳細は設計図による

● 4. 手元開閉器

仕様・詳細は設計図による

● 5. 始動方式

電動機をスター・デルタ方式で始動する場合はアークが完全に消弧してからデルタに切り換えられるものとする

● 6. その他

仕様・詳細は設計図による

● 4.電灯コンセント設備

● 1. 電気方式

電灯用　※ 単相2線式　（ ● 100V　● 200V ）

コンセント用　※ 単相2線式　（ ● 100V　● 200V ）

非常用照明用　・直流2線式　（ ※ 100V　・　V ）

● 2. 配線器具

スイッチ　※ 連用大角形　・ワイドハンドル形

同一箇所3個以上及び換気扇用はネーム付とする

コンセント　※ 連用大角形（ただし、2口の場合は埋式を使用してよい）とし、色別は下記の通りとする

一般回路　白色

非常電源回路　赤色

・医用コンセントはJIS T 1021に適合するのとし、原則として色別は下記の通りとする

一般回路　白色

一般非常電源/特別非常電源回路　赤色

無停電電源回路　緑色

※ コンセントプレートには、盤名称及び回路番号を張り付けること

● 3. 照明器具

図面に記載なき場合、LED器具の制御装置は下記による

LED制御装置の種類	記号	備考
連続調光形	LX	35～100%
	LZ	5～100%
初期照度補正形	LJ	
一般形	LN	

● 4. 非常用照明器具

・電池内蔵型　● 電源別置型

5. 誘導灯

・電池内蔵型　・電源別置型

● 6. 照明器具接地

照明器具の金属製部分及び LED制御装置を別置とする場合の金属製外箱には、D種接地を施す。ただし、標準仕様書による場合は接地工事を省略することが出来る。　(2編-2.13.7(ア)～(エ))

7. 分電盤

盤の形式は標準図による

8. 予備配管

予備配管として、分電盤から（E25）又は（PF22）を予備2回路につき1本、最低2本天井ふところ内まで立ち上げる

9. 予備品

予備品として、品目・個数リストと共に下記のものを納入する。なお、数量は配線器具について設計数量の10%とするが、その数量が1個に満たない場合は1個、100個を超える場合は100個とする

・配線器具　・リモコン設定器 1台　・

● 10. 照度測定

※ 主要居室の照度測定を行う

※ 非常用照明装置の照度測定を行う

● 11. その他

仕様・詳細は設計図による

5.構内情報通信網設備

1. 工事区分

・配管　・配線　・アウトレット　・NW機器

2. その他

仕様・詳細は設計図による

6.構内交換設備

1. 電話設備の所有

・自営　・リース

2. 電話交換機

・時分割蓄積プログラム方式　・

3. 機器構成

・交換機　・局線中継台　・本配線盤　・電源装置　・

4. 局線種別・回線数

・光回線　局線　/　回線以上　内線　/　回線以上

※ アナログ回線　局線　/　回線以上　内線　/　回線以上

・　局線　/　回線以上　内線　/　回線以上

5. 保安器用接地

Ω以下

6. 電話機

・内線電話機　台　・多機能電話機　台　・　台

7. 電話用受口

・ノズルプレート　・モジュラージャック（プラグ付）

8. 携帯端末連動

※ 行う

・PHS　台・スマートフォン　台・IPフォン　台

9. 電話機の配線

アウトレットから各電話機への配線は、下記による

・内線電話機 1台につき、EM-BTIEE 0.4-2C　10m

・多機能電話機 1台につき、EM-BTIEE 0.4-4C　10m

・各電話機 1台につき、ワイヤープロテクタ　1.5m

10. その他

仕様・詳細は設計図による

● 7.拡声設備

1. 増幅器（拡声主装置）

用　途　・業務放送用　・非常放送用　・業務非常兼用放送用

形　式　・キャビネット形　・壁掛形　・卓上形

出　力　W

回 線 数　・業務用回線数　回線　・非常用回線数　回線

付加装置組込　・チャイム　・プログラムタイマー　・BGM　・ページング放送

2. 遠隔操作装置

・業務用　・非常用

3. スピーカー

特記なき限り、アッテネーター内蔵とする

4. 受信装置

・AM　・FM　・CS　・有線放送

5. 緊急地震放送

※ 行う

● 6. その他

仕様・詳細は設計図による

● 8.ナースコール設備

● 1. 親機

● 壁掛型　・卓上型　・自立型

・その他機能　（・病室カメラ　・病内情報システム連動　・　　）

● 2. 子機

・天井埋込形　● 壁埋込形　・ウォールユニット組込形

3. 通話方式

・同時通話　・交互通話　・同時交互通話兼用

4. 携帯端末連動

※ する　・しない

・PHS　台・スマートフォン　台・IPフォン　台

・構内交換設備工事

● 5. その他

仕様・詳細は設計図による

● 9.テレビ共同受信設備

1. 受信方式

・空中線　・都市型CATV（・HFC　・FTTC　・FTTH　）

・電波障害補償用CATV

2. 給電方式

・片方向式　・双方向式

3. 同軸ケーブル

周波数帯域　（・CS　・BS/CS（・4K/8K）・UHF　・CATV　）

4. 受信アンテナ

・UHF用（　　）素子　・FM用（　　）素子　・CS用（　　）φ

・BS/CS用（　　）φ　・AM用 ホイップ型　・

5. アンテナ取付

・自立形　・壁掛形　・

6. 増幅器

周波数帯域　（・CS　・BS　・UHF　・FM　・AM　・CATV　・　　）

7. ヘッドエンド装置

・自主放送装置　・シグナルコンバータ　・チャンネルプロパンプ

8. 電波障害の調査

調査時期　（・事前　・中間　・事後　）

周波数帯域　（・CS　・BS/CS　・UHF　・FM　・AM　・CATV　・　　）

● 9. その他

仕様・詳細は設計図による

● 10.火災報知設備

1. 受信機

・P型1級　回線

・PG型　回線

・R型　回線　AD

・G型　回線

・GR型　回線　AD

・総合操作盤　回線　AD

2. 副受信機

・P型用　回線

・R型用

3. 機器収納箱

・消火栓箱（別途衛生設備工事）組込設置　・単独設置

4. 消火栓起動

・発信機連動（表示灯点滅）　・単独スイッチ（動力設備）

5. 監視制御装置

・グラフィックパネル　・ミニグラフィックパネル

・カラーモニタ　（・CRT　・LCD　・PDP　）（　）インチ（　）台

・中央処理装置　（・単独　・中央監視設備のものを使用　）

・メッセージプリンター

6. UPS装置

・別途UPS装置から電源供給　・専用小型UPS装置設置（　　相　　V　　kVA ）

● 7. その他

仕様・詳細は設計図による

11.その他

1. 機器取付け高さ

機器取付け高さは下記を標準とする。ただし、現場の状態により監理者の承諾を受けて変更することができる

	名　称	測　点	取付高(㎜)
共通	取引用計器	地上～上端	2,000
	引込開閉器箱	床上～上端	1,500
	警報盤	床上～中心	1,500
	端子盤（廊下・室内）	床上～下端	300
	端子盤（EPS・電気室）	床上～中心	1,500
	接地端子箱	地上、床上～中心	500
	避雷接地端子箱	床上～下端	800
	接地極埋設標	地上～中心	600
	分電盤、OA盤、実験盤	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	スイッチ（一般）	床上～中心	1,300
	スイッチ（身体障害者用）	床上～中心	1,100
	コンセント（一般）	床上～中心	300
	〃（和室）	床上～中心	150
	〃（台上）	台上～中心	150
	〃（車庫）	床上～中心	800
	ブラケット（一般）	床上～中心	2,100
	〃（踊場）	床上～中心	2,500
	〃（鏡上）	鏡端～下端	150
	避難口誘導灯	床上～下端	1,500 以上
	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000 以下
動力	制御盤	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	開閉器箱	床上～中心	1,500
	操作スイッチ・押ボタン	床上～中心	1,300
電話	室内端子盤（廊下・室内）	床上～下端	300
	中間端子盤（EPS、電気室）	床上～中心	1,500
	集合保安器箱	床上～中心	適宜
	壁付アウトレットボックス（一般）	床上～中心	300
	〃（和室）	床上～中心	150
	〃（台上）	台上～中心	150
	電話用アウトレット（一般）	床上～中心	300
	〃（和室）	床上～中心	150
	〃（台上）	台上～中心	150
時計・拡声	親時計	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	子時計	床上～中心	適宜
	スピーカ	床上～中心	適宜
	アッテネータ	床上～中心	1,300
表示	表示盤	床上～中心	適宜
	発信器（出退表示用）	床上～中心	1,300
	呼出ボタン（身体障害者用）	床上～中心	900
	復帰ボタン（身体障害者用）	床上～中心	1,800
	廊下表示灯（身体障害者用）	床上～中心	2,000
インターホン	インターホン	床上～中心	1,500
	〃（身体障害者用）	床上～中心	1,100
トイレ呼出	子機（洋式）	床上～中心	500
	〃（和式）	床上～中心	300
テレビ	機器収容箱	床上～中心	1,800
	直列ユニット（一般）	床上～中心	300
	〃（和室）	床上～中心	150
	〃（台上）	台上～中心	150
火災報知	受信機	床上～操作部	800 ～ 1,500
	副受信機	床上～中心	1,500
	自動通報機器収容箱	床上～中心	800 ～ 1,500
	発信機	床上～中心	800 ～ 1,500
	ベル	床上～中心	適宜
	消火栓表示灯	床上～中心	適宜
	ガス漏れ検知器（LPガス）	床上～中心	300 以内
	〃（都市ガス）	天井面～中心	天井面より下方300以内
	連動制御器（自動閉鎖）	床上～中心	1,500

【備考】配線器具等の取付高さにおいて、異なる仕上げ材料にまたがる場合は、監理者と調整を行うこと

12.設備機材の指定

1. 製作者の指定

製作者については、原則として下記の指定表に該当する製作者を採用し、請負者が任意に選定する事ができるが、監理者に事前に承諾を得ること

2. 機材指定表

品目	機材名	指定製作者
電線及びケーブル	下記以外	JISマーク表示のあるものとし、製作者を指定しない
	耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定業者委員会の認定表示（JCMAマーク）のあるものとし、製作者を指定しない
配電盤・分電盤		
照明器具		

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　石黒竜夫
一級建築士登録番号　第220170号
設備設計一級建築士登録番号　第1504号

設計者				
主任技術者 江里口綾花				

件名 横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事		Job-No. 21019
図名 特記仕様書－2　（平成31年版）		電気
縮尺 －	日付 2020/03（令和2年）	2
伊藤喜三郎建築研究所		

項目 ＼ 工事	建築	電気	衛生	空調	昇降機				別途	備考
負担金等										
負担金（工事用以外のもの）										
イ、 電気引込	・	・	・	・	・				※	
ロ、 水道引込	・	・	・	・	・				※	
ハ、 下水道接続	・	・	・	・	・				※	
ニ、 ガス引込	・	・	・	・	・				※	
引渡しまでの各種料金（基本料金、使用料金共）										
イ、 給水	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
ロ、 ガス	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
ハ、 電気	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
ニ、 油	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
公害調査費及び対策費（工事に関する以外のもの）	・	・	・	・	・				※	
電波受信障害調査費及び対策工事費	・	・	・	・	・				※	
屋外・工作物等										
門扉、囲障	※	・	・	・	・				・	
植樹	※	・	・	・	・				・	
舗装	※	・	・	・	・				・	
擁壁	※	・	・	・	・				・	
ゴミ集積所	※	・	・	・	・				・	
ゴミ焼却炉	※	・	※	・	・				・	焼却炉本体及び据付は衛生工事
屋外貯油槽										
イ、 外郭躯体及び乾燥砂、マンホール	※	・	・	・	・				・	
ロ、 オイルタンク	・	・	・	※	・				・	
ハ、 タンクの据付	・	・	・	※	・				・	
煙 突	※	・	・	・	・				・	
給気塔・排気塔及びコンクリート風道	※	・	・	・	・				・	
ガスガバナー棟	※	・	・	・	・				・	
医療ガスボンベ棟	※	・	・	・	・				・	
コンクリート槽・溝等										
雑用受水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
湧水槽・雨水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
汚水槽・雑排水槽・化学排水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
発電機用冷却水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
コンクリート槽の釜場	※	・	・	・	・				・	
コンクリート槽の通気口、通水口、連通口等	※	・	・	・	・				・	
コンクリート躯体桝	※	・	・	・	・				・	
コンクリート製グリーストラップ	※	・	・	・	・				・	
既製グリーストラップ	・	・	※	・	・				・	
コンクリート製ガソリントラップ	※	・	・	・	・				・	
ドライエリア、サービスコートの排水溝及び泥溜桝	※	・	・	・	・				・	
駐車場、スロープ等の排水溝及び泥溜桝	※	・	・	・	・				・	
屋内排水溝及び蓋	※	・	・	・	・				・	
各種トレンチピット及び点検口	※	・	・	・	・				・	
設備機器の基礎等										
屋内設備の基礎（建築図にあるもの）	※	・	・	・	・				・	
屋内設備の基礎（建築図にないもの）	・	※	※	※	※				・	各工事別とする
屋上設備の基礎（架台、アンカーボルトを除く）	※	・	・	・	・				・	
屋外設備の基礎（架台、アンカーボルトを除く）	※	・	・	・	・				・	
機器取付け架台、アンカーボルト	・	※	※	※	※				・	各工事別とする
機械室、厨房等の配管用増打コンクリート	※	・	・	・	・				・	
各種設備機器設置のための吊フック	※	・	・	・	・				・	
医療機器用アンカーボルト及び金物の取付	※	・	・	・	・				※	図示あるものは建築工事
医療機器用基礎及び仕上	※	・	・	・	・				※	図示あるものは建築工事
S・SRC・RC造の貫通穴・開口部										
鉄骨部の鋼管スリーブ	※	・	・	・	・				・	
貫通穴のスリーブ	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
開口部の型枠	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
上記３行の補強	※	・	・	・	・				・	
貫通孔・開口部の墨出し	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
貫通穴のスリーブ空隙及び予備貫通穴の充填	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
外壁貫通スリーブの防水	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
ボード等の貫通口・開口部及び吊ボルトインサート										
ＡＬＣパネル等を貫通する配管配線のﾊﾞ明け	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
ＰＣ板を貫通する配管配線のﾊﾞ明け	※	・	・	・	・				・	
壁・天井の軽量鉄骨下地の開口補強	※	・	・	・	・				・	
壁、天井ボード類の切込み	※	・	・	・	・				・	位置出しは各工事別とする
既製間仕切壁等の切込み及び補強	※	・	・	・	・				・	
設備機器・器具・配管・配線用	・	※	※	※	・				・	各工事別とする
給排水その他設備										
雨水用ドレイン及び配管	※	・	・	・	・				・	インサートを含む
フロアードレイン	・	・	※	・	・				・	
屋外雨水排水設備	※	・	・	・	・				・	
雨水第１桝	※	・	・	・	・				・	
屋外雑排水及び汚水排水設備	・	・	※	・	・				・	
同上ます及びますぶた	・	・	※	・	・				・	
浄化槽	・	・	※	・	・				・	点検口、タラップを含む
消防用水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
ＲＩ排水貯留槽	・	・	※	・	・				・	点検口、タラップを含む
電気										
自家発電機用排気筒（横引）	・	※	・	・	・				・	
自家発電機用冷却装置	・	※	・	・	・				・	
自家発電機用冷却装置の一時側給水管、排水管	・	・	※	・	・				・	
自家発電機燃焼用の給排気設備	・	※	・	・	・				・	
自家発電機用給油設備（屋外オイルタンクよりサービスタンク迄）	・	・	・	※	・				・	サービスタンクより発電機までの配管は電気工事
ボイラー操作盤及び二次側配管配線	・	・	・	※	・				・	
冷凍機用動力操作盤及び二次側配管配線	・	・	・	※	・				・	
パッケージ型空調用手元開閉器並に配管配線	・	※	・	・	・				・	
電動シャッター、自動扉の操作盤、押釦取付及び二次側配管配線	※	・	・	・	・				・	
水中ポンプ及びケーブル、電極の取付	・	・	※	・	・				・	
同上制御盤への接続	・	※	・	・	・				・	
映像情報装置	・	・	・	・	・				※	
視聴覚装置及び関連機器	・	・	・	・	・				※	
スタジオ用関係機器	・	・	・	・	・				※	
コンピュータ関連機器及び専用電源	・	・	・	・	・				※	
ページング装置（携帯用受信機共）	・	・	・	・	・				※	
電話交換装置	・	・	・	・	・				※	
防災										
防火戸										
イ、 防火戸閉鎖装置	※	・	・	・	・				・	
ロ、 連動制御装置、煙感知器の取付及配線	・	※	・	・	・				・	
防火シャッター										
イ、 シャッター閉鎖装置	※	・	・	・	・				・	
ロ、 連動制御装置、煙感知器	・	※	・	・	・				・	
防煙垂れ壁										
イ、 防煙垂れ壁閉鎖装置	※	・	・	・	・				・	
ロ、 連動制御装置、煙感知器	・	※	・	・	・				・	
防煙ダンパー										
イ、 ダンパー閉鎖装置（ＳＦＤ）	・	・	・	※	・				・	
ロ、 連動制御装置、煙感知器	・	※	・	・	・				・	
排煙口（機械排煙）										
イ、 排煙口開閉装置	・	・	・	※	・				・	
ロ、 手動の操作箱	・	・	・	※	・				・	遠隔操作及び開閉表示は電気工事
防犯監視設備	・	・	・	・	・				※	
電気錠	※	・	・	・	・				・	一次側電源供給は電気工事
制御										
空調用自動制御機器	・	・	・	※	・				・	
同上配管配線	・	・	・	※	・				・	
同上電源供給	・	※	・	・	・				・	
中央監視										
イ、 電気	・	※	・	●	・				・	
ロ、 空調	・	※	・	●	・				・	
ハ、 衛生	・	※	・	●	・				・	
ニ、 防災	・	※	・	・	・				・	
ホ、 ガス警報	・	※	・	・	・				・	
ヘ、 昇降機	・	・	・	・	※				・	
ト、 搬送	・	・	・	・	・				・	搬送工事とする
各制御盤遠方監視及び操作制御	・	・	・	※	・				・	
動力制御インターロック	・	※	・	●	・				・	
中央監視装置利用のインターロック	・	※	・	●	・				・	
天井吊ファンコイルの手元制御用配管配線	・	・	・	※	・				・	
動力制御盤と中央監視リモート盤間配管配線	・	・	・	※	・				・	
昇降機										
エレベーター三方枠、幕板	・	・	・	・	※				・	
エレベーター化粧枠・化粧幕板	※	・	・	・	・				・	
エレベーター中間ビーム	※	・	・	・	・				・	
エレベーター用吊フック	※	・	・	・	・				・	
エレベーター用インターホン及び監視テレビ	・	・	・	・	※				・	昇降路内の配管配線は昇降機工事
同上昇降路外の配管配線	・	※	・	・	・				・	
エレベーターピット内タラップ	※	・	・	・	・				・	
エレベーターピット内コンセント	・	※	・	・	・				・	
中央監視運行表示板	・	・	・	・	※				・	
地震感知器から制御盤までの配管配線	・	・	・	・	※				・	
器具										
造作流し（排水トラップ付）	※	・	・	・	・				・	水栓、配管接続は衛生工事
既製流し（排水トラップ付）	※	・	・	・	・				・	水栓、配管接続は衛生工事
陶製流し（排水トラップ付）	・	・	※	・	・				・	
洗面化粧台（既製品）	・	・	※	・	・				・	
洗面カウンター（切込みを含む）	※	・	・	・	・				・	器具、水栓、配管接続は衛生工事
洗面器一体型カウンター（排水トラップ付、取付を含む）	※	・	・	・	・				・	水栓取付は衛生工事
コンクリート製流し	※	・	・	・	・				・	
同上水栓目皿、排水トラップ及び配管接続	・	・	※	・	・				・	
ユニットバス本体及び据付	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
浴槽（フタ付）本体及び据付	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
ユニットシャワー本体及び据付	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
鏡	※	・	・	・	・				・	
化粧棚	※	・	・	・	・				・	
厨房器具	・	・	・	・	・				※	
厨房用プレハブ冷蔵室、冷凍室	・	・	・	・	・				※	
システムキッチン	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
ミニキッチン	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
洗濯機用防水パン（排水トラップ付）	※	・	・	・	・				・	接続は衛生工事
ウォータークーラー	・	・	※	・	・				・	据付及び二次側配管共一次側電源供給は電気工事
各種自動販売機	・	・	・	・	・				※	据付及び二次側配管共
避難器具	※	・	・	・	・				・	
排気扇及びウェザーカバー	・	・	・	※	・				・	
同上取付枠及び穴明け	※	・	・	・	・				・	
消火器ボックス	※	・	・	・	・				※	壁埋込型は建築工事
消火器	・	・	・	・	・				※	
壁掛大便器取付スタンド	・	・	※	・	・				・	
その他										
点検口（床、天井、シャフト等）	※	・	・	・	・				・	
外壁取付ガらり（防虫網共）	※	・	・	・	・				・	
同上ダンパ（ＦＤ）	※	・	・	・	・				・	
外壁取付ダクト接続用がらり（防鳥網共）	※	・	・	・	・				・	
同上ダンパ（ＦＤ）	※	・	・	※	・				・	
アコーディオンカーテン	※	・	・	・	・				・	
ブラインド	・	・	・	・	・				※	
カーテン、暗幕	・	・	・	・	・				※	
カーテンボックス及びブラインドボックス	※	・	・	・	・				・	
カーテンレール	※	・	・	・	・				・	
ファンコイルカバー	※	・	・	・	・				・	
フリーアクセスフロアー	※	・	・	・	・				・	
電動ラック、移動棚等	・	・	・	・	・				※	
サイン（室名表示、階段表示、案内板等）	※	・	・	・	・				・	
サイン内部照明	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は電気工事
自動ドア	※	・	・	・	・				・	一次側電源供給は電気工事
医療機器等										
蒸溜水製造装置	・	・	・	・	・				※	
純水製造装置	・	・	・	・	・				※	
滅菌水製造装置	・	・	・	・	・				※	
人工透析装置及び二次側配管配線	・	・	・	・	・				※	
ＲＩ用各モニター	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管配線	・	・	・	・	・				※	
医療用プレハブ冷蔵室、冷凍室	・	・	・	・	・				※	
屍体用冷蔵庫、保存庫	・	・	・	・	・				※	
一般ペット用設備ユニット	※	・	・	・	・				・	
医療パネル	※	・	・	・	・				・	一次側電源供給は電気工事
オートクレーブ	・	・	・	・	・				※	
手術用手洗器	・	・	・	・	・				※	
煙器消毒器	・	・	・	・	・				※	
歯科用コンプレッサー	・	・	・	・	・				※	
同上二次側エア配管、及び電源	・	・	・	・	・				※	
ドラフトチャンバーの排気処理装置	・	・	・	・	・				※	
自動現像装置及びミキシングバルブ、流量計、フィルター	・	・	・	・	・				※	
水治療用特殊浴槽	・	・	・	・	・				※	
暗室用特殊照明	・	※	・	・	・				・	
手術室、分娩室の壁埋込医療機器	※	・	・	・	・				・	壁切込み開口補強は建築工事
手術室、分娩室の無影灯	・	・	・	・	・				※	埋込ベースプレートは建築工事
手術室、分娩室のシーリングコラム	・	・	・	・	・				※	埋込ベースプレートは建築工事
バイオクリーンルーム（ＣＬＡＳＳ　　）	・	・	・	・	・				※	
シールド室内装										
放射線シールド	※	・	・	・	・				・	
電磁波シールド	※	・	・	・	・				・	
電波シールド	※	・	・	・	・				・	但し、室内置型のものは別途
防音室内装	※	・	・	・	・				・	但し、室内置型のものは別途
エアーシャワー	・	・	・	・	・				※	
パスボックス	・	・	・	・	・				※	
Ｘ線室　天井走行レール	・	・	・	・	・				※	埋込ベースプレートは建築工事
点滴レール	※	・	・	・	・				・	
点滴フック	※	・	・	・	・				・	
上記以外の別途工事となる各種医療機器本体及び据付	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管、配線、ダクト	・	・	・	・	・				※	
各種医療機器一次側配管立上り、立下り（バルブ止め）	・	・	※	※	・				・	
同上トラップ	・	・	※	・	・				・	
同上電源、手元スイッチ	・	※	・	・	・				・	
一次側ダクト立下り（ダンパー止め）	・	・	・	※	・				・	
ドラフトチャンバー	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管、配線、ダクト	・	・	・	・	・				※	
安全キャビネット	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管、配線、ダクト	・	・	・	・	・				※	
クリーンベンチ	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管、配線	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管、配線	・	・	・	・	・				※	

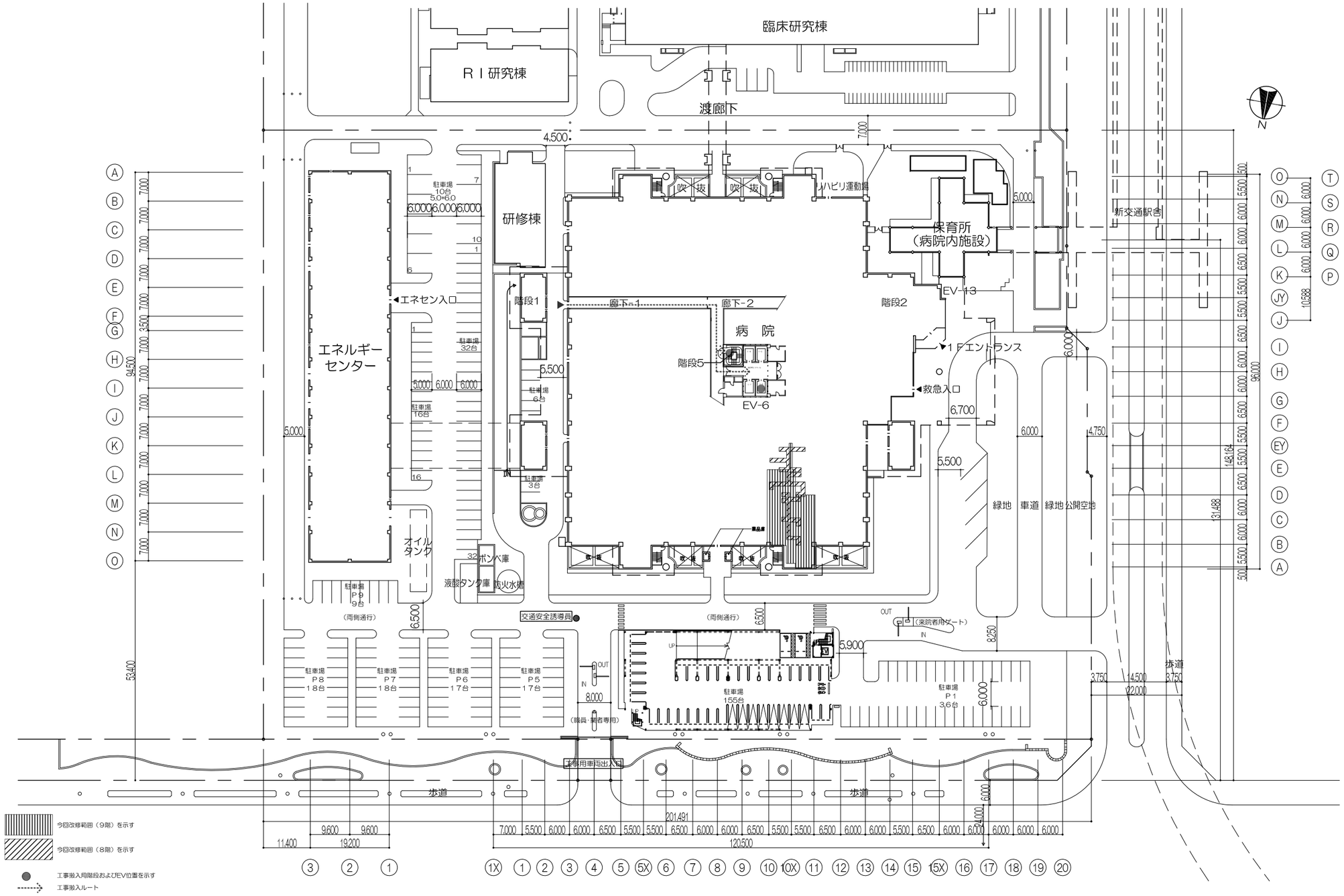
（注）表中の●印を付したものを適用し、各工事負担とする。
●の付かない場合は、※印付いたものを適用し、各工事負担とする。
●印と◎印の付いた場合は、共に適用し、各工事負担とする。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号 第2215号
設 計 者 石 黒 竜 夫
一級建築士登録番号 第220170号
設備設計一級建築士登録番号 第1504号

設 計 者				
主任技術者 江里口綾花				

件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事	Job-No. 21019
図名	工事区分表	電気
縮尺	― 日付 2021/05(R03)	3

伊 藤 喜 三 郎 建 築 研 究 所



特記事項
・現地と図面において、既存状況が異なる場合には現地を優先する。

※工事用車両は敷地北側ゲートを使用し、搬入用ルートは病院の運用に支障がないように協議して進める。
※工事用車両駐車スペース・資材置き場等については、病院側と協議の上場所を決定する。

工事作業時間の基本的制限
①搬入・搬出　：　院内ルートを使用しての搬出入については平日の早朝行うこと。
②騒音・振動工事　：　必ず事前に施主に工事時間帯を報告調整の上実施のこと。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録番号　第2215号 設計者　江口 紀子 一級建築士登録番号　第206714号	設計者 総括責任者 山寺 美和子 一級建築士 第309931号 担当者 下大園 久子 一級建築士 第366817号 担当者 上田 妙矢香	件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事	Job-No.	21019
		図名	配置図		電気
		縮尺	R 1/500(A1) 1/1000(A3)	日付 2021/05(R3)	4
			伊藤喜三郎建築研究所		

動力・コンセント・医用接地設備　凡例

撤去図　凡例

記号	名 称	摘 要	備考
	電灯分電盤		既存のまま
	プルボックス		既存のまま
	アウトレットボックス		
FC	アウトレットボックス		ファンコイルユニット用
	埋込コンセント	2P 15A（E極付）x 2	
※	埋込コンセント	2P 15A（E極付）x 2	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う
	医用コンセント	2P 15A（E極付）x 2	
※	埋込コンセント（引掛型）	2P 15A（E極付）x 1	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う
EC	医用接地センター	埋込型	
※	医用接地センター	埋込型	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う
NO	回路番号	AC 1φ2W 100V	
NO	回路番号	AC 1φ2W 200V	
NO	回路番号	AC /GC 1φ2W 100V	

注記
1．特記なき配管配線は下記とする。
- IV 2.0 x 2, E2.0　既設配管
- IV 2.0 x 4　既設配管
- IV 2.0 x 6　既設配管
- IV 2.0 x 8　既設配管
- IV 2.0 x 4., E2.0　既設配管
- VVF 2.0-3C　（1Cアース）
- VVF 2.0-3C　既設配管内
- E IV5.5□　天井内ころがし
- E IV5.5□　既設配管内
- E14 IV14 □　天井内ころがし
- E14 IV14 □　既設配管内

2．二重天井部はケーブルころがし配線とする。
3．打込み配管以外の配管、配線、器具類はすべて撤去する。
4．※印の器具は撤去再取付とする。

改修図　凡例

記号	名 称	摘 要	備考
	電灯分電盤		既存のまま
	プルボックス		既存のまま
	アウトレットボックス		
FC	アウトレットボックス		ファンコイルユニット用
	埋込コンセント	2P 15A（E極付）x 2	
※	埋込コンセント	2P 15A（E極付）x 2	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う
F	埋込コンセント	2P 15A（E極付）x 2	自動水洗用
W	埋込コンセント	2P 15A（E極付）x 2	ウォッシュレット用
ELBF	ELガード接地コンセント	2P 15A（E極付）x 2	自動水洗用　パナソニックWTF7003W相当品
ELBW	ELガード接地コンセント	2P 15A（E極付）x 2	ウォッシュレット用　パナソニックWTF7003W相当品
	医用コンセント	2P 15A（E極付）x 2	
	埋込コンセント（引掛型）	2P 15A（E極付）x 1	
※	埋込コンセント（引掛型）	2P 15A（E極付）x 1	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う
EC	医用接地センター	埋込型	
※	医用接地センター	埋込型	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う
	埋込スイッチ	1P 15A（ONピカ）	
	排気ファン		別途機械設備工事
	既存壁貫通処理	50φ	
NO	回路番号	AC 1φ2W 100V	
NO	回路番号	AC 1φ2W 200V	
NO	回路番号	AC /GC 1φ2W 100V	

注記
1．特記なき配管配線は下記とする。
- EM-EEF2.0-3C（1Cアース）　保護管(PF22)
- M EM-EEF2.0-3C（1Cアース）　保護管(MMB)
- EM-IE 2.0 x 2, E2.0　既設配管
- EM-IE 2.0 x 4　既設配管
- EM-IE 2.0 x 6　既設配管
- EM-IE 2.0 x 8　既設配管
- EM-IE 2.0 x 4., E2.0　既設配管
- E EM-IE 5.5□
- E M EM-IE 5.5□　既設配管内
- E14 EM-IE 14□
- E14 M EM-IE 14□　既設配管内

2．二重天井部はケーブルころがし配線とする。
3．※印の器具は撤去再取付とする。
4．MMBにはコーナーボックス(DZB245E)を設けること。

電灯設備　凡例

撤去図　凡例

記号	名 称	摘 要	備考
	電灯分電盤		既存のまま
	アウトレットボックス		
	アウトレットボックス		既存のまま
	蛍光灯	FL 40W x 1	
※	蛍光灯	FL 40W x 1	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う
	蛍光灯	FL 40W x 2	
※	蛍光灯	FL 40W x 2	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う
	誘蛾灯		自家発回路
	ペットライト		
	埋込スイッチ	1P 15A	
R	リモコンスイッチ	1回路　2線式	
※R	リモコンスイッチ	1回路　2線式	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う
NO	回路番号	AC 1φ3W 100V	
NO	回路番号	AC 1φ3W 200V	
NO	回路番号	AC /GC 1φ3W 100V	

注記
1．特記なき配管配線は下記とする。
- VVF 2.0-2C　天井内コロガシ
- VVF 2.0-3C　（1Cアース）
- VVF 2.0-3C　既設配管内
- VVF 2.0-2C X2　（1Cアース）
- VVF 2.0-3C + 2C　（1Cアース）
- VVF 2.0-3C X2　（1Cアース）
- VVF 2.0-2C X2 + 3CX1（1Cアース）
- C CVV 2-2C　天井内コロガシ
- C CVV 2-2C　既設配管内

2．二重天井部はケーブルころがし配線とする。
3．※印の器具は撤去再取付とする。

改修図　凡例

記号	名 称	摘 要	備考
	電灯分電盤		既存のまま
	アウトレットボックス		
	アウトレットボックス		既存のまま
	蛍光灯	LED	
※	蛍光灯	FL 40W x 1	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う
※	蛍光灯	FL 40W x 2	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う
	誘蛾灯	LED	自家発回路
	ペットライト	LED	メディカルユニット（別途工事）に取付
	埋込スイッチ	1P 15A	
R	リモコンスイッチ	1回路　2線式	
※R	リモコンスイッチ	1回路　2線式	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う
NO	回路番号	AC 1φ3W 100V	
NO	回路番号	AC 1φ3W 200V	
NO	回路番号	AC /GC 1φ3W 100V	
	既存壁貫通処理	50φ	

注記
1．特記なき配管配線は下記とする。
- EM-EEF2.0-3C　（1Cアース）　保護管(PF22)
- EM-EEF2.0-2C　立ち下げ保護管(PF16)
- EM-EEF2.0-3C　立ち下げ保護管(PF22)
- EM-EEF2.0-2C x 2　立ち下げ保護管(PF28)
- EM-EEF2.0-3C x 2　立ち下げ保護管(MMB)
- VVF 2.0-3C X2
- VVF 2.0-2C X2 + VVF 2.0-3C X1

2．二重天井部はケーブルころがし配線とする。
3．壁等の立下げ部はPF管にて保護すること。
4．※印の器具は撤去再取付とする。
5．MMBにはコーナーボックス(DZB245E)を設けること。

拡声・テレビ共同受信設備　凡例

撤去図　凡例

記号	名 称	摘 要	備考
	端子盤（既存）		
<拡声設備>			
	天井埋込スピーカ　ATT付	L級　1W/3W	
※	天井埋込スピーカ　ATT付	L級　1W/3W	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う
<TV設備>			
	直列ユニット　中間	1端子	
R	直列ユニット　終末	1端子	
※	直列ユニット　中間	1端子	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う
※R	直列ユニット　終末	1端子	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う

注記
1．特記なき配管配線は下記とする。

<拡声設備>
- H HP 1.2-3C　天井内コロガシ

<テレビ共同受信設備>
- 5C 5C-2V　天井内コロガシ
- 5C 5C-2V　既設配管内

2．二重天井部はケーブルころがし配線とする。
3．※印の器具は撤去再取付とする。

改修図　凡例

記号	名 称	摘 要	備考
	端子盤（既存）		
<拡声設備>			
	天井埋込スピーカ　ATT付	L級　1W/3W	
※	天井埋込スピーカ　ATT付	L級　1W/3W	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う
<TV設備>			
	直列ユニット　中間	1端子	
R	直列ユニット　終末	1端子	
※	直列ユニット　中間	1端子	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う
※R	直列ユニット　終末	1端子	配線のため既存の器具を撤去し再取付を行う

注記
1．特記なき配管配線は下記とする。

<拡声設備>
- H EM-HP 1.2-3C　天井内コロガシ

<テレビ共同受信設備>
- 5C EM-S-5C-FB　天井内コロガシ
- 5C M EM-S-5C-FB　MMB

2．二重天井部はケーブルころがし配線とする。
3．※印の器具は撤去再取付とする。

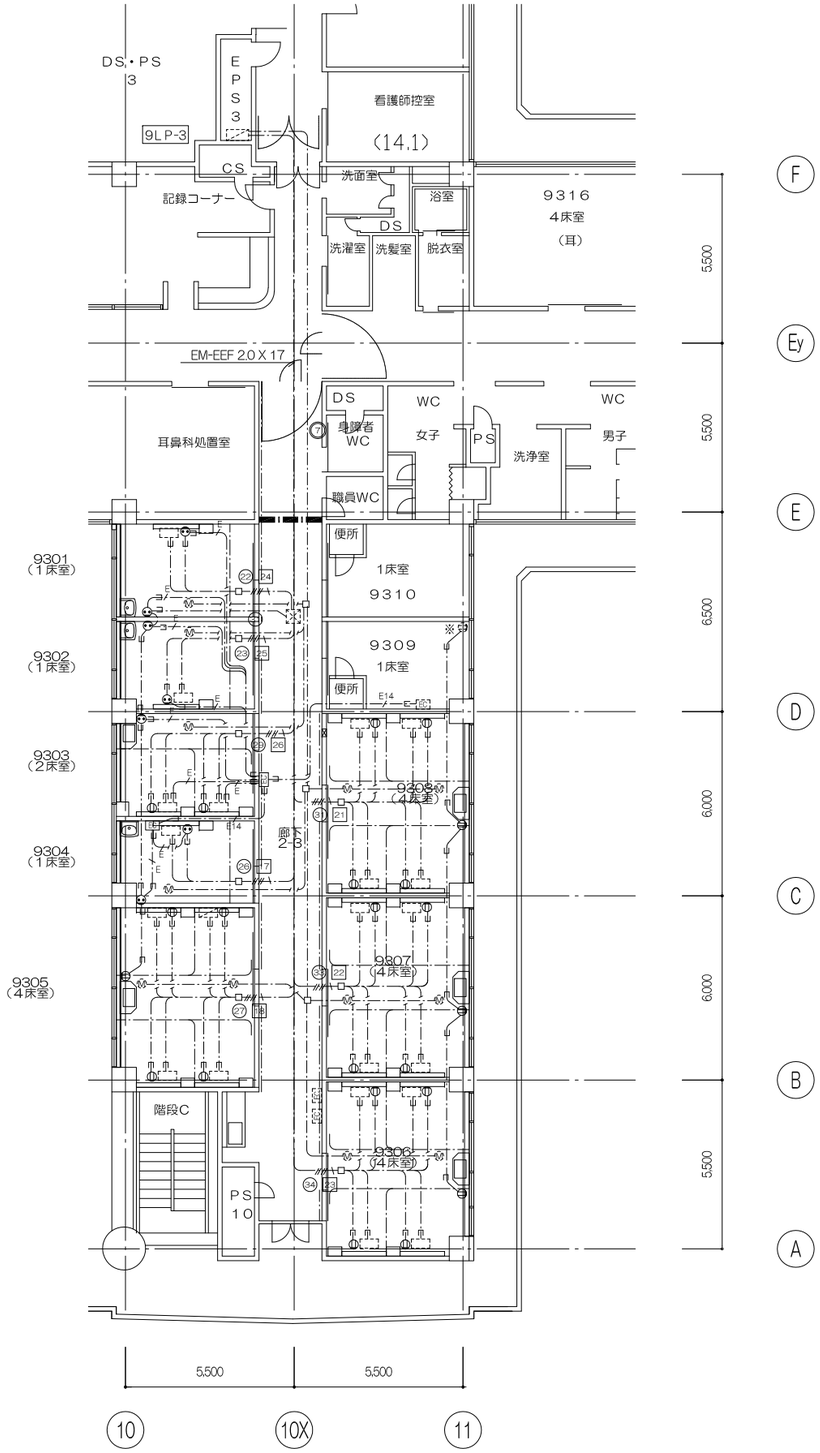
株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所　東京都知事登録番号　第2215号
設計者　石黒竜夫
一級建築士登録番号　第220170号
設備設計一級建築士登録番号　第1504号

設計者				
担当者 江里口綾花				

件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事（電気設備工事）
図名	凡例
縮尺	—
日付	2021/06（令和3年）
Job-No.	21019
	電気 5

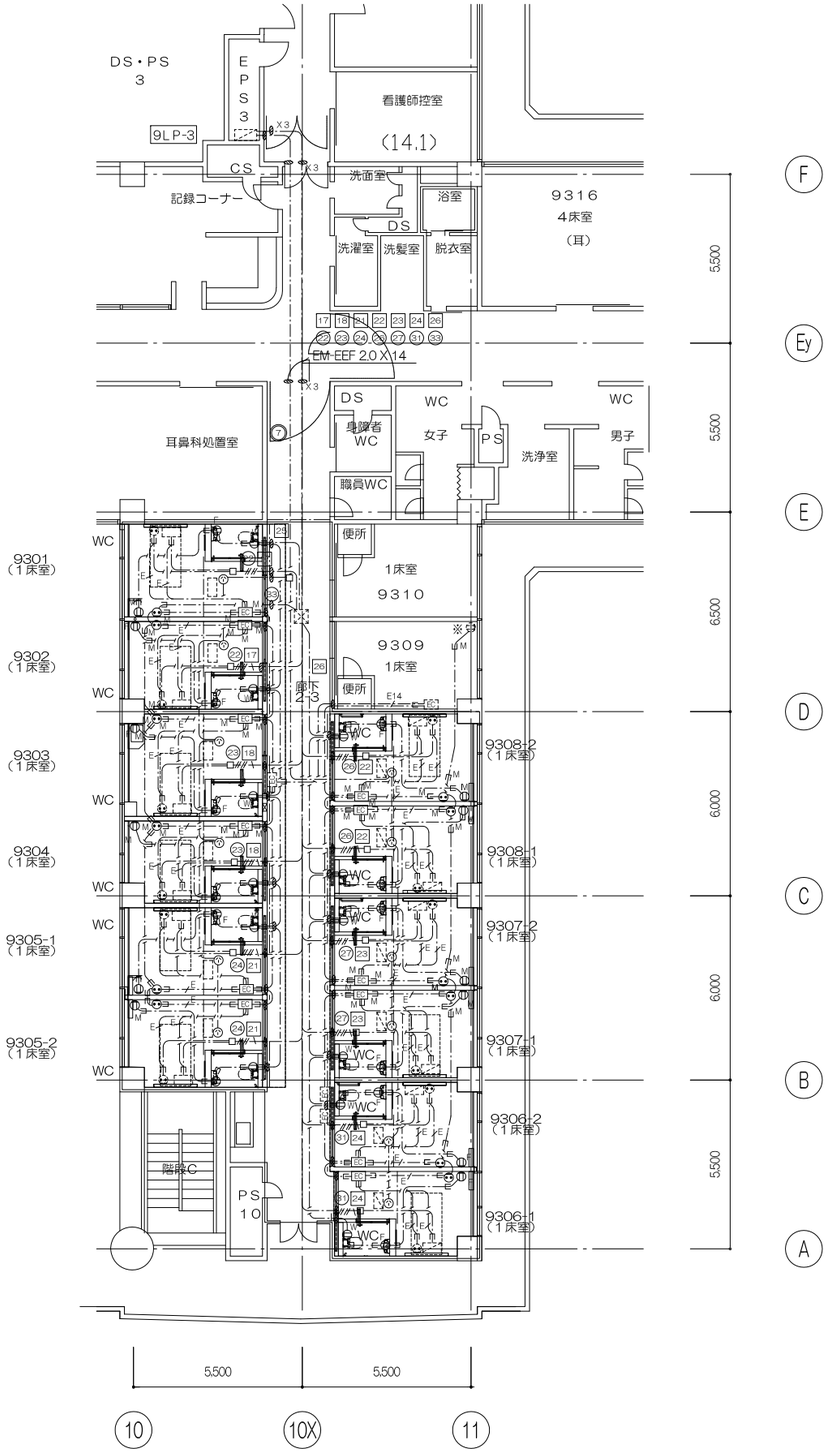
伊藤喜三郎建築研究所

撤去平面図



動力・コンセント医用接地設備　撤去図　A1:1/100　A3:1/200

改修平面図

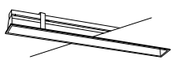


動力・コンセント医用接地設備　改修図　A1:1/100　A3:1/200

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号 設計者 石黒竜夫 一級建築士登録番号 第220170号 設備設計一級建築士 登録番号 第1504号	設計者 担当者 江里口綾花	件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事 (電気設備工事)	Job-No. 21019	
		図名	動力・コンセント・医用接地設備 9階　撤去改修図	電気	
		縮尺 A1:1/100 A3:1/200	日付 2021/05 (令和3年)	6	
		伊藤喜三郎建築研究所			

新設　照明器具姿図

A　ＬＤＬ４０×１　埋込ホスピタルコンフォート



適合ランプ：蛍管ＬＥＤランプ
電圧１００～２４２Ｖ、ランプ用材：ガラス管、Ｒａ：８４
本体塗料種類（仕様）
反射板：種類（高反射白色粉体塗装）
光束色４０００Ｋ特性（光束維持率８５％）
寸法３１２０×１２５５　埋込高１４５
約２５～１００％連続調光

パナソニック　ＮＮＦ４１７７２ＪＬＴ９　型番同等品

B　ユニバーサルダウンライト処置灯

ＬＥＤ内蔵、３０００Ｋ、Ｒａ８５、約１～１００％連続調光型
器具光束：１３７０ｌｍ、消費電力：１２．２Ｗ、電圧：１００－２４２Ｖ
配光：専用タイプ、光束色５４０００Ｋ特性（光束維持率８５％）
枠：種類（クールホワイトつや消し仕上）
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
パネル：ポリカーボネート（透明）
商品総重量２５ｇｒ、水平面総延長３５５ｍｍ、埋込穴φ１５０

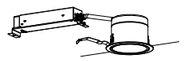
パナソニック　ケアサポートライトＸＬＨ１５６０ＵＬＬＪ９　型番同等品

C　ＬＥＤベッドライト

電球色、２７００Ｋ、Ｒａ９３
型付スライドカルコンニット付兼用
セード：種類（クールホワイト）
アーム：フレキシブルタイプ
ショートアーム広ベッドライト　調整専用

パナソニック　ＮＮＦ２３１０６ＪＬＥ１　型番同等品

D　ダウンライト　６０形



ＬＥＤ内蔵＜ワンフプ（ひと粒）タイプ＞、電球ユニット内蔵、一般光色タイプ
３５００Ｋ、Ｒａ８５、反射タイプ
光束定格３０ｌｍ、光束色４０００Ｋ特性（光束維持率８５％）
器具光束：７５１ｌｍ、消費電力：６．２Ｗ、電圧：１００－２４２Ｖ
枠：種類（上部）：アルミ（ホワイト）
反射板（下部）：アルミ（銀白鏡面仕上）
枠：種類（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ１００

パナソニック　ダウンライトＸＮＤ０６３７ＳＶＬＥ９　型番同等品

撤去　照明器具表

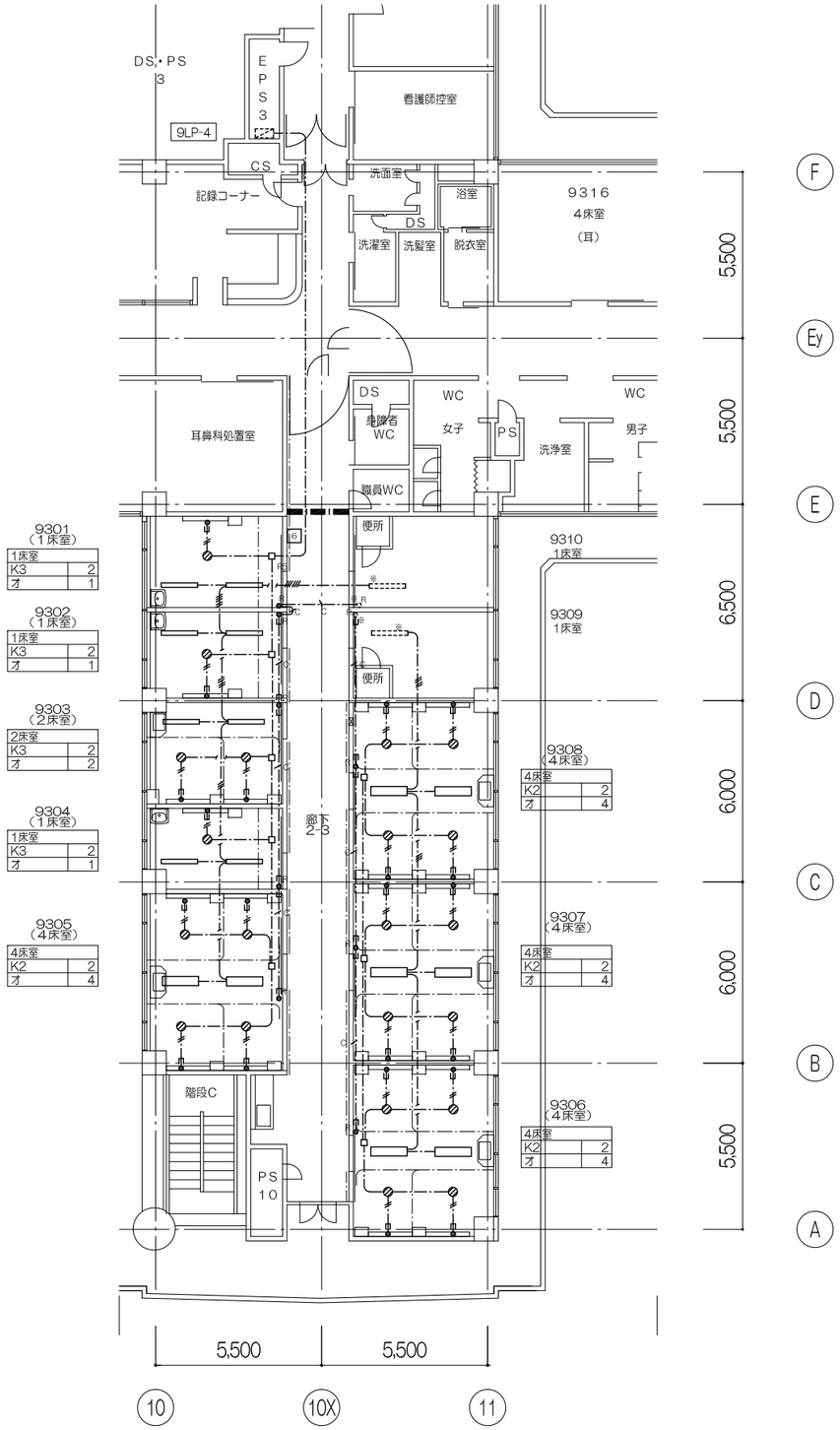
記号	撤去　照明器具
K2	埋込下面パネル　　FL 40W x 2
K3	埋込下面パネル　　FL 40W x 1
オ	処置灯

株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　石黒竜夫
一級建築士登録番号　第220170号
設備設計一級建築士
登録番号　第1504号

設計者				
担当者 江里口綾花				

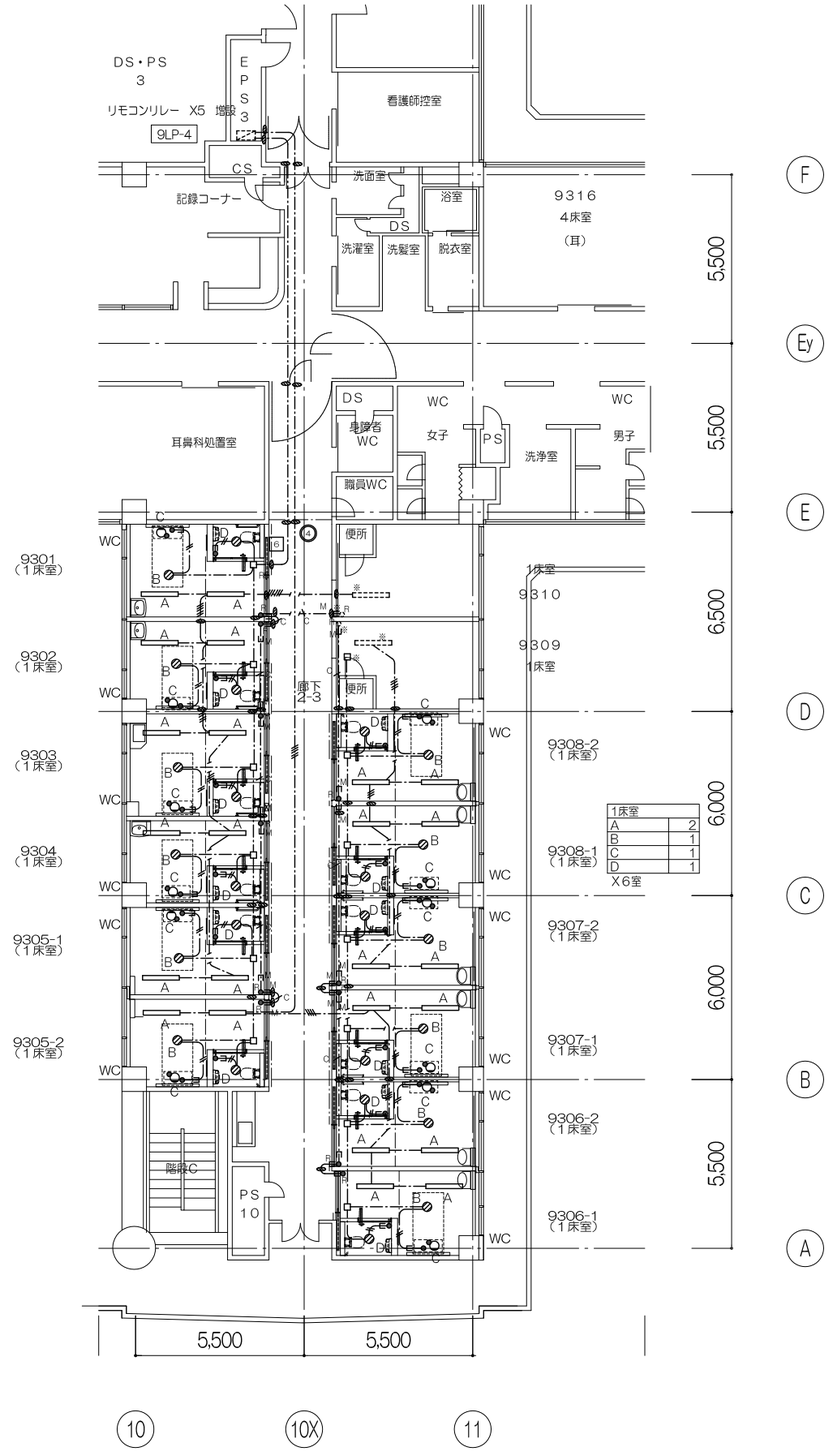
件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事（電気設備工事）	Job-No. 21019
図名	照明器具姿図・撤去照明器具表	電気
縮尺	－	日付 2021/06（令和3年）
	伊藤喜三郎建築研究所	7

撤去平面図



電灯設備　撤去図　A1:1/100　A3:1/200

改修平面図



電灯設備　改修図　A1:1/100　A3:1/200

1床室				
A	2			
B	1			
C	1			
D	1			
X6室				

1床室				
A	2			
B	1			
C	1			
D	1			
X6室				

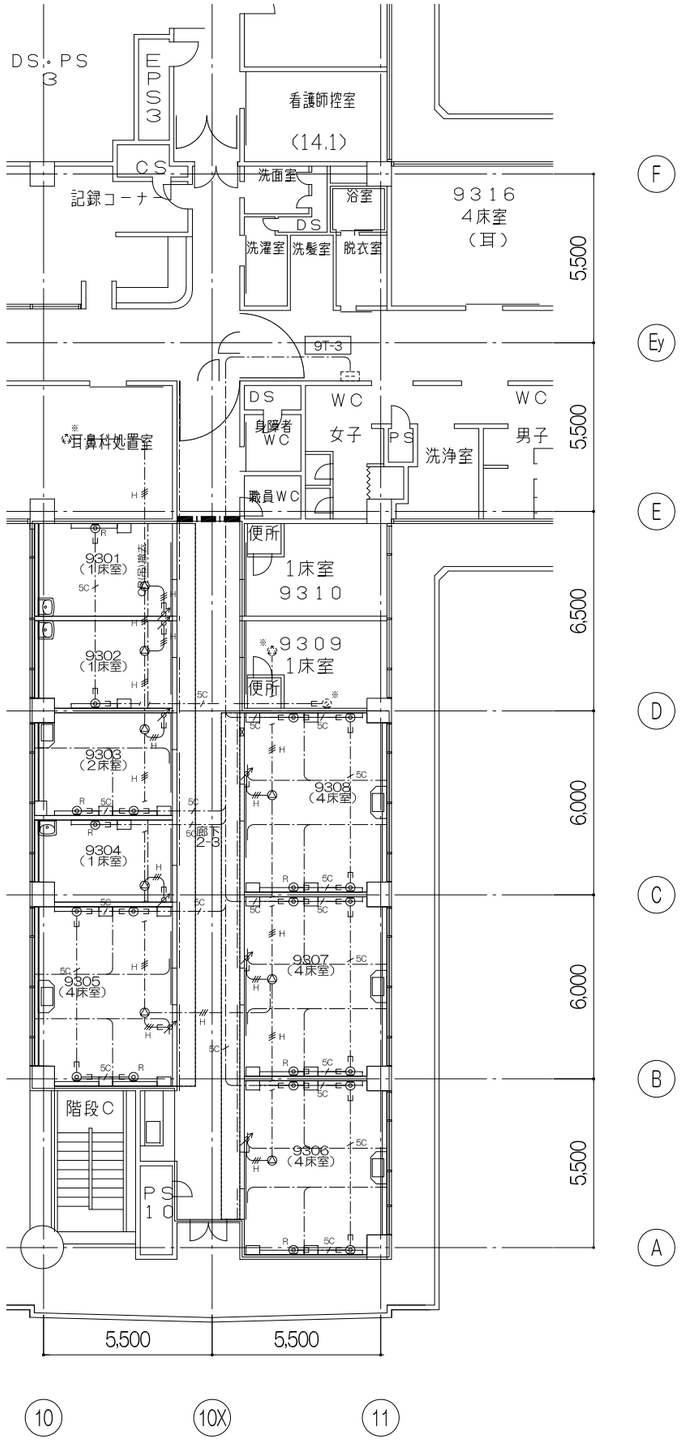
9301 (1床室)	1床室	K3	2	オ 1
9302 (1床室)	1床室	K3	2	オ 1
9303 (2床室)	2床室	K3	2	オ 2
9304 (1床室)	1床室	K3	2	オ 1
9305 (4床室)	4床室	K2	2	オ 4
9308 (4床室)	4床室	K2	2	オ 4
9307 (4床室)	4床室	K2	2	オ 4
9306 (4床室)	4床室	K2	2	オ 4

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号 第2215号
設計者 石黒竜夫
一級建築士登録番号 第220170号
設備設計一級建築士
登録番号 第1504号

設計者				
担当者 江里口綾花				

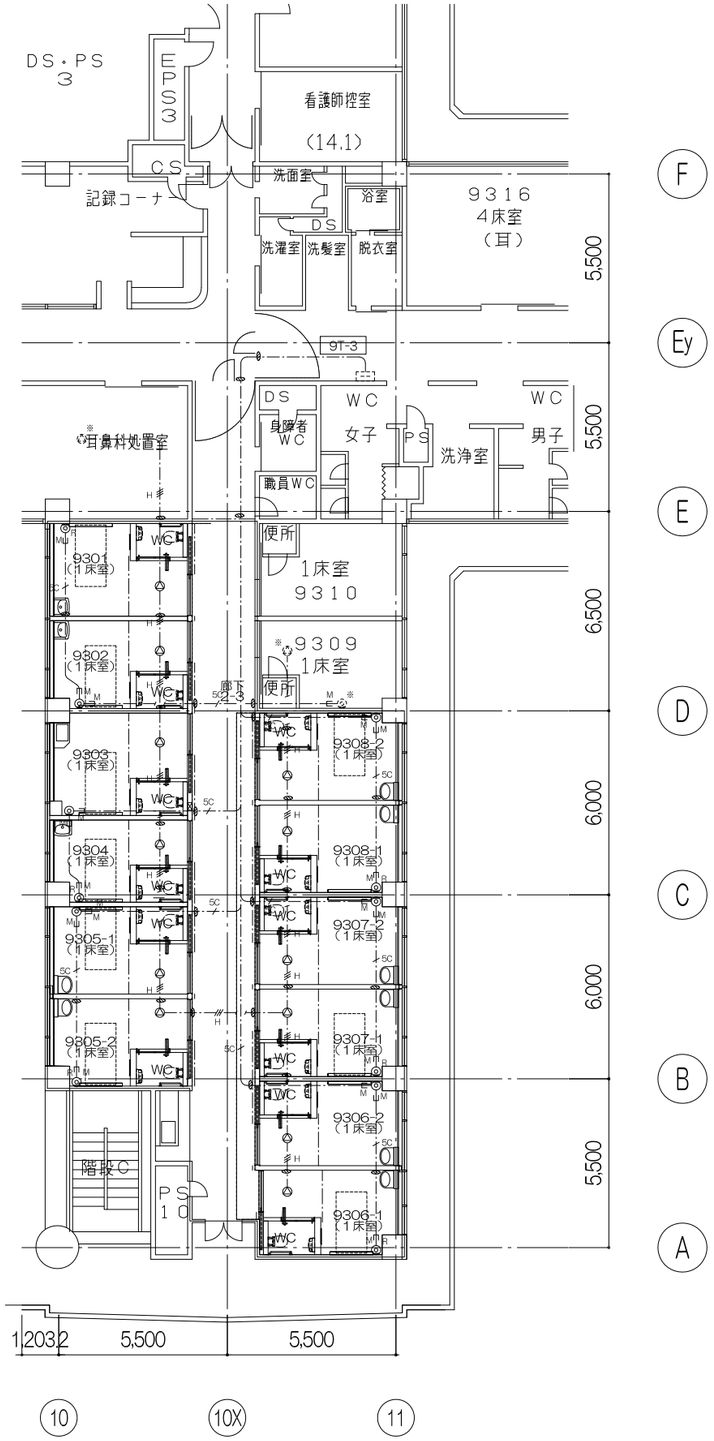
件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事（電気設備工事）	Job-No. 21019
図名	電灯設備　9階　撤去改修図	電気
縮尺 A1:1/100 A3:1/200	日付 2021/05（令和3年）	8
伊藤喜三郎建築研究所		

撤去平面図



拡声・テレビ共同受信設備　撤去図　A1:1/100　A3:1/200

改修平面図

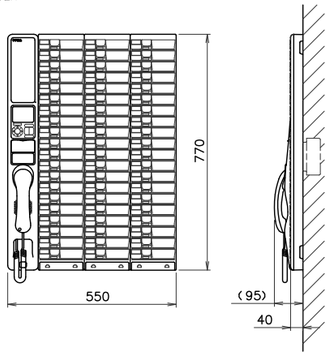


拡声・テレビ共同受信設備　改修図　A1:1/100　A3:1/200

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号 設計者 石黒竜夫 一級建築士登録番号 第220170号 設備設計一級建築士 登録番号 第1504号	設計者 担当者 江里口綾花				件名 横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事 （電気設備工事）		Job-No. 21019
					図名 拡声・テレビ共同受信設備　9階　撤去改修図		電気
					縮尺 A1:1/100 A3:1/200	日付 2021/05（令和3年）	9
					伊藤喜三郎建築研究所		

NC ナースコールボード形親機　６０局

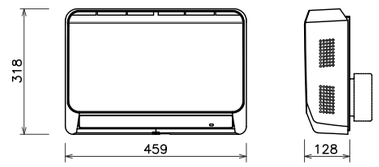
BZP-60EX



形　状	壁掛形　（JIS中形四角アウトレットボックス深形／JIS中形四角スイッチカバー１個用塗代付）
材　質	樹脂、鋼板製
質　量	約6.5kg
液晶表示部	3.5インチ　TFTカラー液晶
呼出表示	個別呼出灯の点滅、情報灯の点滅、液晶表示
履歴表示	100件
情報灯	センサー類の使用表示灯として点灯、呼出時に点滅
	※手動設定　または専用子機接続時には自動点灯
呼出音	電子メロディー（16種）又はチャイム音（3種）
	／トレモロ音（3種）／シグナル音（8種）
一斉放送	全一斉と選局一斉（選局外一斉放送可）、チーム一斉
ハンディナースコール設定	担当設定、チーム設定（最大8チーム）、転送設定、アラーム設定
備　考	セキュリティー機能、プライベートトーク機能
	個別音量調整機能、夜間自動音量調整機能
電　源	AC・GC100V　50／60Hz
消費電力	最大12W（待機時3.5W）
オプション	受話器落下防止ストッパー、受話器衝突音防止センサー
	スマイルミラー、マグネット対応プレート

NC ナースコール制御機

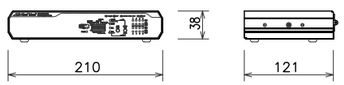
BZM-002EX



形　状	壁掛形
親機制御台数	最大8台（バラ制御）
通話路数	5通話路（同室同時通話可能）
I/Oユニット・個別廊下灯接続台数	最大40台
電源・消費電力	AC・GC100V 50／60Hz・最大420W
備　考	PBX連動

HUB スイッチングハブ（８ポート）

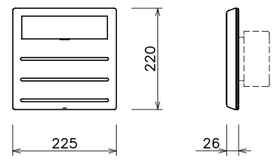
CNH-08F



サポート規格	IEEE　802.3　10BASE−T
	IEEE　802.3u　100BASE−TX
データ転送速度	10Mbps／100Mbps（CSMA／CD）
ポート	オートネゴシエーション機能
	8番ポートのみMDI／MDI−X切替使用可能
電　源	AC100V　50／60Hz

⊠3L I／Oユニット　３回線　BX-303ZB

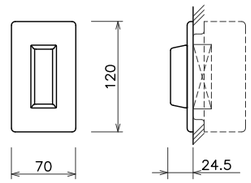
⊠ I／Oユニット　１回線　BX-101ZB



形　状	壁掛形（JIS4個用スイッチボックスカバー付）
材　質	ABS樹脂（一部鋼板製）
備　考	

◎ 代表廊下灯

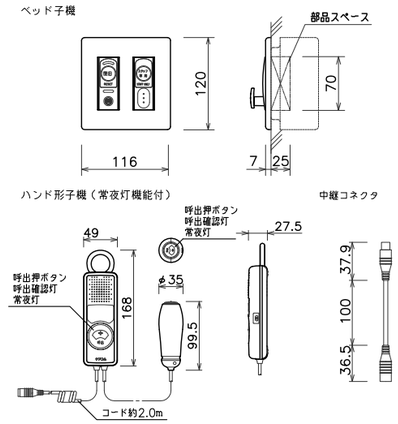
BL-673U/15-A



形　状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）
プレート	プレート：樹脂プレート
	表示灯カバー：ポリカーボネート
表示灯	LED（オレンジ、赤、緑），DC15V

Ⓝ ハンド形子機コンセント＋ハンド形子機

BF-123WZU+BA-611WZ-C+PZ-401-1



ベッド子機

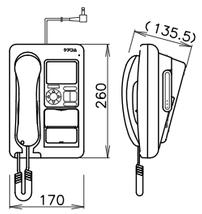
形　状	壁埋込形（JIS2個用スイッチボックスカバー付）
プレート	ABS樹脂
コンセント	6P
復旧・緊急呼出ボタン	ノンロック式
呼出・緊急呼出確認灯	LED（オレンジ）
備　考	断線防止コネクタ，脱落警報入切設定可能

ハンド形子機

形　状	ハンド形
材　質	抗菌ABS樹脂
スピーカ	8Ω
マイク	コンデンサ形
呼出押ボタン	ノンロック式
呼出確認灯	LED（オレンジ），常夜灯機能付
備　考	6Pプラグ付コード2m，握り押ボタン付

®E 液晶表示式親機

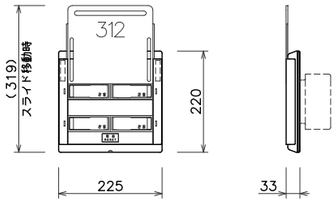
BZD-01EX



形　状	卓上，壁掛兼用形
材　質	樹脂製
質　量	約1.2kg
液晶表示部	3.5インチ　TFTカラー液晶
呼出表示	液晶表示
履歴表示	100件
呼出音	電子メロディー（16種）又はチャイム音（3種）
	／トレモロ音（3種）／シグナル音（8種）
一斉放送	全一斉と選局一斉（選局外一斉放送可）、チーム一斉
ハンディナースコール設定	担当設定、チーム設定（最大8チーム）、転送設定、アラーム設定
備　考	セキュリティー機能、プライベートトーク機能
	個別音量調整機能、夜間自動音量調整機能
電　源	AC·GC100V 50／60Hz
消費電力	最大5W（待機時3.5W）
オプション	受話器落下防止ストッパー、受話器衝突音防止センサー
	スマイルミラー、マグネット対応プレート

4 個別廊下灯（４床室用，３色）

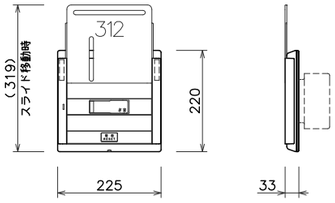
BL-504WZC+Z-128/6



形　状	壁掛形（JIS4個用スイッチボックスカバー付）
材　質	ABS樹脂（一部鋼板製）
代表表示灯	LED（オレンジ、赤、緑）
個別表示灯	LED（赤）
復旧ボタン	ノンロック式
備　考	プライバシーカバー付

1 個別廊下灯（１床室用，３色）

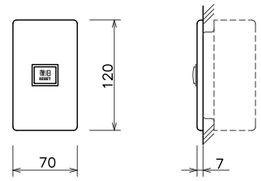
BL-501WZC+Z-128/3



形　状	壁掛形（JIS4個用スイッチボックスカバー付）
材　質	ABS樹脂（一部鋼板製）
代表表示灯	LED（オレンジ、赤、緑）
個別表示灯	LED（赤）
復旧ボタン	ノンロック式
備　考	プライバシーカバー付

● 復旧ボタン

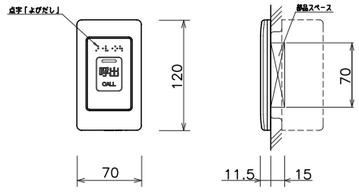
BR-303ZAU



形　状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）
プレート	プレート：樹脂プレート
復旧ボタン	ノンロック式

N トイレ・浴室用押ボタン

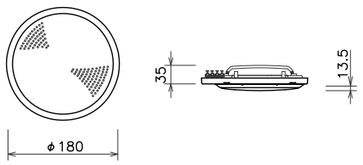
BT-311ZR



形　状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）
プレート	抗菌樹脂
確認灯	LED（赤）
呼出ボタン	ノンロック式
点　字	よびだし
備　考	JIS C−0920 IPx5（防噴流形）適合

Ⓜ 天井埋込マイク子機

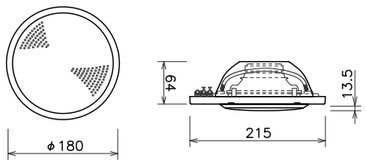
BM-331Z+BS-300P



形　状	天井埋込形（スプリングキャッチ式）
材　質	ABS樹脂
マイク	コンデンサマイク
天井開口穴	φ150

△ 天井埋込スピーカ子機

BS-331Z+BS-300P



形　状	天井取付形
材　質	ABS樹脂
取付方法	スプリングキャッチ式
スピーカ	120mm,8Ω
天井開口穴	φ150

株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設　計　者　石黒竜夫
一級建築士登録番号　第220170号
設備設計一級建築士
登録番号　第1504号

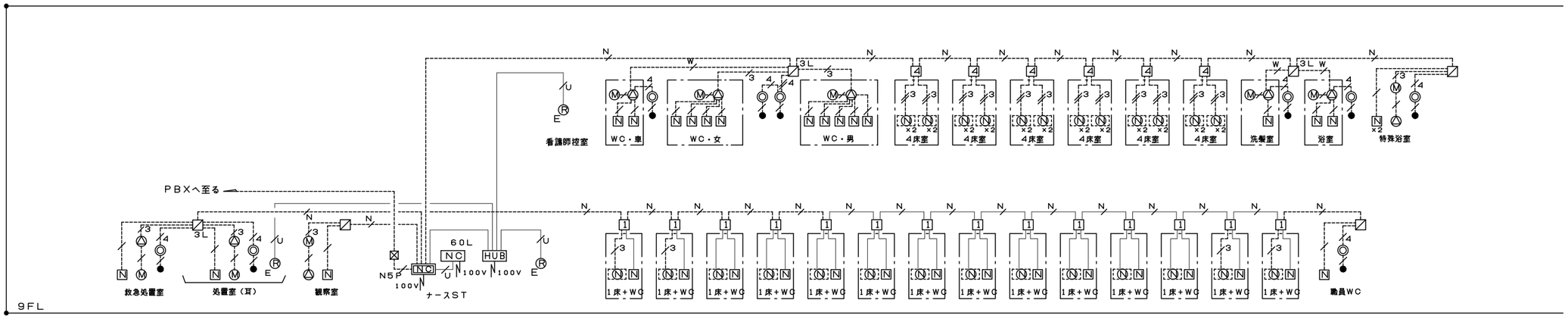
設　計　者				
担当者 江里口綾花				

件名　横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事（電気設備工事）　Job-No. 21019

図名　ナースコール設備　機器姿図　電気

縮尺　−　日付　2021/06（令和3年）　10

伊藤喜三郎建築研究所



凡 例 表 （改修後ナースコール設備）

記 号	名 称	備 考
NC	ナースコール親機（ボード形）	６０局
NC	ナースコール制御機	
HUB	スイッチングハブ（８ポート）	
ⓇE	液晶表示式親機	
Ⓝ	ベッド子機（コンソール組込）	
1 4	個別廊下灯（１・４床用）	
3L	I／Oユニット（１・３回線）	
◎	代表廊下灯	
●	復旧ボタン	
N	トイレ浴室用押ボタン	
Ⓐ	天井埋込スピーカ子機	
Ⓜ	天井埋込マイク子機	

（注 記）

1．機器はすべて新設、配線は既設流用。

2．新設配線は原則として二重天井内ころがし配線とし壁立ち上り部分は配管又はモール等により保護すること。

3．機器撤去後、埋込ＢＯＸ等が見える所はブランクプレート等により遮蔽すること。

4．平面図上の配管配線記号は下記の通り。

———————— 天井、壁、いんぺい新設配管配線

- - - - - - - - - - - - 既設配管再利用し配線引き直し

——— - ——— 天井内ころがし新設配線

5．特記なき配線、配管は下記の通り（上記の配線記号３種類に共通仕様）

保護配管使用時

	AE 0.9-2C	(PF16)
3	AE 0.9-3C	(PF16)
3	AE 0.9-3Cx2	(PF16)
4	AE 0.9-4C	(PF16)
4	AE 0.9-4Cx2	(PF16)
N	CPEV-S 0.9-3P	(PF22)
N5P	CPEV-S 0.65-5P	(PF22)
U	UTP0.5-4P(CAT5e)	(PF22)
W	AE 0.9-4C AE 0.9-3C	(PF16)

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号 第2215号
設 計 者 石黒竜夫
一級建築士登録番号 第220170号
設備設計一級建築士
登録番号 第1504号

設 計 者

担当者 江里口綾花

件 名 横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事（電気設備工事）

Job-No. 21019

図 名 ナースコール設備 系統図

電気

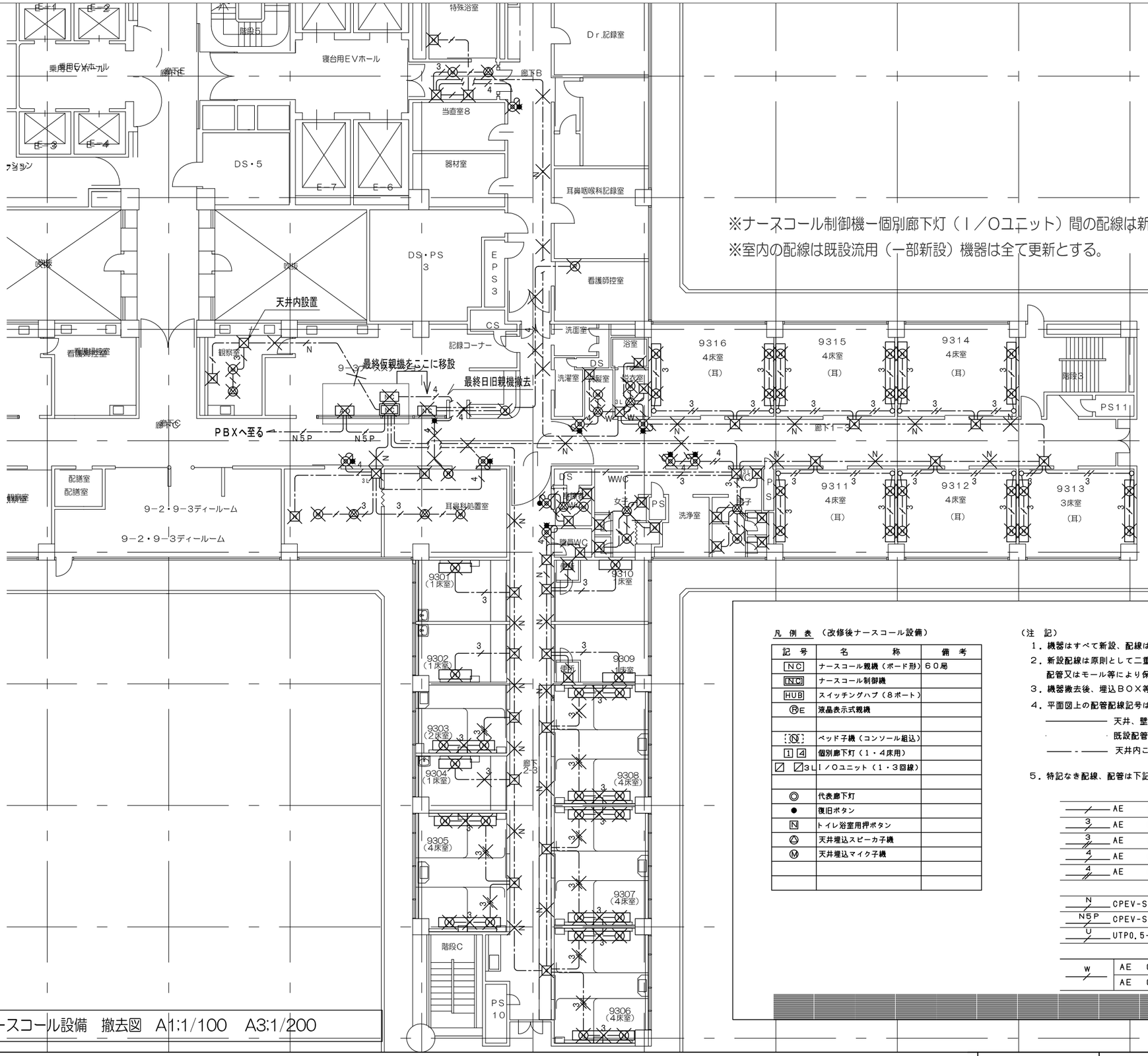
縮 尺 －

日 付 2021/06（令和3年）

11

伊 藤 喜 三 郎 建 築 研 究 所

撤去平面図（EPS3　系統）



凡 例 表　（改修後ナースコール設備）

記号	名称	備考
NC	ナースコール親機（ボード形）	６０局
NC	ナースコール制御機	
HUB	スイッチングハブ（８ポート）	
RE	液晶表示式親機	
N	ベッド子機（コンソール組込）	
1 4	個別廊下灯（１・４床用）	
3LI	I／Oユニット（１・３回線）	
◎	代表廊下灯	
●	復旧ボタン	
N	トイレ浴室用押ボタン	
Ⓐ	天井埋込スピーカ子機	
Ⓜ	天井埋込マイク子機	

（注　記）

1．機器はすべて新設、配線は既設流用。
2．新設配線は原則として二重天井内ころがし配線とし壁立ち上り部分は配管又はモール等により保護すること。
3．機器撤去後、埋込ＢＯＸ等が見える所はブランクプレート等により遮蔽すること。
4．平面図上の配管配線記号は下記の通り。
　　天井、壁、いんぺい新設配管配線
　　既設配管再利用し配線引き直し
　　天井内ころがし新設配線
5．特記なき配線、配管は下記の通り（上記の配線記号３種類に共通仕様）

保護配管使用時

	AE 0.9-2C	(PF16)
3	AE 0.9-3C	(PF16)
3	AE 0.9-3Cx2	(PF16)
4	AE 0.9-4C	(PF16)
4	AE 0.9-4Cx2	(PF16)
N	CPEV-S 0.9-3P	(PF22)
N5P	CPEV-S 0.65-5P	(PF22)
U	UTP0.5-4P(CAT5e)	(PF22)
W	AE 0.9-4C AE 0.9-3C	(PF16)

ナースコール設備　撤去図　A1:1/100　A3:1/200

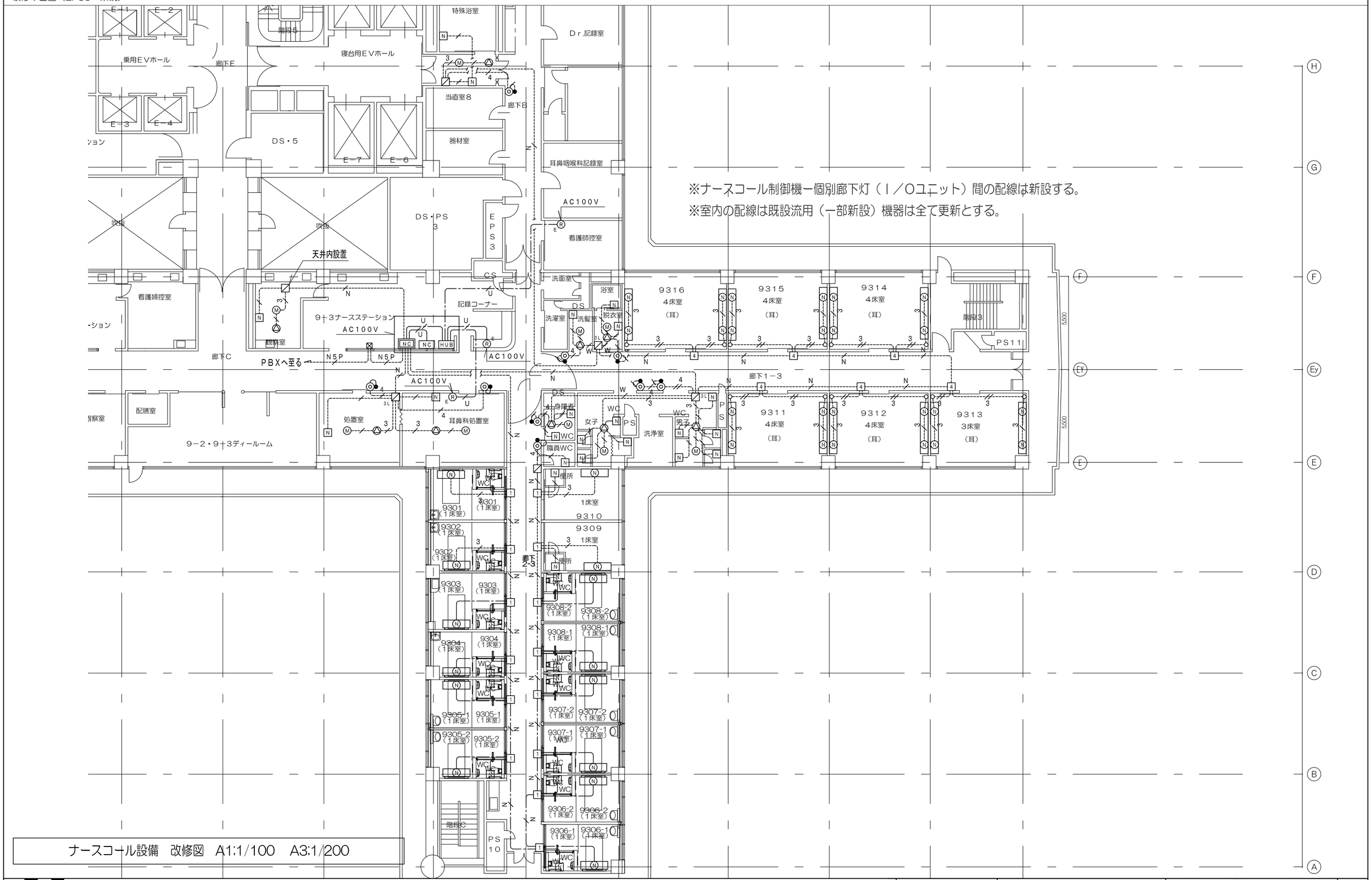
株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号
設計者 石黒電気
一級建築士事務所 登録番号 第220170号
設備設計一級建築士 登録番号 第1504号

設　計　者　　担当者 江里口紳市

件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事（電気設備工事）
図名	ナースコール設備　9階　撤去図
縮尺	A1:1/100　A3:1/200
日付	2021.06（令和3年）
Job-No.	21019
	電気
	12

伊藤喜三郎建築研究所

改修平面図（EPS3　系統）



ナースコール設備　改修図　A1:1/100　A3:1/200

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号 設計者 石黒竜夫 一級建築士登録番号 第220170号 設備設計一級建築士 登録番号 第1504号	設計者 担当者 江里口健吉 15	件名 横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事（電気設備工事）	Job-No. 21019
		図名 ナースコール設備　9階　改修図	電気
		縮尺 A1:1/100　A3:1/200　日付 2021/06（令和3年）	13
		伊藤喜三郎建築研究所	

撤去平面図

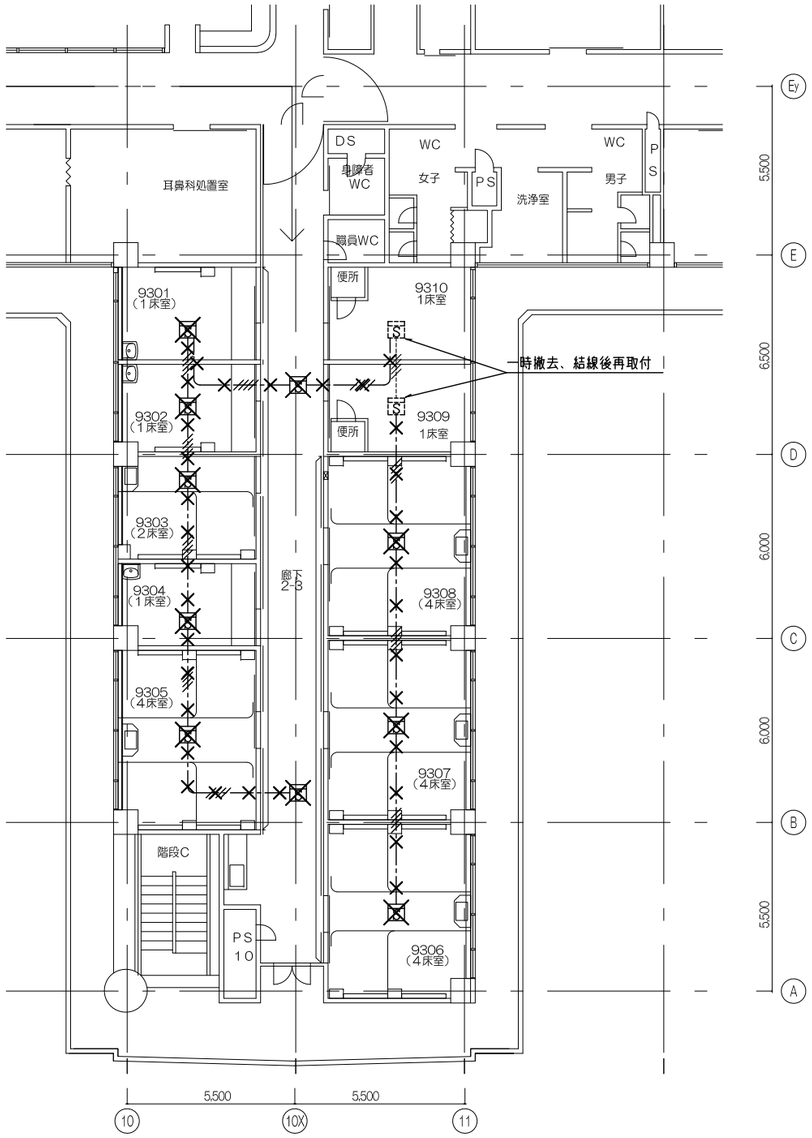
凡 例

記 号	名 称	記 事
S	光電式スポット型感知器	2種
——-——	配 管 配 線	ケーブル線

特 記

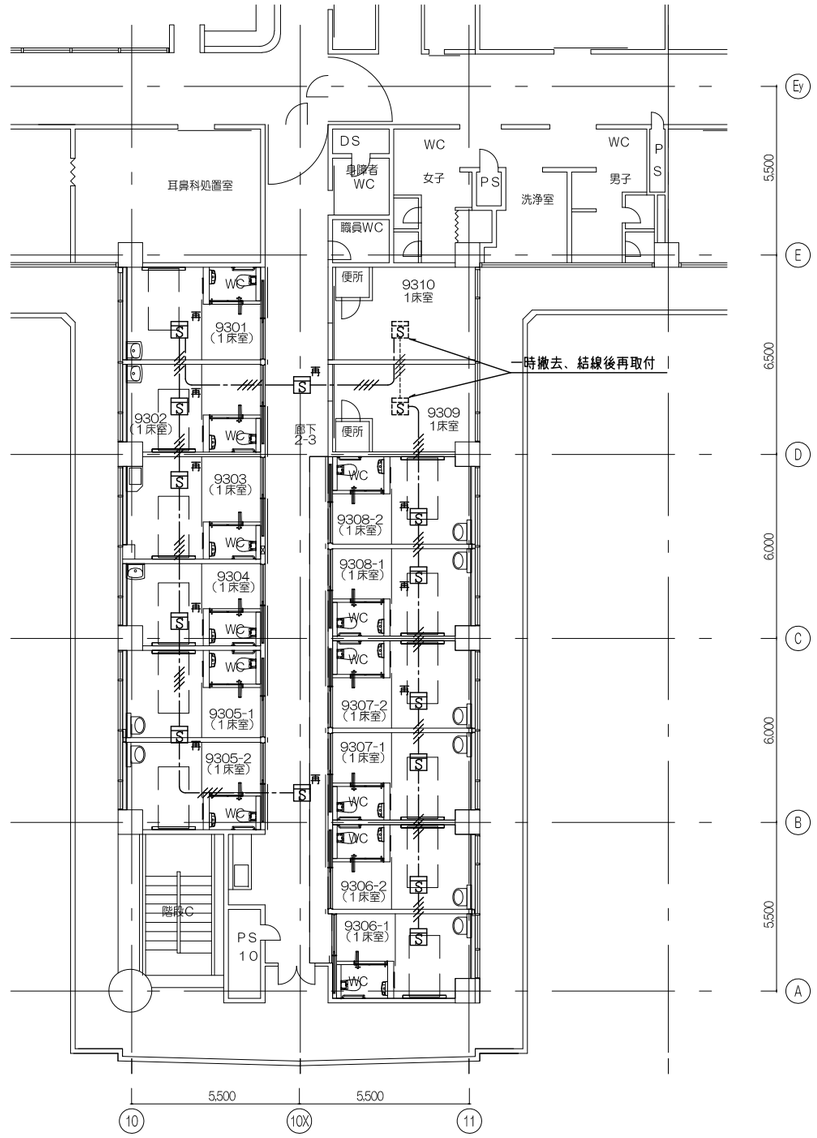
【既設配管配線】
——//——-—— EM-AE 0.9- 4C

・本工事の全回線は既設総合操作盤に収容接続する。
・既設総合操作盤のデータ変更費及び画面変更費を見込む。
・図中、「再」を附記した感知器は撤去再取付を示す。
・図中細点線は既設のままとし太実線は本工事とする。



自動火災報知設備 撤去図 A1:1/100 A3:1/200

改修平面図



自動火災報知設備 改修図 A1:1/100 A3:1/200

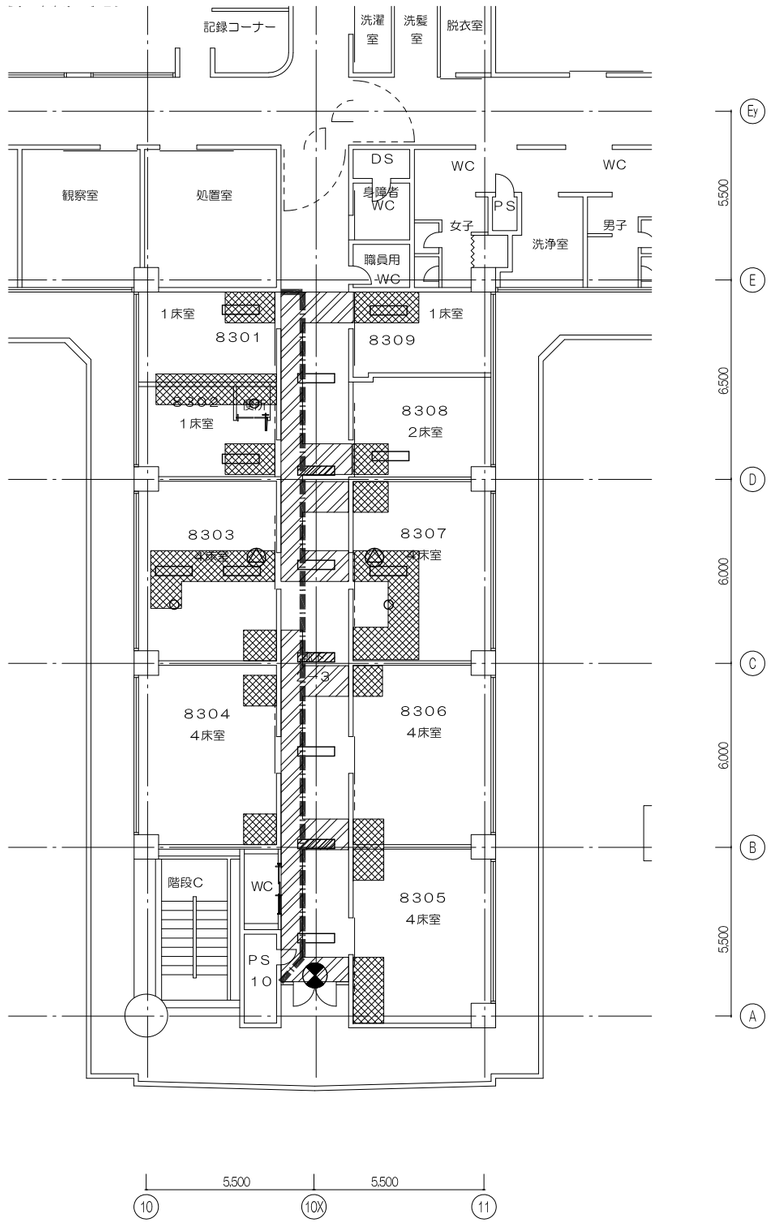
株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号 設計者 石黒竜夫 一級建築士登録番号 第220170号 設備設計一級建築士 登録番号 第1504号	設 計 者 担当者 江里口綾花	件 名 横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事（電気設備工事）	Job-No. 21019
		図 名 自動火災報知設備 9階 撤去改修図	電気
		縮 尺 A1:1/100 A3:1/200 日 付 2021/06（令和3年）	14
		伊 藤 喜 三 郎 建 築 研 究 所	

8階衛生工事に伴う天井機器　撤去図

撤去再取付図　凡例

記号	名 称	摘 要	備考
	直付け天井灯	LED	
	避難口誘導灯		
	天井埋込スピーカ　ATT付	L級　　1W／3W	

※天井改修範囲に設置されている機器の撤去・再取付けを行う。



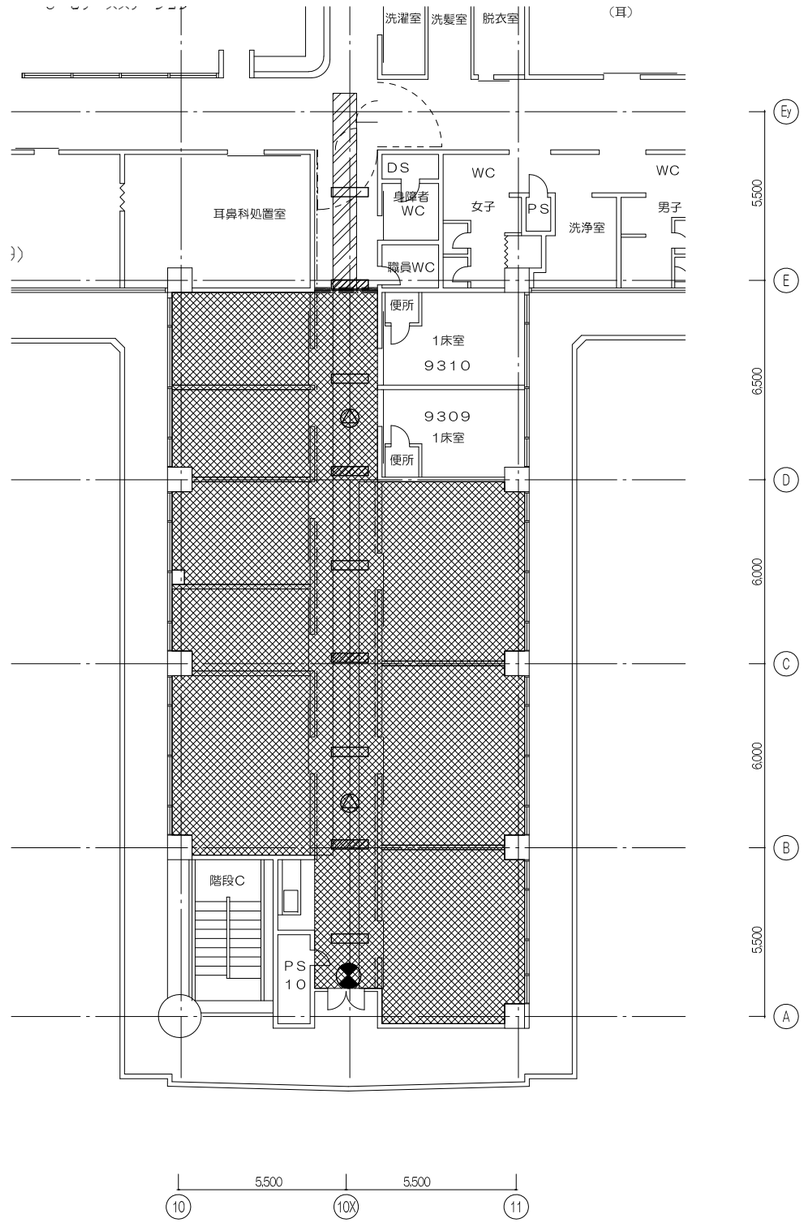
仮囲い壁

改修範囲

プラダン等仮復旧範囲

8階衛生工事に伴う天井機器　撤去図　A1;1/100　A3;1/200

9階改修工事に伴う天井機器　撤去図



9階改修工事に伴う天井機器　撤去図　A1;1/100　A3;1/200

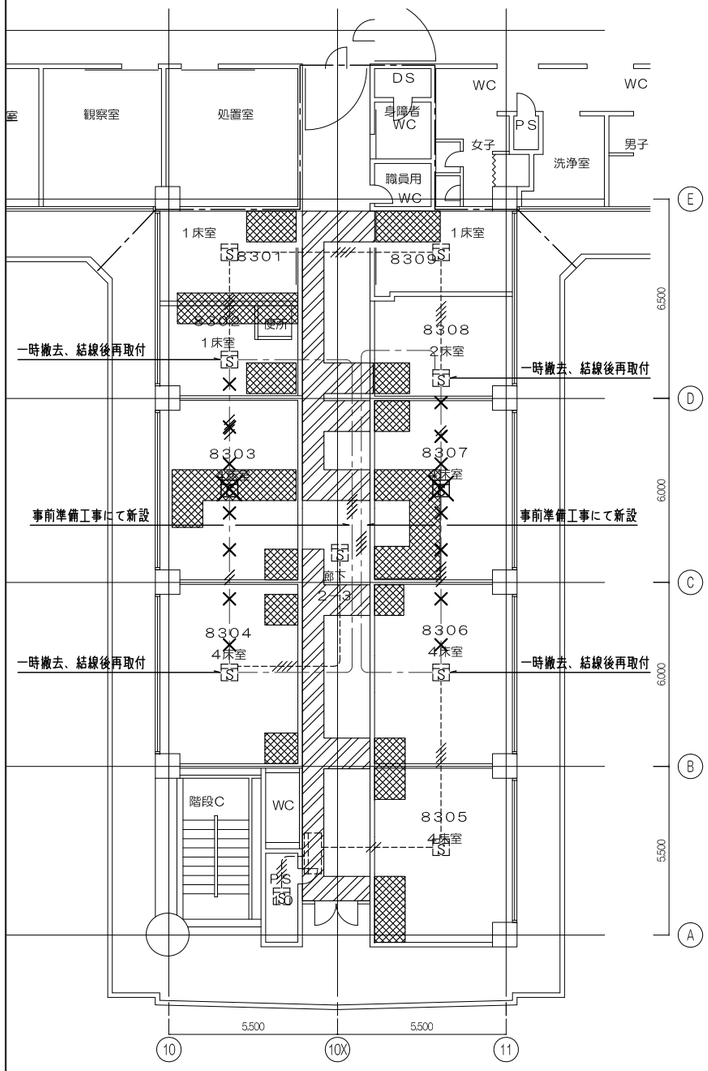
株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録番号　第2215号 設 計 者　石 黒 竜 夫 一級建築士登録番号　第220170号 設備設計一級建築士 登録番号　第1504号	設　計　者 担当者 江堅口綾花				件 名　横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事（電気設備工事） 図 名　8階　9階　天井機器　撤去改修図 縮 尺　A1:1/150 A3:1/300　日 付　2021/06（令和3年） 伊 藤 喜 三 郎 建 築 研 究 所

Job-No. 21019

電気

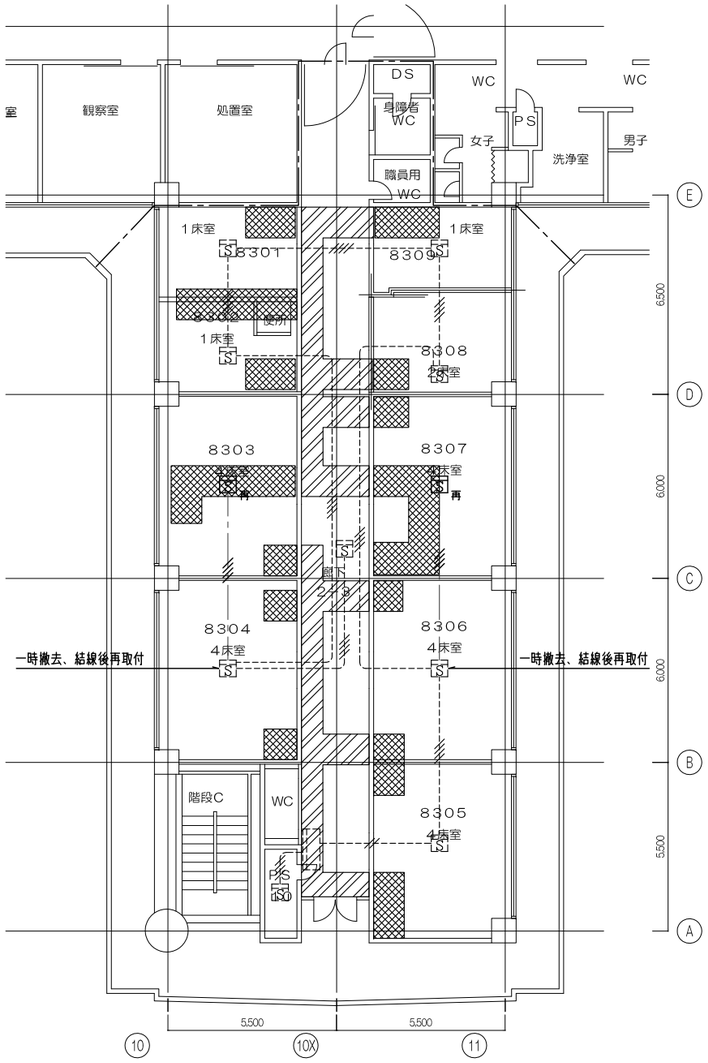
15

8階衛生工事に伴う天井機器　撤去改修図



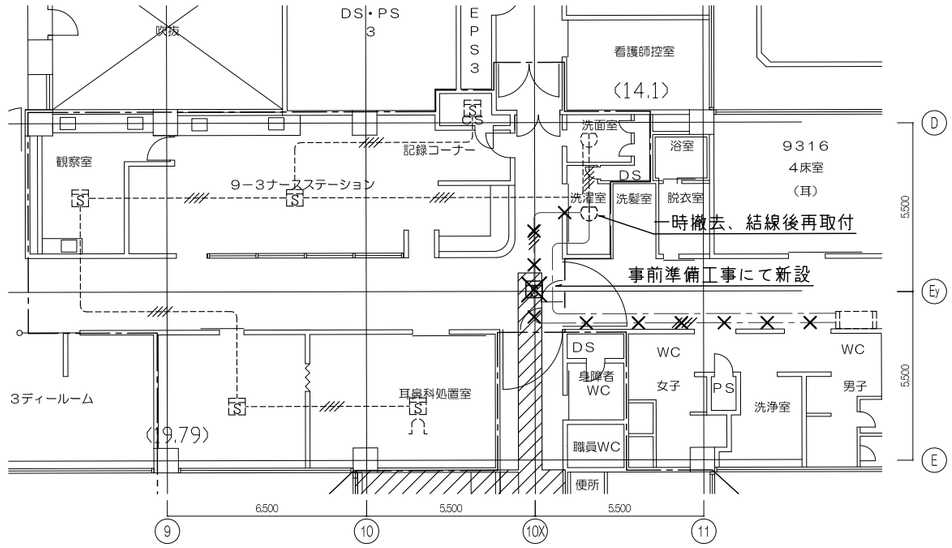
8階衛生工事に伴う自火報設備　撤去図
A1;1/100　A3;1/200

改修天井伏図

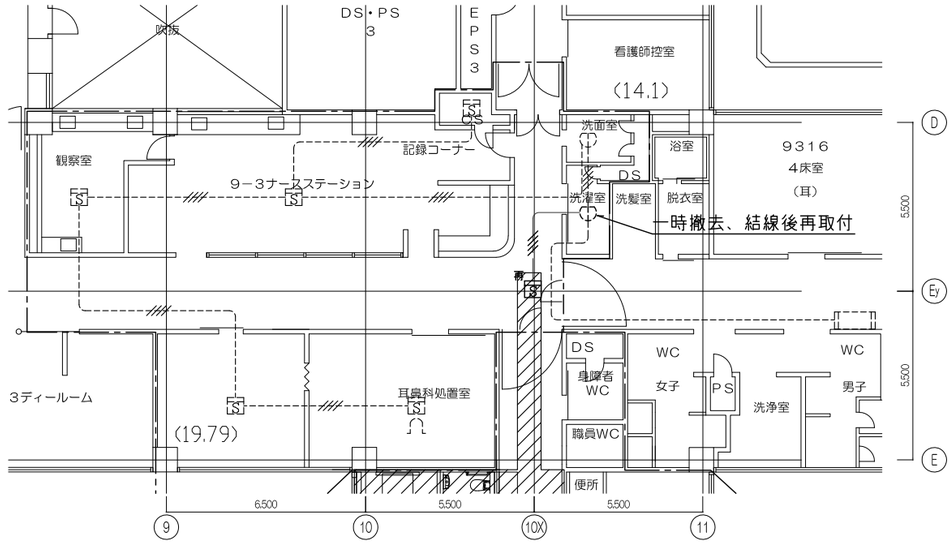


8階衛生工事に伴う自火報設備　改修図
A1;1/100　A3;1/200

9階改修工事に伴う天井機器　撤去図



9階改修工事に伴う自火報設備　改修図
A1;1/100　A3;1/200



9階改修工事に伴う自火報設備　改修図
A1;1/100　A3;1/200

凡例

天井改修範囲（9階衛生工事に伴う天井撤去・改修）

ブラダン仮復旧範囲（9階衛生工事に伴う天井撤去・改修）

株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　石黒竜夫
一級建築士登録番号　第220170号
設備設計一級建築士登録番号　第1504号

設計者				
担当者 江堂口綾花				

件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事（電気設備工事）	Job-No. 21019
図名	8階　9階　自火報　撤去改修図	電気
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	日付 2021/06（令和3年）
		16

伊藤喜三郎建築研究所

■空調機器表

機器番号	機器名称（系統名）	設置場所 階	設置場所 室名	台数	機器仕様		電動機（50Hz） 動力 [kW]	相 [φ]	電圧 [V]	始動方式	非常電源	遠方 発停	状態	警報	備考
AC-47	システム空調機	10	機械室	1	床置型システム空調機		1.5	3	200						
（撤去）	（9階　1床室系統）				送風量	1,950 m3/h　x　600Pa									
					冷却能力	41000 kcal/h									
					加熱能力	24000 kcal/h									
					加湿能力	29 Kg/h									
					付属品	他機準付属品一式									
CAV-1	VAVユニット	10	機械室	1	型式	電子式変風量装置	AC24V 9VA								
（撤去）	（9階　1床室系統）				処理風量	1,950 m3/h									
RC-1005	フィルターユニット	10	機械室	1	型式	両ピン側脱着ダクト接続型フィルタユニット									実現地調査にて確認
（撤去）	（9階　1床室系統）				処理風量	350 m3/h									
					フィルタ	610W×610H×50Dx1ヶ　プレフィルタ（効率　AF85%）									
						610W×610H×292Dx1ヶ　高性能フィルタ（効率　NBS90%）									
						610W×610H×292Dx1ヶ　超高性能フィルタ（効率　DOP99.97%）									
					BOX寸法	830W×10000×2300H									
					付属品	他機準付属品一式									
CAVA-2	CAVユニット	10	機械室	1	型式	電子式変風量装置	AC24V 9VA								実現地調査にて確認
（撤去）	（9階　1床室系統）				処理風量	350 m3/h									

機器番号	機器名称（系統名）	設置場所 階	設置場所 室名	台数	機器仕様		電動機（50Hz） 動力 [kW]	相 [φ]	電圧 [V]	始動方式	非常電源	遠方 発停	状態	警報	備考
AC-47	システム空調機	10	機械室	1	床置型システム空調機		1.5	3	200						風量調整のみを行う。
（改造）	（9階　1床室系統）				送風量	1,500 m3/h　x　600Pa									
					冷却能力	41000 kcal/h									
					加熱能力	24000 kcal/h									
					加湿能力	29 Kg/h									
					付属品	他機準付属品一式									
CAV-1	CAVユニット	10	機械室	1	型式	電子式変風量装置	AC24V 9VA								
（新設）	（9階　1床室系統）				処理風量	1,500 m3/h									

■空調機器表

機器番号	機種	系統名	型式	台数	能力 冷房 能力 [kW]	暖房 能力 [kW]	送風機 送風量 [m3/h]	送風機 機外 静圧 [Pa]	出力 [kW]	圧縮機 [kW]	消費 電力 冷房 [kW]	消費 電力 暖房 [kW]	電源 相 [φ]	電源 電圧 [V]	外気量 [m3/h]	加湿器	フィルタ	設置場所 階	設置場所 室名	非常電源	インターロック・連動	中央監視 発停	状態	警報	計量	防振装置 G: ゴム S: スプリング P: ゴムパッド	リモコン台数	冷媒切換ユニット台数	備考
APA　－ 9N1	空冷HPマルチエアコン		屋外機　（冷暖切替）	1	14.0	16.0			0.350	3.4	3.56	3.56	3	200				10	屋外							S			
APA　－ 9N1　－ 1	空冷HPマルチエアコン	1床室・2床室・4床室	天井カセット形（2方向）	6	2.8	3.2	570		0.015		0.052	0.052	1	200			中性能	9	1床室・2床室・4床室							G	1		
（撤去）																													
APA　－ 9N2	空冷HPマルチエアコン		屋外機　（冷暖切替）	1	22.4	25.0			0.350	5.4	6.05	6.05	3	200				10	屋外							S			
APA　－ 9N2　－ 1	空冷HPマルチエアコン	1床室・4床室	天井カセット形（2方向）	8	2.8	3.2	570		0.015		0.052	0.052	1	200			中性能	9	1床室・4床室							G	1		
（撤去）																													
																													メーカー：ダイキン（参考）
APA　－ 9N1	空冷HPマルチエアコン		屋外機　（冷暖回時）	1	33.5	37.5			1.030	10.6	11.10	12.90	3	200				10	屋外							S			REYP335F
APA　－ 9N1　－ 1	空冷HPマルチエアコン	1床室	天井カセット形（2方向）	14	2.2	2.5	630		0.046		0.031	0.028	1	200			中性能	9	1床室							G	6		FXYCP22CD
（新設）																													

注記　1 機器仕様及び記載のない付属品は国土交通省標準仕様とする。
2 電源周波数は50Hzとする。
3 冷暖房能力は、JIS条件時とする
4 冷媒はR410Aとする。
5 室内機（2方向）には、リモコンスイッチ、化粧パネル、ドレンアップメカ、他機準付属品一式を付属する。
6 室内機（4方向）には、リモコンスイッチ、化粧パネル、ドレンアップメカ、他機準付属品一式を付属する。
7 予備フィルターは、100%見込む事とする。
8 室内外機の渡り配線は本工事とし、冷媒管共巻きとする
9 リモコンスイッチは特記無き場合、全てワイヤード型とする。
10 室外機は耐重塩害仕様とする。

■換気機器表

機器番号	機器名称	系統名	台数	機器仕様 型式	消音ボックス	据付	番手	風量 [m3/h]	静圧 [Pa]	電動機（50Hz） 動力 [kW]	相 [φ]	電圧 [V]	起動方法	非常電源	インバータ	インターロック・連動	連動機器	操作発停	遠方 発停	状態	警報	計量	防振装置 G: ゴム S: スプリング P: ゴムパッド	設置場所 階	室名	備考
EF　－　1033	排風機	9階　1床室WC	1	ストレートシロッコファン		天吊	1.5	1,550	250	0.0425	3	200	L-S										S	10	機械室	BFS-180TUG（三菱）（参考）
（新設）																										
EF　－　1033	排風機	9階　1床室WC	1	軸流ファン		天吊	3	350	530	0.72	3	200	L-S										S	10	機械室	
（撤去）																										

注記　1 機器仕様及び記載のない付属品は国土交通省標準仕様とする。
2 「遠方」において、中央監視盤（設備工事）、三相は動力制御盤（電気工事）での対応を示す。
3 連動制御は自動制御工事とする。
4 試験規格は電動機出力：JIS B 8330（片吸込みシロッコファン）、消費電力：JIS C 9603（ストレートシロッコファン）
高効率電動機：JIS C 4212（高効率低圧三相）、JIS C 4213（低圧トップランナーモータ）
5 表中の能力は、必要能力とする。
6 予備フィルターは、100%見込む事とする。
7 風量は強モード時の値とする。

注記 1) ////////// は撤去を示す。　2) ▭ は新設を示す。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号
設計者 一級建築士登録番号 第238709号
設備設計一級建築士 登録番号 第1428号

設計者
担当者 川上喜摩子 一級建築士 第297079号

件名 横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事
図名 空調換気設備　機器表（撤去・新設）
縮尺 N/S(A1)・N/S(A3)　日付 2021/05（令和3年）
伊藤喜三郎建築研究所

Job-No. 21019
機械
AC-01

撤去

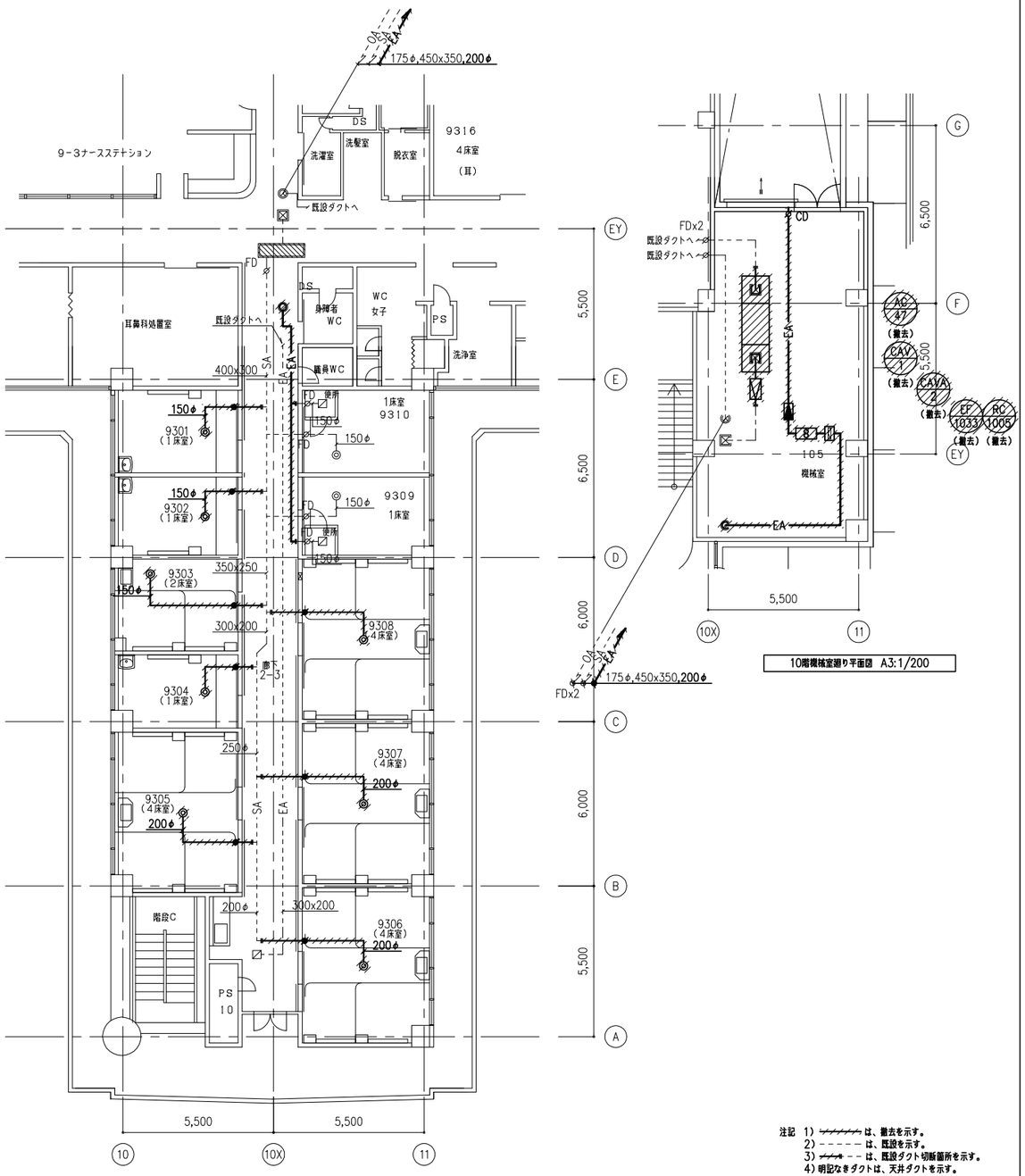
9301,9302,9304
吹出口 C2
SA #12.5
BOX 300x300x300
内貼 GW25t
Q= 150 m³/h x3

撤去

9303
吹出口 C2
SA #12.5
BOX 300x300x300
内貼 GW25t
Q= 150 m³/h

撤去

9305~9308
吹出口 C2
SA # 20
BOX 350x350x300
内貼 GW25t
Q= 250 m³/h x4



10階機械室廻り平面図 A3:1/200

9階2床室(9301)廻り平面図 A3:1/200

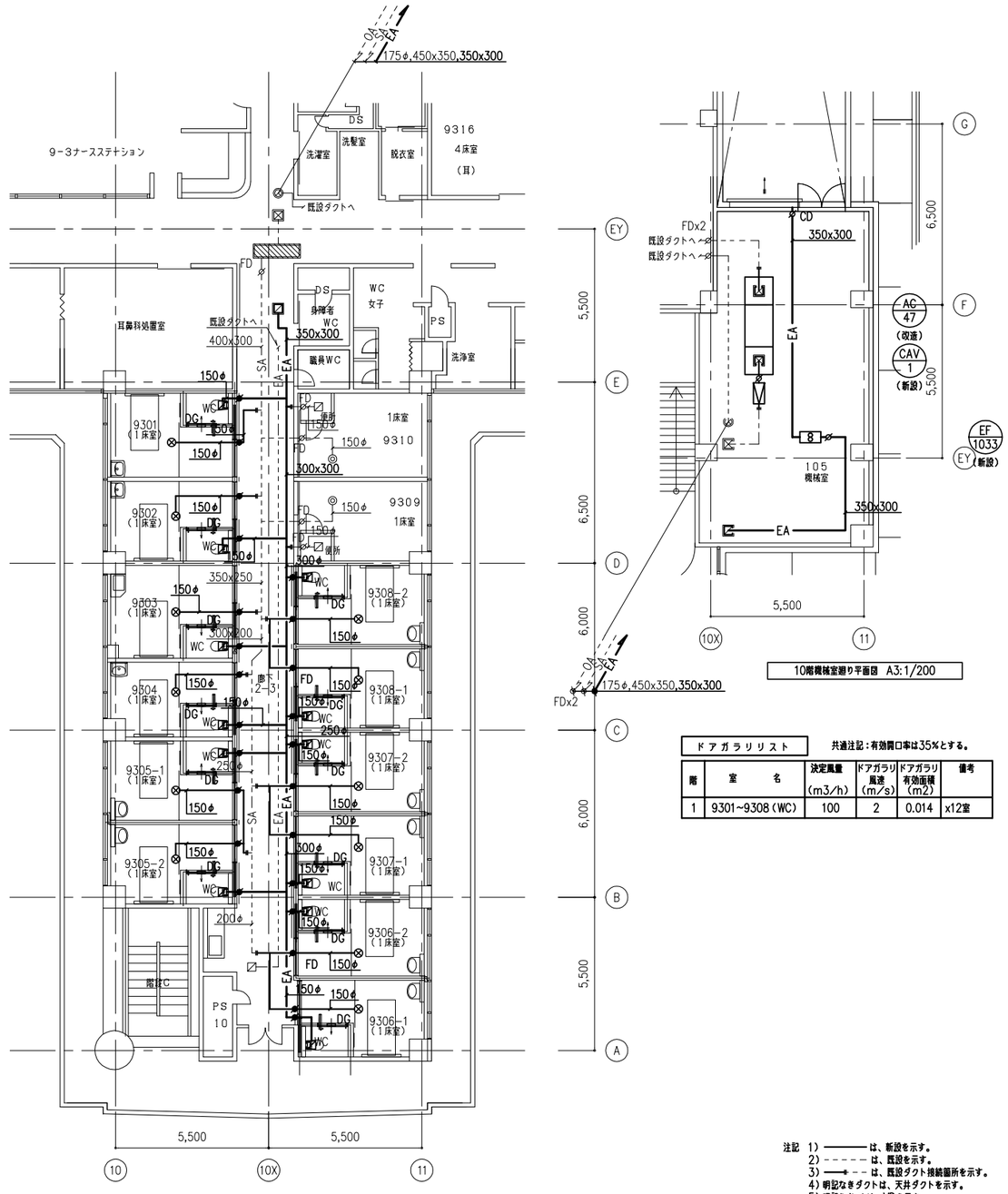
注記 1) ~~~~~ は、撤去を示す。
2) - - - - - は、既設を示す。
3) ~~~~ - - は、既設ダクト切断箇所を示す。
4) 明記なきダクトは、天井ダクトを示す。
5) 明記なきφは、VDを示す。
6) 明記なきφは、FDを示す。
7) 階高9FL~10FL 3,800

新設

9301~9308(WC)
吸込口 HS
EA 150 x 150
BOX 300x300x300
内貼 -
Q= 100 m³/h x12

新設

9301~9308
吹出口 C2
SA #12.5
BOX 300x300x300
内貼 GW25t
Q= 100 m³/h x12



10階機械室廻り平面図 A3:1/200

9階2床室(9301)廻り平面図 A3:1/200

ドアガラリリスト　共通注記:有効開口率は35%とする。

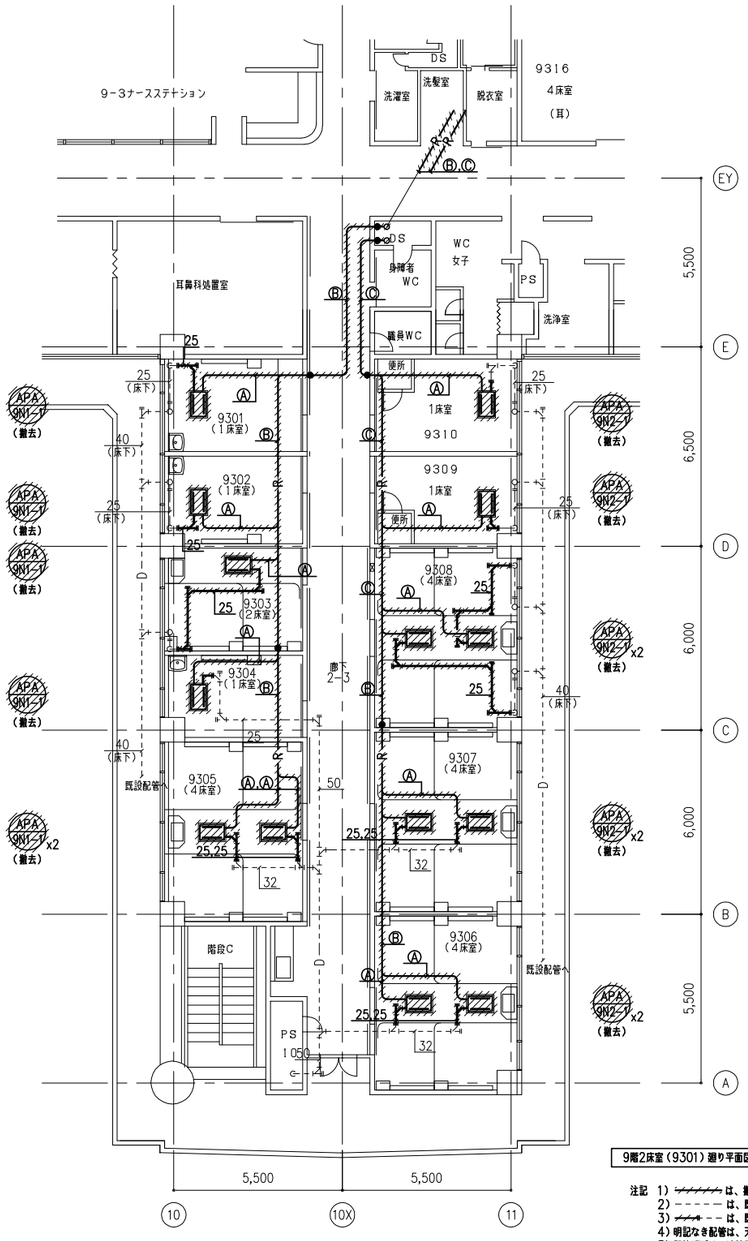
階	室名	決定風量 (m3/h)	ドアガラリ風速 (m/s)	ドアガラリ有効面積 (m2)	備考
1	9301~9308(WC)	100	2	0.014	x12室

注記 1) ———— は、新設を示す。
2) - - - - - は、既設を示す。
3) ——● - - は、既設ダクト接続箇所を示す。
4) 明記なきダクトは、天井ダクトを示す。
5) 明記なきφは、VDを示す。
6) 明記なきφは、FDを示す。
7) コア抜きは本工事とし、X線写真を行うこと。
8) 階高9FL~10FL 3,800

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号 第2215号
設計者 筒井和幸
一級建築士登録番号 第238709号
設備設計一級建築士登録番号 第1428号

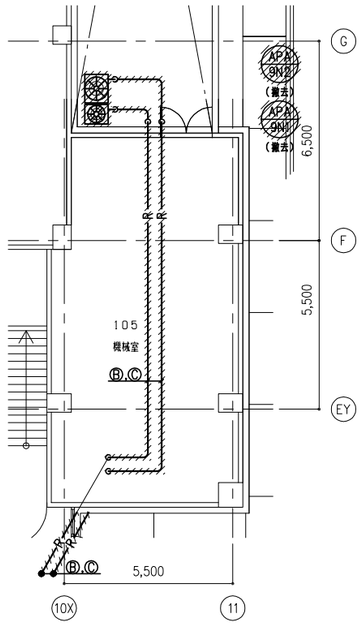
設計者				
設計者 川上智慧子 一級建築士 第261079号				

件名 横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事		Job-No. 21019
図名 空調換気設備 9階ダクト平面図(撤去・新設)		機械
縮尺 1/100(A1)・1/200(A3)	日付 2021/05(令和3年)	AC-02
伊藤喜三郎建築研究所		



9階2床室（9301）廻り平面図　A3:1/200

注記　1）～～～～は、撤去を示す。
2）－－－－－は、既設を示す。
3）～～～－－－は、既設配管切断箇所を示す。
4）明記なき配管は、天井配管を示す。
5）配管切断は、凍結工法にて行う。
6）階高9FL～10FL 3,800
7）――R―●―は防火区画貫通処理必要箇所を示す。
（処理方法：国土交通大臣認定工法）

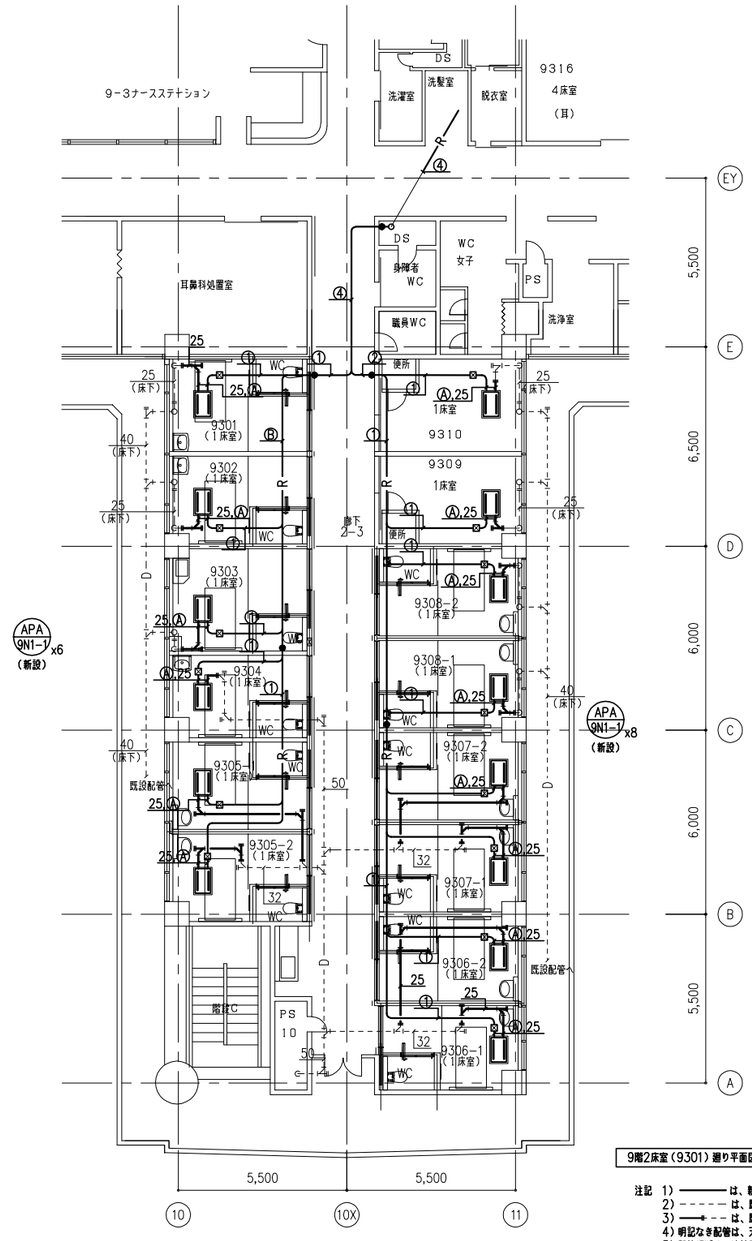


10階機械室廻り平面図　A3:1/200

注記　1）～～～～は、撤去を示す。
2）明記なき配管は、天井配管を示す。
3）――R―●―は防火区画貫通処理必要箇所を示す。
（処理方法：国土交通大臣認定工法）

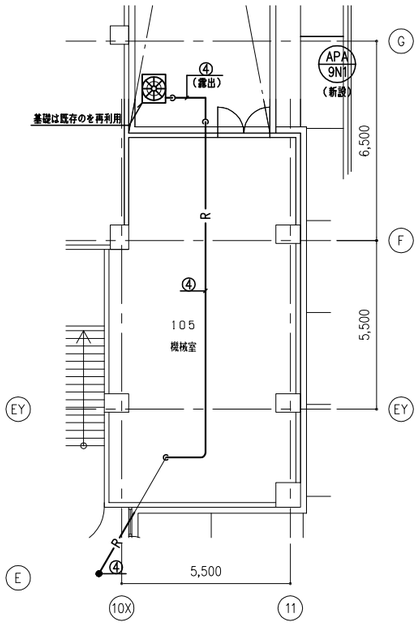
冷媒管サイズ表

記号	液管	ガス管
Ⓐ	6.35φ	12.70φ
Ⓑ	9.52φ	15.88φ
Ⓒ	9.52φ	19.05φ
Ⓓ	9.52φ	22.20φ
Ⓔ	9.52φ	25.40φ
Ⓕ	12.70φ	25.40φ
Ⓖ	12.70φ	28.58φ
Ⓗ	15.88φ	28.58φ
Ⓘ	19.05φ	31.80φ
Ⓙ	19.05φ	38.10φ
Ⓚ	12.70φ	19.05φ



9階2床室（9301）廻り平面図　A3:1/200

注記　1）――――は、新設を示す。
2）－－－－－は、既設を示す。
3）――●－－－は、既設配管接続箇所を示す。
4）明記なき配管は、天井配管を示す。
5）配管切断は、凍結工法にて行う。
6）コア抜きは本工事とし、X線写真を行うこと。
7）階高9FL～10FL 3,800
8）――R―●―は防火区画貫通処理必要箇所を示す。
（処理方法：国土交通大臣認定工法）
9）明記なき⊠は、冷暖切替ユニットを示す。



10階機械室廻り平面図　A3:1/200

注記　1）――――は、新設を示す。
2）明記なき配管は、天井配管を示す。
3）――R―●―は防火区画貫通処理必要箇所を示す。
（処理方法：国土交通大臣認定工法）

冷媒管サイズ表

記号	液管	ガス管
Ⓐ	6.35φ	12.70φ
Ⓑ	9.52φ	15.88φ
Ⓒ	9.52φ	19.05φ
Ⓓ	9.52φ	22.20φ
Ⓔ	9.52φ	25.40φ
Ⓕ	12.70φ	25.40φ
Ⓖ	12.70φ	28.58φ
Ⓗ	15.88φ	28.58φ
Ⓘ	19.05φ	31.80φ
Ⓙ	19.05φ	38.10φ
Ⓚ	12.70φ	19.05φ

冷媒管サイズ表

記号	吸入ガス管	吐出ガス管	液管
①	15.88φ	12.70φ	9.52φ
②	19.05φ	15.88φ	9.52φ
③	22.20φ	19.05φ	9.52φ
④	25.40φ	19.05φ	12.70φ
⑤	28.58φ	19.05φ	12.70φ
⑥	25.40φ	22.20φ	12.70φ
⑦	28.58φ	22.20φ	12.70φ
⑧	28.58φ	22.20φ	15.88φ
⑨	28.58φ	25.40φ	15.88φ
⑩	31.80φ	25.40φ	19.05φ
⑪	31.80φ	28.58φ	19.05φ
⑫	38.10φ	28.58φ	19.05φ
⑬	38.10φ	31.80φ	19.05φ
⑭	31.80φ	25.40φ	22.20φ
⑮	38.10φ	31.80φ	22.20φ

株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　筒井和幸
一級建築士登録番号　第238709号
設備設計一級建築士
登録番号　第1428号

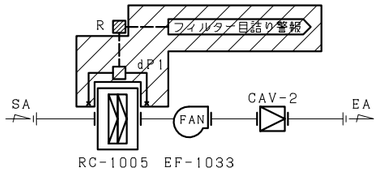
設計者

担当者				
川上香菜子 一級建築士 第297879号				

件名	横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事		Job-No. 21019
図名	空調換気設備　9階配管平面図（撤去・新設）		機械
縮尺	1/100(A1)・1/200(A3)	日付 2021/05（令和3年）	AC-03
伊藤喜三郎建築研究所			

フィルター目詰り警報

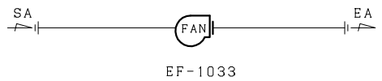
撤去



〈注記〉
・フィルターユニット（RC-1005）の撤去に伴い、
　中央監視装置よりポイントの撤去とグラフィック画面の修正を行う。
・盤内機器は残置とする。

：撤去
：既設・再利用

新設 （自動制御設備工事対象外）



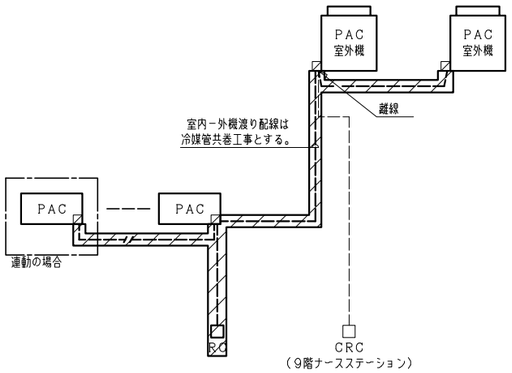
：新設
：既設・再利用

自動制御機器表（撤去）

記　号	名　　称	型　　式	備　　考
dP1	微差圧スイッチ		撤去
R	補助リレー		撤去

パッケージリモコンスイッチ取付及び渡り線工事

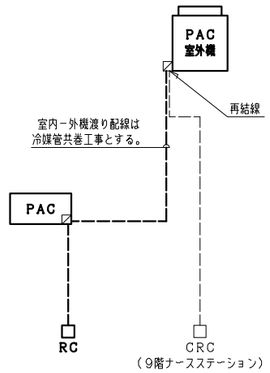
撤去



〈注記〉
・CRC（集中リモコン）は、既設再利用とする。
・室内－外機の渡り線は冷媒管共巻き工事とする。
・パッケージ台数、リモコン系統は平面図参照とする。

：撤去
：既設・再利用

新設



〈注記〉
・パッケージへの電源送りは、電気設備工事とする。
・RC（手元スイッチ）は、パッケージ付属品とする。
・CRC（集中リモコン）は、既設再利用とする。
・室内－外機の渡り線は冷媒管共巻き工事とする。
・パッケージ台数、リモコン系統は平面図参照とする。

：新設
：既設・再利用

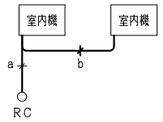
株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号 第2215号
設 計 者 簡 井 和 幸
一級建築士登録番号 第238709号
設備設計一級建築士
登録番号 第1428号

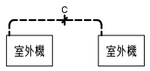
設　計　者				
担当者 川上香菜子 一級建築士 第291019号				

件 名 横浜市立大学附属病院9-3病棟感室化改修工事		Job-No. 21019
図 名 自動制御設備　計装図・表類（撤去・新設）		機械
縮 R N/S(A1)・N/S(A3)	日 付 2021/05（令和3年）	AC-04
伊 藤 喜 三 郎 建 築 研 究 所		

撤去

〈ＰＡＣ凡例〉



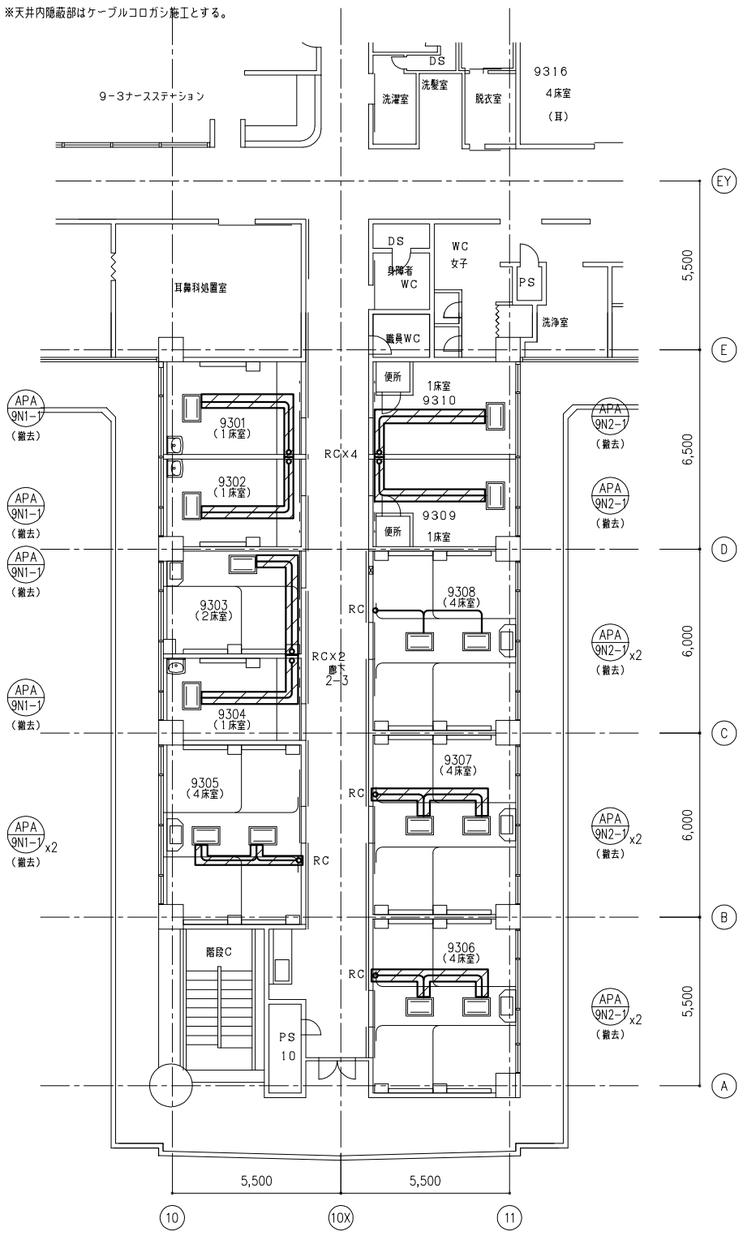


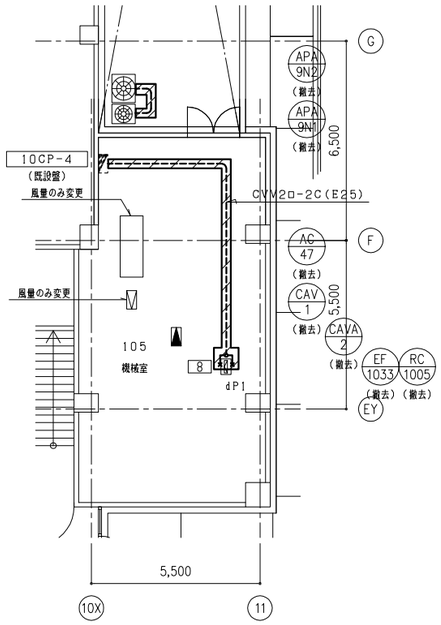
-a-
CVV1.25ロ-2C　(PF22)　RC

-b-
CVV1.25ロ-2C　(コロガシ)　連動

-c-
CVV1.25ロ-2C　(22)　集中リモコン渡り

※天井内隠蔽部はケーブルコロガシ施工とする。

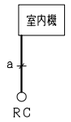




：撤去

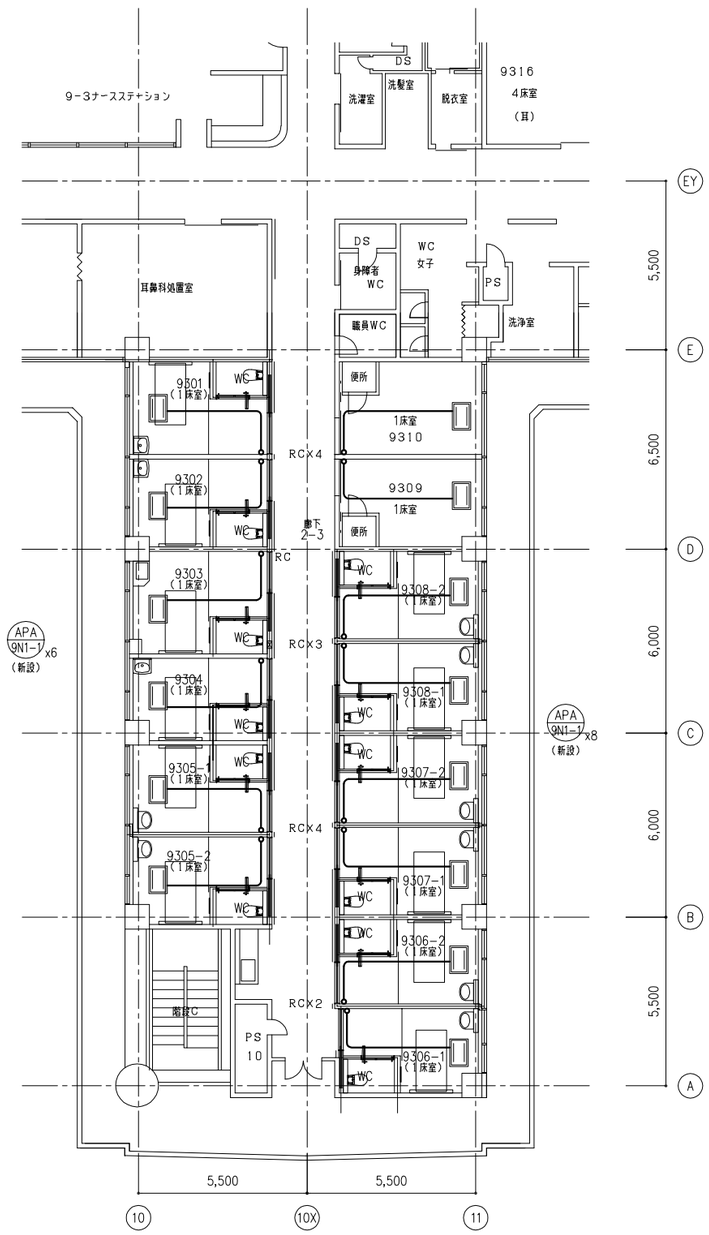
新設

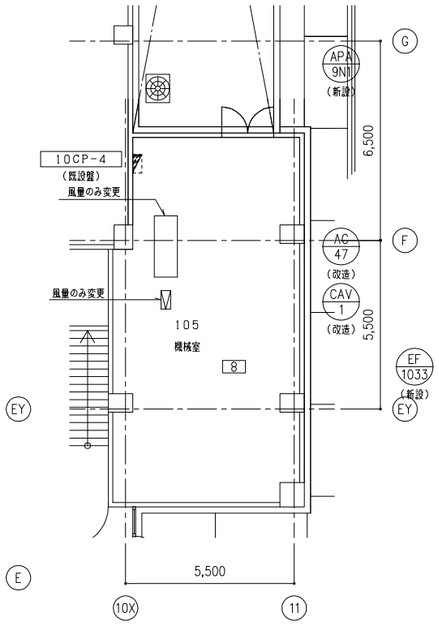
〈ＰＡＣ凡例〉



-a-
EM-CEE1.25ロ-2C (PF22)　RC

※天井内隠蔽部はケーブルコロガシ施工とする。





：新設

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号 設計者 陶井知幸 一級建築士登録番号 第238709号 設備設計一級建築士 登録番号 第1428号	設計者 担当者 川上香菜子 一級建築士 第297079号				件名 横浜市立大学附属病院9-3病棟臨室化改修工事	Job-No. 21019
					図名 自動制御設備　9階平面図（撤去・新設）	機械
					縮尺 R 1/100(A1)・1/200(A3)　日付 2021/05（令和3年）	AC-05
					伊藤喜三郎建築研究所	

器具名称	品番（参考型番：TOTO）	付属品	9301 1床室	9302 1床室	9303 2床室	9304 1床室	9305 4床室	9306 4床室	9307 4床室	9308 4床室	撤去合計	既設合計	備考
流し台（建築工事）							(1)	(1)	(1)	(1)	(4)		
シングルレバー混合水栓	型番不明						1	1	1	1	4		
洗面器	型番不明		1	1	1	1					4		付随する水栓等、全て撤去

注記 1) ////////// は撤去を示す。

衛生器具表

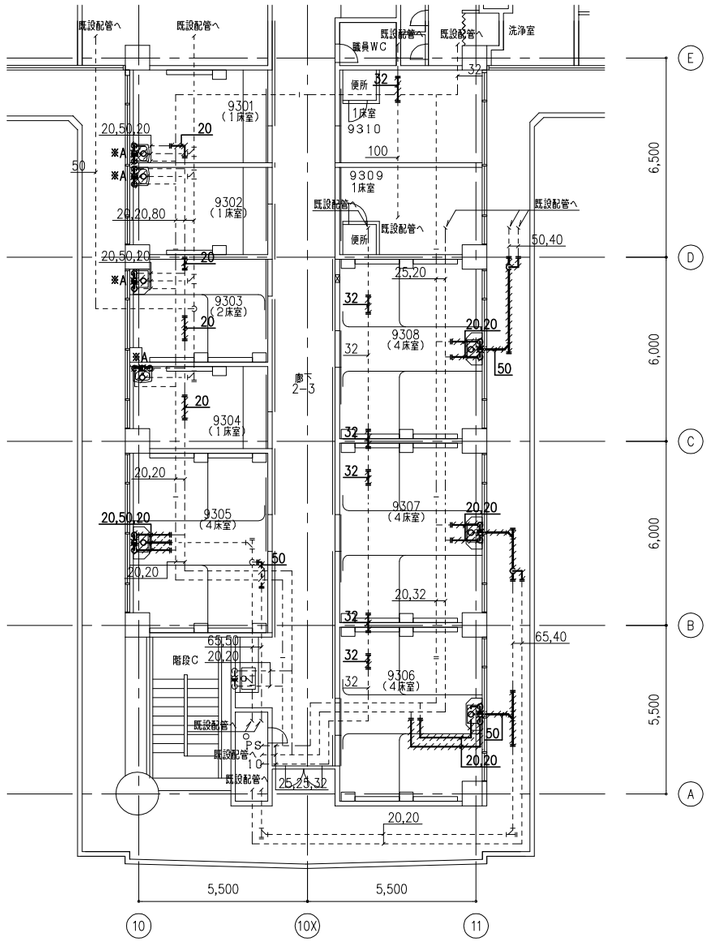
器具名称	品番（参考型番：TOTO）	付属品	9301 1床室（WC含む）	9302 1床室（WC含む）	9303 1床室（WC含む）	9304 1床室（WC含む）	9305-1 1床室（WC含む）	9305-2 1床室（WC含む）	9306-1 1床室（WC含む）	9306-2 1床室（WC含む）	9307-1 1床室（WC含む）	9307-2 1床室（WC含む）	9308-1 1床室（WC含む）	9308-2 1床室（WC含む）	新設合計	既設合計	備考
大便器	CFS494NVNA	TCF5840PR（ウォシュレット）	1	1	1	1	1					1	1	1	8		AC100V
		,YH650（棚付二連紙巻器）															
手洗器	LSL870ASR		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12		AC100V
洗面器	L210	TENA41A（台付自動水栓）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12		AC100V
大便器	UAXC1CS1AN	TCF5840PR（ウォシュレット）						1	1	1	1				4		AC100V

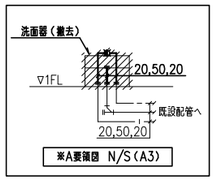
注記 1) ［　　］は新設を示す。
2) 洗面器・手洗器のオーバーフローとポンプアップは無しとする。

床穴あけリスト

サイズ	20A	40A	80A	100A	
給水管	32				
給湯管	8				
排水管		20	12	3	

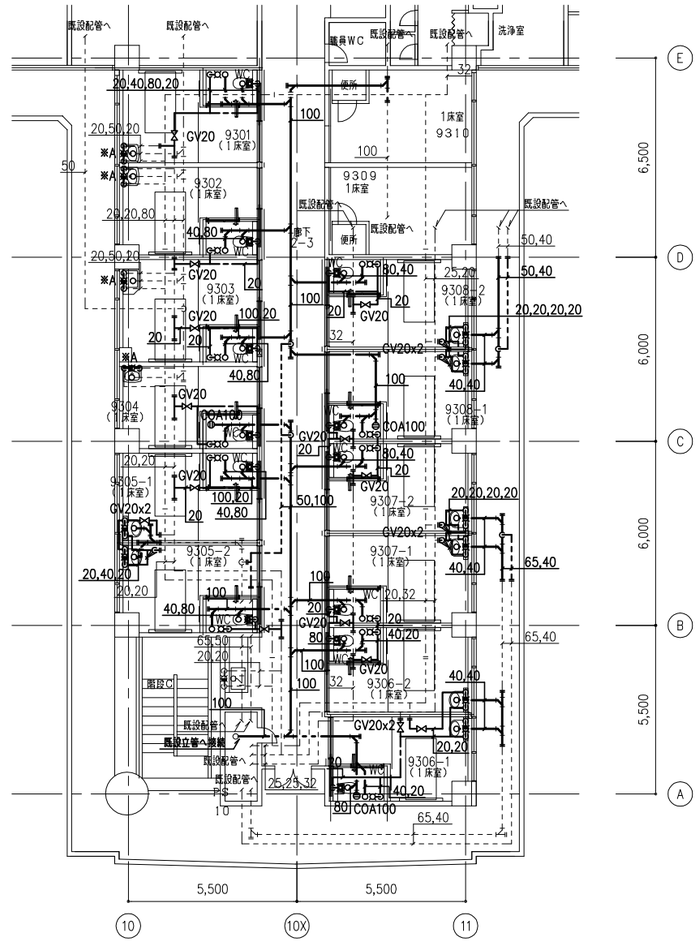
※スラブ厚は150mmとする。

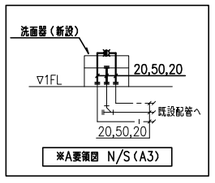




9階2床室（9301）廻り平面図 A3:1/200

注記 1) ~~////////~~ は、撤去を示す。
2) - - - - - - は、既設を示す。
3) ~~////~~ - - - は、既設配管切断箇所を示す。
4) 明記なき配管は、床下配管を示す。
5) 配管切断は、凍結工法にて行う。
6) 階高9FL~10FL 3,800





9階2床室（9301）廻り平面図 A3:1/200

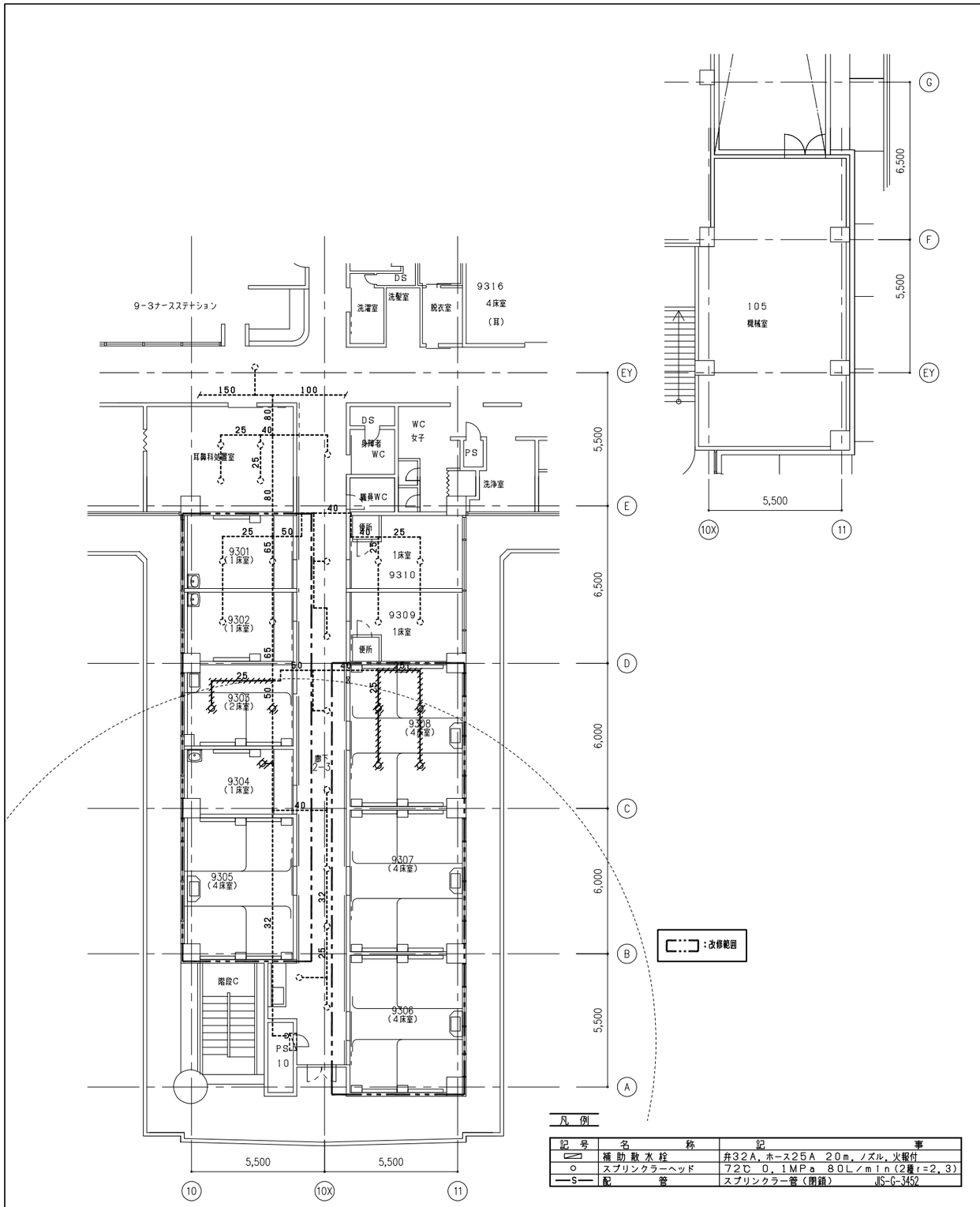
注記 1) ———— は、新設を示す。
2) - - - - - - は、既設を示す。
3) ——●- - は、既設配管接続箇所を示す。
4) 明記なき配管は、床下配管を示す。
5) コア抜きは本工事とし、X線写真を行うこと。
6) 配管切断は、凍結工法にて行う。
7) 階高9FL~10FL 3,800

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号 第2215号
設計者 筒井和幸
一級建築士登録番号 第238709号
設備設計一級建築士
登録番号 第1428号

設計者

担当者				
川上智屋子 一級建築士 第291079号				

件名 横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事		Job-No. 21019
図名 衛生設備 9階平面図（撤去・新設）		機械
縮尺 1/100(A1)・1/200(A3)	日付 2021/05（令和3年）	P-01
伊藤喜三郎建築研究所		



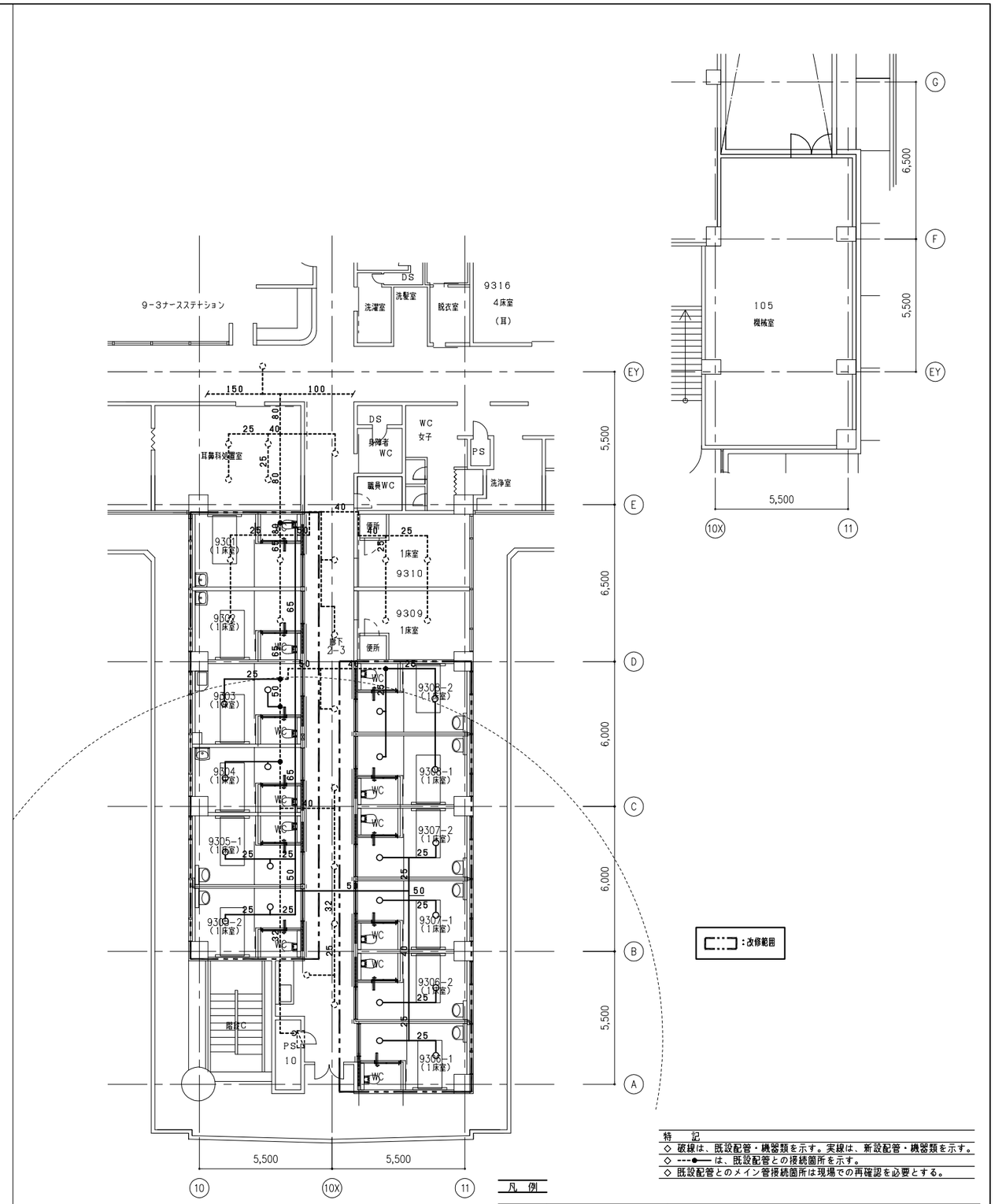
9階2床室(9301)廻り平面図(撤去図) A3:1/200

凡 例

記 号	名 称	記 事
▭	補助散水栓	弁32A，ホース25A 20m，ノズル，火報付
○	スプリンクラーヘッド	72℃ 0.1MPa 80L/min(2種r=2.3)
—S—	配 管	スプリンクラー管(閉鎖) JIS-G-3452

特 記

◇ 破線は、非撤去配管・機器類を示す。実線＋ハッチングは、撤去配管・機器類を示す。



9階2床室(9301)廻り平面図(改修図) A3:1/200

特 記

◇ 破線は、既設配管・機器類を示す。実線は、新設配管・機器類を示す。

◇ ---●--- は、既設配管との接続箇所を示す。

◇ 既設配管とのメイン管接続箇所は現場での再確認を必要とする。

凡 例

記 号	名 称	記 事
▭	補助散水栓	弁32A，ホース25A 20m，ノズル，火報付
○	スプリンクラーヘッド	72℃ 0.1MPa 80L/min(2種r=2.3)(SUS・フレキ共)
—S—	配 管	スプリンクラー管(閉鎖) JIS-G-3452

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号 第2215号
設計者 陰井和幸
一級建築士登録番号 第238709号
設備設計一級建築士
登録番号 第1428号

設 計 者

担当者				
川上香屋子 一級建築士 第297079号				

件 名 横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事		Job-No. 21019
図 名 消火設備 9階平面図(撤去・新設)		機械
縮 尺 1/100(A1)・1/200(A3)	日 付 2021/05(令和3年)	P-02

伊藤喜三郎建築研究所

医療ガス設備特記仕様書

1. 設 備 概 要

1−1　酸素供給設備	酸素の供給は、既設酸素配管より分岐し、これより図示された各部屋のアウトレットへ配管により供給を行なう。 供給圧力は既設酸素配管と同圧力とする。
1−2　吸引供給設備	吸引の供給は、既設吸引配管より分岐し、これより図示された各部屋のアウトレットへ配管により供給を行なう。 供給圧力は既設吸引配管と同圧力とする。
1−3　アウトレット （配管端末器）	1）アウトレットバルブと導入接手はガス別特定とし、定められたガス以外の接続は出来ない構造とする。 2）バルブ本体にはガスの種類により色分けされ、導入接手には個々のメンテナンスのためのストップバルブを備えた構造とする。 3）酸素・吸引のガス別特定方式はピン方式とする。 4）壁付アウトレットの取付高さは、FL+1,400mm（器具芯）を標準とする。

2. 配 管 工 事

2−1　配管材料

ガス名称	配 管 仕 様	継 手 仕 様	備　考
酸　素 吸　引	銅管リン脱酸銅継目無管 （JIS H 3300 C 1220T） のLタイプとする。 ガス別に着色を施された熱収縮性合成樹脂チューブ被覆銅管とする。	左記の銅管による形成品又は JIS H 3401　の加工品とする。 または、　JIS H 3250　の機械的接続の加工品とする。	銅管の異種金属に対する保護として塩ビ管又は防蝕テープを使用する。 支持金具と銅管が直接接触しない様、銅管用吊金具を使用する。

2−2　配管の識別表示

配　管	酸　素	吸　引
識 別 色	緑	黒

2−3　配管の支持間隔

呼径20mm 未満　1.5m　呼径20mm以上,50mm以下　2.0m　曲部及び分岐箇所は、0.5m以内とする。

1）　共用架台で支持及び固定する場合の部材は、50mm以下の場合は形鋼L−30×30×3t とする。
2）　最大振れ止め支持間隔は、65mm以上から6mとし、50mm以下及び吊棒長さが300mm未満の場合、配管の振れ止め支持は不要とする。

2−4　配管の施工

1）　特定の構成部品に使用される機械的継手を除き、全ての金属配管の接合は、恒久的な接続となるろう付又は溶接が望ましい。
　　機械的接続する場合は、恒久的な接続となる手段をもたせるか、又は接続部が点検できるようにする。
2）　壁取付け器具への立ち下げ配管は、酸素・吸引は φ10 とする。
3）　壁埋込み配管の保護は軽量鉄骨壁内金属接触部では防食テープ又はPF管で防食保護する。
　　保護する範囲は、壁内の全長＋50mm以上とする。躯体壁内はPF管で防食保護する。
4）　カラーパイプを溶接接合するために被覆を削り取る部分の長さは、500mm以内とする。
　　なお、接合後は、その部分に指定色の塗装を行う。
5）　配管の溶接作業は、酸化防止溶剤として配管内に不活性ガス（窒素ガス）を通しながら行なう事。
6）　異種金属の接続は絶縁ユニオン又は絶縁フランジにより接続する。
7）　既設配管との接続工事が必要な為、切替工事を行なう。
8）　既存配管の切り込みは、最初に小さな切り込みを入れて圧力が完全に抜けていて誤切断のないことを確認した後に行う。
9）　配管設備を増設する場合は、既存配管に接続するまでに、接続部の気密試験を除きすべての試験を実施した後に接続する。

2−5　検査・試験

ガス名称	試験用ガス	配管気密試験		試験用ガス	総合気密試験	
		試験圧力	保持時間		試験圧力	保持時間
酸　素	窒　素	1.0MPa	24 時間	窒　素	0.4MPa	24 時間
吸　引		0.5MPa	2 時間		0.1MPa	2 時間

1）　配管工事終了後、系統試験を行ない、配管に異常の無い事を確認の上配管気密試験を行なう事。
2）　銅配管は、配管気密試験完了後、器具取付け前に窒素ガスを放出して管内の清掃を行い、
　　異物、ごみ、塵あい等を十分に除去する。
3）　総合気密試験は、端末の器具全ての取付終了後に行ない、配管及び器具に異常の無い事を確認の上作動試験を行なう事。
4）　アウトレット清浄度検査の方法は、酸素についてテスト用アダプタプラグにより、60L/minで15秒間、
　　直径50mm細孔10μm のフィルターにガスを吹き付け、フィルターに目視で確認できる微粒子のないこと。
　　検査箇所数は各区域別シャットオフバルブの区域ごとに最も配管経路が長いアウトレット1箇所を測定する。
5）　既存配管との接合は、1系統ごとに行い、施工後ガス別の系統確認を行う。
6）　既存配管へ接続後及び気密試験後は、異ガスの混入を防止するために実際使用するガス（以下「実ガス」という。）以外を封入してはならない。
7）　接続部の気密試験は、吸引を除く配管で標準送気圧力での検知液による発泡漏れ試験とし、吸引配管は煙を吸い込ませる吸煙試験とする。

2−6　検査・試験の順序

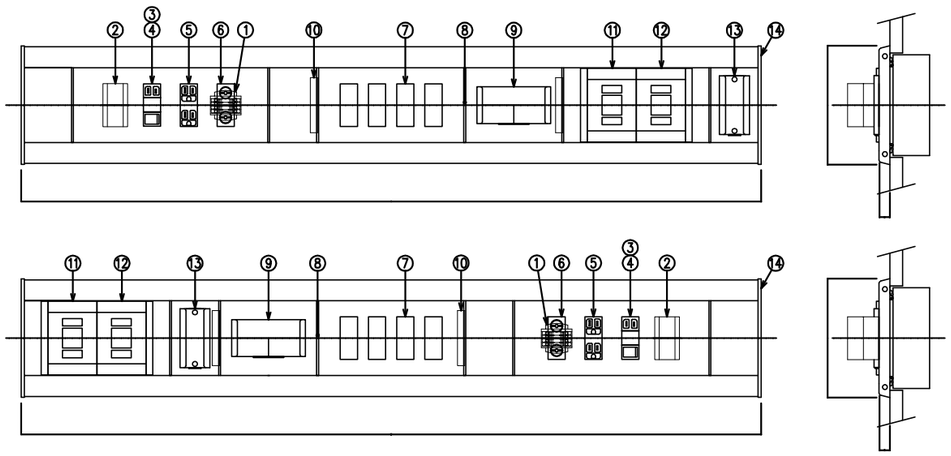
（1）　配管外観検査　（2）　配管系統検査　（3）　配管気密試験　（4）　配管内清浄度検査　（5）　器具外観検査
（6）　総合気密試験　（7）　区域別遮断弁作動確認　（8）　作動及び性能検査　（9）　竣工検査

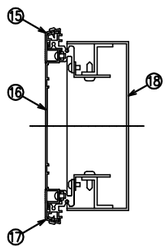
検査・試験は区域ごと行ってもよいが各検査・試験を合格せず、次の検査・試験を行ってはならない。
検査不合格の場合、手直し後は必要な検査・試験まで戻って実施する。
作動及び性能検査時のボンベは本工事に含まない。

2−7　完工検査

竣工引渡し後、すべての系統の配管設備が試験用ガスから当該施設が使用するべく用意された実ガスに置き換えられ、使用が可能な状態となったときで、
かつ使用開始前に行う。検査に当たっては、当該施設の医療ガス安全・管理委員会の代表又はそれに準ずる者が立ち会い、臨床使用時の安全性を確認する。
この時のボンベ及び置換作業は本工事に含まない。

模型ユニット(埋込タイプ)(参考図)※仕様は要打ち合わせ　　S=1/5





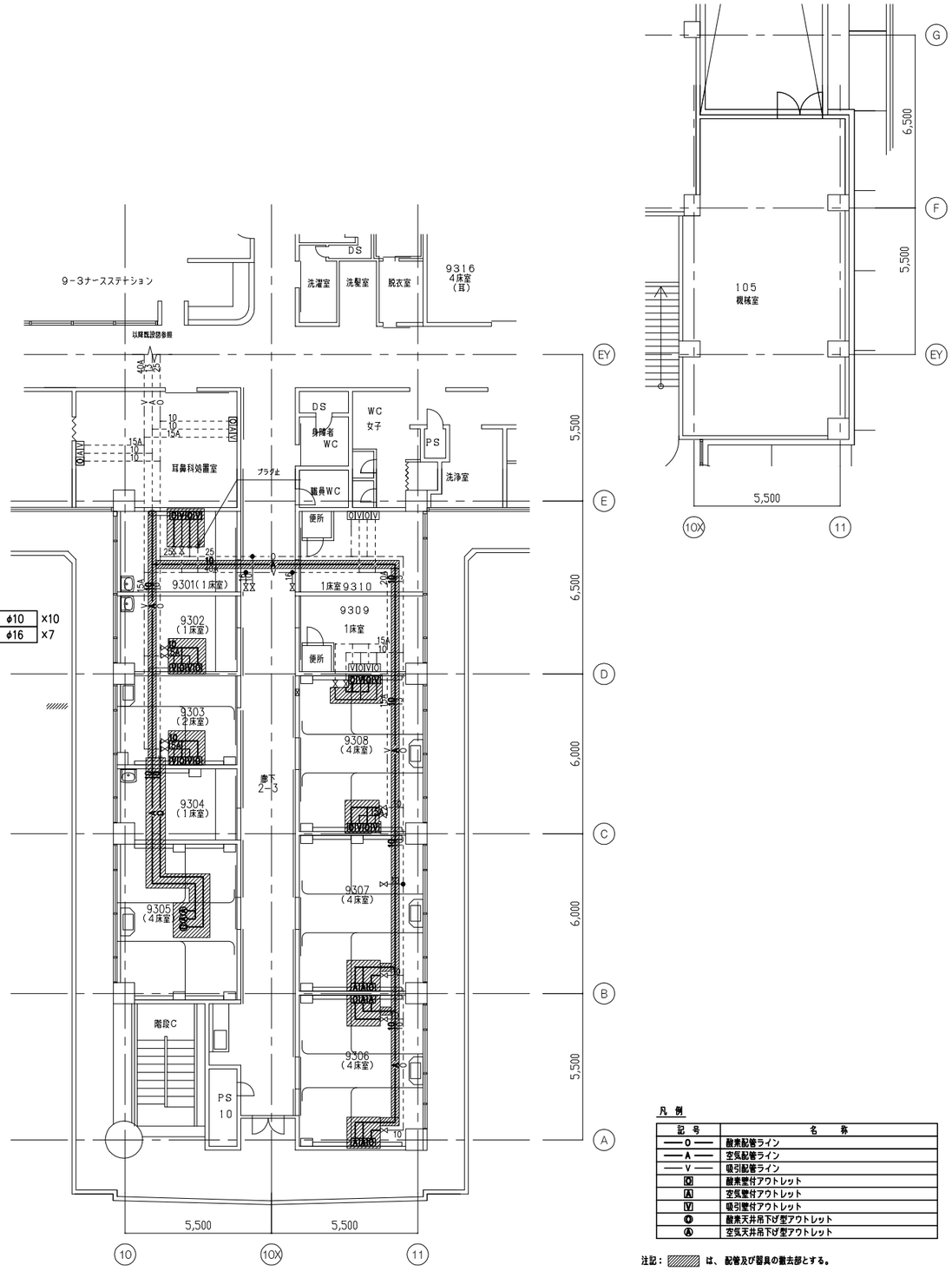
断面図　S=1/3

番号	名　称	数量	備　考
1	クラッチロック端子台	1	600V　30A 4P
2	アームライト用ブラケットスペース	1	
3	アームライト用コンセント	1	AC125V　15A
4	アームライト用スイッチ	1	AC100V　15A
5	医療用アース付ダブルコンセント	1	AC125V　15A
6	医療用接地端子	1	
7	ナースコール	1	開口のみ
8	目地棒	6	ABS樹脂
9	ネームカード	1	アクリル乳白色 t2.0
10	セパレーター	2	A 5052P（JIS H 4100）
11	アウトレットバルブ	1	酸素
12	アウトレットバルブ	1	吸引
13	スライドベース	1	
14	エンドプレート	2	塩ビ　（自消）
15	上部カバー		A 6063ST5（JIS H 4100）
16	化粧プレート		A 6063ST5（JIS H 4100）
17	下部カバー		A 6063ST5（JIS H 4100）
18	埋込ボックス		SECC t1.6（JIS G 3313）

株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設 計 者　筒 井 和 幸
一級建築士登録番号　第238709号
設備設計一級建築士
登録番号　第1428号

設　計　者				
担当者 川上香菜子 一級建築士 第297079号				

件 名　横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事		Job-No. 21019
図 名　医療ガス設備　特記仕様書　器具図(参考図)		機械
縮 尺　N/S(A1)・N/S(A3)	日 付　2021/05（令和3年）	P-03
伊 藤 喜 三 郎 建 築 研 究 所		



新設

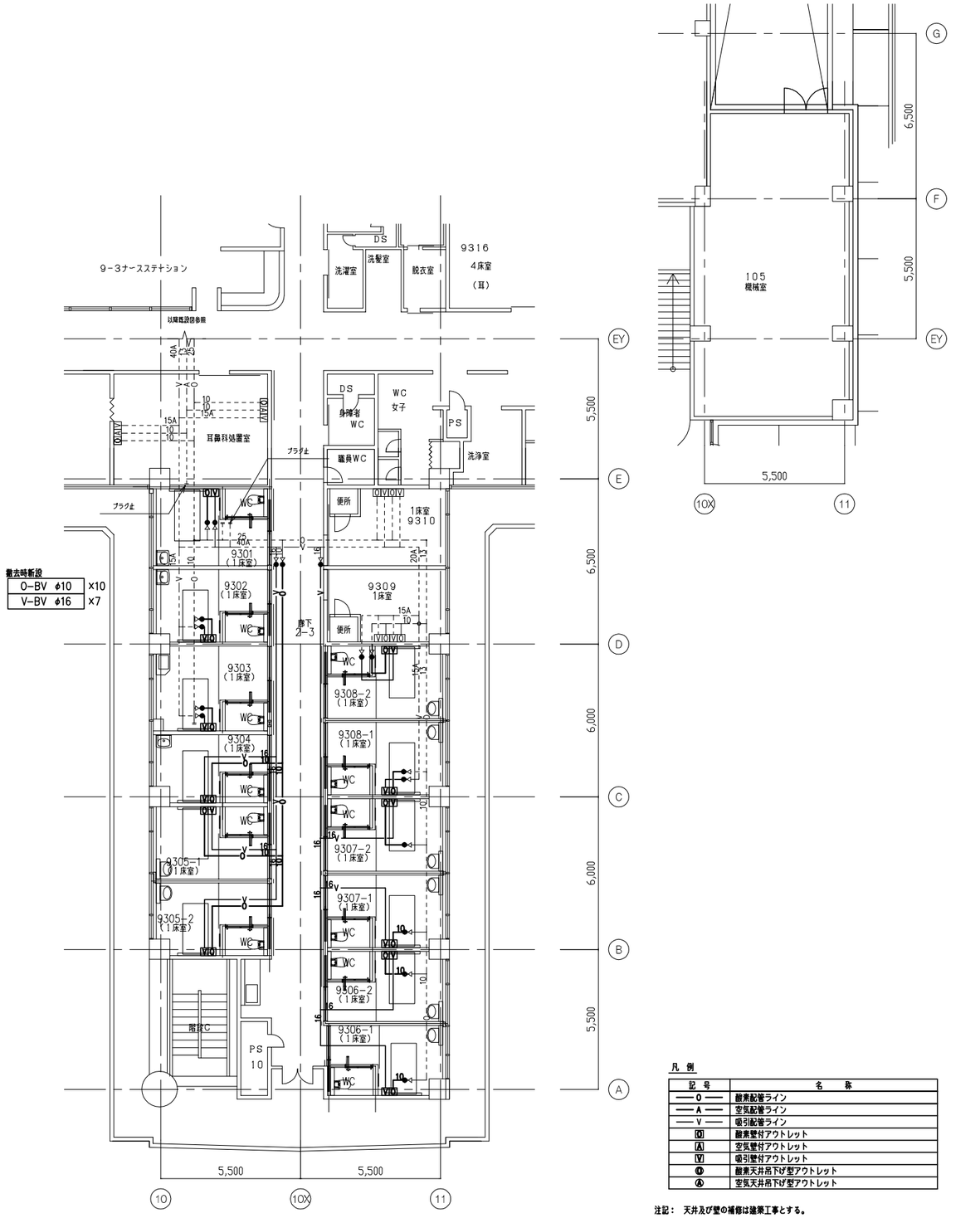
O-BV φ10	×10
V-BV φ16	×7

凡例

記号	名称
—O—	酸素配管ライン
—A—	空気配管ライン
—V—	吸引配管ライン
O	酸素壁付アウトレット
A	空気壁付アウトレット
V	吸引壁付アウトレット
O	酸素天井吊下げ型アウトレット
A	空気天井吊下げ型アウトレット

注記：▨ は、配管及び器具の撤去部とする。
但し、天井及び壁の補修は建築工事とする。

9階2床室（9301）廻り平面図　A3:1/200



撤去時新設

O-BV φ10	×10
V-BV φ16	×7

凡例

記号	名称
—O—	酸素配管ライン
—A—	空気配管ライン
—V—	吸引配管ライン
O	酸素壁付アウトレット
A	空気壁付アウトレット
V	吸引壁付アウトレット
O	酸素天井吊下げ型アウトレット
A	空気天井吊下げ型アウトレット

注記：　天井及び壁の補修は建築工事とする。

9階2床室（9301）廻り平面図　A3:1/200

株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　簡井和幸
一級建築士登録番号　第238709号
設備設計一級建築士
登録番号　第1428号

設計者			
担当者 川上香摩子 一級建築士 第297079号			

件名 横浜市立大学附属病院9-3病棟個室化改修工事		Job-No. 21019
図名 医療ガス設備　9階平面図（撤去・新設）		機械
縮尺 1/100(A1)・1/200(A3)	日付 2021/05（令和3年）	P-04
伊藤喜三郎建築研究所		